

「法律委員」ナル語ハ千八百八十一年ノ法律ニ依リ任命セラレタル法律委員ヲ意味ス  
「指定ノ日」ナル語ハ總督ノ指定スル日ヲ意味ス

第六十七條 小作料第三者收得小作契約若ハ常ニ更新シ得ヘキ終身間ノ小作契約又ハ未滿了ノ期間尙六十年以上アル期限附小作契約ニテ小作セル者ノ占有セル土地ハ千九百七年ノ追放小作人法(愛爾蘭)ノ目的上之ヲ無小作地ト看做ス

第六十八條 本法第一編、第二編及第四編ハ土地購買法ノ一ト解スヘキモノニシテ共ニ土地購買法ト稱スルコトヲ得

本法第三編ハ稠密地方局法(愛爾蘭)ノ一ト解スヘキモノニシテ共ニ稠密地方局法ト稱スルコトヲ得  
本法第五編ハ土地法ノ一ト解スヘキモノニシテ共ニ土地法ト稱スルコトヲ得

第六十九條 本法ハ千九百七年ノ愛爾蘭土地法ト稱スルコトヲ得

第七十條 本法第一附款ニ明記セル法律ハ同附款第三欄ニ規定セル範圍マテ茲ニ之ヲ廢止ス

附 款

第一 附 款

(一) 率ハ土地ニ含マルル地區及小作地ニ關シ立替ヘタル額ニ對スル率ニシテ左ノ標準ニ依リ立替金ヲ以テ示セル若干年ノ購買ニ依リテ之ヲ計算ス

立替金ヲ以テ示セル若干年ノ購買

小作料カ千八百九十六年ノ法律制定後定メラレ若 ハ協定セラレタル裁判上ノ小作料ナル場合又ハ土地 地方無小作地ナル場合	小作料カ千八百九十六年ノ法律制定前定メラレ若 ハ協定セラレタル裁判上ノ小作料ナル場合	率
二六以上	二四以上	三
二五以上	二三以上	四
二四以上	二二以上	六
二三以上	二一以上	八
二二以上	二〇以上	一〇
二一以上	一九以上	一二
二〇以上	一八以上	一四
一九以上	一七以上	一六
一八以上	一六以上	一八
一八以下	一六以下	一八

(二) 土地財産權委員又ハ稠密地方局カ土地ヲ購買シ全體トシテノ土地ニ對シ立替ヲナス場合ニハ立替ハ標準適用ノ目的上土地財産權委員又ハ稠密地方局ノ指示スル方法ニ依リ土地ニ含マルル地區ト借地トノ間ニ之ヲ割當ツルモノトス

(三) 無小作地區購買ノ場合及立替金カ購買金ヨリ少キ場合ニハ立替金ヲ以テ示セル若干年ノ購買ハ國庫ノ定ムル方法ニ依リ且無小作地ノ場合ニハ所有者カ土地ノ爲ニ有スル公平ナル一箇年ノ價值ニ顧ミテ之ヲ計算ス



第二附 款

廢止法律

會期及章

略

稱

廢止範圍

ヴィクトリア女皇五  
十一及五十二年第四  
十九章  
ヴィクトリア女皇五  
十四及五十五年第四  
十八章  
ヴィクトリア女皇五  
十六及五十七年第三  
十五章  
エドワード七世三年

千八百八十八年ノ土地購買  
修正法(愛爾蘭)  
千八百九十一年ノ土地購買  
法(愛爾蘭)  
千八百九十三年ノ稠密地方  
局法(愛爾蘭)  
千九百三年愛爾蘭土地法

第二條、但シ本法制定前締結シタル購買約束ニ從ヘル立替金ニ關  
スルモノヲ除ク

第三十四條「成レル」ヨリ條末マテ指定ノ日ヨリ

第二條第二項及第三項

第一條第四項但シ本法制定前締結シタル購買約束ニ從ヘル立替金  
ニ關スルモノヲ除ク

第二條、但シ本法制定前購買約束ヲ結ヒタル地區ノ賣却ニ關スル  
モノヲ除ク

第六條第四項ニ於テ「所有者ノ同意ヲ得テ」ナル語

第四十三條第三項

第四十四條

第四十七條第一項ニ於テ「但シ」ヨリ項末マテ

合  
千八百七十七年

第四十八條第三項  
第五十一條第一項、第二項及第三項  
第七十五條、但シ本法制定前稠密地方局ノ購買セル地區ノ賣却ニ  
關スルモノヲ除ク



## 第二編 英克蘭ニ於ケル小農地（小自作農地ヲ含ム）設定ニ關スル法律 法律ノ沿革及其ノ概要

英克蘭ニ於テハ莊園制度崩壞後小作人ノ大部分ハ自由契約ニ依ル普通ノ小作人トナレルモ一般貨幣經濟ノ發達ニ伴ヒ地主ハ農地ヲ一種ノ資本ト看倣シ小作地ニ土地改良ヲ加ヘ多クノ小作料ヲ徵收セントスルニ至レルト長子相續法及繞圍法ノ施行ハ土地兼併ノ弊ヲ助長シ其ノ後十九世紀ノ中葉ニ及ヒ交通機關ノ發達ト共ニ他國ヨリ穀物ノ輸入増加シ之カ爲穀價ハ暴落シ小作人及小地主ノ生活ハ益々困難ヲ加ヘ農村ノ基礎ヲナセル郷士スラ漸次所有地ヲ賣却シテ都會ニ移住スルノ止ムナキニ至レリ更ニ商工業ノ發達ハ益々農民ノ都會集中ヲ促シ農村人口ハ減少シ且農村ニ殘レル小作人ハ粗放ナル掠奪農業ヲ營ムコトトナリ永住ノ觀念ナク從テ地主小作人ノ關係ハ益々圓滑ヲ欠キ農產物ノ生産ハ減少シ農村ハ著シク荒廢スルニ至レリ茲ニ於テ政府ハ農村ノ振興ヲ計ルノ必要ニ迫ラレ千八百八十三年始メテ小作人ノ保護ヲ目的トセル小作法ヲ制定シ爾後屢々小作法ノ改正増補ヲ爲シテ小作人ノ保護ヲ講スルト共ニ他方小自作農地創設ノ制度ヲ敷キ健全ナル小農主義ヲ普及セシムル制度ヲ實施スルニ至レリ

而シテ英克蘭ニ於ケル小農地ニ關スル法令ノ嚆矢ヲ爲スハ千八百八十七年ノ分課地法ニシテ其ノ後千八百八十七年及千八百九十年ニハ分課地條令、千八百九十二年ニハ小農地法ヲ制定シ後千九百八年ニハ從來ノ分課地法ト小農地法トヲ合併シテ新タニ小農地及分課地法カ發布サレ爾來屢々同法ノ改正増補ヲ見ルニ至レリ即チ千九百十年ニハ小農地設定ノ爲ニ其ノ小作地ヲ失ヒタル小作人ノ權利ノ賠償ヲ規定セル法律カ制定セラレ更ニ千九百十九年ニハ土著ヲ容易ナラシムル法律ヲ制定セリ

斯クノ如ク英國ニ於ケル小農地及分課地法ハ屢々改正増補セラレタルモ千九百八年ノ法律カ最も重要ナルモノニシテ爾後ノ改正法ト併セテ之ヲ千九百八年乃至千九百十九年ノ小農地及分課地法ト稱セラル

尙右ノ法律ノ外千九百十六年ニハ小農地殖民法ヲ制定シ以テ都會ニ集中セル者ヲ歸農セシムルノ方策ヲ講シ千九百十九年ニハ土地獲得法ヲ制定シテ小農地設定等ノ爲政府及地方自治團體カ取得セル土地ニ關スル補償評價等ノ規定ヲ完備スルコトトナリ更ニ又千九百二十三年ニハ農業信用法ヲ制定シテ土地金融ノ圓滑ヲ計リ之ニ依リ小自作農地ノ創設維持ヲ促進スルニ至レリ

今此等ノ法律ノ概要ヲ記スレハ左ノ如シ

- 一、千八百八十九年ノ小農地法ハ「カウンテイ、カウンシル」及「ボロウ、カウンシル」カ土地所有者ト自由契約ニ依リ（イ）土地ヲ購入レ又ハ（ロ）土地ヲ賃借シ之ヲ個人ニ（イ）賣却シ又ハ（ロ）必要ナル設備ヲ爲シテ之ヲ賃貸スルモノニシテ賣却ノ場合ニ在リテハ購入者ニ於テ土地價額ノ五分ノ一以上ヲ現金ヲ以テ支拂ヒ殘額ハ五十箇年以内ノ年賦償還ヲ以テ之ヲ償還スルモノトス而シテ購買又ハ賃貸スル土地ノ面積ハ一英町乃至十五英町ニシテ購入又ハ賃借シタル者ハ施設者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ之ヲ分割、讓渡又ハ賃貸スルコトヲ得サル等ノ制限ヲ受クルモノトス
  - 二、千九百八年ノ小農地及分課地法ハ千八百八十九年ノ法律カ施行上種々ノ不便ヲ生シタル結果カ改正ヲ加フルノ要アリシ爲新ニ制定セラレタルモノニシテ其ノ主ナル事項ハ左ノ如シ
- （一）從來ノ制度ニ在リテハ「カウンテイ、カウンシル」ハ小農地設定ニ關スル計畫實行ノ義務ナカリシカ本法ハ此等「カウンシル」ニ對シ之カ計畫ノ實行ヲ爲ス一定ノ義務ヲ負ハシムルコトトセリ



又小自作農地ノ設立ヲ多カラシムル爲主務省ハ農業上ノ知識ヲ有スル二人以上ノ小農地委員ヲ任命シ此等委員ハ主務省ノ指揮ニ從ヒ各府縣内ニ於ケル小自作農地ノ需要ノ程度計畫ノ可能等ニ付調査シ其ノ調査ヲ主務省ニ報告スルモノトス

主務省ハ其ノ報告ヲ審議シ必要ナル改正ヲ加ヘテ「カウンテイ、カウンシル」ニ指示ス「カウンシル」ハ右指示ニ基キ事業計畫案ヲ作成スルコトヲ要シ若シ適當ナル期間内ニ計畫案ヲ作成セサル場合ハ主務省ハ委員ヲシテ之ヲ作成セシムルモノトス而シテ其ノ作製セル計畫ハ「カウンシル」ニ於テ必ス實行スルノ義務ヲ負フモノニシテ之カ實施ノ爲ニハ特別ノ權限ヲ行使シ得ルモノトス

(一) 千八百八十九年ノ小農地法カ必要ナル土地取得ニ關シ強制收用ノ規定ヲ欠キ爲メニ豫期ノ效果ヲ擧ゲ得サリシニ鑑ミ本法ニ於テハ事業ヲ執行スル「カウンシル」ニ對シ一定ノ範圍内ニ於テ事業實施ニ必要ナル土地ヲ強制的ニ取得シ得ルノ權能ヲ與フル事トセリ

(二) 賣却又ハ賃貸スル一戸當リノ面積ヲ一英町乃至五十英町(特別ノ場合ハ五十英町以上ヲモ認ム)ニ擴張セリ

(三) 小農地ヲ購入シ又ハ賃借セル者ノ讓渡、分割、賃貸其ノ他ニ關スル制限ヲ受クル期間ハ千八百八十九年ノ法律ニ在リテハ年賦償還期間ナリシモ本法ハ之ヲ二十個年ニ限定セリ

(四) 小農地設定ニ關シ主務省ノ要シタル經費ハ英克蘭銀行ニ設置セル小農地勘定ヨリ之ヲ支出シ「カウンテイ、カウンシル」ノ經費ハ之ヲ基金又ハ租稅收入ヨリ支出ス「ボロウ、カウンシル」ノ經費ハ公衆衛生法ノ一般經費ヨリ之ヲ支出スルモノトス

三、千九百十年ノ小農地法ハ小農地創設ノ爲メニ農地ヲ失ヒタル小作人ニ對スル賠償ヲ規定スルモノナリ即チ「カウン

シル」カ又ハ「カウンシル」ノ請求ニ依リ地主カ小作人ニ立退ヲ命シ之ニ依リテ小作ヲ終了セシメタル場合ニハ小作人ハ直接立退ニ基因スル損失及費用ニ付キ「カウンシル」ヨリ賠償ヲ受クル權利ヲ認メタルモノナリ

四、千九百十九年ノ土著(ヲ容易ナラシムル)法ハ千九百八年ノ法律ヲ改正増補セル法律ニシテ其ノ改正ノ重ナル事項ハ

(一) 「カウンテイ、カウンシル」ノ土地ノ強制收用ノ權限ヲ一層擴張セルコト

(二) 農務水産省ハ「カウンテイ、カウンシル」ノ本法ニ基ク權限行使ヲ不十分ト認ムルトキハ自ラ其ノ「カウンシル」ノ權限ヲ行使スルコト

(三) 一英町以下ノ土地ト雖半英町以上ニシテ且家屋ノ存在スルモノハ之ヲ小農地トスルコト

(四) 其ノ他新タニ(一)小農地經營ノ爲ニ要スル資金ヲモ貸付ケ得ル規定ヲ設ケタルコト(二)「カウンテイ、カウンシル」カ小農地創設者ヲ選定スル場合ニハ軍隊ニ勤務セル者及大戰中ノ期間ヲ通シテ六箇月以上農業勞動ニ從事セルコトヲ主務大臣カ證明セル婦人ニ對シ優先權ヲ與フルコト等ナリトス

以上ハ千九百八年乃至千九百十九年ノ小農地及分課地法ノ概要ナルカ其ノ他千九百十六年、千九百十九年及千九百二十三年ノ法律ヲ略記セハ左ノ如シ

五、千九百十六年ノ小農地殖民法ハ大戰中農村ニ移住ヲ獎勵スル爲ト從軍歸休者ノ歸農ヲ目的トセルモノニシテ農務水産省ハ自ラ六、〇〇〇英町ノ土地ヲ取得シ小農地創設ヲ計ルモノナリ其ノ後千九百十九年ノ土著法附款ニ於テ修正ヲ加ヘ戦後モ尙存續セシメタリ

六、千九百十九年ノ土地獲得(補償評價)法ハ小農地設定ノ爲ノミナラス一般ニ官廳、地方公共團體等カ強制收用セル土地ノ補償評價ニ關スル事項ヲ規定セルモノナリ



七、千九百二十三年ノ農業信用法ハ公共事業資金貸付委員カ同法ニ依リ認メラレタル認可組合 (Approved Association) ニ對シテ農業上ノ目的特ニ土地改良ノ目的ノ爲ニ主トシテ公共事業資金貸付法ニ依リ一定ノ金額ヲ貸付クルコトヲ認メタル法律ナルカ此ノ外特ニ小農地及分課地ノ創設維持ヲ爲スコトヲ目的ノ全部又ハ一部トナス組合ニ對シテモ認可組合同様ニ本資金ノ貸付ヲ爲シ得ルコトトシ組合ハ更ニ之ヲ其ノ適當ト認ムル小自作農地ヲ取得セムトスル者又ハ維持セントスル者ニ對シ資金ノ貸付ヲ爲スモノトス

即チ認可組合又ハ小自作農地創設ヲ事業ノ目的トスル組合カ小自作農地ヲ取得セムトスル者又ハ維持セムトスル者ニ對シ其ノ土地ヲ抵當トシテ資金ヲ貸付クル場合又ハ既ニ之ヲ同一方法ニ依リテ貸付ケタル資金ノ補充ヲ必要トスル場合ニ於テ其ノ組合ハ公共事業資金貸付委員ヨリ資金ヲ借入ルルモノトス

而シテ組合ノ個人ニ對スル資金ノ貸付ハ (一) 土地ヲ擔保トシテ委員ノ確認セル土地價格ノ七十五%又ハ一定ノ方法ニ依リ評價サレタル年價額ノ三十倍以内ノ金額トシ (二) 貸付利率ハ大藏大臣ノ定ムル範圍内ノ利率トシ (三) 償還方法ハ六十年ノ年賦償還ニ依ルモノトス

斯ノ如ク千九百二十三年ノ法律ハ小自作農地ノ創設維持ノ爲ニ資金ノ貸付ヲ爲スコトヲ其ノ目的ノ一トシテ實施セラレタルモノナリ

今英克蘭ニ於ケル小自作農創設ニ關スル諸法律ヲ列擧スレハ大要左ノ如シ

第一 千九百八年乃至千九百十九年ノ小農地及分課地法

(一) 千九百八年ノ小農地及分課地法

(二) 千九百十年ノ小農地法

(三) 千九百十九年ノ土著 (ヲ容易ナラシムル) 法

第二 千九百十六年ノ小農地殖民法

第三 千九百十九年ノ土地獲得 (補償評價) 法

第四 千九百二十三年ノ農業信用法

### 第一 千九百八年乃至千九百十九年ノ小農地及分課地法

(The Small Holdings and Allotments Acts, 1908—1919)

#### (一) 千九百八年ノ小農地及分課地法

(The Small Holdings and Allotments Act, 1908)

英克蘭及「ウェールズ」ニ於ケル小農地及分課地ニ關スル法律ヲ合併統一スル

法律 (千九百八年八月一日)

#### 第一款 小農地

##### 第一章 小農地ノ準備

小農地ノ準備ニ關スル權限及義務

第一條 府縣參事會ハ其ノ府縣内ニ於テ本法本篇ノ規定ニ該當スル小農地ノ需要アリト認ムルトキハ之ヲ準備スルコト



ヲ得且本法ニ基ク計畫ニ依リテ購買又ハ借地ニ依リ自ラ耕作ヲ爲スコトヲ希望スル者ノ請求アルトキハ之ニ小農地ヲ供給スルコトヲ要ス

第二章 小農地ノ準備ニ關スル計畫

小農地委員等ノ任命

第二條 (一)小農地ノ設定ヲ多カラシメンカ爲小農地委員(以下單ニ委員ト稱ス)ヲ設置スルコトヲ要ス農務水産省(以下主務省ト稱ス)ハ農業上ノ知識アル者二人以上ヲ委員ニ任命スルコトヲ得且主務省ハ國庫ノ承諾ヲ經タル後本法ノ目的ニ對シ官吏ヲ任命スルコトヲ得

(二) 任命セラレタル委員及官吏ニ對スル俸給及手當ハ其ノ都度國庫ニ於テ定ムル額ニ依リ議會ノ協賛ヲ經タル金額中ヨリ之ヲ支辨スヘシ委員及官吏ノ本法ニ基ク職務上ノ經費ニシテ國庫ノ認可ヲ經タルモノハ本法ニ別段ノ規定ナキ限り之ヲ議會ノ協賛ヲ經タル金額中ヨリ支辨スヘキモノトス

委員ノ調査及報告

第三條 (一) 委員ハ主務省ノ指揮ニ從ヒ各府縣ニ於ケル小農地ノ需要ノ程度、適當ナル小農地ヲ準備シタル場合ニ於ケル其ノ需要ノ程度及本法ノ規定ニ依ル右ノ需要充實ノ實行可能ノ程度ヲ調査シ右ノ目的ニ對シテ府縣參事會ト協議スヘシ且適當ト認ムル官廳、組合及個人ニ對シ助力ヲ求メ其ノ他必要ト認ムル手段ヲ執ルコトヲ得

(二) 府縣、市、郡又ハ町村參事會ハ前項ノ事項ニ關シ委員ニ陳述ヲ爲スコトヲ得且參事會ハ委員ニ對シ委員カ本條ノ目的ニ對シ適法ニ要求シタル報告又ハ助力ヲ爲ス義務ヲ有ス

(三) 委員ハ各府縣ニ關シテ得タル報告ヲ主務省ニ報告シ且以下規定スル計畫ヲ爲スノ適否ニ關シ其ノ意見ヲ述フルコトヲ要ス委員ハ其ノ計畫中ニ包含セシムヘキモノト認メタル其ノ性質ヲ指示スルコトヲ得

(四) 委員ハ其ノ調査中分課地ニ對スル要求ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ關係府縣、市、郡又ハ町村參事會ニ回送スヘシ

計畫案ノ作成

第四條 (一) 主務省ハ府縣ニ關スル報告及以上ノ陳述ヲ考慮シタル後其ノ計畫ヲ爲スヲ適當ト認メタルトキハ委員ノ報告ニ其ノ適當ト認メタル變更ヲ加ヘ又ハ意見(若シ之アルトキハ)ヲ附シテ府縣參事會ニ之ヲ交付スヘシ

府縣參事會ハ右報告ヲ實施スヘキ一箇以上ノ計畫案ヲ作成スル義務ヲ有ス其ノ作成ハ以上ノ變更(若シ之アルトキハ)又ハ主務省カ府縣參事會ノ陳述ヲ考慮シテ行ヒタル變更ニ從フコトヲ要ス且報告中ニ指示セラレタル委員ノ陳述(若シ之アルトキハ)ヲ参照スヘシ

(二) 府縣參事會カ右ノ義務ヲ履行スルコトヲ拒絕シタルトキ又ハ右ノ報告ヲ受ケタル後六箇月以内ニ又ハ主務省ノ許可アリタル期間内ニ主務省ノ必要ト認メタル計畫案ノ一箇以上ヲ作成セサルトキハ主務省ハ委員ニ其ノ作成ヲ命スルコトヲ得

(三) 府縣參事會ハ必要ト認ムルトキハ以上ノ報告ヲ受ケサル場合ニ於テモ府縣内ノ小農地設定ノ計畫案ヲ作成スルコトヲ得

(四) 本條ニ依ル計畫案ニハ左ノ事項ヲ掲クルコトヲ要ス  
(イ) 小農地ノ爲ニ取得スヘキ土地ノ存在スル地方



- (ロ) 取得スヘキ土地ノ概算面積及各地方ニ設定セラルヘキ小農地ノ數、性質及規模
- (ハ) 計畫ニ基キテ設定セラレタル小農地ニ該計畫中ニ記載セラルヘキ放牧權其ノ他之ニ類似セル權利ノ附屬ノ有無又ハ其ノ範圍及右權利カ付屬スル土地ノ面積及其ノ目的ノ爲ニ取得セラルヘキ權利ノ範圍及性質
- (ニ) 計畫ノ全部又ハ其ノ一部ノ實施セラルヘキ時期
- 計畫ニハ其ノ目的ニ對シテ必要又ハ適當ト認ムヘキ附帶的、間接的又ハ補足的ノ規定(計畫ノ事後ノ變更ニ對スル規定ヲ包含ス)ヲ附記スルコトヲ得
- (五) 委員ノ報告ニ依リ又ハ關係府縣參事會ノ意見ニ依リ計畫カ二府縣又ハ二府縣以上ニ互リテ作成セラルヘキモノナルトキハ其ノ計畫ハ數府縣參事會カ共同シテ之ヲ作成シ且參事會ニ依リテ行使セラルヘキ共同行為ニ對シ規定スルコトヲ得

計畫ノ手續

- 第五條 (一) 計畫案カ府縣參事會ニ於テ作成セラレタルトキハ其ノ寫ヲ主務省ニ送付シ委員ニ依リテ作成セラレタルトキハ主務省及關係府縣參事會ニ送付スルヲ要ス右計畫案及主務省カ變更ヲ必要ト認メタル右ノ計畫案中ノ事項ハ主務省ニ對スル異議ヲ申立ツル期間及形式ト共ニ主務省ニ於テ關係者竝ニ一般ニ周知セシムルニ最モ適當ナリト認ムル方法ニ依リ之ヲ公示シ且廣告スルコトヲ要ス
- (二) 主務省ハ其ノ計畫案及適法ニ爲サレタル異議ニ付考慮スヘシ且如何ナル場合ニ於テモ公式ニ地方調査ヲ爲スコトヲ得府縣參事會カ其ノ計畫ニ對シ異議ヲ申立テタルトキ又ハ府縣參事會ノ作成シタル計畫案ニ加エタル主務省ノ變更ニ對シ府縣參事會カ異議ヲ申立テタルトキハ公式ニ地方調査ヲ爲スコトヲ要ス府縣參事會其他調査擔任者カ許

可スルヲ適當ト認メタル者ハ右調査ニ關與シ且申立ヲ爲スコトヲ得

- (三) 主務省ハ異議及調査擔任者(若シ之アルトキハ)ノ報告ニ關シ再考シタル後其ノ計畫ニ變更ヲ加フルコトナク又ハ適當ト認メタル變更ヲ加ヘテ之ヲ決定シ且認可シ又ハ之ヲ廢止スルコトヲ得

計畫ノ實施ニ關スル參事會ノ義務

- 第六條 (一) 府縣參事會ハ計畫ニ特定セラレタル又ハ主務省ノ許可シタル期間内ニ於テ其ノ計畫ヲ實施スヘキ義務ヲ有ス參事會ハ右ノ目的ニ對シ小農地ニ關シ本法ノ規定ニ依リテ附與セラレタル一切ノ權限ヲ行使スルコトヲ得
- (二) 府縣參事會カ其ノ義務ヲ履行セザリシトキハ主務省ハ委員ニ對シ其ノ計畫ノ實施上必要ナル手段ヲ執ルコトヲ命スルコトヲ要ス右ノ命令アリタルトキハ委員ハ小農地ニ關スル本法ノ規定ニ依リ府縣參事會ノ有スル一切ノ權限ヲ右ノ目的ニ對シ行使スルコトヲ得且右ニ關スル規定ハ委員カ府縣參事會ニ代リタルモノトシテ適用セラルヘキモノトス

右ノ場合ニ於ケル委員ノ經費ニシテ其ノ計畫ニ關スル權限ノ行使ノ爲委員ノ要シタルモノナルコト及府縣參事會ニ依リ當然支拂ハルヘキモノナルコトヲ主務省ニ於テ證明シタルトキハ請求ニ依リ府縣參事會ヨリ主務省ニ辨償セサルヘカラス府縣參事會カ右ノ辨償スヘキ經費ヲ有セザルトキハ府縣基金ヨリ之ヲ支出スヘキモノトス右ノ支拂ハ皇帝ニ對スル負債トシテ回收スヘキモノトシ且主務省ニ於テ取得シタル土地ニ關シ委員ノ受領スヘキモノト認メタル金額ハ參事會ニ支拂フヘキモノトス

- (三) 委員ニ對シ計畫ヲ實施スルコトヲ命シタル主務省ノ命令ハ其ノ發令後直ニ兩議院ニ提出スヘキモノトス
- (四) 本法ニ依ル計畫實施ノ結果損失ヲ生シ又ハ生スルモノト認メタルトキハ主務省ハ國庫ノ承諾ヲ經タル後其ノ損



失ノ全部又ハ一部ヲ小農地會計中ヨリ支出シ又ハ支出スルコトヲ計畫スルコトヲ得

### 第三章 小農地ノ設定ニ關スル府縣參事會ノ權限

小農地ニ充當スヘキ土地取得ノ權限

第七條 (一) 府縣參事會ハ土地ヲ購買シ又ハ賃借スルコトヲ希望シ且自ラ其ノ農地ヲ耕作セントスル者ニ對シ小農地ヲ供給スルカ爲土地カ其ノ府縣ノ内外ニ在ルニ關係セス之ヲ合意ヲ以テ購買シ又ハ賃借スルコトヲ得

(二) 小農地供給ノ目的ニ對シ又ハ小農地ノ賃借ヲ希望スル者ニ對シ適當ナル土地ヲ合意ヲ以テ且適當ノ條件ニ依リ取得スルコト能ハサルトキハ府縣參事會ハ右ノ目的ニ對シ土地ノ強制收用ニ關スル本法ノ規定ニ依リ之ヲ強制的ニ取得スルコトヲ得

(三) 右ノ土地ニ關シテ要スヘキ費用ノ總額カ參事會ニ依リテ賣却セラルル土地ノ購買代金ヨリ又ハ土地ヲ賃借スル場合ニ於テハ其ノ小作料ヨリ回收シ得ルモノト認ムル價額又ハ小作料ニ非サレハ參事會ハ小農地ニ充當スヘキ土地ヲ取得スルコトヲ得且參事會ハ損失ヲ彌補スルモノト認メ得ル適當ナル額ニ於テ右ノ購買價額又ハ小作料ヲ決定スヘキモノトス

小農地ニ充當スヘキ土地ノ改良

第八條 (一) 府縣參事會ハ小農地設定ノ目的ヲ以テ取得シタル土地ヲ賣却シ又ハ貸付スル前ニ適當ト認メタルトキハ其ノ土地ノ分割、垣ノ築造、作業通路ノ敷設其ノ他排水又ハ給水設備等全體ニ於テ其ノ土地ヲヨリ經濟的ナラシメ且ヨリ有效ナラシメ得ルモノト認メ得ル工事ヲ爲スコトニ依リ小農地ノ改良ヲ行フコトヲ得

小農地ノ賣却又ハ貸付

第九條 (一) 府縣參事會ハ土地ノ取得及其ノ土地ノ改良ニ要シタル一切ノ經費ヲ正當ト認ムル方法ニ依リ各小農地ニ分配スルヲ要ス且以下規定スル場合ヲ除クノ外本法本編ノ規定ニ從ヒ賣却又ハ貸付スル爲ニ小農地ヲ提供スヘシ

(二) 府縣參事會ハ左ノ權限ヲ有ス

(イ) 組合組織ニ依リテ活動スル者ニ一箇又ハ一箇以上ノ小農地ヲ賣却シ又ハ貸付スルコト但シ其ノ組織ハ府縣參事會ノ承認シタルモノナルコトヲ要ス

(ロ) 小農地ノ設定又ハ其ノ設定ヲ獎勵スルノ目的ヲ以テ組織シ且其ノ社員ニ對スル利益ノ配當ヲ禁止シ又ハ制限セラレタル會社ニ對シ主務省ノ許可ヲ受ケテ一箇又ハ一箇以上ノ小農地ヲ賣却シ又ハ貸付スルコト

(三) 本條ノ目的ニ對スル土地ノ取得及改良ノ經費ニハ參事會ニ於テ其ノ土地ニ要シタル一切ノ費用ヲ包含スルモノトシ其ノ費用中ニハ之ニ關聯セル事務ヲ行ヒタル參事會ノ官吏ニ附與スヘキ手當ヲモ包含スヘキモノトス

賣却及貸付ノ方法及條件ニ關スル規定

第十條 (一) 小農地ニ充當スヘキ土地ヲ取得シタルトキハ府縣參事會ハ本法ノ規定ヲ施行スルカ爲ニ小農地殊ニ左ノ事項ニ關シ細則ヲ設クルコトヲ要ス

(イ) 小農地ノ賣却、貸付又ハ其ノ申込ノ方法

(ロ) 賣却又ハ貸付ノ告示

(ハ) 小農地ヲ適當ニ耕作スルコト能ハサル者ニ對スル貸付又ハ賣却ノ防止其ノ他小農地ノ適當ナル耕作ノ保障

(ニ) 府縣參事會ニ於テ小農地ヲ賣却又ハ貸付スル期間及條件ニ關スル細則



(二) 本條ニ依リテ規定セラレタル一切ノ細則ハ主務省ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

購買及賣却金額ニ關スル規定

第十一條

(一) 府縣參事會ニ依リテ賣却セラルヘキ小農地ノ購買金額中ニハ登記料ヲ包含スヘキモノトス但シ購買者カ法律上其ノ他ノ協議又ハ援助ヲ求メタルカ爲ニ要シタル費用ハ其ノ内ニ包含セサルモノトス

(二) 購買者ハ購買ノ契約ヲ締結シタル後本法ニ基ク規則ニ依リテ定メタル一ヶ月以内ノ期間内ニ其ノ購買ヲ完了スルコトヲ要ス

(三) 右ノ購買ヲ完了シタルトキハ其ノ購買金額ノ五分ノ一以上ノ金額ヲ支拂フコトヲ要ス

(四) 府縣參事會カ適當ト認ムル場合ニ於テハ購買金額ノ一部ニシテ其ノ四分ノ一以下ニ相當スル金額ハ千八百八十一年ノ讓渡及財産權ニ關スル法律第四十五條ニ規定シタル方法ニ依リテ償却セラルヘキ永續小作料ノ負擔ニ依リテ取得セラレ得ルモノトス

(五) 購買金額ノ殘額アルトキハ小農地ノ負擔トシテ府縣參事會ニ依リテ回收セラルヘキモノトス且其ノ元金ハ賣却ノ日ヨリ五十箇年ヲ超エサル期間内ニ於テ半箇年毎ニ支拂フヘキ賦金ヲ以テ利子ト共ニ支拂フヘキモノトス其ノ利子及期限ハ府縣參事會ト協議スルヲ要ス

購買者ノ請求アルトキハ右ノ利子及期限ニ依リ半年ニ毎賦金ト同額ノ定期年金ヲ以テ償還セラルヘキモノトス一時滯納ノ金額ハ何時ニテモ回收セラレ且右ノ定期年金ハ何時ニテモ府縣參事會ノ定メタル計算表ニ從ヒテ之ヲ回收スルコトヲ得

(六) 府縣參事會ハ適當ト認ムルトキハ元金又ハ利子ノ賦金ノ全部若ハ一部又ハ定期年金ノ全部若ハ一部ノ支拂期ヲ

五年以内延期スルコトヲ得其ノ延期ハ府縣參事會ニ於テ購買者カ小農地ノ價值ヲ増加セシムル爲ニ要シタルモノト認ムル經費ヲ考慮シ且參事會ノ損失ト成ラサルモノト認ムル範圍ニ於テ之ヲ定ムヘキモノトス

(七) 小農地ハ府縣參事會カ他ノ小農地ノ利益ノ爲ニ必要ニシテ且便宜ナリト認ムル通行權其ノ他ノ權利ヲ留保シテ賣却シ得ルモノトス

小農地ヲ拘束スル條件

第十二條

(一) 本法又ハ本法ニ依リテ廢止サレタル法令ニ依リ府縣參事會ノ賣却シタル小農地ハ賣却ノ日以後二十箇年間及其ノ以後ハ購買金額ノ一部カ支拂ハレスシテ殘留スル期間左ノ條件ニ從テ之ヲ保有スヘキモノトス

(イ) 購買金額ノ定期支拂ハ適法ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス

(ロ) 小農地ハ府縣參事會ノ承諾アルニ非サレハ之ヲ分割、再分割、讓渡若ハ貸付シ又ハ轉貸スルコトヲ得ス

(ハ) 小農地ハ夫々所有者又ハ占有者之ヲ耕作シ且農業以外ノ目的ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

(ニ) 小農地ニハ一箇ヨリ多クノ住宅ヲ築造スルコトヲ得ス

(ホ) 小農地ニ築造セラレタル住宅ハ健康ヲ保持シ且雜沓ヲ避クルカ爲府縣參事會ノ命シタル要求ニ應スルコトヲ

要ス

(ヘ) 小農地ノ住宅又ハ建物ハ可酔性飲料ノ販賣ニ使用スルコトヲ得ス

(ト) 府縣參事會カ住宅ヲ築造スヘカラサルモノト認メタル小農地ニ於テハ府縣參事會ノ承諾アルニ非サレハ住宅ヲ築造スルコトヲ得ス

以上ノ場合ニ於テ府縣參事會ハ參事會ノ供給シタル小農地及其ノ隣接小農地ニ對シ便宜ナリト認ムルトキハ其ノ小農



地ニ一箇以上ノ住宅ヲ築造スヘカラサルノ條件ヲ免除スルコトヲ得但シ府縣參事會ハ一小農地ノ占有ニ對シテハ一箇ヨリ多クノ住宅ヲ築造セシムルコトヲ得ス

(二) 前項ノ條件ニ違反シタルトキハ參事會ハ所有者ニ其ノ違反ヲ匡正(匡正シ得ルモノナルトキハ)スヘキ機會ヲ附與シタル後其ノ小農地ヲ賣却スルコトヲ得

(三) 小農地カ本條ノ條件ニ拘束セラルル期間内ニ其ノ所有者カ死亡シ之カ爲ニ遺贈、相續、無遺言其ノ他ニ依リ小農地カ再分セラルヘキ場合ニ於テハ參事會ハ其ノ死亡後十二箇月以内ニ其ノ小農地ヲ或ル一人ニ賣却スヘキコトヲ要求スルコトヲ得其ノ賣却カ行ハレサリシトキハ參事會ハ其ノ賣却ヲ爲スコトヲ得

(四) 前二項ノ一ニ依リ府縣參事會カ小農地ヲ賣却シ又ハ其ノ賣却ヲ要求スル權限ヲ有スル場合ニ於テ參事會カ小農地ノ目的ノ爲ニ其ノ土地ヲ要求スルトキハ書面ニ依ル通告ヲ以テ合意アラサルトキハ仲裁裁判ノ定ムル價額ニ依リ小農地ヲ其ノ參事會ニ賣却スヘキ要求ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ參事會ハ通告ニ定メタル日以後及土地登記所ノ登記官ニ右ノ通告及合意ニ依リタル若ハ決定シタル金額ノ支拂又ハ其ノ支拂人ノ名義ニ關スル證據書類ヲ提出シタル後登記セラレタル所有者ニ代位シ其ノ土地所有者トシテ登記セララルヘキモノトス右ノ登記ハ千八百七十五年及千八百九十七年ノ土地移轉法ニ依リ移轉ノ登記トシテ重要ナル效力ヲ有スヘキモノトス本項ノ目的ノ爲ニスル通告ハ登記シタル住所又ハ知レタル最近ノ居所ニ於ケル所有者又ハ死亡シタル所有者ノ代理人ニ宛テテ書留郵便ヲ以テ送付スルトキハ完全ニ之ヲ通告シタルモノト看做ス

本項ハ小農地カ府縣參事會ニ依リ貸付セラレタル場合ニ於テハ之ヲ適用セス

(五) 本條ニ依ル府縣參事會ノ賣却ハ購買金額ニ關スル負擔ヲ條件トシ又ハ其ノ負擔ノ全部若ハ一部ヲ免除シテ之ヲ

行フコトヲ得何レノ場合ニ於テモ購買金額ニ關スル本法ノ規定ハ小農地カ最初ニ賣却セララルモノトシテ之ヲ適用スヘキモノトス

(六) 賣買ノ手續ハ小農地ニ對スル未拂購買金額ノ支拂又ハ小作料ノ負擔若ハ定期年金ニシテ小農地ノ負擔トシテ繼續セラレサルモノノ履行ニ之ヲ適用スルコトヲ得右ノ條件ニ從ヒ參事會カ其ノ金額ヲ受領スル權利ヲ有スルモノト認メタル者ニ之ヲ支拂フヘキモノトス

(七) 府縣參事會ハ其ノ明細書ニ記錄シタル特別ノ事由ニ依リ本條ニ於テ強制セラレタル條件ノ全部又ハ一部ヲ免除シテ本條ニ依ル小農地ノ賣却ヲ爲シ又ハ賣却ヲ承諾スルコトヲ得且適當ト認ムル期限ニ依リ適當ト認ムル承諾ヲ爲スコトヲ得

(八) 府縣參事會ノ貸付シタル小農地ハ購買金額ニ關スル條件ヲ除キ且本條ニ別段ノ規定ナキ限り賣却セラレタル場合ニ於ケル保有ニ關スル本條ノ條件ニ從ヒテ保有セラルヘキモノトス且貸付ニ關スル右ノ條件又ハ期限ニ關シ違反アリタルトキハ參事會ハ其ノ小作人ニ違反ノ匡正(若シ匡正シ得ヘキトキハ)ヲ爲スヘキ機會ヲ與ヘタル後小作人停止スルコトヲ得

(九) 本條ノ規定及本條ニ基キテ爲サレタル行爲ハ現行ノ建物又ハ衛生ニ關スル他ノ法律ニ依リテ妨ケラレサルモノトス

小農地ニ對スル權利ノ登記

第十三條 (一) 府縣參事會カ小農地ニ充ツヘキ土地ヲ購買シタルトキハ千八百七十五年及千八百九十七年ノ土地移轉法ニ基キ其ノ土地ノ所有者トシテ登記ヲ受クヘキモノトス且該法ニ依リ附與セラレタル權利ト共ニ登記ヲ受クルコ



トヲ得

(二) 府縣參事會カ右ノ登記ヲ爲シタル後其ノ土地ヲ小農地ノ購買者ニ交付シタルトキハ購買者ハ本法ニ基キテ生スヘキ責務ヲ除キ其ノ土地ニ關シ絕對權ヲ有スル土地所有者トシテ登記セラルヘキモノトス且權利又ハ責務ニ關シ府縣參事會ヨリ優リタル權利ニ依ル請求者ノ回收アリタル場合ニ於テノミ右ノ登記ニ依リ得タル權利ヲ侵害セラルルモノトス右ノ侵害ニ依ル損失ハ之ヲ府縣參事會ヨリ回收セラルヘキモノトス

(三) 千八百七十五年及千八百九十五年土地讓渡法ニ基ク規則ハ

(イ) 小農地ノ登記ニ對シ該法ニ必要ナル變更ヲ加ヘタル後

(ロ) 本條ノ目的ヲ施行スル爲關係府縣參事會ノ請求ニ依リ其ノ費用ニテ地方委員其ノ他ヲ任命シタル後之ヲ適用スルコトヲ得

府縣參事會ニ備付セラルヘキ名簿

第十四條 府縣參事會ハ其ノ賣却又ハ貸付シタル小農地ノ所有者及占有者ノ名簿及右小農地ノ面積、境界及位置ヲ示セル地圖又ハ雛形ヲ備付クルヲ要ス

土地カ農業ニ使用セラレサル場合ニ於ケル土地買收ノ權利

第十五條 本法ニ依リ小農地ノ受ケタル制限及條件カ撤廢セラレタル後其ノ小農地ノ所有者カ之ヲ農業以外ノ目的ニ使用セントスルトキハ之ヲ行フ前ニ小農地カ町内ニ位置セルト否トニ拘ラス先ツ其ノ小農地ヲ購買シタル府縣參事會ニ次ニ其ノ小農地カ最初分離セラレタル土地ニ付權利ヲ有スル者ニ對シテ其ノ小農地ノ賣却ヲ申込ムヘキモノトス千八百四十五年分散地整理法第二百二十七條乃至第三百十條ハ右ノ場合ニ於テハ小農地ノ所有者ヲ計畫ノ發起者トシ小農地

ヲ該法ニ於ケル分散地トシテ之ヲ適用スヘキモノトス

賣却セサル土地ノ貸付及餘分又ハ不適當ナル土地ノ賣却

第十六條 (一) 府縣參事會ハ小農地トシテ土地ヲ出來得ル限り本法ニ依ル小農地トシテ賣却シ又ハ貸付スルヲ要ス府縣參事會カ小農地トシテ需要ナク又ハ不適當ナリト認め又ハ本法ノ規定ニ基キ賣却又ハ貸付ヲ爲スコトヲ得サル場合若ハ他ニ一層好適ノ土地アリト認めタルトキハ本法ノ規定ニ依ルコトナクシテ之ヲ賣却又ハ貸付シ又ハ小農地トシテ適當ナル土地ト交換スルコトヲ得且交換ノ場合ニハ其ノ過不足ノ金額ヲ支拂ヒ又ハ受領シ且建物ノ築造其ノ他ノ工事ニシテ之ニ依リ損失ヲ來スコトナクシテ其ノ土地ノ賣却又ハ貸付シ得ルモノト認めルモノヲ施行スルコトヲ得

(二) 府縣參事會ハ又小農地ノ賣却又ハ貸付ノ進行中其ノ便宜ナリト認ムル方法及期限ニ依リ一時之ヲ貸付シ又ハ經營スルコトヲ得

(三) 分散地ノ先買權ニ關スル千八百四十五年分散地整理法第二十八條乃至第三百二十二條ハ本條ニ依リテ賣却セラレヘキ土地ニ前掲ノ建物又ハ工事カ築造又ハ施行セラレサル前ニ之ヲ適用スヘキモノトス但シ右以外ノ場合ニ於テハ分散地ノ賣却ニ關スル千八百四十五年分散地整理法ノ規定ハ之ヲ適用スヘカラサルモノトス

府縣參事會ノ權限ニ關スル制限

第十七條 (一) 府縣參事會ハ本法及本法ニ依リテ廢止セラレタル法律ノ目的ニ對シ府縣ノ基金ヨリ支出スヘキ費用ニシテ右ノ目的ノ爲ニ發行シタル公債ニ關スル支拂金ノ年額ヲ含ミタルモノカ一箇年ノ收入金ノ一磅ニ對スル一片ニ相當スル金額ヲ超過スルモノト認めタルトキハ小農地ニ關スル本法ノ規定ニ基ク手續ヲ爲スコトヲ得ス右ノ費用カ



此ノ金額ニ達シ又ハ達セントスル場合ニ於テハ右ノ金額ヲ超過セシムルコトナクシテ土地ヲ購買シ得ルニ至ル迄小農地ニ充當スルカ爲ニ土地ヲ購買スルコトヲ得ス

(二) 本條中ノ費用トハ小農地ニ關スル本法ノ規定ニ基ク小農地其ノ他ニ關スル一切ノ受取書ヲ計算シタル後地方廳ノ定メタル規則ニ依リ算出シタル純費用ニシテ府縣基金ノ負擔ニ屬スルモノヲ謂フ

市又ハ町ノ參事會ニ對スル權限ノ委任

第十八條 府縣參事會ハ協定シタル期限及條件ノ範圍ニ於テ小農地ノ獲得、設備及經營ニ關スル其ノ權限ノ行使ヲ協定ニ依リ府縣内ノ市又ハ町參事會ニ委任スルコトヲ得且市又ハ町參事會ハ協定ニ依リ右ノ小農地ニ付生シタル損失ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ爲スコトヲ得右ノ支拂金ハ公衆衛生法ノ實施ニ關スル府縣參事會ノ一般經費中ヨリ辨償セラルヘキモノトス

### 第四章 小作人ノ小農地購買ニ對スル府縣參事會ノ貸付金

小農地ノ購買ニ對シ資金ノ前貸ヲ行フ府縣參事會ノ權限

第十九條 (一) 小農地ノ小作人カ小農地ノ購買ニ關シ地主ト合意アリタルトキハ其ノ小農地ノ全部又ハ一部ヲ管轄スル府縣ノ參事會ハ適當ト認ムルトキハ其ノ小作地ノ購買ニ對シ購買金額ノ五分ノ四ヲ超過セサル金額ヲ其ノ小作人ニ前貸スルコトヲ得

(二) 本法ノ規定ニシテ府縣參事會ノ賣却シタル小農地ノ負擔ニ依リ回收セラルヘキ購買金額及右ノ如ク賣却セラレタル小農地ニ關スルモノハ本條ニ基キテ爲シタル前貸及購買セラレタル小作地ニ對シテモ前貸金ヲ購買金額ト看做

シテ之ヲ適用スヘキモノトス但シ府縣參事會ハ其ノ小農地ノ購買者ノ權利ヲ保證スルコトヲ得ス

(三) 府縣參事會ハ小農地ノ權利カ完全ニシテ賣却カ善良ナル意志ニ依リテ行ハレ且價格モ適當ナリト認ムルニ非サレハ本條ニ基ク右ノ前貸ヲ爲スコトヲ得ス

### 第五章 農務水産省ノ權限

小農地設定ノ權限

第二十條 農務水産省ノ調査ヲ爲シタル後或ル地方ニ於テ小農地設定ノ實行可能ヲ實證スル爲小農地ヲ設定スルヲ適當ナリト認ムルトキハ小農地ニ關スル本法ノ規定ニ依リ府縣參事會ニ附與セラレタル權限(強制買收及借地ノ權限ヲ除ク)ヲ行使スルコトヲ得且右ノ規定ハ主務省ニ關スルモノカ府縣參事會ニ關スルモノニ代リタルモノトシテ適用スヘキモノトス但シ主務省ノ經費及收入ハ小農地勘定ニ編入スヘキモノニシテ其ノ一部分ヲモ課税ニ依リテ回收スルコトヲ得ス

府縣參事會ノ要シタル經費ノ一部ヲ支拂フ主務省ノ權限

第二十一條 主務省カ適當ト認メタルトキハ國庫ノ承認ヲ得テ主務省ノ作成シタル條例ニ依リ小農地勘定ヨリ小農地ノ爲ニ土地ヲ獲得スルニ要シタル府縣參事會ノ經費ノ全部又ハ一部ヲ府縣參事會ニ辨償シ又ハ其ノ辨償ヲ豫定スルコトヲ得右ノ辨償金額ハ本法第七條及第九條ノ目的ノ爲ニ府縣參事會カ土地ニ關シテ要シタル經費ノ一部分トシテ取扱フコトヲ得但シ本條ノ規定ハ土地ニ關シ支拂ハルヘキ購買金額、賠償金又ハ小作料ノ支拂ノ權利ヲ附與スルモノニ非ス  
諮問委員會及實行委員會ノ主務省ニ依ル任命



第二十二條 府縣參事會ノ怠慢アリタルカ爲指定セラレタル委員ニ於テ又ハ主務省カ小農地設定ノ實行可能ヲ實證スル目的ヲ以テ小農地ニ關スル本法ノ規定ニ基ク府縣參事會ノ權限ヲ行使スル場合ニ於テハ主務省ハ適當ナル權限及責任ヲ有スル諮問委員及實行委員ヲ任命スルコトヲ得且任命シタル委員ニ對シ國庫ノ承諾ヲ經テ小農地勘定ヨリ其ノ要シタル適法ナル旅費及雜費ヲ支出スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ府縣參事會ノ怠慢ニ因リ任命セラレタル委員ニ依リ行使セラルヘキ權限ノ爲ニ要シタル費用ハ其ノ委員カ府縣ノ參事會ノ權限ヲ行使シタル爲ニ要シタルモノトシテ取扱ハルヘキモノトス

第二款 分課地

第一章 分課地ノ設定

參事會ノ分課地設定ノ義務

第二十三條 (一) 市、町又ハ村參事會カ其ノ區域内ノ勞働階級ニ屬スル者ニ對スル分課地ノ需要アルニ拘ラス右ノ如キ分割地ト爲スニ適當ナル土地ノ所有者ト之ヲ需要スル者トノ間ニ於テ適當ナル地代及條件ヲ以テスル隨意契約ニ依リ之ヲ取得スルコト能ハサルモノト認メタルトキハ委員會ハ充分ナル數ノ分課地ヲ設定シ且市、町又ハ村内ニ居住スル勞働階級ニ屬スル者ニシテ之ヲ取得スルコトヲ希望スル者ニ貸付スヘキ義務ヲ負フモノトス  
(二) 市、町又ハ村ニ居住スル六人ノ登錄シタル國會議員選舉權者又ハ納稅者カ其ノ市、町又ハ村カ其ノ區域内ニ於テ本法本編ニ基ク手續ヲ參事會カ施行スルヲ必要トスル事情ニ在ルコトヲ書面ニ依リ市、町又ハ村參事會ニ申立ツルトキハ其ノ參事會ハ之ヲ考慮スルコトヲ要ス

(三) 本條中「適當ナル地代」トハ國稅、地方稅及十分ノ一稅ノ負擔ヲ除キタル地代ニシテ同様ノ狀態ニ在ル隣接地ノ價額、其ノ分課地ノ廣狹及位置、分課地トナス爲ニ地主ノ支拂ヒタル設備、修繕其ノ他ノ費用、地代ノ取立ノ費用及危險並其ノ地ノ小農地經營ノ費用ヲ參酌シテ分課地ヲ取得シタル者カ地主ニ當然支拂フヘキモノト豫期スルモノト謂フ

(四) 參事會ハ本法ニ基キ面積一英町ヲ超ユル分課地ヲ設定スヘキ義務ヲ有セサルモノトス

町參事會又ハ村參事會カ實行セサル場合ニ於ケル府縣參事會ノ義務

第二十四條 (一) 府縣參事會ハ其ノ管轄内ノ各町(市ヲ除ク)及村ニ於ケル分課地ニ對スル需要ノ程度又ハ適當ナル分課地ヲ準備シタル場合ニ於ケル其ノ需要ノ程度及本法ノ規定ニ依リ右ノ如キ需要充足上ノ實行可能ノ程度如何ヲ調査シ且右ノ目的ニ對シ其ノ援助ヲ求ムルニ最モ適當ナリト認ムル官廳、組合及個人ト協力シ及其ノ他必要ト認ムル手段ヲ執ル義務ヲ有ス

(二) 府縣參事會ハ市、町又ハ村ノ事情カ本條ニ基キ右ノ如キ分課地ニ充當スヘキ土地ヲ獲得スヘキモノト認メタルトキハ其ノ實行ヲ決定スヘシ右ノ決定アリタルトキハ分課地ニ關スル本法ノ規定ニ基ク町又ハ村ノ參事會ノ權利及義務ハ其ノ參事會ヨリ府縣參事會ニ移轉シ府縣參事會ハ其ノ參事會ニ代リテ本法ニ依リ土地ノ取得其ノ他本法ニ關スル事項ヲ其ノ町又ハ村ニ於テ施行スヘキモノトス此ノ場合ニ於テ本條ノ規定ハ右ノ決定前ニ本法又ハ本法ニ依リ廢止セラレタル法律ニ基キ町又ハ村參事會ニ於テ取得シタル土地ノ財産權又ハ其ノ土地ニ關シ町又ハ村參事會ノ有スル權利若ハ義務ニハ及ホササルモノトス

(三) 町又ハ村參事會ノ權限ニシテ本條ニ依リ府縣參事會ニ移轉シタル場合ニ於テハ左ノ規定ヲ適用スヘキモノトス



(イ) 分課地ニ關スル本法ノ規定ハ本條ヲ有效ニスルカ爲ニ必要ナル修正ヲ加ヘテ之ヲ適用スヘキモノトス

(ロ) 府縣參事會ハ町又ハ村參事會カ以上ノ規定ニ依リ借入金ヲ爲セル場合ノ條件、方法及擔保ニ基ク方法條件ニ從ヒ且租稅ヲ擔保トシテ以上ノ規定ノ目的ニ對シ借入金ヲ爲スコトヲ得參事會ハ右ノ借入金ノ元利ヲ償還スルカ爲定メタル率ニ依リ負擔ヲ課スル權限ヲ有ス且右ノ借入金ハ利子ヲ付シテ地方又ハ教區參事會ヨリ償還スヘキモノトス右ノ負擔ハ地方又ハ教區參事會ニ依リ適法ニ起債セラレ且右ノ率ニ依リ負擔ヲ賦課セラレタルモノトシテ效力ヲ有ス

(ハ) 府縣參事會ハ本條ニ基ク一切ノ收支ヲ特別會計ト爲スヘシ

(ニ) 本條又ハ本法ニ依リテ廢止セラレタル法律ニ該當スル規定ニ基キ取得シタル土地ニ關シ府縣參事會カ受領シタル金額ハ賣買又ハ交換ニ關スルモノヲ除クノ外其ノ土地ニ關シ府縣參事會ノ要シタル經費ノ支拂ニ要シタルモノニ非サル限リ之ヲ町又ハ村參事會ニ交付スヘシ

(ホ) 府縣參事會ハ本法ニ依リ分課地ノ經營、貸付、利用、小作料ノ取立及其ノ所有ニ關スル權限ヲ町又ハ村參事會ニ委任スルコトヲ得且其ノ委任條件ニ從ヒ委任セラレタル權限ノ行使ニ依リ生シタル一切ノ支出及收入ハ本法ニ基キ其ノ町又ハ村參事會カ生セシメタル支出及收入トシテ之ヲ取扱フヘキモノトス

(ヘ) 府縣參事會ハ町又ハ村參事會ノ請求ニ依リ其ノ署名シタル命令ヲ以テ本條又ハ本法ニ依リテ廢止セラレタル法令中ノ本條ニ該當シタル規定ニ基キ府縣參事會ノ有スル權利、義務、財産又ハ其ノ負擔スル債務ノ全部又ハ一部ニシテ其ノ町又ハ村ニ關スルモノヲ其ノ町又ハ村ニ移轉スルコトヲ得其ノ引渡サレタル財産ハ本法ニ基キテ其ノ町又ハ村ニ依リテ取得セラレ且其ノ町又ハ村ハ右ニ從テ行使スヘキモノトス

(四) 主務省ハ町又ハ村(市ヲ除ク)ニ關シ地方調査ヲ爲シタル後府縣參事會カ本條ニ基キ義務ヲ完全ニ履行セザリシモノト認メタルトキハ命令ヲ以テ其ノ町又ハ村ニ關スル本條ニ基ク府縣參事會ノ權限ノ全部又ハ一部ヲ委員ニ移轉スルコトヲ得府縣參事會、町及村參事會其ノ他主務省ニ於テ小農地ノ調査ヲ爲スヲ適當ト認メラレタル者ハ右ノ地方調査ニ於テ申立ヲ爲シ又ハ聽取セラレ得ルモノトス此場合ニ於テ本條ノ府縣參事會ニ關スル規定ハ委員ニ關スルモノニ代リタルモノトシ且命令ニ依リ定メ得ヘキ其ノ他ノ修正ヲ加ヘテ之ヲ適用スヘキモノトス

第二章 分課地設定ニ關スル參事會ノ權限

本法ノ目的ノ爲ニスル土地ノ取得

第二十五條 (一) 町又ハ村參事會ハ分課地設定ノ目的ノ爲其ノ管轄區域ノ内タルト外タルトヲ問ハス土地ヲ合意ニ依リ購買又ハ賃借スルコトヲ得

(二) 參事會カ合意ニ依リ適當ノ條件ヲ以テ分課地ト爲スヘキ適當ナル土地ヲ取得シ得サルトキハ土地ノ強制收用ニ關スル本法ノ規定ニ基キ土地ヲ強制的ニ收用スルコトヲ得

(三) 府縣參事會ハ公衆道路ノ設定等ニ要スル費用ヲ除キ土地ノ取得其ノ他分課地ニ關シテ要スル費用ノ總額カ其ノ分課地ニ關シテ得ラルヘキ小作料ニ依リ回收シ得ルモノト認ムル價額及地代ヲ以テスルニ非サレハ本法ニ基キ分課地ト爲スヘキ土地ヲ取得スルコトヲ得ス

分課地ト爲スヘキ土地ニ對スル改良設備

第二十六條 (一) 市、町又ハ村參事會ハ分課地トシテ取得シタル土地ヲ改良シ排水、築牆工事ヲ爲シ割地ヲ行ヒ入口



ヲ造リ道路其ノ他適當ト認ムル工事ヲ爲ス等分課地トシテ貸付スルニ必要ナル設備ヲ爲スコトヲ得且分課地ヲ適當ノ状態ニ維持スルカ爲時々右ノ設備ノ維持ニ對シ必要ナル手段ヲ講スルコトヲ得

(二) 參事會ハ又分課地ノ設備トシテ建物ヲ築造シ且現存建物ノ改善ヲ爲スコトヲ得但シ一分課地ノ占有ニ對シテハ一箇以上ノ住宅ヲ築造スルコトヲ得ス且一英町以下ノ分課地ニ對シテハ其ノ占有ニ對スル住宅ヲ築造スルコトヲ得

分課地ノ貸付ニ關スル規定

第二十七條 (一) 分課地ノ小作料ノ決定ニ付テハ參事會カ分課地ノ設定ニ依リ損失ヲ來スコトナシト認メタル金額ヨリ尠ナカラサル金額ヲ以テスルヲ要ス但シ右ノ損失ノ計算ニ付テハ分課地設定ノ爲ニスル土地ノ取得ノ失敗ニ歸シタル場合ニ要シタル費用ハ之ヲ加ヘサルモノトス右ノ條件ニ依リ小作料ハ土地ノ農業上ノ價值ニ應シテ時々適當ニ賦課セラルヘキモノトス且參事會カ前拂金ニ依リ小作料ノ支拂ヲ請求スル必要アリト認ムルトキハ小作料ノ四分ノ一以內ニ於テ前拂金ニテ支拂フコトヲ請求スヘキモノトス

(二) 參事會ハ分課地設定ニ付占有者ノ支拂フヘキ一切ノ地方稅、國稅及十分ノ一稅ノ負擔ノ目的ニ對シ貸付ケタル分課地ノ占有者ト看做サルヘキモノトス但シ參事會カ支拂フ分課地ニ關スル地方稅、國稅及十分ノ一稅ノ負擔金額ハ之ヲ分課地ニ分賦スヘキモノトス且各分課地ニ關シ分賦シタル金額ハ之ヲ其ノ分課地ノ小作人ニ證言シタル後小作人ノ支拂フ分課地ノ小作料ニ加算シ小作料ノ一部ト看做シテ之ヲ回收スヘキモノトス

右ノ場合ニ於テ國會議員選舉權者ノ資格及市會其ノ他地方議員選舉權資格ノ目的ニ對シテハ小作人ハ右規定アルニ拘ラス之ヲ占有者ト看做シ右ノ稅ハ小作人カ之ヲ納付シタルモノト看做ス

(三) 本法本編ニ基キ又本法ニ依リ廢止セラレタル法律ニ依リ一個人ノ取得スル一個又ハ數個ノ分課地ハ其ノ面積一英町ヲ超ユルコトヲ得ス右ノ場合ニ於テ分課地ノ目的ノ爲ニ參事會カ取得シタル五英町以上ノ土地ニシテ府縣參事會カ右ノ儘貸付ヲ許可スルヲ便宜ナリト認メタルトキハ其ノ土地ノ貸付ニ對スル設備ヲ爲シ且之ヲ貸付スルコトヲ得

(四) 分課地ハ之ヲ轉貸スルコトヲ得

(五) 分課地ニシテ本法ノ規定及之ニ基ク規則ニ從ヒテ貸付スルコト能ハサルトキハ其ノ分課地ヨリ收得シ得ヘキ最善ノ年期小作料ニ依リ且本法ノ規定ニ基キ貸付スルコトヲ要求セラレタルトキハ十二箇月以內ニ其ノ占有ヲ回復シ得ルノ條件ヲ以テ割増金又ハ歩引金ヲ附スルコトナク之ヲ何時ニテモ且何人ニ對シテモ貸付スルコトヲ得

(六) 參事會ハ組合組織ヲ以テ活動スル個人ノ團體ニ對シ又ハ分課地ヲ創設シ若ハ其ノ創設ヲ促進セシムルノ目的ヲ以テ設置セラレタル協會ニシテ小農地ニ關シ府縣參事會ト同様ノ活動ヲ爲シ得ル者ニ對シ分課地一個又ハ一個以上ヲ貸付スルコトヲ得

分課地ノ貸付ニ關スル規則

第二十八條 (一) 市、町又ハ村參事會ハ本法ノ規定ノ範圍内ニテ分課地ノ貸付ヲ規定シ其ノ貸付ニ關シ不法行爲ヲ防除シ且一般ニ本法本編ノ規定ヲ施行スルニ必要ニシテ且適當ナル規則ヲ制定スルコトヲ得

(二) 本條ニ基ク規則ニ於テハ分課地ノ小作人ノ資格、分課地ノ貸付ニ關スル通告、分課地ノ面積、其ノ耕作ノ條件又ハ小作料ヲ規定スルコトヲ得

(三) 右ノ規則ニ於テハ小作終了ニ關シ分課地ノ小作人ニ發スヘキ合理的の通告ヲ規定スヘキモノトス



本條ニ基ク規則ハ主務省ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス認可ノ様式ハ公衆衛生法ニ基キ地方廳ノ認可ヲ受クヘキ法規ノ場合ニ於ケル規定ニ依ル

(四) 本條ニ基ク規則ニシテ或ル期間ニ互リ效力ヲ有スルモノハ一切ノ個人ヲ拘束ス

參事會ハ其ノ適當ト認ムル方法ニ依リ時々之ヲ關係者ニ周知セシメ且町又ハ村ノ住民ニシテ其ノ寫ヲ要求スル者ニ對シテハ之ヲ無料ニテ配布スヘキモノトス

分課地ノ管理

第二十九條 (一) 市、町又ハ村參事會ハ其ノ分課地トシテ取得シタル土地ノ分課地管理人ヲ任免スルコトヲ得分課地管理人ハ參事會員及參事會員外ノ者ヲ以テ又ハ全部參事會員以外ノ者ヲ以テ組織スルコトヲ得何レノ場合ニ於テモ參事會員外ノ者ハ其ノ地方ノ在住者ニシテ且本法ニ基キテ支出セラルル參事會ノ費用ヲ支辨スル地方稅ヲ負擔スル者ヲ以テスルヲ要ス

(二) 分課地管理人ノ手續及權限ハ本法ノ規定ノ範圍ニ於テ參事會之ヲ定ムルコトヲ得參事會ハ分課地ノ管理ニ關シテ其ノ有スル權限及參事會カ認メタル範圍内ニ於テ費用ヲ使用スル權限ヲ分課地管理人ニ附與スルコトヲ得右ノ費用ニシテ適法ニ要シタルモノハ之ヲ本法ニ依リ參事會ノ費用ト看做ス

分課地ノ小作料及占有權ノ回收

第三十條 (一) 本法ニ依リ參事會ノ貸付シタル分課地ノ小作料、立退ノ通告ヲ發シタル分課地ノ占有權及法律力其ノ返戻ヲ要求シタル占有權ニシテ其ノ返戻セラレサルモノハ他ノ地主小作人間ノ場合ト同様ノ方法ニ依リ參事會カ地主トシテ之ヲ回收スルコトヲ得

(二) 參事會ハ分課地ノ小作人カ其ノ小作料ヲ四十日以上滯納シタル場合、其ノ小作契約開始後三箇月以上本法ニ依リ又ハ本法ニ基キテ制定セラレタル分課地ニ關スル規則ヲ遵守セサルモノト認メタル場合又ハ小農地ノ設定セラレタル市、町又ハ村ノ區域外一哩以上ノ土地ニ居住スル場合ニ於テ通告後一箇月ヲ經過スルトキハ小作契約ヲ停止スル旨ノ通告ヲ以テ小作ヲ停止スヘキモノトス右ノ通告ハ小作人ニ直接交付シ小作人カ市、町又ハ村ノ區域外ニ居住スル場合ニ於テハ其ノ區域内ニ於ケル最近ノ住所ニ就テ發送シ又ハ分課地ニ目立タル方法ニ依リ揭示スヘキモノトス

右ノ場合ニ於テ新舊小作人間ニ合意有ラサルトキハ參事會ハ右ノ小作契約ヲ停止セラレタル小作人ニ對シ其ノ要求ニ依リ舊小作人トシテ當然受クヘキ賠償ヲ支拂フヘキモノトス右ノ賠償ノ金額ハ參事會ノ任命シタル仲裁人又ハ小作人ニシテ之ヲ指定スルトキハ千八百八十七年作物ニ對スル分課地及小園藝地賠償法又ハ千九百八年ノ小作法ニ基キテ任命シタル仲裁人之ヲ判定スヘキモノトス

(三) 小作人カ分課地ヲ回收スル場合ニ於テ其ノ回收ヲ命スル裁判所ハ舊小作人ノ受クヘキ賠償ノ支拂完了迄又ハ裁判所ニ於テ適當ト認ムル迄占有ノ引渡ヲ延期スルコトヲ得

分課地ノ原簿

第三十一條 (一) 市、町又ハ村參事會ハ一切ノ分課地ニ付貸付シタルモノ及貸付セサルモノノ小作契約ノ細目、面積及小作料ヲ記入セル原簿ヲ備フヘシ

(二) 原簿ハ參事會カ本法ニ依リテ定メタル規則中ニ規定セル方法ニ從ヒ分課地ノ設定セラレタル市、町又ハ村ノ納稅者ノ閱覽ニ供ヘ右ノ市、町又ハ村ノ納稅者ハ無料ニテ原簿ノ寫ヲ取り又ハ拔萃ヲ爲スコトヲ得



餘分ナル又ハ不適當ナル土地ノ賣却

第三十二條 (一) 或ル市、町又ハ村ノ參事會カ分課地トシテ取得シタル土地又ハ其ノ一部カ分課地ノ目的ニ對シ不必  
要ナリト認め又ハ他ニ適當ナル土地ヲ利用シ得ルモノト認めタルトキハ參事會ハ府縣參事會ノ許可ヲ得テ本法ノ規  
定ニ依ラスシテ右ノ如キ土地ヲ賣却又ハ貸付シ若ハ分課地トシテ一層適當ナル他ノ土地ト交換シ交換ヲ同額ニスル  
爲ニ金額ヲ收入又ハ支出スルコトヲ得

(二) 分課地トシテ取得シタル土地ノ本法ニ依ル賣却ノ代金及右ノ交換ノ場合ニ於テ交換ヲ同額ニスルカ爲ニ參事會  
ノ受領スル金額ハ減債基金其ノ他トシテ分課地ニ充ツルカ爲ニ參事會ノ取得シタル土地又ハ分課地ニ充ツヘキ土地  
ノ取得、設備及改良ニ關スル參事會ノ負債ノ消却ニ充テ殘金ハ地方廳ノ承認シタル資本金ト同様ノ使途ニ充ツルモ  
ノトス利子(存在スルトキハ)及土地ノ貸付ニ依ル收入金ハ分課地ト爲スヘキ他ノ土地ノ取得ニ充ツルコトヲ得又  
ハ本法ニ基ク分課地ヨリ生スル收入ト同様ノ使途ニ充ツヘキモノトス

(三) 千八百四十五年分散地整理法第二百二十八條乃至第三百二十二條(餘分土地ノ先買權ニ關スルモノ)ハ本法ニ依ル  
土地ノ賣却ニ之ヲ適用スヘキモノトス但シ餘分地ノ賣却ニ關スル千八百四十五年分散地整理法ノ規定ハ之ヲ適用ス  
ルコトヲ得ス

分課地ノ市町村ノ參事會ニ對スル移轉

第三十三條 (一) 千八百四十五年乃至千八百八十二年繞圍法ニ依ル分課地管理人ニシテ或ル場所ノ貧困労働者ニ充テ  
タル分課地又ハ耕作園ノ管理ニ任シタル者ヘ本法通過ノ前タルト後タルトヲ問ハス其ノ場所ノ全部又ハ一部ノ存在  
スル市、町又ハ村參事會トノ協定ニ依リ合意ニ依ル條件ヲ以テ其ノ土地ノ管理ヲ參事會ニ移轉スルコトヲ得此ノ場

合ニ於テ其ノ協定シタル條件ハ主務省ノ認可ヲ受クルヲ要シ其ノ土地ハ參事會ニ歸屬スヘキモノトス

(二) 千八百八十二年分課地擴張法ニ規定セル一切ノ管理人ニシテ該法其ノ他ノ法律ニ依リ小舎住居者、労働者、旅  
行者其ノ他ヨリ土地ヲ分課地トシテ貸付クルコトヲ要求セラレ又ハ貸付ノ權限ヲ有スル者ハ適當ト認めムルトキハ該  
法ニ定メラレタル方法ニ依リ土地ヲ貸付スル代リニ其ノ土地ノ全部又ハ一部ノ存在スル市、町又ハ村參事會ニ對シ  
合意ニ依ル條件ヲ以テ之ヲ賣却又ハ貸付スルコトヲ得此ノ場合ニ協定シタル條件ハ慈善事業管理委員又ハ教育省ノ  
認可ヲ受クルヲ要ス

(三) 村ニ於テ法律カ分課地ノ管理人ヲ任命シ又ハ分課地ノ目的ニ對シ管理人、委員又ハ支配人ノ任命又ハ選出ノ權  
限ヲ附與シ若ハ之ヲ要求スル場合ニ於テハ管理人、委員又ハ支配人ノ權限及義務ハ本法ノ規定ニ依リ村參事會又ハ  
參事會ヲ有セサル教區ニ在リテハ村ノ任命シタル者ニ依リ之ヲ行使且履行セラルヘク前記ノ任命又ハ選出ハ之ヲ爲  
スヲ要セス

(四) 分課地ニ關スル本法ノ規定ハ本條又ハ本法ニ依リ廢止セラレタルモノニシテ之ニ相當スル規定ニ依リ參事會ニ  
歸屬シタル又ハ其ノ管理ヲ轉歸シタル土地ニ對シ本法本編ノ一般の權限ニ基キ參事會ノ取得タルモノトシテ之ヲ適  
用スヘキモノトス

第三章 附 則

共同放牧地ノ設定ニ關スル計畫作成ノ權限

第三十四條 (一) 市、町又ハ村參事會ハ其ノ管轄地域中ニ共同放牧地ヲ供給スル爲土地ヲ取得スルコトヲ得但シ其ノ



取得ニ際シ要シタル總經費カ其ノ土地ニ關シ適當ニ支拂ハルヘキ負擔ニ依リ回收シ得ヘキ價額又ハ地代ニテ之ヲ取得シ得ルモノトス且右ノ土地ノ取得カ勞働者階級ノ狀態及必要上適當ナルモノト認ムル場合ニ於テハ參事會ハ其ノ市、町又ハ村ノ全部又ハ一部ノ存在スル府縣參事會ニ右ノ共同放牧地設定ノ計畫案ヲ提出スルコトヲ得

(一) 府縣參事會ハ右ノ計畫案ニ付時宜ニ適シタルモノト認ムルトキハ命令ヲ以テ之ヲ提出シタル參事會ニ其ノ實行ノ權限ヲ附與スルコトヲ得且其ノ命令ヲ發シタルトキハ分課地ニ關スル本法ノ規定ハ之ニ必要ナル修正ヲ加ヘ「分課地」中ニ共同放牧地ヲ包含シ「小作料」中ニ家畜ノ放牧ニ對スル負擔ヲ包含スルモノトシテ之ヲ同様ニ適用スヘキモノトス

此場合ニ於テ右ノ規定ニ依リ定メラルヘキ規則中ニハ共同放牧地ニ於ケル家畜放牧ニ關スル規定、放牧ノ權限ヲ有スル者ノ定義、放牧家畜數、家畜放牧ノ條件、各家畜ノ負擔ノ決定其ノ他共同放牧地ノ規定ヲ包含セシムルコトヲ得

教室ノ無料使用

第三十五條 (一) 議會ニ於テ協賛セラレタル金額中ヨリ補助金ヲ交付スヘキ公立小學校ノ教室ニシテ教育ノ目的ニ使用セラレサル限リ府縣參事會ハ本法本編ノ目的ノ爲又ハ二名ノ管理者ノ承諾ニ依リ本法ニ基ク分課地ニ關スル諸問題ヲ議スル爲ノ公共ノ集會ヲ催スル目的ノ爲無料ヲ以テ之ヲ使用スルコトヲ得但シ教室ニ生シタル損害及右ノ使用ノ爲教室ヲ管理シタル者ノ要シタル費用ハ府縣參事會又ハ集會ヲ召集シタル者ニ於テ之ヲ支拂フモノトス

(二) 本條ハ左ノ場合ヲ除クノ外教室ニ於ケル公共ノ集會ヲ阻ケラレサルモノトス

(イ) 集會六日前集會ヲ催スヘキ旨ヲ通告ヲ發セラレサル場合

通告ハ之ヲ集會ノ日時ヲ特定シ集會ヲ召集シタル本法本編ニ依リ市、町又ハ村ノ代表者六名以上ノ者署名スルヲ

要ス且地方教育當局者ニ依リ設ケラレタル學校ノ場合ニハ當局者ノ書記ニ其ノ他ノ場合ニハ學校管理者ノ一人ニ宛ツルヲ要ス

(ロ) 右ノ集會ノ通告ヲ受クル者ニ同日同時ニ校舎ノ使用ヲ他ノ目的ニ使用スル事ヲ許可シタル場合但シ此場合ニ於テハ書記又ハ管理人若ハ其ノ代理人ハ通告ヲ受ケタル後通告ニ署名シタル者ノ一人ニ對シ書面ヲ以テ他ノ目的ノ爲ニ校舎ノ使用ヲ許可シタルコト及集會ノ爲校舎ヲ使用シ得ル他ノ日ヲ指定シタル通知ヲ爲スコトヲ要ス

(三) 集會ヲ召集シタル者カ本條ニ基キ校舎ヲ使用スルコトヲ得サル場合ニ於テハ本法ニ基ク小農地及分課地委員會ニ之ヲ訴フルコトヲ得委員會ハ其ノ訴ヲ判定シ且校舎ノ使用ニ關スル正當ナル命令ヲ發スルコトヲ得

(四) 本條ハ千八百九十四年地方廳法第四條ニ依リ校舎ノ使用ニ關スル權限ヲ侵害セサルモノトス

倫敦ニ對スル適用

第三十六條 本法ニ依リ市、町及村參事會ニ附與セラレタル分課地ニ關スル權限ハ倫敦ニ於テハ倫敦府參事會ニ於テ之ヲ行使スヘキモノトス但シ分課地ニ關スル本法ノ規定ハ之ニ依リ適用セラルヘキモノトス但シ千八百八十八年地方廳法ノ規定ニ依リ經費ノ支出及金額ノ借入ニシテ本法ノ規定ニ從フヘキ場合ハ此ノ限リニ在ラス

府ニ對スル適用

第三十七條 府縣參事會ノ認可ヲ受ケテ交付シ又ハ命令ヲ受クヘキ本法本編ノ規定ハ府ノ場合ニ於テハ之ヲ適用セサルモノトス



第三款 總 則

第一章 土地ノ取得

合意ニ依ル土地ノ購買

第三十八條 參事會カ本法ノ定ムル合意ヲ以テ土地ノ購買ヲ欲スル場合ニ於テハ土地整理法ハ合意ニ依ル以外ノ方法ヲ以テスル土地購買ニ關スル規定ヲ除クノ外本法ニ合一シタルモノトス且千八百七十五年公衆衛生法第七十八條ノ參事會カ其ノ中ニ規定セラレタルモノトシテ之ヲ適用ス

土地ノ強制取得ニ關スル手續

第三十九條 (一) 本法ニ依リ參事會カ土地ノ強制取得ヲ爲サント欲スル場合ニ於テハ參事會ハ本法附款第一章ノ規定ニ從ヒ合意ニ依ル以外ノ方法ヲ以テスル土地ノ取得ニ關スル土地整理法ノ規定ヲ參事會ノ命令ヲ以テ特定シタル土地ニ對シ適用スヘキ旨ノ命令ヲ主務省ニ提出スル事ヲ得

(二) 參事會カ土地ヲ強制的ニ賃借セントスル場合ニ於テハ參事會ノ命令中ニ特定シタル土地ヲ十四年乃至三十五年ノ期間強制的ニ賃借スヘキ旨ノ命令ヲ主務省ニ提出スルコトヲ得且本法附款第一章ノ規定ハ右ノ命令ニ對シ附款第一第二章ニ掲ケタル更正ト共ニ賃借ヲ買収ニ變更シテ之ヲ強制取得ノ命令ニ適用スルト同様ニ適用スヘキモノトス

(三) 本條ニ依ル命令ハ主務省ノ認可ヲ受ケタル後ニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス且主務省ハ本法附款第一ノ規定ニ依リ之ニ修正ヲ行ハス又ハ其ノ適當ト認ムル修正ヲ爲スコトヲ條件トシテ其ノ命令ヲ認可スルコトヲ得認可ヲ受ケタル

ル命令ハ最終ノモノニシテ本法中ニ規定シタルト同一ノ效力ヲ有ス且主務省ノ認可ハ本法ノ要求ニ依リタルモノニシテ命令カ正當ニ制定セラレ且本法ノ權限内ニ存スヘキ結局ノ證據タルモノトス

(四) 本條ノ命令ハ取得セラレタル土地ニ現存スル地役權ノ繼續又ハ新規ナル地役權ノ設定ニ關シ規定スルコトヲ得且右ノ命令ハ取得セラレタル土地ノ所有者ノ要求アリタルトキハ其ノ所有者及其ノ小作人カ通路、排水、灌溉等ノ設備其ノ他其ノ土地ニ付使用シ又ハ利用スル爲使用ヲ繼續シ且利用スルニ合理的ニ必要ナル新規ノ地役權ノ設定ニ關シ規定スヘキモノトス

此ノ場合本項ノ規定ニ拘ラス參事會ノ賃借シタル土地ニ命令ニ依リ設定セラレタル地役權ハ右ノ賃借ノ終了シタルトキハ之ヲ繼續セシメサルモノトス

(五) 右ノ命令ニ依ル賠償ニ關シ異議アル場合ニ於テ其ノ賠償金額ヲ決定スル際ニハ強制取得又ハ強制賃借ノ計算上附加的酌量ハ之ヲ行ハサルモノトス

(六) 本條ニ基ク命令ニ依ル強制賃借セラレタル土地ニ抵當權ノ存在スルトキハ右ノ命令ニ從ヒ抵當權者又ハ抵當權設定者ニ依リ締結セラレタル賃借契約ハ千八百八十一年ノ讓渡及所有權法第十八章ニ依リ定メタル賃借契約ト同様ノ效力ヲ存スルモノトス

(七) 村參事會カ強制的ニ土地ヲ取得セントスル場合ニ於テ其ノ參事會ハ自ら主務省ニ其ノ命令ヲ提出スル代リニ之ヲ府縣參事會ニ提出シ府縣參事會ハ其ノ村參事會ノ爲強制取得又ハ強制賃借ニ關スル本法ノ權限ヲ行使スルコトヲ得且其ノ命令ハ府縣參事會ニ於テ之ヲ實行スヘキモノトス但シ其ノ土地ハ村參事會カ取得シ又ハ讓渡セラルヘク且



府縣參事會ニ於テ要シタル經費ハ村參事會之ヲ支拂フヘキモノトス此ノ場合ニ於テ府縣參事會カ本條ノ行爲ヲ爲スコトヲ拒ミタルトキハ參事會ハ其ノ旨ヲ主務省ニ訴願シ主務省ハ右ニ依リ適當ト認ムル調査ノ上府縣參事會ニ代リ其ノ命令ヲ發スルコトヲ得且其ノ命令ハ府縣參事會ニ依リ發セラレタルモノトシテ本項ヲ適用スヘキモノトス

(八) 強制取得スヘキ土地ニ對シ其ノ所有者ニ支拂フヘキ賠償金額(強制賃借ノ場合ニハ其ノ借地料ヲ含ム)ノ決定後參事會ニ於テ其ノ土地カ損失ヲ蒙ルコトナキ小作料ヲ以テシテハ小農地又ハ分課地トシテ貸付シ得サルモノト認メタルトキハ參事會ハ金額ノ決定後六週間内ニ書面ヲ以テスル通告ニ依リ其ノ者又ハ土地ニ利害關係ヲ有スル者ニ發シタル收用ノ通告ヲ撤回スルコトヲ得但シ此ノ場合右ノ撤回ノ通告ヲ發セラレタルモノハ參事會ヨリノ收用ノ通告及其ノ撤回ノ通告ニ依リ直接間接ニ受ケ又ハ要シタル損失若ハ費用ニ對スル賠償ヲ受クル權利ヲ有ス且右ノ賠償金額ニシテ合意有ラサルトキハ仲裁裁判ニ依リ決定スヘキモノトス

右ノ場合撤回ノ通告カ參事會ノ同意ヲ求ムルコトナクシテ委員之ヲ發スル場合ニ於テハ本項ニ基キ支拂ハルヘキ一切ノ賠償ハ小農地勘定中ヨリ支拂フヘキモノトス

小農地又ハ分課地ニ充ツヘキ土地ノ賣却及賃貸ヲ爲ス制限所有權者ノ權限

第四十條 (一) 承認又ハ條件ニ從フト否トヲ問ハス制限シタル期限ヲ以テ土地ヲ農業ノ目的ニ對シ賃貸スル權限ヲ有スル者ハ右ノ承認ヲ要シ又ハ條件ヲ有スルトキハ之ニ從ヒ其ノ土地ヲ三十五年ヲ超エサル期限ニ於テ參事會ニ小農地又ハ分課地ノ目的ノ爲ニ賃貸スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ右ノ目的ニ對シ土地ヲ強制賃借スル場合ニ於ケル本法ノ定メタル更新ノ權利ヲ附シ又ハ附セサルコトヲ得

(二) 御料地ノ場合ニ於テハ林野委員カ國庫ノ承諾ヲ經テ「ランカスター」公領ニ屬スル土地ノ場合ニ於テハ「ランカスター」公領總裁及議會カ陛下皇位繼承人ノ名ニ於テ公領ノ印璽アル證書ヲ以テ「コンウオール」公領ニ屬スルモノノ場合ニ於テハ「コンウオール」公又ハ公領ニ屬スル土地ヲ處分スル權限ヲ有スル者ニ於テ右ト同様ナル賃貸ノ權限ヲ行使スルコトヲ得

(三) 右ト同様ナル賃貸ノ權限ハ寺領地又ハ牧師ノ所有スル土地ノ場合ニモ英國國教教務委員ノ承認ヲ經テ該委員ノ認可シタル期限、條件及方法ニ依リ其ノ在職者之ヲ行使スルコトヲ得

(四) 千八百八十二年乃至千八百九十年ノ土地定着法ニ於ケル終身小作權ヲ有スル者カ小農地ノ目的ノ爲ニ府縣參事會ニ定着土地ヲ賣却、交換又ハ賃貸スル場合ニハ其ノ賣却、交換又ハ賃貸ハ小農地ノ目的ニ對シ且凡テノ事情上適法ニ收得セラレ得ル最善ノ價額、地代又ハ考慮ニ依リ行ハルヘキモノトス

(五) 千八百八十二年乃至千八百九十年ノ土地定着法上ノ意義ニ於ケル終身小作權ヲ有スル者ハ小農地ノ目的ノ爲ニ府縣參事會ニ定着土地ノ全部又ハ一部ヲ再貸其ノ他合意ヲ以テ定ムル條件ニ依リ保證セラレタル永小作料其ノ他ノ地代ニ依リ永續的ニ貸付スルコトヲ得

土地ノ強制取得上ノ制限

第四十一條 (一) 命令ノ發セラレタル日ニ於テ其ノ土地カ公園、庭園又ハ娛樂地ノ一部ナルカ官邸ノ存在シ又ハ官邸ニ屬スル家庭園ノ一部ナルカ其ノ他住宅ノ風致又ハ利便上必要ナルカ本法ニ基キ參事會ニ依リ取得セラレタル土地ニ全然圍繞又ハ隣接セサル森林地ナルカ地方官吏ノ所有ニ屬スルカ鐵道、船渠、運河、水面其ノ他ノ公共的施設ノ爲ニ組合又ハ會社ニ依リテ取得セラレタルカ又ハ古墳其ノ他考古學上價値アル場合ナルトキハ本法ニ基ク命令ニ依リ



之ヲ強制取得スルコトヲ得ス

(二) 參事會ハ土地ノ強制收用ノ命令ヲ作成スル場合ニハ所有者又ハ小作人カ其ノ地方ニ於テ所有又ハ占有セル土地ノ範圍及其ノ所有者又ハ小作人ノ所有又ハ占有スル他ノ土地ノ便宜ニ付考慮スヘシ且出來ル丈一人ノ所有者又ハ小作人ヨリ不正當ニシテ且不便ナル面積ノ土地ヲ取得スルコトヲ避クルヲ要ス其ノ目的ノ爲ニ單ニ土地ノ一部カ取得セラレタル場合除去ヲ要セサル現存セル農業用建物ニシテ其ノ土地ニ關聯シテ使用セラレタルモノノ面積及性質並仕事ニ適スル土地ノ面積及性質ヲ考慮スルコトヲ要ス且出來ル丈其ノ土地ニ雇傭セラレタル多數ノ農業労働者其ノ他ノ失業ヲ防止スルコトヲ要ス

(三) 五十英町又ハ五十英町以下ノ土地若ハ右ノ如キ土地ノ一部ハ本法ニ依ル命令ニ依リ之ヲ小農地又ハ分課地ノ爲強制取得スルコトヲ得ス

小農地又ハ分課地ニ附屬スル放牧其ノ他ノ權利

第四十二條 (一) 小農地又ハ分課地ノ爲ニ土地ヲ取得スヘキ參事會ノ權限ニハ本法ニ定メタル制限ニ從ヒ小農地又ハ分課地ニ附屬セシムル目的ノ爲ニ土地ヲ取得スル權限及放牧權、入會權其ノ他讓渡シ得ヘキ共同放牧權ヲ取得スル權限ヲモ包含スルモノトス右ノ取得シタル土地ノ放牧權其ノ他此ノ種ノ權利ハ參事會ニ於テ之ヲ規定ス

(二) 本條ニ依リ參事會カ設定シ又ハ取得シタル權利ハ參事會カ便宜ナリト認ムル規則ニ從ヒ小農地及分課地ニ附屬スヘキモノトス

(三) 小農地ノ目的ノ爲ニ府縣參事會ノ取得シタル土地ニ放牧權、牧羊權其ノ他同様ナル權利カ附屬スル場合ニ於テハ參事會ハ其ノ便宜ナリト認ムル規則ニ從ヒ小農地ニ持分ヲ附屬セシムルコトヲ得

労働者ノ失業者ニ對スル賠償

第四十三條 労働者ニシテ小農地トシテ府縣參事會ノ取得シタル土地ニ定時ニ雇傭セラレタル者カ府縣參事會カ其ノ土地ヲ取得シタル結果失業シタルコト及其ノ地方ニ於テ彼ニ適シタル雇傭ナキ旨ヲ府縣參事會ニ證明シタルトキハ府縣參事會ハ其ノ失業又ハ其ノ労働者ノ他地方移住ニ對シ正當ナリト認ムル賠償ヲ支拂フコトヲ得右ノ支拂金額ハ之ヲ土地ノ取得費用ノ一部ト看做ス

### 第二章 強制取得シタル土地ニ對スル規定

強制賃借ニ依ル小作契約更新ニ關スル參事會ノ權限

第四十四條 (一) 參事會カ小農地又ハ分課地ノ爲ニ土地ヲ強制的ニ賃借シタルトキハ參事會ハ小作契約ノ終了前一年以上二ケ年以内ニ地主ニ書面ヲ以テ通告ヲ發シ其ニ定メタル三十五年乃至四十年ノ期限及合意有ラサルトキハ主務省ノ任命シタル評價人ノ評價セル地代並其ノ他ハ從來ノ賃借契約ト同様ノ條件ヲ以テ小作契約ヲ更新スルコトヲ得右ノ通告ヲ發セラレタルトキ地主カ主務省ニ對シ小作契約ニ包含シタル土地カ住宅ノ風致又ハ便宜ニ必要ナルコトヲ證明シタルトキハ右ノ土地ハ更新セラレタル小作契約中ヨリ除外セラレヘキモノトス

(二) 本條ニ基キテ支拂ハルヘキ小作料ノ査定上評價人ハ左ノ事由ニ因ル土地價格ノ騰貴ハ之ヲ其ノ計算中ニ加ヘサルモノトス

(イ) 參事會カ其ノ小作契約ヲ更新セスシテ小作契約ノ終了ト共ニ其ノ土地ヲ撤退スル場合ニハ參事會ハ賠償ニ對スル權限ヲ有シタル土地改良



(ロ) 更新カナカリセハ採用スヘカリシ土地ノ利用ニシテ地主ノ其ノ利用ニ關シ本法ニ依リテ其ノ土地ノ所有權ヲ回收スル權利ヲ有スルモノ

(ハ) 參事會カ隣接地ニ他ノ小農地又ハ分課地ヲ設置セル場合又ハ參事會カ土地ヲ撤退シタルトキ地主カ賠償ヲ受クヘキ土地價額ノ下落

小農地及分課地ニ對スル土地ノ交換

第四十五條 府縣參事會ハ其ノ小農地トシテ取得シタル土地ヲ分課地ノ目的ノ爲ニ市、町又ハ村參事會ニ賣却又ハ貸付スルコトヲ得且市、町又ハ村參事會ハ其ノ分課地トシテ取得ルタル土地ヲ小農地ノ目的ノ爲ニ府縣參事會ニ賣却又ハ貸付スルコトヲ得餘剩賣却ニ關スル分散地整理法ノ規定ハ右ノ賣却ニ之ヲ適用ス

強制賃借地ノ占有回收ノ權利

第四十六條 (一) 土地カ小農地又ハ分課地トシテ參事會ニ依リ強制賃借セラレタル場合ニ於テ其ノ土地ノ全部又ハ一部カ其ノ小作契約ノ期間内地主ヨリ建築、採鑛其ノ他産業上ノ目的ニ又ハ必要ナル道路ノ爲ニ使用スルコトヲ要求セラレタルコトヲ主務省ニ説明シタルトキハ地主ハ參事會ニ對シ十二箇月前ニ占有權回收ノ旨ヲ記載シタル書面ニ依ル通告ヲ發シ其ノ土地ノ全部又ハ一部ノ占有ヲ適法ニ回收スルコトヲ得且單ニ土地ノ一部ノミ回收セラルル場合ニシテ合意有ラサルトキハ參事會ハ主務省ノ任命シタル査定人ノ査定ニ依リ決セラルヘキ金額ニ從ヒ回收ノ日ヨリ控除シタル小作料ヲ支拂フモノトス

(二) 府縣參事會カ其ノ義務ヲ履行セサル場合ニ於テ委員ニ依リ土地ヲ強制賃借シタル場合ニ於ケル地主ノ土地ノ全部又ハ一部ノ占有回收ノ權利ニ關スル異議ハ英克蘭最高裁判所判事ノ任命スル仲裁裁判人ニ依リテ之ヲ決セラルヘキモノトス

キモノトス

改良ニ對スル賠償

第四十七條 (一) 參事會カ小作人ニ小農地又ハ分課地ヲ貸付シタルトキハ小作人ハ參事會ニ對シ其ノ小作地カ千九百八年ノ小作法第四十二條ヲ適用スヘキモノナルトキハ有スヘカリシ本法附款第二章ニ掲ケタル改良ニ對スル賠償ニ關スルモノト同様ノ權利ヲ有ス右ノ場合ニ於テ小作人ハ小農地又ハ分課地ノ全部又ハ一部ニ關シ參事會カ書面ヲ以テ明カニ禁止シタル事項ニ違反シテ行使シタル改良ニ對スル賠償ヲ受クル權利ヲ有セス但シ小作人カ右ノ禁止ニ因リ支障ヲ生スルトキハ之ヲ主務省ニ訴フルコトヲ得主務省ハ其ノ禁止ヲ許可、變更又ハ廢止スルコトヲ得主務省ノ右ノ決定ハ最終ノモノトス

(二) 土地カ參事會ニ依リ小農地又ハ分課地トシテ賃借セラレタルトキハ參事會ハ(土地カ合意ニ依リ賃借セラレタル場合ニハ其ノ反對ノ契約ナキコトヲ條件トシテ)小作契約終了シ土地ヲ撤退スルニ當リ千九百八年ノ小作法ニ基キ本法附款第二章ニ掲ケタル改良、該附款第二章ニ掲ケタル改良及該附款第二章ニ掲ケタル改良ニシテ土地ヲ小農地又ハ分課地ニ利用スルニ必要ニシテ且當然ナルモノニ對シ其ノ土地カ千九百八年ノ小作法第四十二條ニ適用スヘキモノトシ且該附款第二章ニ掲ケタル改良ハ千九百八年ノ小作法附款第二章ニ掲ケタル改良ト看做シテ賠償ヲ受クル權利ヲ有ス右ノ場合ニ於テ土地カ強制的ニ賃借セラレタル時ハ右ノ如キ改良ニ對シ參事會ニ支拂ハルヘキ賠償ノ金額ハ右ノ改良ニ基キ其ノ小作地ノ地主及其ノ繼承人ニ値スル増額ニ相當スル金額タルヘキモノトス

(三) 本法第二篇ヲ適用スヘキ分課地ノ小作人ハ其ノ欲スル場合ニ於テハ分課地ノ面積カ二英町ヲ超エタル場合ト雖本法ニ依リ改正セラレタル千九百八年ノ小作法ニ依ラスシテ千八百八十七年ノ分課地及作物ニ對スル小舎園賠償法



ニ基ク改良ニ對スル賠償ヲ請求スルコトヲ得

(四) 小農地又ハ分課地ノ小作人ハ其ノ栽培又ハ取得シタル果實其ノ他樹木及灌木ニシテ賠償ヲ請求スルコトヲ得サルモノヲ小作契約ノ消滅前ニ收去スルコトヲ得且其ノ建造又ハ取得シタル農具、小舎、物置、温室、鶏舎及豚舎ニシテ賠償ヲ請求シ得サルモノヲ收去スルコトヲ得

寺領地ニ關スル規定

第四十八條 小農地又ハ分課地ノ目的ノ爲ニ寺領地又ハ教會地ヲ賃借セル場合ニ於テハ

(一) 千八百七十一年教會破産法ハ小作契約ノ繼續中土地ニ存在スル建物ニ適用セラレサルモノトス  
(二) 小作終了シ參事會カ其ノ土地ヲ撤退スルトキ又ハ撤退後十二箇月以内何時ニテモ其ノ土地ヲ所有スル寺院ノ在職者ハ小農地又ハ分課地トシテ設備スル目的ヲ以テ其ノ土地ニ築造シタル建物ノ收去ニ對スル承諾ヲ英吉利國敎務委員ニ請求スルコトヲ得委員ニシテ右ノ建物カ不用ニシテ其ノ收去ハ寺院ニ利益ナルコトヲ認メタルトキハ在職者ハ委員ノ承諾ヲ得且委員ノ命令ニ從ヒ右ノ建物ヲ取り毀シ其ノ材料ヲ處分スヘキモノトス且賣上金ハ之ヲ委員ニ交付シ委員ハ之ヲ寺院ノ改良費ニ充ツルモノトス

### 第三章 共同組合其ノ他

共同組合其ノ他

第四十九條 (一) 府縣參事會ハ必要品ノ購入、生産物販賣、信用保險其ノ他ト關聯セルト否トニ係ラス其ノ目的ノ全部又ハ一部トシテ小農地又ハ分課地ノ設備ヲ有シ又ハ其レニ對シ利益アル事業ヲ營ム共同組合ノ設立又ハ擴張ヲ獎

勵シ本條ノ規定ニ從ヒ之ヲ援助スルコトヲ得且本條第四項ニ掲ケタル組合ノ目的ニ對シ組合ノ代表者タルコトヲ得

(二) 府縣參事會ハ地方廳ノ承認ヲ經テ且其ノ制定シタル規則ニ後ヒ組合ヲ援助スル目的ヲ以テ組合ニ對シ其ノ適當ト認ムル條件、利率、償却方法、擔保其ノ他ニ依リ貸付又ハ前貸ヲ爲シ若ハ組合ノ前借ニ對シ之ヲ保證スルコトヲ得

(三) 主務省ハ本法ノ規定ニ基キ小農地ノ附近ニ於テ業務ヲ行ヒ又ハ行ハントスル組合ニ對シ本條ニ依ル其ノ權限ヲ行使スルコトヲ得且本條ノ規定ハ右ニ依リ適用スヘキモノトス但シ地方廳ノ關係ヲ國庫ノ關係ニ置キ換ヘ且本條ニ依ル主務省ノ費用及收入ハ小農地勘定ヨリ收支スルモノトス

(四) 主務省ハ國庫ノ承諾ヲ經タル後小農地勘定ヨリ其ノ定ムル條項ニ依リ小農地又ハ分課地ノ耕作獎勵ヲ目的ノ全部又ハ一部トスル組合ニ關シ前貸ヲ爲スコトヲ得

### 第四章 小農地及分課地委員會

小農地及分課地委員會

第五十條 (一) 各縣參事會ハ一ノ小農地及分課地委員會ヲ設置スヘシ該委員會ハ其ノ全部又ハ一部ノ委員ヲ參事會員ヲ以テ組織スルヲ要ス一部分然ル場合ニハ參事會員ハ過半數タルヲ要ス本法ニ基キ參事會カ行使並履行スル權利及義務ニ關スル一切ノ事項(利子ノ引上ケ又ハ借入金ノ權限ヲ除ク)ニハ小農地及分課地委員會之ニ關係スヘキモノトス參事會ハ右ノ如キ權限ノ行使前其ノ事項カ緊急ナリト認ムルモノヲ除クノ外其ノ問題ニ關シ小農地及分課地委員會ノ報告ヲ受ケ且之ヲ考慮スヘキモノトス參事會ハ利子ノ引上又ハ借入金ニ關スル權限ヲ除キ小農地及分課地委



員會ニ適當ト認ムル制限又ハ條件ヲ附シ又ハ附スルコトナクシテ本法ニ依ル其ノ權限ヲ委任スルコトヲ得

(二) 小農地及分課地委員會ハ其ノ權限ヲ小委員會ニ委任スルコトヲ得小委員會ハ小農地及分課地委員ノ全部又ハ一部ヲ以テ組織ス且小農地經營ノ權限ヲ附與セラルヘキ小委員會ノ任命ニハ其ノ中ニ小農地ノ存在シ又ハ小農地ノ設定セラレタル市、町又ハ村ノ參事會員及其ノ他小委員ノ活動スル土地ノ需要及土地ノ狀況ニ適シタル者ヲ含マシムルヲ適當トス

(三) 縣參事會カ本法ニ依リ金額ノ收入及支出ヲ小農地及分課地委員會又ハ其ノ小委員會ニ委任シタル場合ニハ右ノ收支ノ計算ハ之ヲ縣參事會ノ計算ト見做シ右ニ依リ精算シ且檢查セラルヘキモノトス

(四) 本條中小農地ニ關スル規定ハ縣參事會ニ適用スルト同様ニ之ヲ府參事會ニ適用シ分課地及小委員會ニ關スル規定ハ府參事會ニ之ヲ適用セス但シ參事會カ正當ニ權限ヲ附與セラレタルトキハ本法第二編ニ從ヒ分課地監理者タルヘキ小農地委員ヲ任命スル權限ハ之ヲ行使スルコトヲ妨ケス

### 第五章 經費及借入金

#### 小農地勘定

第五十一條 (一) 本法ノ目的ニ對シ千九百七年小農地及分課地法ニ基キ英克蘭銀行ニ設置シタル小農地勘定ハ之ヲ存

續セシム

(二) 本勘定ハ左ノ金額ヲ繰入ルルモノトス

(イ) 本法ニ依リ小農地勘定中ヨリ支出スル事ヲ命セラレタル主務省ノ經費ヲ支辨スル爲ニ時々議會ニ依リ定メラ

#### ルル金額

(ロ) 主務省ノ收入金額ニシテ本法ニ依リ小農地勘定中ニ繰入ルルコトヲ命セラレタルモノ

(三) 本法ニ依リ小農地勘定ヨリ支出スルコトヲ命セラレタル主務省ノ經費ハ主務省ニ依リ該勘定中ノ金額ヨリ支出セラルヘキモノトス

(四) 各會計年度末ニ於テ國庫カ措置シタル形式及細目ニ從ヒ小農地勘定ノ收支金額ヲ精算シ國庫ノ制定シタル規則ニ從ヒ公ノ勘定トシテ會計検査官及會計検査院長ノ検査ヲ受ケ且其ノ報告ト共ニ議會ニ提出セラルヘキモノトス

(五) 小農地勘定ニ依ル收支及該勘定並其ノ信用ニ立チタル金額ニ關スル一切ノ事項ハ國庫ノ指定スル方法ニ依リ收支シ且處理スヘキモノトス

#### 借入ヲ爲ス權限及費用

#### 第五十二條

(一) 縣參事會ハ小農地ニ關スル本法ノ規定ノ目的ノ爲及千八百八十八年ノ地方廳法ニ從ヒ府參事會ノ場合ニ於テハ公衆衛生法ニ依リ共同組合ニ貸付又ハ前貸スル爲ニ借入金ヲ爲スコトヲ得但シ右ノ借入金ハ該法ニ如何ナル規定アルニ拘ラス地方廳ノ承認ヲ經タル後左ノ期間内ニ償還スルヲ要ス

(イ) 土地ノ購買ヲ目的トスル借入金ハ八十年

(ロ) 其ノ他ノ場合ニハ五十年

期限ハ其ノ都度參事會ニ於テ之ヲ決定シ地方廳ノ承諾ヲ經ルヲ要ス右ノ場合ノ借入金ハ千八百八十八年ノ地方廳法第六十九條第二項ノ目的タル縣債總額中ニ編入セラレサルモノトス

(二) 公共事業貸付委員ハ千八百七十五年ノ公共事業貸付法ニ依リ規定セラレタル方法ニ依リ前述ノ目的ノ爲ニ縣參



事會ニ金額ヲ貸付スルコトヲ得右ノ場合ニ於テ

(イ) 貸付金ハ其ノ場合ニ於ケル地方貸付基金ノ貸付ノ最少限度ニ於テスルヲ要ス

(ロ) 地方廳カ其ノ結果ニ付推舉スルトキハ公共事業貸付委員ノ貸付金ノ期限ハ千八百七十五年ノ公共事業貸付法及其ノ改正法ノ許可シタル期限ヲ超ユルコトヲ得但シ地方廳ノ勸告シタル期限又ハ出金ノ目的カ土地購置ニ在ルトキハ八十年其ノ他ノ場合ハ五十年ヲ超ユルコトヲ得ス

(ハ) 期限ヲ異ニスル貸付金中ニ於テ其ノ長期貸付ナルノ故ヲ以テ長期ノ分ノ利子ヲ高率ト爲スコトヲ得ス

(三) 縣參事會ノ賣却シタル土地ニ對シ支拂フ購買代金又ハ負擔若ハ參事會ノ爲シタル前貸金ノ返還金トシテ縣參事會ノ受取リタル資本金ハ本法ノ規定ニ從ヒ地方廳ノ許可ヲ經タル後負債ノ償還又ハ資本金ヲ充當スヘキ他ノ目的ニ之ヲ充當スルコトヲ得

(四) 府參事會ノ賣却シタル土地ニ對シ其ノ購買代金ノ支拂又ハ負擔若ハ參事會ノ爲シタル前貸金ノ返還金トシテ府參事會ノ受取リタル資本金ハ本法ノ規定ニ從ヒ地方廳ノ許可ヲ經タル後負債ノ償還又ハ資本金ヲ充當スヘキ他ノ目的ニ之ヲ充當スルコトヲ得

(五) 府參事會カ小農地ニ關シ本法ノ規定ニ依リ要シタル費用ハ府基金又ハ府稅收入中ヨリ支出スヘキモノトス且府參事會ノ借入金ハ府基金又ハ府稅ヲ擔保トシテ之ヲ借入スヘキモノトス

費用及借入

第五十三條 (一) 市、町又ハ村參事會カ分課地ニ關シ本法ノ規定ニ依リ要シタル經費ハ右ノ規定ニ基ク義務ニ對スル參事會ノ官吏ニ對スル手當及本法ノ規定ニ依リ町又ハ村參事會カ其ノ不履行ノ場合ニ行ヒタル府縣參事會ニ對スル

辨償金額ヲ含ミ

(イ) 市又ハ町參事會ノ場合ニハ公衆衛生法ノ施行ニ關スル一般經費中ヨリ

(ロ) 村參事會ノ場合ニハ其ノ參事會ノ經費中ヨリ支出スヘキモノトス

(二) 府縣參事會カ町又ハ村參事會ノ不履行ノ場合其ノ町又ハ村ニ於テ本法ノ規定ヲ施行シタル場合ニ要シタル又ハ本法ノ規定ニ依ル地方調査ニ要シタル費用ハ一切一般府縣費中ノ經費トシテ先ツ府縣基金中ヨリ支出スヘキモノトス且右ノ費用ハ參事會カ賣却又ハ交換以外ノ本規定ニ依リ取得シタル土地ニ關シテ受取リタル金額又ハ本法ニ於テ前ニ掲ケタル借入金ヨリ支出スルニ非サレハ本法ノ規定ニ依リ町又ハ村參事會ノ權限及責任カ府縣參事會ニ轉シタル場合町又ハ村參事會ノ債務トシテ縣參事會ニ辨償セラルヘキモノトス

(三) 市、町又ハ村參事會カ分課地ト爲ス土地ノ取得、改良及設備ノ目的ノ爲ニ起債スルコトヲ得

(イ) 市參事會又ハ町參事會ノ場合ハ公衆衛生法ノ目的トシテノ場合ト同様ノ方法及條件ニ從フ

(ロ) 村參事會ノ場合ニハ千八百九十四年ノ地方廳法ノ規定ニ從フ但シ村ノ借入金ハ該法第十二條ニ依ル借入限度ニ關スル村ノ負債ノ一部ト看做サレサルモノトス

(四) 地方官吏ニ對スル公共事業貸付委員ノ貸付金ニ關スル千八百七十五年公衆衛生法第二百四十二條及第二百四十三條ハ其ノ貸付金カ村參事會ニ於テ本法第二編ニ依リ土地ノ取得、改良又ハ設備ニ必要ナル場合該條カ此ノ場合ニ適用シ得ル條項ニ於テ本法中ニ再ヒ規定セラレタルモノトシテ之ヲ本法ニ依ル市又ハ町參事會ノ貸付金ニ適用ス且必要ナル改良ヲ加ヘタル後千八百九十四年地方廳法ニ依ル村參事會ノ貸付金又ハ府縣參事會ノ本法ニ依ル村參事會ニ對スル貸付金ニ之ヲ適用ス



收入金及經費ノ別勘定

第五十四條 (一) 小農地又ハ分課地ニ關スル本法ニ依ル參事會ノ收入金及經費ハ之ヲ別個ノ勘定ト爲スヘキモノトス且右ノ如キ收入金ハ本法ノ規定ニ依リ小農地又ハ分課地ノ目的ニ充當スヘキモノトス但シ地方廳ノ承認アルトキハ此ノ限リニ非ス勘定ノ檢査ニ關スル規定ノ目的ニ對シ本法ニ依リ分課地ノ經營ニ關スル權限及責任ヲ行使シ且履行セシムル爲參事會ノ任命シタル者ハ之ヲ參事會ノ職員ト看做スヘキモノトス

(二) 市、町又ハ村參事會ハ參事會ノ會計年度末後一箇月内ニ該年度ノ分課地ニ關スル收入及經費並ニ該年度末ニ於ケル債務ヲ示シタル年報ヲ作成シ之ヲ市、町又ハ村ノ便宜ナル場所ニ備付ケ無料ニテ納稅者ニ閱覽セシメ且寫ヲ取ラシムヘシ

第六章 附 則

委員會ノ取得シタル土地ニ關スル規定

第五十五條 本法又ハ本法ニ依リ廢止セラレタル法律ニ依リ委員會ノ取得シタル土地ハ主務省ニ歸屬スルモノトス但シ主務省ハ何時ナリトモ其ノ土地ヲ買收スルニ要シタル經費ヲ負擔シタル參事會ニ交付スルコトヲ得右ノ場合ニ於テハ其ノ土地ニ關シ參事會ノ要シタル經費總額ヲ支拂ヒ且參事會力之ニ關スル權利及責務ノ行使及履行ヲ欲スルコトヲ認メタル後之ヲ交付スヘキモノトス

委員ニ關スル規定

第五十六條 本法ニ基キテ委員會カ行使スル權利及委員會ニ附與セル權限ニ關スル一切ノ事項ハ其ノ委員會ノ一人ノ委員ニ依リテ行使セラレ又ハ其ノ一人ニ權限ヲ附與シ得ヘキモノトス且一人ノ委員ニ依リテ署名セラレタル文書ハ委員

ノ任命又ハ筆跡ノ證明ナクシテ證據アルモノトシテ受理セラルヘキモノトス

地方 調 査

第五十七條 (一) 主務省及小農地委員其ノ他主務省ノ官吏ハ本法ニ基ク調査ノ爲地方廳ト同様ノ權限ヲ有ス且其ノ檢査員ハ夫々調査ノ目的ノ爲ニ公衆衛生法ニ基ク權限ヲ有ス

(二) 調査ノ告知ハ主務省ノ定ムル一般又ハ特別ノ規定ニ從フヘキモノトス

(三) 分課地ニ關スル本法ノ規定ノ目的ノ爲ニ府縣參事會ニ依リテ行使セラルヘキ地方調査ハ小農地及分課地委員會ニ依リテ調査ヲ爲スヘク指定セラレタル參事會ニ於ケル小農地及分課地委員會ノ一人又ハ二人以上ノ委員又ハ參事會ノ官吏其ノ他ノ者ニ依リテ行使セラルヘキモノトス

仲裁裁判及評價

第五十八條 (一) 本條ニ依リテ發生シタル爭論ニシテ仲裁スヘキモノハ千九百八年ノ小作法(英克蘭)ニ依ル單獨仲裁裁判人ニ依リ決定セラルヘキモノトス

(二) 府縣參事會カ其ノ任務ヲ履行セサル場合ニ於テ委員會ニ依ル土地ノ強制取得ノ權限ヲ決定シ附與スル命令制定セラレタルトキハ仲裁裁判人又ハ評價人ハ夫々主務省ニ代リテ英克蘭最高裁判所長ヨリ任命セラルヘキモノトス

(三) 本法ニ依ル仲裁人又ハ評價人ノ報酬ハ主務省ニ依リテ定メラルヘキモノトス

議會ニ提出スヘキ毎年ノ報告

第五十九條 主務省ハ本法ニ依ル省委員會、各府縣、市、町及村ノ參事會ノ事務ノ行程ニ關シ議會ニ提出スヘキ毎年ノ報告書ヲ作成スルヲ要ス此ノ目的ノ爲ニ右ノ各參事會ハ毎年省ノ定ムル日前ニ前年ニ於ケル本法ニ依ル事務ノ行程ヲ



省ニ報告スルヲ要ス

現存小作人ノ救済

第六十條 本法中ノ如何ナル規定モ本法ニ依リテ廢止セラレタル法律ニ依リテ設定シタル小作ニ基ク權利義務ニハ效力ヲ及ボササルモノトス

用語ノ解釋

第六十一條 (一) 本法中

「小農地」トハ一英町以上五十英町以下ナルカ又ハ五十英町ヲ超ユル場合ニ於テハ賣却又ハ貸付ノ際所得稅ノ爲ニ定メラレタル年價額カ五十磅ヲ超エサル農地ヲ謂フ

「分課地」ニハ「耕作園」ヲモ包含ス

「農業」及「耕作」中ニハ園藝及家畜、家禽、家蜂ノ飼養及蕃殖ヲ包含スル經營ノ爲ニスル土地ノ使用並果實、蔬菜其ノ他ノモノノ生産ヲモ包含ス

「府縣」トハ府縣參事會ノ管轄區域内ニ在ル土地ヲ謂フ

「府縣參事會」トハ小農地ニ關シテハ府參事會ヲモ包含シ府ニ適用スル場合ニ於テハ府縣基金ハ府縣基金又ハ府稅ヲ謂フ

「別ニ定ムル」トハ主務省ノ命令ニ依リ定ムルモノヲ謂フ

「地主」トハ參事會ニ依リテ強制賃借セラレタル土地ニ關シテハ其ノ期間參事會ヨリ小作料ヲ受領スル權利ヲ有スル者ヲ謂フ

- (一) 本法及本法ニ合一セラレタル法律中ノ「土地」ニハ土地ニ存在スル一切ノ權利又ハ地役ヲ包含ス
- (二) 本法ノ目的ノ爲ニ小農地又ハ分課地ニ充ツル目的ヲ以テ參事會カ取得セル土地ノ解放又ハ其ノ土地ヨリ生スル地租、賦役金、主ナル地代、十分ノ一稅其ノ他ノ地代ノ支拂又ハ其ノ他ノ永續年額ノ購買又ハ消却ニ要シタル經費ハ土地ノ購買ニ要シタル經費中ニ包含セシムヘキモノトス
- (三) 本法中村ノ參事會ニ關スルモノハ參事會ヲ有セサル農村ニ在リテハ村會ニ關スルモノトス
- (四) 本法ニ依リ必要トセラレタル通知ハ書留郵便ヲ以テ之ヲ送附スヘキモノトス
- (五) 本法ニ依リ必要トセラレタル通知ハ書留郵便ヲ以テ之ヲ送附スヘキモノトス

法律ノ廢止

第六十二條 本法附款第三ニ掲クル法律ハ其ノ第三ニ掲クル範圍内ニ於テ本法ニ依リ廢止セラレタルモノトス此ノ場合ニ於テ

(イ) 本法中如何ナル規定モ右ニ依リテ廢止セラレタル法律ニ基キテ制定セラレ、作成セラレ、提出セラレ、送附セラレ又ハ附與セラレタル命令、計畫、計畫案、規則、規定、報告、申請又ハ告知其ノ他ノ文書ニハ影響ヲ及ササルモノトス但シ右ノ文書ハ本法ニ依リテ制定セラレ、作成セラレ、提出セラレ、送附セラレ又ハ附與セラレタルモノトシテ效力ヲ有ス

(ロ) 右ニ依リ廢止セラレタル法律ニ基ク或ル契約、賃借其ノ他ノ文書ニ關シテハ本法中右ニ該當スル規定ニ基クモノトシテ效力ヲ發生ス

(ハ) 本法ニ於テ廢止セラレタル小農地ニ關スル法律ニ基ク地方廳ノ權利カ農務水産省ニ移轉シタルヤ否ヤニ關スル爭論ハ地方廳ニ依リテ決定セラルヘキモノトス



法律ノ略稱、施行及施行範圍

第六十三條 (一) 本法ハ千九百八年小農地及分課地ト稱ス

(二) 本法ハ千九百九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

(三) 本法ハ蘇格蘭及愛爾蘭ニハ之ヲ適用セス

附 款

第一 參事會ニ依ル土地強制取得ニ關スル規定(省略)

第二 參事會ニ依ル土地強制賃借ニ關スル規定(省略)

第三 第四十七條ニ關スル改良(省略)

第四 廢止セル法律

名 稱

千八百八十七年ノ分課地法

千八百九十年ノ分課地法

千八百九十二年ノ小農地法

千八百九十四年ノ地方廳法

千八百九十七年ノ土地讓渡法

千九百七年ノ小農地及分課地法

廢 止 ノ 範 圍

全條但シ他ノ法律ニ適用サルル場合ハ第三條第四項乃至第八項

ヲ除ク

全 條

全條但シ蘇格蘭ニ關スル部分ヲ除ク

第六條第三項及第四項

第十九條

全 條

(一) 千九百十年ノ小農地法

(The Small Holdings Act, 1910)

千九百八年小農地及分課地法中ノ小農地ノ規定ニ依ル土地使用ノ爲小作ノ終止

通告ヲ發セラレタル小作人ニ對スル賠償ヲ認ムル法律(千九百十年八月三日)

第一條 (一) 小農地ノ規定ニ依ル土地又ハ其ノ一部分ノ使用ノ爲參事會(府縣又ハ市)又ハ其ノ請求ニ依リ地主カ小

作終止ノ通知ニ依リ其ノ土地ノ小作ヲ終止シタルトキハ其ノ小作ヲ終止セシメラレタル小作人ハ其ノ小作終止ニ因

リテ其ノ家ノ諸荷物、農業經營諸器具、生産物又ハ其ノ土地ニ存在シ又ハ其ノ土地ニ關シテ使用シタル家畜ノ收去

又ハ賣却ニ關シ已ムヲ得ス生シタル直接ノ損害又ハ費用ニ對シ參事會ヨリ賠償ヲ回收スルノ權利ヲ有ス但シ此ノ場

合ニ於テ

(イ) 小作人カ參事會ニ對シ右ノ諸荷物、器具、生産物及家畜ノ評價ヲ爲ス爲ニ適當ナル機會ヲ與ヘサリシトキ又ハ

(ロ) 小作人カ小作ヲ終止セシメラレタル後三箇月以内ニ賠償ノ請求ヲ爲ササリシトキハ本條ニ依ル賠償ヲ支拂ハ

レサルモノトス本條ノ規定ニ依ル事件ニ關シ異議ヲ生シ且其ノ異議ニ關シ合意在ラサリシトキハ仲裁裁判ニ依リ

テ之ヲ決定スヘキモノトス

(二) 農務水産省ハ其ノ承諾又ハ同意若ハ判定ニ依リ參事會ニ於テ支拂ヒタル賠償ヲ小農地會計ヨリ其ノ參事會ニ支拂フコトヲ要ス本條ニ基ク賠償ノ請求ニ關シ省ニ於テ必要又ハ正當ニ生シタルモノト認ムル參事會ノ經費ニ付亦同

シ

(三) 本條ハ小作終止ノ通知カ本法ノ效力發生前ニ發セラレタルト又ハ其ノ後ニ發セラレタルトヲ問ハス本法ノ效力



カ發生シタル後小作カ終止セシメラレシ場合ニ之ヲ適用ス

第二條 本法ノ效力發生前小作カ終止セシメラレタル場合ニ於テ若シ其ノ小作カ本法ノ效力發生後終止セシメラレタルトキハ前條ノ規定ニ依リ賠償セラルヘキ權利ヲ得ラルル損害又ハ經費ヲ生シタルコトヲ小作人カ農務水産省ニ對シ其ノ満足スル程度ニ證明シタルトキハ省ハ其ノ經費又ハ損害ニ對シ正當ト認ムル賠償ヲ小農地會計ヨリ小作人ニ支拂フコトヲ要ス但シ小作人ニ於テ千九百十年十一月一日前ニ右ノ賠償ニ對スル請求ヲ爲ササリシトキハ本條ニ依ル賠償ハ支拂ハレサルモノトス

第三條 本法ハ千九百十年ノ小農地法ト稱ス

本法ハ千九百八年ノ小農地及分課地法ト合セ一ノ法律トシテ解釋スヘキモノトス

千九百八年ノ小農地及分課地法ト本法ト併セ千九百八年及千九百十年ノ小農地及分課地法ト稱ス

(三) 千九百十九年ノ土著(ヲ容易ナラシムル)法

(The Land Settlement (Facilities) Act, 1919)

小農地、土地改良及排水ノ爲ノ土地取得ニ對スル規定ノ補足、小農地及分課地ニ關スル法律ノ修正其ノ他土著ヲ容易ナラシムル法律(千九百十九年八月十九日)

第一款 土地取得ニ關スル規定

土地取得命令ノ確認ニ關スル一時的停止

第一條 (一) 本法通過ノ日及其ノ後三ヶ年以内ニ千九百八年ノ小農地及分課地法(以下單ニ主法ト稱ス)ニ基キテ參

事會カ土地ヲ強制取得スル爲ニ適法ニ爲ス命令ハ本法ニ別段ノ規定ナキ限り農務水産省ニ提出シ又ハ確認サルルヲ要セス右ノ命令ハ確認セラレシモノトシテ效力ヲ有スルモノトス

但シ以上ノ命令ニ依リテ共有地ノ讓渡又ハ圍込ヲ爲サントスルトキハ千八百九十九年ノ共有地法第二十二條ノ規定ニ基キ且同法ニ依リテ與ヘラルル主務省ノ同意ヲ以テ爲サルルニ非サレハ無効トス

(二) 本條ノ適用サルル命令ハ一定ノ形式及方法ニ依リ取得ヲ認メラレシ土地ノ各所有者、借地者及占有者ニ對シ出來得ル限り迅速ニ此レヲ通告スルヲ要ス

右ノ命令及命令ニ附屬又ハ關係セル計畫ノ謄本ハ其ノ土地ノ利害關係者ノ請求ニ依リテ參事會ヨリ附與サルルモノトス

土地立入りニ關スル權限

第二條 (一) 土地ノ強制購買ニ對スル命令カ發セラレ且主法ニ基キ其ノ必要カ確認セラレシ場合ニハ該命令カ本法通過ノ前ニ發セラレタルト又ハ後タルトニ關セス右ノ命令ニ基キテ土地購買ノ權限ヲ有スル參事會ハ土地ノ各所有者、賃借者及占有者ニ對シ協議スヘキ旨ノ通告ヲ爲シタル後何時タリトモ十四日以上ノ猶豫ヲ與ヘテ豫メ承認ヲ得ルコト無ク又ハ千八百四十五年ノ分散地整理(統一)法第八十四條乃至第九十條ニ據ルコト無ク右ノ土地若ハ通告ニ特定セル其ノ一部ニ立入り且占有スルコトヲ得但シ占有セラレシ土地又ハ其ノ權利ニ對シ之ニ相當スル賠償ノ支拂ニ付テハ右法律ノ各條ノ規定ヲ適用ス

參事會カ土地ニ立入レル場合ニ於テハ主法第三十九條第八項ニ依リテ附與セラレシ權限ヲ行使スルヲ得ス

(二) 主法ノ目的ノ爲ニ參事會カ土地ノ占有者ノ利益ヲ害スルコトナク購買ヲ契約セル場合ニシテ右ノ利益カ年期小



作人若ハ不定期小作人ノ利益ヨリ大ナラサルモノナルトキハ契約締結後何時タリトモ占有者ニ二週間以上ノ猶豫ヲ與ヘテ豫メ承認ヲ得ルコトナク其ノ土地又ハ通告ニ特定セル其ノ一部ニ立入り且占有スルコトヲ得但シ參事會カ其ノ土地ヲ強制購買スル權限ヲ有シ其ノ爲ニ小作期間若ハ權利ノ終了前ニ占有ノ終止ヲ要求セラレタルモノトシテ占有サレシ土地ニ對シ相當ノ賠償ヲ支拂フ義務アルモノトス右ノ場合千八百四十五年ノ分散地整理(統一)法第八十四條乃至第九十條ハ此ヲ適用スルヲ要セス

(三) 本條ニ基ク立入通告ニシテ住宅ノ存在セル土地ニ關シ且猶豫期間カ滿三ヶ月以内ノ場合ニハ住宅ノ占有者ハ立入通告ノ通達後十日以内ニ參事會ニ對シ右ノ通告ニ付キ異議アルトキハ請願ヲ爲スコトヲ得其ノ請願ハ千九百八年ノ小作法付款第二ノ規定ニ基ク仲裁々判人ニ依リテ決定サルルモノトス(合意ナキ場合ニ仲裁々判人カ會計檢査院長ノ任命ニ依ル者ヲ除ク)參事會ハ仲裁々判人ノ判定セル日附及條件ヲ以テスルニ非サレハ本條ニ基キテ土地ニ立入ル權利ナキモノトス

(四) 本條ハ命令ニ依リ強制賃借ヲ認ムル場合又ハ合意ヲ以テ土地ノ賃借ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス  
土着地ノ設定ニ關スル農務水産省ノ權限

第三條 (一) 農務水産省ニ於テ府縣參事會カ小農地又ハ市町村參事會ニ對シ分課地設定ノ爲ニ賃貸スヘキ土地ヲ農務水産省ノ希望セル程度ニ設定セサルコトヲ認ムルトキハ農務水産省ハ本法通過後三ヶ年間其ノ府縣ニ於テ小農地又ハ市町村參事會ニ對シ分課地設定ノ爲ニ賃貸スルニ必要ト認ムル程度ノ土地ヲ取得スルヲ要シ其ノ取得アリタル場合ニ於テハ右ノ目的ノ爲ニ及其ノ使用若ハ處分ニ對シテ主務省ハ本法ニ基キ府縣參事會カ行使シ得ルト同一權限ヲ有スヘキモノトス

府縣參事會ノ土地ノ取得、使用又ハ處分及其ノ設定セル小農地ニ關スル本法ノ規定ハ本條ニ基ク主務省ノ土地取得、使用又ハ處分及其ノ設定セル小農地ニ對シ必要ナル修正ヲ施シテ之ヲ適用スルモノトス

(二) 主務省カ本條ニ基キテ附與セラレシ權限ヲ府縣ニ於テ行使セムトスルコトヲ決定セル場合ニハ右ノ決定ヲ其ノ府縣ノ參事會ニ通告スヘシ

(三) 府縣參事會ハ本條ノ目的ノ爲ニ主務省カ要求スル總テノ報告ヲ提供スヘシ

(四) 主務省ハ本條ニ基キテ取得セル土地ヲ管轄スル府縣參事會カ其ノ權限ヲ行使シ義務ヲ履行セントスル意志アルコトヲ認メタル時ハ國庫ノ承認セル讓渡條件ニ從ヒテ何時タリトモ右ノ參事會ニ對シ其ノ土地ヲ讓渡スルコトヲ得

(五) 本條ニ基ク主務省ノ經費ハ國庫ノ認可セル範圍ヲ限リ小農地會計ヨリ支拂ヒ且其ノ受入金ハ右ノ會計ニ繰入ルヘキモノトス

土地改良其ノ他ニ對スル農務水産省ノ土地取得ニ關スル權限

第四條 (一) 本法通過後二ヶ年間農務水産省ハ國庫ノ同意ヲ經テ土地改良又ハ排水ノ爲ニ土地ヲ購買又ハ賃借スルコトヲ得右ノ目的ノ爲ニ府縣參事會カ小農地又ハ分課地ニ充ツル土地ヲ取得スル際ニ行使シ得ル同一ノ權限ヲ有スルモノトシ且右ノ取得ニ關スル本法ノ規定ハ必要ナル修正ヲ施シテ之ヲ準用スルモノトス

(二) 千九百十六年ノ小農地移住法第四條ニ依リテ主務省ニ附與セラレシ監理權ハ必要ナル變更ヲ加ヘテ本條又ハ他ノ法律ニ基キ主務省ノ取得セル土地ニ適用ス

小農地殖民ノ爲ノ土地取得ニ關スル權限

第五條 (一) 本法通過後二ヶ年間農務水産省ハ千九百十六年及千九百十八年ノ小農地殖民法ノ目的ノ爲ニ取得シ得ル



土地ニ關シ以上ノ法律ニ於テ規定セル制限ニ從ヒ且取得セントスル土地ノ存在セル府縣參事會ノ會長又ハ委員トノ合議ニ關シテハ千九百十八年ノ小農地殖民(修正)法第一條ノ規定ニ從ヒ以上ノ法律ト同様ノ方法ニ依リ前條ニ掲ケシ目的ニ對スルト同様ノ規定ニ從ヒ同條ヲ適用シテ土地ヲ強制的ニ取得スルコトヲ得又以上ノ法律ニ基キ合意ヲ以テ土地ヲ取得スル權限ハ同一期間内行使サルモノトス

(二) 千九百十八年ノ小農地殖民(修正)法第一條ノ規定ニシテ賃借ニ依ル土地ノ取得、年賦支拂ニ依ル土地ノ購買及永小作ニ依ル土地ノ取得ニ關スル主務省ノ權限ヲ制限セル部分ハ此ヲ廢止ス

(三) 本條ニ依リテ修正セル千九百十六年及千九百十八年ノ小農地殖民法ニ基キ取得セル土地ノ殖民者ヲ選定スル場合ニハ現時ノ戰役中六ヶ月以上常備トシテ農業勞働ニ從事セルコトヲ農務水産省カ證明セル婦人及以前ノ戰役ニ於テ軍隊ニ服役セル者ニ對シ現時ノ戰役中ニ軍隊ニ服役セル者カ右ノ法律ニ依リテ要求シ得ルト同様ノ特惠ヲ附與ス

勞働者ニ對スル賠償

第六條 本法ニ基キ農務水産省カ土地ヲ取得セル場合ニハ千九百十六年ノ小農地殖民法第一條第五項(勞働者ニ對スル賠償ニ關スル)ノ規定ハ本法ノ規定ニ代リタルモノトシテ適用サルモノトス

地代支拂ニ關スル契約ノ權限

第七條 主法又ハ千九百十六年及千九百十八年ノ小農地殖民法ニ基キ農務水産省若ハ參事會カ永久地代ヲ支拂フコトニ依リ土地ヲ購買スル權限ヲ有スル場合ニハ適當ノ支拂期ニ地代支拂ノ權限ヲ有シ且適當ノ支拂期ニ支拂フコトヲ契約スル權限ヲ有スルモノト見做ス

寺領地ノ賣却

第八條 教會地質貸法ニ基キ參事會若ハ農務水産省ニ對シ主法又ハ千九百十六年及千九百十八年ノ小農地殖民法ノ爲メニ教會地ヲ賣却スルトキハ保護者ノ同意ヲ要セサルモノトス

第二款 千九百十八年ノ小農地及分課地法ニ對スル修正

年賦金ヲ以テ土地ヲ賣買スル權限

第九條 (一) 主法ニ基キ府縣參事會カ取得スル權利ヲ有スル土地ヲ賣却スル者ハ(同意又ハ條件ニ從フト否トニ不拘)右ノ土地ノ全部若ハ一部ヲ前記ノ同意及條件ニ從ヒ本條ニ基キテ支拂フ年賦金ニテ其ノ參事會ニ賣却スルコトヲ得

(二) 年賦金ヲ以テ土地ヲ賣却シタル者カ其ノ土地ニ付キ自身ニ絶體的權利ナキ場合ニハ其ノ年賦金ハ土地カ年賦金購入ニ要スル金額ニ相當スル一時金ニテ賣却サレシモノトシテ處理サルモノトス

(三) 本條ニ基キテ年賦金支拂ノ義務ヲ有スル參事會ハ本條ノ規定ニ從ヒ何時タリトモ其ノ年賦金ヲ償却スルコトヲ得如何ナル場合ニ於テモ參事會ハ年賦金受領者ニ對シ一ヶ月ノ猶豫ヲ以テ償却ノ意志ヲ通告シ且償却ニ際シテハ合意セル金額合意ナキトキハ其ノ通告滿了ノトキニ於テ國庫カ規定セル國債ノ平均價格ニ從ヒ其ノ年賦金ト等シキ配當金ヲ生スル金額ヲ支拂フヘキモノトス

本條ニ基ク年賦金ノ償却ハ主法ニ基ク參事會ノ貸入金ニ對シテモ效力ヲ有スルモノト見做ス

(四) 本條ニ基キ年賦金ニテ土地ヲ賣却スル權利ハ皇帝又ハランカスター公ノ權利トシテ陛下ニ屬スル土地及コーンオール公ニ屬スル土地ニ對シテモ之ヲ適用ス



(五) 本法附款第一ニ掲クル規定ハ本條ニ基ク年賦金ニ關シテモ效力ヲ有スルモノトス

小農地ニ充當スル土地取得ノ權限ニ關スル主法ノ修正

第十條

(一) 主法ニ基キ小農地ノ爲ニ土地ヲ取得スル參事會ノ權限ハ豫メ農務水産省ノ承諾ヲ得タル場合又ハ千九百二十六年三月三十一日以後ヲ除キ取得セル土地ニ關シ參事會カ要セル總テノ經費ヲ其ノ土地ヨリ參事會カ取得シ得ル購買金又ハ地代ニテ補ヒ得ルト參事會カ認ムル價額、地代又ハ年金ヲ以テスルニ非サレハ千九百二十六年三月三十一日迄行使スルヲ得ス

(二) 小農地ノ爲ニ取得シ得ル土地ノ價額又ハ地代ヲ規定セル主法第七條第三項ハ此ヲ廢止ス

(三) 本條ハ千九百十九年一月一日ヨリ效力ヲ有セルモノト見做ス

土地ノ賣却又ハ賃貸ニ關スル府縣參事會ノ義務

第十一條

(一) 府縣參事會ハ主法ニ基キ取得セル土地ヲ合理的ニ算出セラルル公正ナル價額ヲ以テ之ヲ賣却シ又ハ合理的ニシテ公正ナル小作料ヲ以テ賃貸スヘキモノトス

土地ヲ小農地トシテ賣却又ハ賃貸スル場合ニハ農務水産省カ特別ノ理由ニ依リ別ニ命令ヲ爲ス場合ヲ除キ參事會ニ委託セル總テノ贖物ヲ留保シテ之ヲ賣却又ハ貸付スヘキモノトス

(二) 千九百二十六年四月一日以前ニ於テハ何時タリトモ小農地ノ爲ニスル土地賣却ハ農務水産省ノ承認アル場合ニ於テノミ爲サルヘキモノトス

(三) 府縣參事會カ購買セル土地ニ設定セラレシ小作人ニシテ其ノ小作地ヲ六箇年以上占有セル者ハ小作終止ノ通告ヲ受クル前何時タリトモ參事會ニ對シ小作地購入ノ意思ヲ通告シ其ノ通告日附ヨリ一箇月經過後小作人自ラ其ノ經

費ヲ以テ小作地ニ施行セル改良ニ因リ價額ノ増加セル部分ヲ除キ時價ヲ以テ其ノ小作地ノ賣却ヲ要求スル權利ヲ有ス參事會ハ小作人ノ要求ニ對シテ爲セル拒絕ヲ農務水産省カ承認セル場合ヲ除キ以上ノ規定ニ從ヒ小作人ニ對シ其ノ小作地ヲ賣却スヘシ

(四) 小作地ノ價額ニ關シ合意ナキ場合ハ千九百八年ノ小作法付款第二ノ規定ニ基ク仲裁々判ニ依リテ決定ス

(五) 參事會ハ其ノ設定セル小農地ノ賣却ニ關スル命令ニ依リ該命令ノ有効期間内主法第十一條第五項ニ依リ要求サル購買金額ノ支拂期間ヲ六十箇年ヲ超ヘサル範圍内ニ於テ延期スルコトヲ得但シ千九百二十六年三月三十一日以前ニ於テ本項ニ基キ發スル命令ハ農務水産省及國庫ノ承認ヲ必要トス

(六) 主法第十一條第三項(小農地ノ購買ヲ完了セル場合ニ購買金額ノ五分ノ一以上ノ支拂ヲ要求セル)ハ此ヲ廢止ス

購買者カ購買完了ノ際又ハ或ル時期ニ於テ購買金額ノ全部若ハ一部ノ支拂ヲ希望セル場合ヲ除キ購買金額ハ本法ニ依リテ修正セル主法第十一條第五項ノ規定ニ依リ之ヲ回收ス

(七) 參事會ハ本法通過後二箇年以内ニ小農地ヲ賣却若ハ賃貸スルトキハ何時タリトモ軍隊ニ服役セル適當ナル者又ハ現時ノ戰役中六箇月以上常備トシテ農業的勞働ニ從事セルコトヲ主務省カ證明セル適當ナル婦人ニ對シ特惠ヲ與フヘキモノトス

主法ニ基キ取得セル土地ニ關スル參事會ノ權限擴張

第十二條

(一) 本條又ハ農務水産省ノ作成セル規則ニ因リ主務省ノ承認ヲ必要トセル場合ニ於テハ其ノ承認ニ從ヒ府縣參事會ハ主法ノ施行ヲ一層有效ニ爲ス爲ニ必要且便宜ト認ムルトキハ次ノ權限ヲ有スルモノトス



(イ) 主法ニ基キ參事會カ取得セル土地ニ於ケル住宅及其ノ他ノ建物ノ建築、修繕及改良又ハ土地ノ利益ノ爲ニ他ノ改良ヲ施行スルコト同意セラレ得ル條件ヲ以テ改良ヲ施行スル爲ニ其ノ土地ノ小作人ト協定スルコト

(ロ) 賣却、抵當、交換ノ場合ニハ主務省ノ又抵當ノ場合ニハ地方廳ノ同意ニ從ヒテ右ノ土地又ハ其ノ土地ノ權利ヲ賣却、抵當、交換若ハ貸付スルコト

(ハ) 他ニ充用ノ權限ニ關スル規定ナキ場合ニ於テハ農務水産省及地方官廳ノ承認ヲ得且土地取得ノ爲ノ借入金ノ支拂條件又ハ上記官廳カ指令セル條件ニ從ヒ

(1) 參事會カ他ノ目的ノ爲ニ保有セル土地ヲ主法ニ基キ土地取得ノ權利ヲ有スル參事會ノ目的ノ爲ニ充用スルコト

(2) 主法ニ基キ參事會カ取得セル土地ヲ他ノ目的ニ充用スルコト

(ニ) 一般ニ主法ニ基キ參事會カ取得セル土地ヲ管理スルコト

(一) 主法第八條及第十六條(小農地ニ充當スヘキ土地ノ改良又ハ剩餘若ハ不適當ナル土地ノ賣却及賣却セラレサル土地ノ貸付ニ關スル)ハ之ヲ廢止ス

(三) 剩餘地ノ賣却ニ關スル千八百四十五年ノ分散地整理(統一)法ノ規定ハ主法ニ基キ參事會カ取得セル土地ニ對シ適用セサルモノトス

一定期間後ノ主務省ノ承認ノ免除

第十三條 主法ノ規定ニ關セス千九百二十六年三月三十一日以後ハ主法以外ノ法律ニ依リテ承認カ必要トセラルル場合ヲ除キ主法ニ基ク府縣參事會ノ土地取得、賣却、抵當、交換、賃貸、改良又ハ監理ニ對シテハ農務水産省ノ承認ヲ要セス

貸付金ノ期限ノ延期

第十四條 (一) 公共事業貸付委員ハ國庫ノ指令セル期限又ハ條件ヲ以テ主法ニ基キ借入レノ權利ヲ有スル府縣參事會ニ對シ資金ヲ貸付クルコトヲ得

(二) 本條ノ施行サルトキヨリ本法通過後二箇年間國庫ハ合衆王國整理基金又ハ其レヨリ生スル利益金ヨリ委員ニ對シ總額二千萬磅ヲ超ヘサル金額ヲ貸付クルコトヲ得該委員カ地方貸付資金ヨリ貸付セル貸付金ノ代リニ右ノ貸付金ヲ以テ代フコトヲ得ルモノトス

(三) 右ノ二箇年經過後ハ公共事業貸付委員ニ依リテ爲サルル貸付金ハ主法第五十二條第二項ニ依リテ修正セル千八百七十五年ノ公共事業貸付金法ニ依リテ規定セラレシ方法ニテ地方貸付資金ヨリ貸付ラルルモノトス但シ貸付金カ千九百二十六年四月一日以前ニ於テ取得セラレシ土地ノ取得又ハ改良ニ關シテ貸付ラレシトキハ同項ヲ適用セス

(四) 主法ニ基キ參事會カ建物建築ノ爲ニ借入レセル金額又ハ右ノ目的ノ爲ニ府縣參事會ニ對シ公共事業貸付委員カ貸付セル貸付金ニ對シテハ主法第五十二條ニ規定セル五十年ノ期間ヲ六十年ニ代フルモノトス

(五) 本條ハ千九百十九年四月一日ヨリ效力ヲ有セルモノト見做ス

府縣參事會ノ借入金ノ期間ニ關スル主務省ノ承認

第十五條 本法ニ基ク權限ヲ行使スル爲ニ借入レセル金額ノ期間ヲ府縣參事會ニ於テ決定スル場合ニ其ノ借入金カ本法ノ通過後千九百二十六年三月三十一日以前ニ借入レラレシトキハ農務水産省ノ承認ヲ要ス

主法第四十一條ノ修正

第十六條 (一) 主法ニ基ク命令ハ其ノ第四十一條ニ關係ナク次ノ土地ヲ強制取得スルコトヲ得



- (イ) 命令ノ日ニ於テ公園ノ一部ヲナス土地又ハ官邸ニ付屬シ且其レニ依リテ占有セラレツツアル土地ニシテ官邸ノ風致若ハ利便ノ爲ニ必要ナラサル土地
- (ロ) 面積五十英町又ハ其レ以下ノ土地又ハ其ノ一部
- (二) 公園若ハ家庭園ノ一部ヲナス土地又ハ分課地ノ爲ニ取得スル場合ヲ除キ面積五十英町又ハ其レ以下ノ土地又ハ所得税ノ年價格カ五十磅ヲ超ヘサル土地又ハ其ノ一部ヲ取得セントスル場合ニ於テハ右ノ土地ヲ取得セントスル命令ハ農務水産省ニ依リテ確認セラルルカ又ハ其レカ發スルニ非サレハ無効トス
- (三) 前項ヲ適用スル土地ノ占有者カ小作人ニシテ且取得ニ同意セル場合ヲ除キ其ノ土地カ占有者ノ生計ノ主要手段タルコトヲ主務省若ハ參事會ニ證明セル場合ニ於テハ主務省若ハ參事會ハ主法ニ基キ其ノ全部又ハ一部ヲ強制的ニ取得スルコトヲ得ス

町村參事會ニ對シ分課地ノ爲ニ貸付スル土地取得ニ關スル府縣參事會ノ權限

第十七條 府縣參事會ハ分課地ヲ設定スル爲ニ其ノ府縣内ノ町村參事會ニ對シ賃貸スル目的ヲ以テ土地ヲ取得スルコトヲ得右ノ場合ニ於テハ土地カ小農地ヲ設定スル爲ニ取得セラレシモノトシテ小農地設定ノ爲ノ土地取得ニ關スル主法ノ規定及手續ヲ適用ス

家畜其ノ他ヲ購入スル爲ニ小作人ニ前貸金ヲ爲ス權限

第十八條 (一) 國庫ノ制定セル規則ニ從ヒ府縣參事會ハ小農地ノ爲ニ必要ナル家畜、果樹、種子、肥料及農具ノ購買ニ要スル金額ヲ主法ニ基キ參事會カ設定セル小農地ノ小作人又ハ小作人タラムトスル者ニ對シ賃付金ノ方法ニテ前貸ヲ爲シ若ハ前貸ヲ約シ又ハ前貸若ハ其ノ契約ヲ爲サムトスルコトヲ得右ノ前貸ハ主法第五十二條ニ基キ參事會カ

貸付ヲ爲シ得ル目的中ニ包含セシムルモノトス

(二) 農務水産省ハ其ノ設定セル小農地ノ小作人ニ對シ右ノ前貸ヲ爲シ又ハ前貸ヲ約シ又ハ前貸若ハ其ノ契約ヲ爲サムトスルコトヲ得

(三) 本條ニ依リテ附與セラレシ權限ハ共同ヲ目的トセル組合ヨリ前貸金ヲ得ル便宜カ不十分ナリト主務省若ハ參事會カ認ムル場合ニ於テノミ主務省若ハ參事會ニ依リテ行使セラルルモノトス

土地調査ノ爲ノ立入權限

第十九條 主法ニ基キ土地取得ノ權限ヲ有セル參事會ハ取得セントスル土地カ取得ノ目的ニ對シ適當ナリヤ否ヤヲ確定スル爲ニ文書ヲ以テ命令ニ掲クル土地ニ立入り調査ヲ爲ス者ヲ委任スルコトヲ得(委任狀ヲ必要トスルトキハ其レヲ發行シテ)該委任ニ基キ且其ノ爲ニ行動スル者ヲ妨害又ハ阻止スル者ハ即決裁判ニ依リ二十磅以下ノ罰金ヲ課セラルルモノトス

一英町以下ノ小農地ニ關スル規定

第二十條 (一) 府縣參事會ハ本條ノ規定ニ基キ其ノ面積半英町以上ニシテ且一ケノ家屋ノ存在セル一英町以下ノ小農地ヲ設定スルコトヲ得右ノ小農地ハ主法ノ目的ニ對スル小農地ト見做サルモノトス

(二) 府縣參事會カ本條ニ依ル小農地ヲ設定セルトキハ本法通過後農務水産省カ國庫ノ承認ヲ得テ規定セル期間内其ノ小農地ニ關スル總テノ受入金及經費ハ之ヲ別個ノ勘定ト爲スヘキモノトス三月三十一日ニ終ル會計年度末ニ於テ當該年度中ノ受入金ヲ超過セル經費又ハ經費ヲ超過スル受入金ハ其ノ場合ニ依リ千八百九十年ノ勞働階級家屋法第三編ノ目的ノ爲ニ其ノ小農地ノ存在スル管内ノ地方官吏ヨリ府縣參事會ニ對シ又ハ參事會ヨリ其ノ官吏ニ支拂フヘ



キモノトス

地方官吏カ収入若ハ支出セル金額ハ同編ニ基キ地方廳カ認可セル權限ノ行使ニ關スル計畫ヲ實施スルニ要セル該官吏ノ經費又ハ收入金トシテ處理サルルモノトス

(三) 右ノ特定セル期間經過後府縣參事會ノ設定セル小農地ニシテ本條ノ適用ザルルモノニ對シ其ノ小農地カ存在スル地方ノ地方官吏ハ千八百九十年ノ勞働階級家屋法第三編ノ目的ノ爲ニ右ノ小農地設定ノ費用ヲ給與シ又ハ給與ヲ約スルコトヲ得地方官吏カ參事會ニ對シテ支拂ヘル金額ハ同法第三編ニ基ク地方官吏ノ費用トシテ處理サルルモノトス

(四) 本條ニ基キ地方官吏ニ支拂フ金額又ハ其レヨリ支拂ハル金額ニ關スル異議ハ地方官廳之ヲ決定ス

(五) 本條ノ適用サルル小農地ノ設定ニ關スル町村參事會ノ受入金及經費ハ右ノ計畫ノ實行ニ關スル參事會ノ受入金及經費トシテ處理サルルモノトス

#### 分課地ニ關スル規定

第二十一條 (一) 市町村參事會ハ參事會又ハ其ノ他ニ依リテ設定サレタル何レノ場合ニ於テモ家庭園トシテ耕作サルル分課地ノ爲ニ必要ナル果樹、種子、植物、肥料及農具ヲ購入シ且右ノ購入品ヲ購入價格ヲ償フニ足ル價格又ハ負擔ニテ耕作者ニ賣却シ農具ノ場合ニ於テハ其ノ使用ヲ許可スルコトヲ得

(二) 前項ニ依リテ附與セラレシ權限ハ共同目的トセル組合ヨリ前項ノ物貨ヲ購入シ又ハ賃借スル便宜カ不十分ナリト參事會カ認ムル場合ニ於テノミ其ノ參事會ニ依リテ行使セラルヘキモノトス

(三) 主法第二十八條ニ基キ參事會カ作成セル規則ハ他ニ別段ノ規定ナキ限り右ノ規則施行前ノ小作ニ基ク分課地ニ

對シテモ之ヲ適用スルモノトス

(四) 正當ノ權利無クシテ爲サレシ行爲又ハ不注意ニ依リ家庭園トシテ耕作サルル分課地ノ作物ヲ害シ又ハ損害ヲ生セシメタル者ハ即決裁判ニ依リ五磅以下ノ罰金ヲ課セラルルモノトス但シ本項ノ規定ハ其ノ規定ノ公告カ分課地又ハ其ノ附近ニ明ラカニ標示セラレサルトキハ適用セサルモノトス

(五) 主法又ハ其ノ他ニ基キ設定セラレタル否トニ關セス分課地又ハ家庭園ノ小作若ハ賃付契約又ハ一ケ年十志以上ノ地代カ支拂ハレサル場合ノ右ノ小作若ハ契約ノ謄本又ハ正副證書ニハ印紙稅及手數料ヲ免除ス

#### 土地充用ニ關スル權限

第二十二條 (一) 市町村參事會ハ他ニ充用ニ關スル權限ノ規定ナキ場合ニハ農務水産省及地方官廳ノ承諾ヲ經且土地取得ノ爲ニ借入レセル金額ノ償還條件其ノ他上記官廳ノ課セル條件ニ從ヒテ

(イ) 他ノ目的ノ爲ニ參事會カ保有セル土地ヲ分課地ノ爲ニ充用スルコト

(ロ) 分課地ノ爲ニ參事會カ取得セル土地ヲ他ノ目的ニ充用スルコトヲ得

(ニ) 本條ハ倫敦府ニ於テハ府參事會及他ノ首府參事會ニ適用ス

#### 分課地設定ノ爲ニ賃借セル土地ノ賠償ニ關スル合意

第二十三條 主法ニ基キ參事會又ハ分課地ノ設定又ハ其ノ獎勵ノ爲ニ組織サレシ組合カ分課地設定ノ爲ニ土地ヲ賃借セル場合ニハ小作終了ノ際ニ地主ニ對シ賠償ヲ請求スル參事會若ハ組合ノ權利ハ他ノ法律ニ於テ反對ノ規定アルトキト雖其ノ小作契約ニ從フモノトス

但シ本條ハ參事會若ハ組合ノ貸付セル小作地ノ小作人カ其ノ小作終了ノ際ニ參事會又ハ組合ニ對シ賠償ヲ要求スル權



利ヲ侵害セサルモノトス

分課地ニ關スル首府 (Metropolitan boroughs) ノ權限

二五六

第二十四條 首府參事會ハ本法ニ基キ郡參事會ニ附與セラレシ分課地ニ關スル權限ヲ行使スルコトヲ得參事會ノ要セル經費ハ千八百九十一年ノ公衆衛生 (倫敦) 法ノ規定ニ基キ參事會カ要セル費用トシテ其ノ規定ニ依リ支拂ハルルモノトス且右ノ目的ノ爲ニ要スル金額ハ該法律ニ基キテ借入ルルコトヲ得

主法ノ小部分ノ修正

第二十五條 (一) 本法付款第二欄ニ掲ケシ主法ノ規定ハ第二欄ニ掲クル如ク之ヲ修正ス

(二) 主法第二十七條第二項ハ此ヲ廢止ス

### 第三款 參事會ノ受ケタル損失ノ補償

主法ニ基ク權限ノ行使爲メニ受ケシ損失ノ補償

第二十六條 (一) 主務省ハ千九百二十年及其ノ後引續キ六ケ年間毎年三月三十一日ニ終ル會計年度末ニ於テ主法ニ基キ一英町以下ノ小農地ニ關スル以外ノ權限行使ノ爲ニ其ノ會計年度中ニ府縣參事會カ受ケシ損失 (若シアルトキハ) ニシテ其ノ權限行使ニ因リ直接又ハ間接ニ負ヘルモノナルコトヲ農務水産省ニ證明セルトキハ其ノ損失ヲ右ノ參事會ニ支拂フコトヲ要ス

(二) 主務省ハ本法通過ノ際ニ府縣參事會ニ對シ千九百八年一月一日ヨリ千九百十九年三月三十一日迄ノ間ニ於テ主法ニ基ク權限ノ行使ニ依リ其ノ參事會カ直接又ハ間接ニ負ヘルモノナルコトヲ主務省ニ證明セル損失 (若シアルトキハ) 支拂フコトヲ要ス

(三) 本條カ目的トセル參事會ノ負ヘル損失ノ計算ニハ小農地ト爲ス土地ノ取得及改良ノ爲ニ借入レセル金額ノ利子、減債基金又ハ其ノ他ノ貸入金ノ費用トシテ參事會カ支拂ヘル總額ヲ含マシムルモノトシ其ノ損失額ハ國庫ノ認可ヲ經テ主務省ニ依リテ作成セル規則ニ從ヒテ決定スルモノトス

(四) 千九百二十六年三月三十一日迄府縣參事會ハ主務省ノ承諾ナクシテ主法第四十九條 (共同組合ニ關スル) ニ基ク費用ヲ負擔スヘカラス

(五) 主法第六條第四項及第二十一條ハ此ヲ廢止ス

(六) 本條ハ主法ニ基キ郡參事會カ小農地ニ關スル權限ヲ行使セル爲ニ負ヘル損失ニ對シテモ之ヲ適用ス

### 資金損失ノ補償

第二十七條 (一) 町村參事會ナキ場合ニ代理セル府縣參事會カ取得セル土地及一英町以下ノ小農地ヲ除キ主法ニ基キ參事會カ取得セル總テノ土地及千九百二十六年四月一日ニ參事會ニ歸屬スル土地ニ於ケル參事會ノ利益額ハ農務水産省及參事會ノ合議ニ依ル又ハ合議ナキトキハ會計検査院長ノ任命ニ依ル一人又ハ其レ以上ノ人々ニ依リテ其ノ日附ニ爲サルル評價ヲ以テ確定サルヘキモノトス右ノ土地カ貸貸若ハ保有セララルル場合ノ小作條件又ハ其レニ伴フ地代負擔ノ爲ニ其ノ土地ノ參事會ノ利益カ不足セル場合ニハ其ノ額ヲ右ノ評價ノ計算ニ入ルルコトヲ要ス

以上ノ土地ニ於ケル參事會ノ利益額ハ本條ノ目的ニ對シ其レヲ確定スル者カ適當ト認ムル如キ額タルヲ要シ且土地ニ關シテ參事會ノ負擔スル總費用ハ小農地又ハ分課地トシテ參事會カ賣却又ハ貸付スル場合ニ正當ニ取得セラレ得ル購買金又ハ地代ヨリ補償サレ得ヘキ額タルヲ要ス

(二) 同一日附ニ於ケル右ノ土地取得及改良ニ關スル參事會ノ總債務額ハ主務省及參事會ニテ合意ヲ以テ合意ナキ場

二五七



(一) 合ハ國庫ノ任命セル計算人ニ依リテ確定セラルルモノトス  
 (二) 確定セラレシ總債務額カ其ノ土地ニ於ケル參事會ノ利益額ヲ超ユルトキハ主務省ハ參事會カ經費支辨ノ爲ノ借入金ニ關シ支拂フ利子、減債基金又ハ他ノ貸入金ノ費用ニシテ確定セラレタル利益額ヲ超過スル債務額ニ比例スル部分ヲ參事會ニ對シ同日附ヨリ支拂フヘキモノトス

(四) 主務省及參事會ハ以上ノ債務又ハ利益ノ確定ニ關聯シテ要セル費用ハ各自ニ負擔スヘキモノトス債務又ハ利益ヲ決定スル爲ニ任命サレシ者ノ經費ハ等額ニ分擔スルヲ要ス

(五) 本條ハ郡參事會カ小農地ノ爲ニ土地ヲ取得セル場合ニハ郡參事會ニ對シ之ヲ適用ス

第四款 總 則

共有地及開放地ニ關スル規定

第二十八條 (一) 參事會ハ千八百六十六年首府共有地法ノ意義ニ於ケル首府ノ共有地又ハ其ノ一部、千八百四十五年乃至千八百九十九年ノ繞圍法ニ依リテ作成サレシ命令若ハ計畫又ハ他ノ地方法ニ基ク取締ニ從フ土地、市街地若ハ村落牧草地又ハ其ノ一部、公共公園庭園又ハ娛樂地トシテ充用サレ又ハ專用サル土地、公共保養ノ目的ニ使用サル土地又ハ其ノ一部ヲ主法ニ基キ小農地若ハ分課地ノ爲ニ充用スルコトヲ得ス且主法ニ因リ發セラレル強制購買命令ノ權限ニ基ク以外ハ主法ニ基キ參事會若ハ農務水産省ニ依リテ取得セラレサルモノトス但シ右ノ強制購買命令ハ以上ノ土地ニ對シテハ單ニ假定的ノモノニシテ議會ノ協賛ナキトキハ無效トス

(二) 農務水産省ハ本法ニ基ク充用ニ對スル同意ヲ與ヘ又ハ之レヲ禁止スルトキ小農地若ハ分課地ノ目的ニ對シ共有地又ハ其ノ一部ヲ強制取得スル爲ニ參事會カ發スル命令ヲ認可スルトキ又主務省カ本法ニ基ク土地取得權ヲ行使ス

ルトキハ千八百七十六年ノ共有地法カ命セル如キ即チ繞圍法ニ基ク充用ヲ同意スヘキヤ否ヤヲ定ムル前ニ主務省ニ依リテ考慮カ拂ハレ調査カ爲サルルト同様ノ考慮ヲ拂ヒ且同様ノ調査ヲ爲スヘシ小農地及分課地設定ノ爲ノ共有地充用ニ對スル農務水産省ノ同意ハ議會開會中ニ議會ニ提出スヘシ二十一日以内ニ何レカノ一院カ承認ノ動議ヲ議決セルトキハ主務省ノ同意命令ハ取消サルヘキモノトス

(三) 本條ヲ適用スル強制購買命令又ハ土地充用ニ關スル主務省ノ同意命令カ購買若ハ充用セラレシ公有地又ハ開放地ニ對シ交換ノ土地ヲ附與スヘキコトヲ規定セル場合ニハ該命令ハ購入若ハ充用セル共有地又ハ開放地ニ於テ附與セラレシ者ニ其ノ土地ニ於ケル從前ト同一權利、受託權其ノ他ノ附屬權ヲ歸屬セシメテ交換地ヲ附與スルコトヲ得購買若ハ充用セル土地ノ權利、受託權及附屬權利ハ之ヲ解消スルモノトス

(四) 主法ニ於テハ千九百七年ノ國民信託法ノ適用サルル信託財產ヲナス土地ノ取得ヲ認ムル規定ナキモノトス  
 千八百八十二年乃至千八百九十年ノ移住土地法ノ修正

第二十九條 千八百八十二年乃至千八百九十年ノ土地定着法ニ依リ終身小作人ニ附與セル權限ニハ更ニ次ノ權限ヲ包含セシムルモノトス

何時タリトモ定着地ノ一部ヲ無條件土地財產權若ハ絕對權ニテ讓渡スル權限又ハ一定期間無條件ニテ又ハ年金若ハ地代ノ名儀價格ヲ以テ又ハ千九百八年乃至千九百十九年ノ小農地及分課地法ニヨリテ合理的ニ取得シ得ル年金若ハ地代ノ最高價格以下ニテ貸貸スル權限、右ノ讓渡ハ以上ノ土地定着法ノ意義ニ於ケル賣却ト見做スモノトス但シ裁判所ノ命令ニ基ク場合ヲ除キ土地カ町ニ在ル場合ハ二英町以下教區ニ存在スル村ニ在ル場合ハ十英町以下小農地及分課地ニ關スル法律ノ目的ニ對スル權限又ハ千九百十九年ノ家屋、都市計畫其ノ他ニ關スル法律ニ依リ付與セル同様ノ權限ニ基キ勞働者ノ住宅建設又ハソレニ付屬スル庭園ノ設定其ノ他之ニ類スル目的ノ爲ニ右ノ制限ヲ超ヘテ讓渡又ハ貸貸セル土地ニ對シテハ其ノ全額ノ年金又ハ地代ヲ支拂コトナク讓渡又ハ貸貸セララルモノトス



國土保護條令ニ基キ取得セル土地ニ關スル規定

第三十條 (一) 疑議ヲ除ク爲ニ千九百十六年國土保護(土地取得)法第一條ハ國土保護條令2L及2Mニ依リテ附與

セラレシ權限ニ基キ農務水産省カ占有セル土地ニ對シテ適用サレ又現戰役終了後ハ主務省自ラ又ハ主務省ヨリ權利ヲ得シ者カ土地ヲ占有スル間右ノ法律ニ記載セル一定期間其ノ條件ニ從ヒ右ノ土地ニ關シテ主務省ハ以上ノ條令カ附與セル權限ヲ行使スル權利ヲ有スルコトヲ宣言ス

(二) 現戰争終了ノ際ニ地方官吏カ所有者若ハ占有者タル土地ニ關シ前條令2Lニ基ク權限ヲ行使シツツアル場合ニハ戰役終了後二ケ年間右ノ權限ヲ繼續シテ行使スルコトヲ得且該規則第六項ノ規定ヲ準用ス

費用

第三十一條 本法ニ基ク農務水産省ノ經費ニシテ國庫カ認可セル金額ハ他ニ別段ノ規定ナキニ限り本法第一款ノ爲要セルモノハ議會ノ協賛セル金額ヨリ其ノ他ノ規定ノ爲ニ要セルモノハ小農地會計ヨリ支拂フモノトス

解釋

第三十二條 (一) 本法中主法ヲ修正セルモノハ主法ト共ニ一ノ法律トシテ解釋スヘキモノトス主法又ハ主法ノ規定ニ對スル補足規定ハ文脈ニ矛盾ナキ限り主法若ハ本法ニ依リテ修正セラレシ主法ノ規定ニ對スル補足規定トシテ解釋スヘキモノトス

(二) 主法ニ基キ小農地トシテ設定サレ又ハ取得セラレシ土地ニ對スル補足規定ハ主法ニ依リテ廢止セラレシ法律ニ基キ小農地トシテ設定及取得セル土地ニ對スル補足規定ヲ含ムモノトシテ解釋スヘキモノトス

廢止

第三十三條 本法付款第三ニ掲クル法律ハ其ノ第三欄ニ掲クル範圍ニテ之ヲ廢止ス

名稱

第三十四條 本法ハ千九百十九年ノ土着(ヲ容易ナラシムル)法ト稱ス千九百八年及千九百十年ノ小農地及分課地法及夫レ等ノ法律ヲ修正セル本法ヲ合セ之ヲ千九百八年乃至千九百十九年ノ小農地及分課地法ト稱ス

附款第一 年金ニ關スル規定(省略)

附款第二 主法ニ於ケル小部分ノ改正

改正セラルル主法ノ規定

第九條

第二十三條

改正部分

第二項 (ロ)「貸付スルコト」ノ後ニ「又ハ賣却」ヲ挿入ス  
第一項 「勞働階級ノ爲ニ」「勞働階級ニ屬スル」及「及分課地ト爲スニ適當ナル土地ノ所有者トノ間ニ適當ナル地代及條件ヲ以テスル隨意契約ニ依リ取得スルト」ヲ削除ス

第三項 削除

第一項 「各町及村」ノ後ニ「……ニ於テ主法ニ基キ分課地ヲ貸付シ得ル人又ハ組合ニ依リテ」ヲ加ヘ(市ヲ除ク)ヲ削除ス

第四項 (市ヲ除ク)ヲ削除ス

第一項 「小作料ノ四分ノ一」ノ後ニ「(年小作料カ二十志又ハ其レ以下ナル場合ヲ除ク)」ヲ付加ス  
第四項 「參事會ノ同意ナキ場合ハ」ヲ加フ「一個以上ヲ貸付」ノ次ニ「又ハ賣却」ヲ挿入ス

第二十七條

第二十四條



- 第三十四條
- 第四十六條
- 第四十七條
- 第四十九條
- 第五十三條
- 第五十八條
- 付款第一第二部

附款第三 廢止法律

千九百八年小農地及分課地法

- 第一項 (英克蘭)ヲ削除ス
- 第二節(ロ)「小農地」ノ後ニ「又ハ分課地ノ設定サルル」ヲ加
- 第六節「經費」ノ後ニ「參事會カ考慮スル時又ハ」ヲ挿入ス
- 第四條 第三項 廢止ノ範圍
- 第六條 第四項
- 第七條 第三項
- 第八條

千九百六年小農地殖民法  
千九百十八年小農地殖民(改正)法

- 第九條 第一項 第三項
- 第十六條
- 第二十一條
- 第二十三條 「勞働階級」及「勞働者階級ニ屬スル」「及分課地ト爲スニ適當ナル土地ノ所有者トノ間ニ適當ナル地代及條件ヲ以テスル隨意契約ニ依リ取得スルコト」及第三項
- 第二十四條 「各町及村」
- 第二十七條 第二項
- 第三十一條
- 第三十三條 第三項
- 第三十四條ノ「勞働」ナル語
- 第四十一條 第三項
- 第四十九條 第三項「本法ノ規定ニ基キ」
- 第五八條 「英克蘭」
- 第一條 「現時ノ戰爭繼續中及其ノ後十二ヶ月間」
- 第一條 「但シ」ヨリ「同様ノ永小作ニテ」



## 第二 千九百十六年ノ小農地殖民法

(The Small Holding Colonies Act, 1916)

二六四

一時的移住小農地ニ對スル國家ノ土地取得及監理ヲ規定シ千九百九年ノ經濟發展及道路改良資金法ニ基キ一定官廳ノ土地取得及監理ニ關スル權限ヲ擴張シ其ノ他之レニ關聯セル他ノ目的ヲ規定スル法律 (千九百十六年八月二十三日)

第一條 (一) 現大戰ノ繼續期間中及平和克復後十二箇月間ニ於テ農務水産省(本法ニテハ單ニ主務省ト稱ス)ハ移住小農地ヲ設定スル爲メ國庫ノ協賛ヲ經テ主務省ノ意見ニ於テ該目的實施ニ適當ト認メタル土地ヲ協議ニ依リテ取得スルコトヲ得

(二) 本法ニ依リ小農地設定ノ爲メ主務省ニ於テ其ノ土地ノ全部若ハ一部ヲ利用セムトスル場合主務省若ハ主務省ノ請求ニ依ル地主ハ本法ノ施行前或ハ後ニ於テ小作人ニ立退ノ申込ヲ爲シ小作契約ヲ解除スルコトヲ得右ノ場合立退ヲ申込マレタル小作人ハ小作契約ノ解除ニ依リ小作人カ家具、農具、生産物、農場飼育家畜又ハ耕作ニ使用セル家畜ノ賣却又ハ移轉ニ關シ直接蒙レル損害及費用ノ賠償ヲ受クル權利ヲ有ス但シ如何ナル賠償モ次ノ場合ニ於テハ本項ニ依リ支拂ハレサルモノトス

(イ) 小作人カ前記ノ家具、農具、生産物及家畜ノ評價ヲ爲ス適當ナル機會ヲ主務省ニ與ヘサリシ場合

(ロ) 小作人カ耕地立退後三箇月以内ニ賠償ノ請求ヲ提出セサル場合

本項ノ處定事項ニ關シテ異議ノ生シタル場合ニ協議ノ成立セサルトキハ小農地維持ニ關スル千九百八年ノ法律ニ依ル一人ノ仲裁裁判人ニ依リ決定セラルルモノトス且本項ノ適用セラルル場合ニ於テハ農業小作地ニ關スル千九百十四年ノ法律ニ依ル賠償金ハ支拂ハレサルモノトス

(三) 本條ノ目的ニ依リ主務省ニ於テ取得シ得ラルル土地ノ總面積ハ當分ノ間「イングランド」ニ於テハ四、五〇〇

英町(「モンマウントシャー」ヲ除ク)「ゴール」及「モンマウントシャー」地方ニ於テハ二〇〇英町且全體トシテハ六、〇〇〇英町ヲ超過シ得サルモノトス取得セラレタル土地ニ移住セシムヘキ者ノ選擇ニ當テハ主務省ハ今次ノ大戰中ニ陸海軍ニ服役シタル者ニ優先權ヲ賦與スルモノトス

(四) 本法ニ依リ協議上土地ヲ取得スル爲メニハ土地附屬法ノ規定中協議以外ノ方法ニアル土地ノ購買及取得ニ關スル規定、餘剩地販賣ニ關スル規定及共有地若ハ荒蕪地ニ關スル規定ヲ除イテハ本法ニ準用セラルヘシ

(五) 本法ニ依リ主務省ニ於テ取得シタル土地ノ常備農業労働者カ前記ノ土地收用ノ結果トシテ其ノ労働ヲ奪ハレタルコト及同地方ニ於テ該労働者カ同等ノ報酬ヲ得ヘキ同種ノ労働ヲ見出し得サルコトヲ主務省ニ明ニ證明シタル場合主務省ハ該労働者ノ失業ノ損害又ハ他ノ地方ニ移動スル費用ヲ適當ニ評價シテ該労働者ニ賠償スルモノトス而シテ右賠償額ハ土地購買費ノ一部分ト見做スモノトス

第二條 國庫ノ協賛ヲ經テ及國庫ノ規定セル制限内ニ於テ主務省ハ協同若ハ結合ヲ基礎トシ其ノ目的若ハ目的ノ一部分トシテ本法ノ規定ニ依ル小農地ノ設定又ハ日常品ノ購買、生産物ノ販賣、信用、保險及其ノ他ノ凡ユル生活形態ニ關スル公益手段ノ經營ヲ爲ス組合ノ設置及擴張ヲ奨励スヘシ且主務省ハ該組合ヲ補助金及貸付ニ依リ若ハ主務省カ適當ト推定セル利率及償還ノ方法及抵當ヲ條件トシテ組合ト契約セル貸金ヲ保證シテ助成スヘシ適當ト認メタル場合ニ於テ主務省ハ本法ニ依リ設定サレタル移住小農地ノ全部又ハ一部分ヲ適當ト認メタル條件ニ於テ前記組合ニ移換スルコトヲ得但シ移換地ノ全價格ノ支拂ニ關シテ國庫ノ協賛ヲ經テ主務省ニ於テ定メラレタル條件ニ依ル協議非サレハ該種ノ土地移換ヲ爲スコトヲ得ス

第三條 本法及千九百九年ノ經濟發展及道路改良資金法ニ依リ主務省ニ與ヘラレタル土地ノ取得權ハ協議上土地ヲ賃借

二六五



スル權利又ハ土地ノ購買若ハ賃借スルノ選擇權ヲ含ム

第四條 (一) 本法實施ノ前後ニ拘ラス主務省ハ本法及千九百九年ノ經濟發展及道路改良資金法第一章ニ依リ取得セル土地ニ關シテ次ノ如キ權能ヲ有ス

(イ) 土地ノ賃借若ハ監理ヲ爲スコト又ハ土地加工其ノ他ノ方法ニ依ル土地ノ改良ヲ爲スコト

(ロ) 前記土地ノ永代負擔ノ如キ抵當付土地ノ解放

(ハ) 國庫ノ協贊ニ依テ土地ノ賣却及交換ヲ爲スコト小農地希望者ニシテ國庫ノ指定セル年賦償還其ノ他ノ方法ニ依リ支拂ヒ得ル者ニ小農地ヲ賣却スルコト

(ニ) 主務省カ本法ニ依リ小農地ヲ賣却スル場合小農地及分課地ニ關スル千九百八年ノ法律ノ參事會ニ依ル小農地賣却ニ關スル第十二條ノ規定ハ新ニ公布セラレタルモノト見做シ必要ナル修正ヲ爲シ本法ニ準用セラルルモノトス

第五條 (一) 千九百九年ノ經濟發展及道路改良資金法ニ基キ取得シ又ハ取得スヘキ土地ニ關シ本法ニ依ル權能ヲ實行スルニ要シタル費用ハ該法規定ノ目的ノ爲ニ主務省ニ爲サルル貸付金ヨリ支辨ス而シテカカル土地ニ關シ主務省ノ受領セル金額ハ國庫ノ指定ニ依リ處分スヘシ

(二) 本法ニ依リ取得セル土地ニ關シ本法所定ノ權能實施ニ付キ要シタル費用又ハ受ケタル金額ハ小農地會計ヨリ支出シ又ハ小農地會計ニ納入スヘシ

第六條 本法ニ依リ土地ヲ購入又ハ賃借スル場合ニハ主務省ハ購入又ハ賃借ノ際租稅ノ基礎トナルヘキ價格又ハ地代ヲ決定シ記録スヘシ此等ノ詳細ハ價格又ハ地代ノ額ト共ニ議會ニ提出スヘキ年報告中ニ記載スヘシ



但シ購入シ又ハ賃借セル土地カ價格決定單位ノ一部分ニ過キサル場合ニ於テハ該土地分割後ニ於ケル各部分間ノ評價ノ割合ヲ示セル說明ヲ附スヘシ

第七條 (一) 主務省ニヨリ取得サルコトニ決定セル土地ヲ賣ル權利ヲ有スルモノハ(何等カノ同意又ハ條件ニ從フト否トニ不拘)前記ノ同意又ハ條件ニ從ヒ買戻權又ハ其ノ他ノ共通契約ノ條件ニ依リ保證セラレ又ハ契約更新ノ權利ヲ附シ又ハ附セスシテ其ノ土地ヲ主務省ニ永久的ニ讓渡シ又或ル年限ヲ附シ小作料又ハ其ノ他ノ地代ヲ支拂フ小作契約ヲ爲スコトヲ得

但シ賣却權カ千八百八十八年乃至千八百九十年ノ移住土地法ニ依リ生シタル場合ニ於テハ本法ニ依リ與ヘラルル權利ハ該法律ノ目的ニ依ル移住受託者ノ同意又ハ裁判所ノ認可ニ依リテノミ行使スルコトヲ得

(二) 本法ノ規定ハ王權又ハ「ランカスター」公ノ權利ニ於テ皇帝ニ屬スル土地及「コールンオール」公ニ屬スル土地ニ擴張適用スルコトヲ得

第八條 (一) 本法及本法ニ準用サルヘキ土地歸屬法ノ目的ノ爲ニ「土地」ト云フハ地上及地下ニ於ケル總テノ權利及地役權ヲ含ム又「小農地」ナル語ハ小農地及分課地法ニ於ケルト同一ノ意義ヲ有スルモノトス

(二) 本法ニ依リ與ヘラルル權能ハ本法實施前ニ主務省ノ實施シ得シ權能ニ加重スルモノニシテ夫レニ代ルモノニ非ス

(三) 主務省ニ土地ヲ賣リ主務省ヨリ買ヒ又ハ交換スルモノハ國庫規則ニ規定セラレタル條件ニ從ヒシコトノ證明、國庫ノ同意ノ證明ヲ要求スル權利ヲ有セス又其レ等ノ條件ニ從ハサリシコト又ハ同意ヲ得サリシコトニ依リテ影響サルルコトナシ



第九條 千八百二十八年ノ稅務法律顧問官法及千八百四十三年ノ辯護士法第四十七條（各省法律顧問官ニ關スル法律）ハ上記法律所定ノ各省法律顧問ニ適用スルト同様ニ主務省ノ法律顧問ニ擴張適用ス

第十條 主務省ハ各移住地ノ財政状態ヲモ包含スル本法施行狀況年報ヲ議會ニ提出スヘシ

第十一條 本法ハ次ノ如ク變更シテ「スコットランド」ニ施行ス

(イ) 「スコットランド」農務省ハ農務水産省ニ代ル *arbitrator* ハ *arbitrator* ニ代ル千九百八年ノ農地法（「スコットランド」ハ千九百八年ノ農地法ニ代ル「スコットランド」農業基金ハ農地會計ニ代ル *assessment* ハ *Serviende* ヲ意味シ小農地ハ千九百十一年ノ「スコットランド」自作小作者法第三十三條ノ規定ノ小農地ヲ意味ス

(ロ) 本法第四條(ロ)號、第七條及第九條ハ適用セス

(ハ) 本法第一條ノ爲ニ「スコットランド」農務省ノ取得スヘキ土地ノ總面積ハ當分ノ間二千英町ヲ超ユルコトヲ得ス而シテ其ノ四分ノ三ハ耕作地トシテ開墾スルニ適スル土地タルヘシ

第十二條 (一) 本法ハ千九百十六年ノ小農地殖民法ト稱ス

(二) 本法ハ愛爾蘭ニハ施行セス

### 第三 千九百十九年土地獲得（補償額評價）法

(The Acquisition of Land (Assessment of Compensation) Act, 1919)

公共目的ノ爲ニ強制的ニ取得セル土地ニ對スル補償評價ニ關スル法律ヲ修正シ及其ノ手續ノ費用ヲ定ムル法律（千九百十九年八月十四日）

第一條 (一) 法律ニ基キ（該法律ハ本法ノ通過ノ前ニ制定サレタルト通過後ニ制定サレタルト問ハス）土地カ政府

(Government Department) 地方自治體又ハ公共團體ニ依リテ強制的ニ取得セラルルコトヲ決定サレタル場合ニ於テ論議セラルル賠償金問題及取得セラルヘキ土地部分カ取得セラレサル土地ヲ含ム賃貸契約ニ從フ場合ニ於テ該賃貸契約ニ基キ支拂ハルヘキ地代ノ割當ニ關スル問題ハ本條ニ依リテ附託委員會ノ作成セル細則ニ從ヒ選舉セラルルコトヲ規定シタル本條ニヨリ指命セラレタル法定仲裁々判機關 (Official arbitrators) ノ審判員ノ一名ノ仲裁々判ニ附託シ且決定サルモノトス

(一) 土地評價ニ對シ専門的智識ヲ有シ且附託委員會ニヨリ「イングランド及ウエールス」「スコットランド」及「アイルランド」ニ對シテ指命サレタル人々ハ夫レ夫レ「イングランド及ウエールス」「スコットランド」及「アイルランド」ニ於テ本法ノ爲ノ法定仲裁々判人トシテ行動スヘキ審判員ヲ構成スルモノトス但シ「イングランド及ウエールス」ニ於ケル右ノ審判員構成員中少ナクトモ其ノ一名ハ「ウエールス」ノ土地評價ニ對シテ特別ノ智識ヲ有シ且「ウエールス」語ニ堪能ナルモノタルコトヲ要ス

(二) 法定仲裁々判機關ノ一員トシテ指命サレタルモノハ彼ノ任命前ニ大藏省ニヨリ決定サレタル事項ニ關スル事務ヲ擔任シ而シテ事務擔任中ハ個人的事業又ハ營業ニ從事シ又ハ他人ノ營ムソレニ參加シ得サルモノトス

(三) 法定仲裁々判人ニ對シテハ國會ノ協賛ヲ經タル經費中ヨリ大藏省ノ定ムル報給及手當ヲ給スルモノトス

(四) 附託委員會

- (a) 「イングランド及ウエールス」ニ於テハ英克蘭控訴院判事長 Master of Rolls (控訴院判事ノ一人ニシテ國璽ヲ押捺シタル公文免許狀又ハ大法官裁判所ノ記録ヲ保管スル官吏) 及會計検査院長ヲ以テ組織ス
- (b) 「スコットランド」ニ於テハ高等法院長、高等刑事裁判所長及検査院スコットランド委員會ノ委員長ヲ以テ組織ス



(c) 「アイルランド」ニ於テハ「アイルランド」控訴院判事長アイルランド、マスター、オブ、ロールス及會計検査院長又ハ(検査院長カ適當ト認ムルトキハ)該検査院評議會ノ一員ニシテ「アイルランド」土地評價ニ特別ノ智識ヲ有シ右ノ検査院長ニ代ルヘク任命サレタルモノヲ以テ組織ス

第二條

賠償金ノ評定ニ關シテハ法定仲裁々判人ハ次ノ規定ニ從ツテ爲スヲ要ス

(一) 強制的ナル取得ニ對シテ何等ノ斟酌ヲ爲ササルモノトス  
(二) 土地ノ價格ハ以下規定スル處ニ從ヒ該土地カ自由市場ニ出サレタル場合ニ自ラ進ンテ賣ラントスル賣人ニ依テ換價サルヘク豫期サルル金額ニ據ルヲ要ス但シ仲裁々判人ハ請求者ニ依リ主張サレ又ハ同意サレタル課税ノ爲ノ資本價值ニ對スル凡ユル利潤(Return)及其ノ評定額ヲ考慮スルノ權能ヲ有ス

(三) 一定ノ目的ニ對シテ有スル土地ノ特別ナル適當性ニ關シ若シ或目的ニ對スル適當性カ法律の權力ノ適用ニ依テノミ採用サレ得ルモノナルカ又ハ其ノ適當性カ特別ナル購買者ノ特別ナル必要又ハ政府若ハ地方自治體又ハ公共團體ノ要求ヲハナレテハ何等ノ市場ヲ見出シ得サルカ如キモノナル時ハ之ヲ考慮ニ入レサルモノトス但シ仲裁々判人ノ關與ヲ認メ得ルコトトセル本法ノ通過前ニ於ケル善意ノ土地購買申込ハ考慮サルルモノトス

(四) 裁判所ニ依リテ禁セラルヘキ方法ヲ以テ其ノ土地又ハ其ノ地上ニ存スル家屋ヲ使用シ之カ爲ニ土地ノ價值ノ增加ヲ來シタルトキ或ハ法律ニ違反シタルトキ若ハ其ノ使用法カ家屋内ノ同居人ノ健康又ハ公衆衛生ニ有害ナルトキハ其ノ爲ニ増加セル價格ハ之ヲ考慮ニ入レサルモノトス

(五) 強制的取得ヲ爲サル場合ノ外土地カ一般的需要又ハ市場ヲ求メ得サルカ如キ目的ニ對シテ提供サレタル場合ニ法定仲裁々判人カ他ノ場所ニ於ケル土地回收カ善意ヲ以テ試ミラレタルモノナルコトヲ認メタルトキハ其ノ賠償

金ハ等價ノ回復ニ對スル正當ナル費用ヲ基礎トシテ評定スルコトヲ得

(六) 第二項ノ規定ハ權利侵害ニ對スル賠償金ノ評定又ハ直接土地價格ニ基礎ヲ置カサル事項ニハ之ヲ適用セザルモノトス

本條ノ目的ノ爲ニ法定仲裁々判人ハ彼ノ要求シ得ル利潤ト評定額ヲ提出セシムル權能ヲ有スルモノトス

第三條 (一) 法定仲裁々判人ニ對スル訴訟手續ニ於テ法定仲裁々判人カ他ノ方法ヲ命セサル限りハ當事者一方ノ一人

ヲ超エサル熟練ナル證人ハ聽キ取リニ服スルモノトス

但シ請求カ土地ニ關スルト同時ニ鑛物又ハ營業妨害ニ關スル賠償ノ請求ヲ含ムトキハ鑛物ノ價格又ハ必要ノ場合ニヨリ權利侵害ニ因リ蒙リタル損害ニ對シ更ニ一名ノ當事者一方ノ熟練ナル證人ニ就キ聽取スルヲ得

(二) 法定仲裁々判人ハ其ノ委託サレタル事件ノ調査ニ着手スル前ニ之ヲ告示スルヲ要セス

(三) 法定仲裁々判人ハ當事者一方ノ申込アリタルトキハ特殊ナル審議決定事項ニ關シテ審議決定爲シタル金額ヲ明示スルヲ要ス

(四) 法定仲裁々判人ハ彼ニ委託サルヘキ手續中ノ目的物ナル土地ニ立入り又ハ調査スル權限ヲ有ス

(五) 本法ニ基ク訴訟手續ハ法定仲裁々判人ニ依リ公判ニ於テ聽取サルヲ要ス

(六) 法定仲裁々判人ニ對スル手續ニ關スル手数料ハ大藏省ノ指定スルトコロニ據ル

(七) 前記ニ從ヒ附託委員會ハ法定仲裁々判機關ニ對スル附託手續ヲ規定スル細則ヲ作成スルコトヲ得

第四條 取得セラルヘキ土地上ノ數種ノ權利ノ取得ニ關スル通告カ通達セラレタル場合ニハ右ノ權利ニ對シテ權利ヲ有



スル人々ノ主張ハソレカ實際的ニシテ且當事者間ニ協定ヲ見ス而シテ取得團體カカク要求スル限りハ同一法定仲裁々判人ニヨリテ聽取サレ且決定サルルモノトス而シテ附託委員會ハ右ノ主張ハ同時ニ聽取セラルヘキモ土地ニ附隨スル新種ノ利益ノ價值カ市場價值ヲ有スルトキハ各別ニ算定スル旨規定スルヲ得

第五條

(一) 取得團體カ書面ヲ以テ請求者ニ對シテ支拂フ賠償金ノ高ニ關シテ無制約ノ申込ヲ爲シタル場合及右ノ請求者ニ對シテ法定仲裁々判人ニヨリ審議決定サレタル金額カ申込金額ヲ超過セサル場合ハ法定仲裁々判人ハ彼カ特別ノ事情ニヨリカクスルヲ順當ナラスト考ヘサル以上ハ請求者ニ對シテ彼自身ノ費用ヲ負擔シ及申込ヲ爲シタル後ニ起サレタル取得官廳ノ費用ヲ支辨スルコトヲ命スルコトヲ得

(二) 法定仲裁々判人ハ請求者カ取得團體ニ對シテ彼ノ請求スル金額ヲ記載シタル通告ヲ交附スルコトヲ怠リテ該取得團體カ本質的ナル申込ヲナシ得ルニ充分ナル委細ト充分ナル時間ト與フルコトヲ等閑ニ附シタリト認ムル時ハ本條ノ上記ノ諸規定ハ恰モ法定仲裁々判人ノ意見ニヨリ充分ナル詳報カ提出セラレ且請求者カ右ノ申込額ヲ超過セサル額ヲ審議決定セラレタル時ニ取得團體ニ依テ無制約ナル申込ヲ爲サレタル場合ト同一ニ適用ス

請求書ハ其ノ中ニ賠償金ノ主張サルル利益ニ關スル正確ナル性質ヲ記シ尙賠償額ヲ各口別ニ區別シ且各口ニ依テ主張サレタル額カ如何ナル計算ニ據リシモノナルカヲ記シテ賠償金ニ關スル委細ヲ記スヲ要ス而シテ右ノ請求書カ交附サレタル時ハ取得團體ハ其ノ交附後六週間内ニ請求者又ハ其ノ他取得ヲ受ケタル土地ニ權利ヲ有スル人々ニ通達セル通告書ヲ撤回スルコトヲ得但シ取得團體ハ右ノ通達アリタル後撤回サレタル通告書ニヨリテ蒙レル損失及費用ヲ右ノ請求者或ハ他ノ者ニ對シテ賠償スルノ責任ヲ負フモノトシ而シテ其ノ額ハ契約ナキトキハ法定仲裁々判人ニ依テ決定サルルヲ要ス

(三) 請求者カ書面ヲ以テ賠償金トシテ一定金額ヲ受領スル旨ノ無制約ナル申込ヲ爲シ且前項ノ規定ヲ承諾シ而シテ審議決定サレタル金額カ其ノ金額ニ等シキカ或ハソレヲ超過スル場合ハ法定仲裁者ハ彼カ特別ノ理由ニ因リカクスルコトヲ適當ナラスト考ヘルニ非サル限リハ取得團體ニ對シ彼等ノ費用ヲ負擔シ且請求者ノ費用ニ對シ右ノ費用カ申込ナシタル後ニ起リタルモノナル以上ハ之ヲ支拂フコトヲ命スルヲ要ス

(四) 前掲ニ從ヒ本法ニ基ケル仲裁々判ノ費用ハ法定仲裁々判人ノ裁斷ニヨルモノトス彼ハ(仲裁々判人ハ)何人ニ對シ何人ニヨツテ費用ノ如何ナル部分ヲ如何ナル方法ヲ以テ拂ハルヘキカヲ指定シ且場合ニヨリ辯護人(委員會)ノ費用ヲ許可セサルコトヲ得

(五) 法定仲裁々判人ハ其ノ支拂ヲ命スル費用ノ額ヲ算定シ且如何ナル方法ニ依リ其ノ費用ヲ算定スヘキカヲ監督スルヲ得

(六) 法定仲裁々判人カ請求者ニ對シテ取得團體ノ右ノ費用又ハ其ノ一部ヲ支拂フヘク命シタル場合ハ取得團體ハ請求者ニ依テ支拂フヘキ額ヲ彼ニ對シテ支拂ハルヘキ賠償金中ヨリ引キ去ルコトヲ得

(七) 回收ニ對スル他ノ方法ニ就キ何等ノ偏見ナク請求者ニ對シテ支拂ヲ命シタル諸經費ノ額或ハ前述セルカ如キ差引ニ依リテハ蓋ハレサルカ如キ其ノ部分ハ取得團體ニ依テ市債トシテ直チニ後ヨリ回收サルルヲ要ス

(八) 本條ニ於イテ諸經費トハ手数料、税及仲裁々判或ハ審判ニ關スル費用ヲ含ム

第六條 (一) 事實問題ニ對シテ法定仲裁々判人カ與ヘタル決定ハ最終ノモノニシテ當事者及其ノ下ニ主張スル者ヲ夫々拘束スルモノトス但シ法定仲裁々判人ハ高等法院ノ指示アル時ハ附託手續ノ途中ニ於テ起リタル法律問題ヲ高等



法院ノ意見ニヨリ特別ナル場合ノ形式ニ從ヒ該手續ノ途中ニ於テモ定ムルコトヲ得而シテ高等法院ノ意見ニヨリ特別ナル場合ノ形式ニ從ヒソレニ關スル全部又ハ一部ニ對スル審議決定ヲ爲スコトヲ得

(二) 凡ユル事件ニ對シテ高等法院ノ與ヘタ決定ハ最終ノ決定的ノモノトシ他ノ裁判所ニ上訴スルヲ得サルモノトス

第七條 (一) 土地取得ヲ決定セル本法又ハ命令ノ規定又ハ其ノ併合法ニ伴フ規定ハ本法ニ關連セル事件ニ對シ本法ニ依ル效果ヲ有スルモノトシ本法ト矛盾スル場合ハ之等ノ規定ハ其ノ效果ヲ消滅シ又ハ有セサルモノトス

但シ賠償額評定規則ニ關スル本法ノ規定ハ一八九〇年ノ勞働階級住宅法第一部又ハ第二部ノ目的ノ爲ノ土地價格ノ評定又ハ一九一六年ノ「リールム」(土地獲得)ノ保護法及夫等ノ修正法ニ包含セラルル土地ノ價格ノ評定ニ關シテハ適用サルコトナシ若シ夫等法律ノ規定カ本法ノ規定及其ノ後ノ制定ニヨリ改正サレタル一八九〇年ノ勞働階級住宅法(四、五、二九及三十一節ヲ除ク)第二附款ニ矛盾スル場合ハ法定仲裁々判人ニ對シ之等規定ヲ該附款ニ依リテ任命セラレタル仲裁々判人ニ對スルト同様ニ適用スルモノトシ法定仲裁々判人ハ此等ノ規定ニ依リ右ノ仲裁々判人ニ與ヘラレタルアラユル權利ヲ行使シ得ルモノトス

(二) 本法ノ諸規定ハ千九百八年ノ小農地及分貸地法及其ノ修正法ニ依リテ強制的ニ賃借サルルコトヲ決定サレタル土地ニ對シテ支拂フヘキ地代或ハ賠償金額ノ決定ニ對シテ適用サルルモノトス而シテ右ノ諸法律ニ於テ農業水産省ニヨリテ任命サレタル評定官ニ依リ決定セラルヘシトセル事項ハ本法ニヨリ法定仲裁者ノ決定スモノトス

第八條 (一) 本法ノ規定ハ當事者ノ合意アル時ハ論争サレタル賠償金或ハ地代ノ割當ニ關スル問題ヲ内地歲入委員或

ハ當事者間ニ於テ合意選擇セル仲裁々判人ニ附託スルコトヲ防ケス

(二) 問題カ内地歲入委員會ニ附託サレタル場合ハ該委員會ハ之ヲ仲裁々判ニ依テ處置スルヲ得ス本法ニ依ル賠償金評定ノ規定ニ從ツテ爲サルル評定ヲ爲スヲ要ス而シテ次ノ規定ヲ適用スルモノトス

(a) 當事者ハ報告(口頭又ハ書面)ノ提出及記録ノ作成ニ關スル指示又ハ要求ニ從フコトヲ要ス

(b) 此ノ目的ノ爲ニ指定サレタル委員會ノ役員ハ彼ノ附託ニ供セラレタル土地ニ立入り又ハ調査スルノ權能ヲ與ヘラルルモノトス

(c) 當事者ノ一方ヨリ委員會ノ認可スル期間内ニ要求アリタル時ハ委員會ハ該當事者ノ一方ニ對シ彼カ委員會ノ其ノ目的ノ爲ニ指定シ得ル委員會評定局ノ役員ノ前ニ於テ陳述スルノ機會ヲ與フルヲ要ス

(d) 評定ハ決定アリタル時ニ於テ之ヲ當事者ニ公表スルヲ要ス而シテ之ニ依テ評定ハ本法ニ依ル仲裁々判人ノ審議決定シタルノ效果ヲ有スルモノトス

(e) 若シ當事者ノ一方カ委員會ノ指示又ハ要求ニ服從スルコトヲ拒絶シ又ハ失念シタル時ハ委員會ハ事件ノ進行ヲ拒絶スルコトヲ得其ノ場合ニ於テハ該問題ハ仲裁々判人ニ附託セラレ該委員ニ附託ナキ場合ト同一トス

而シテ仲裁々判人カ經費ノ審議決定ヲ爲スニ際シテハ彼ニ屬スル右ノ附託ヲ必要ナラシメタル拒絶又ハ失念ニ關スル委員會ヨリノ報告ヲ考慮ニ入ルルヲ要ス

(三) 問題カ本條ノ第一項ニヨリ仲裁々判人ニ附託セラレタル場合ハ本法ノ規定ハ第一條、第四條及公表サルヘキ要求手續ニ關スル範圍ノ三條ノ一部及手数料ニ關スル規定ヲ除キ仲裁々判人ヲ法定仲裁判人トシテ適用サルヘキモノトス



(四) 當事者ノ一方ハ賠償金ノ主張ニ關シ該主張ノ起レル土地ノ價格ノ評定ヲ内國歲入委員會ニ要求スルコトヲ得而シテ右ノ評定ノ寫本ハ直チニ委員會ニ依テ他ノ當事者ノ一方ニ送附サレ且右ノ評定ニ關スル公證寫本ハ法定仲裁人ニ屬スル手續ニ於テ右ノ價格ニ對スル證明ヲ以テ認可サルルヲ要ス而シテ評定ヲ爲シタル役員ハ法定仲裁裁判人ノ請求アル時ハ法定仲裁人ノ彼ニ對シテ爲シタル諮問ニ對シ回答ヲ與ヘル爲出頭スルヲ要ス

第九條 法定仲裁人ハ必要ナル人物ヲタノミテ政府又ハ地方自治體又ハ公共團體ニ對シテ賣却サルヘキ土地ノ價格ヲ確定スル事ヲ得カクテ決定サレタル價格ニヨル政府或ハ團體ニ屬スル土地ノ賣却ハ正當ニ得ラルヘキ最モヨキ價格ニヨル賣却ト認メラルルコトヲ要ス

第十條 (一) 本法ノ規定ハ購入ヲ有效ナリト認ムル場合ヲ規定スル法令規定ニ依リ法定事業ノ全部又ハ一部ヲ購入スル場合ニ對シテハ之ヲ適用セサルモノトス

(二) 本條ニ於テ法定事業トハ議會ヲ經タル法律又ハ法律ト同一效果ヲ有スル命令ノ規定ヲ包含ス

第十一條 (一) 本法ハ次ノ制限ニ從ヒ「スコットランド」ニ適用スルモノトス

(a) 本法中賠償額ノ評定規則ニ關スル條文以外ノ規定ハ一九一一年ノ小農地所有者ニ關スル法律(スコットランド)ノ第七條第一項又ハ第十七條ニヨリ仲裁人ノ附託セラレタル問題ノ決定ニ對シテ適用シ恰モ「スコットランド」農務局カ取得團體タル場合及前記一ノ項ニ於テ Dr. Lord Ordinary on the Bill 或ハ Lord Ordinary ニ代ルリ(Lord Ordinary)カ最近附託サレタル場合ヲ除キ「スコットランド」附託委員會ノ作成セル規定ニヨリ指命サレタル人物ヲ以テシタル場合ト同一トス而シテ該法律ノ規定ハソレニ依テ適用サレタル一九八年ノ農業保有地法「スコットランド」ノ第二附款ヲ含ミ右ノ決定ニ關シテ本法ノ前記ノ規定ニ從ヒ效力ヲ有スルモノトス

(b) 高等法院トハ控訴院ノ分院ヲモ意味シ仲裁人トハ仲裁者ヲ earner トハ地役權ヲ示ス

(二) 本法ハ次ノ制限ニ從ヒ「アイルランド」ニ適用ス

本法ノ規定ハ「アイルランド」土地委員會或ハ「アイルランド」ニ於ケル稠密地方局カ法律又ハ一八八五年ノ勞働者法(アイルランド)ニ包含セラルル特別規定及一定年間是等ノ法律ニ基テ土地カ強制的ニ取得セラルル場合ノ「アイルランド」土地委員會ノ裁判權ニ關シテ改正セル同法ノ修正法ニヨリテ支拂フ土地ノ強制取得ニ對スル價格又ハ賠償金ノ決定ニハ適用サレサルモノトス

第十二條 (一) 本法ハ一九一九年ノ土地獲得(賠償額評定)法ト稱シ一九一九年九月一日ヨリ施行スルモノトス而シテ其ノ日以前ニ仲裁人ノ指定評價其ノ他問題ヲ決定スヘキ裁判力完了セル場合又ハ審判官カ其ノ目的ノ爲ニ登録サレタル場合ニ於ケル問題ノ決定ニ對シテハ適用サレサルモノトス

(二) 本法ノ目的ニ於テ土地トハ水及土地ニ對スル總テノ權利及土地又ハ水ニ關シテ存在スル地役權ヲ含ミ公共團體トハ收容目的トセサル人的團體ニシテ鐵道運河船渠水利其ノ他ノ公共事業ノ遂行ニ關スル法律ニヨリ認可サレタルモノヲ云フ

### 第四 千九百二十三年農業信用法

(Agricultural Credits Act, 1923)

一定ノ農業上ノ目的ニ對スル金錢ノ貸附及信用ノ附與ヲ助成シ千八百六十四年ノ土地改良法ヲ改正シ及之レニ關係アル事項ニ關スル法律(千九百二十三年七月一日)

第一條 (一) 公共事業資金貸附委員ハ本法通過後五箇年以内大藏省ノ定ムル條件ニ從ヒ大藏省ノ認ムル總額ニ達スル



迄千八百七十五年ノ公共事業資金貸付法ノ規定ニシテ本法ノ修正シタル所ニ從ヒ認可組合ニ對シ其ノ組合カ本條ノ適用アル抵當(右ノ抵當ヲ以下認定抵當ト指稱ス)ニ前貸ヲ爲スニ必要ナル資金ヲ隨時貸付シ及貸付ノ際取得セル抵當カ認定抵當タリシカ又ハ其ノ後ノ變更ニ依リ認定抵當トナリタルモノヲ擔保トシ貸付ヲ爲スカ爲ニ調達シタル資金ヲ補充スルカ爲ニ其ノ組合ニ貸付ヲ爲スコトヲ得公共事業資金貸付委員會ハ又直接借入者ニ認定抵當ニテ前貸ヲ爲シ若ハ隨時認定抵當ヲ取得スルコトヲ得

(一) 認定抵當タルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

(イ) 借入者ハ千九百十七年四月五日以後千九百二十一年六月二十七日以前ニ於テ該抵當中ニ包含セル土地ヲ購入スルコトヲ契約シタルモノ又ハ其ノ相續人、遺産相續人又ハ其ノ代理人タルコトヲ要ス

(ロ) 抵當中ニ包含セラレタル土地ハ其ノ全部若ハ大部分カ農地タルコトヲ要ス

(ハ) 抵當ニ依リテ保證セララルル價額ハ當該委員カ貸付ヲ爲シ又ハ抵當ヲ讓受ケタル時ニ於ケル右ノ委員ノ満足スル程度ニ確認セラレタル土地ノ價額ノ七十五%ヲ超過スル事ヲ得サルカ又ハ右ト同一ノ日ニ於テ所得稅法附款「A」ノ目的ノ爲ニ確認セラレタル土地ノ年價格ノ三十倍ニ等シキ價額ヲ超過スルコトヲ得サルモノトス

(ニ) 抵當ニ對シテ支拂フ利率ハ大藏省ノ定ムル利率ヲ超過スルコトヲ得ス

(ホ) 抵當ニ依リテ保證セラレタル金額及其ノ利息ハ六十箇年內ニ未償還元金ニ對スル利息及貸付シタル元金ト同額ノ年賦拂若ハ半年賦拂ヲ以テ償還シ又ハ利息ト共ニ同額ノ元金ヲ毎年若ハ每半年毎ニ償還スヘシ

(ヘ) 抵當ニ包含サレタル土地ハ土地改良費又ハ議會ニ依リテ協賛セラレタル法律ニ依リテ優先權ヲ認メラレタル費用ヲ除クノ外抵當ニ優先スル負擔ヲ有セサル自由保有地若ハ登録小作權地タルコトヲ要ス

(三) 貸付委員ヨリノ認可組合ニ對スル貸付ハ組合カ他ノ保證ヲ附シ若ハ附セスシテ提供セル認定抵當ヲ擔保トシ且

當時右ノ抵當ニ依リ保證セラレタル金額ト同額迄トシ且貸付ヲ爲シタル日ヨリ六十年內ニ於テ委員ト組合間ノ合意ヲ以テ定メタル期間內ニ償還スヘシ

(四) 認定抵當ニ前貸セル認可組合ヨリノ貸付金ハ當該抵當ニ課セラレタル所得稅ヲ控除シタル後組合ニ尙純利息ヲ生スルカ如キ年利率ヲ以テ貸付スヘシ

(五) 本條ニ於テ「認可組合」ト稱スルハ本法ノ目的ノ爲ニ大藏省ニ依リテ認定セラレタル組合ニシテ營利ノ取引ヲ爲サス又ハ組織其ノ他ノ事項ニ依リ貸付金ニ對スル利率及組合員ニ對スル利益配當カ大藏省ノ規定ニ從フヘク制限セラレタル組合ヲ指稱シ借入者トシテ「人」ノ中ニハ千八百八十九年ノ解釋法第十九條ノ效力ニ依ル解釋ニ關セス千八百九十三年乃至千九百十三年ノ産業及經濟組合法ニ依リテ登記セラレタル組合ニシテ其ノ目的ノ一部若ハ全部トシテ小農地又ハ分課地ノ規定ヲ有スル組合ヲ包含ス

第二條 (一) 農務水産大臣(以下單ニ主務大臣ト稱ス)ハ農業的信用組合即チ主務大臣ノ認可ヲ受ケ千八百九十三年ノ産業及經濟組合法ニ依リ登記セラレ且其ノ目的ノ全部若ハ一部トシテ主務大臣ニ依リテ認可サレタル農事上ノ目的ニ對シ組合員ニ五箇年以内ニ償還スヘキ資金ノ貸付ヲ爲ス組合ノ設立及振興ヲ圖ルカ爲ニ實行シ得ヘキ手段ヲ講スヘシ

(二) 主務大臣ハ本法通過後三年以内又ハ大藏省ノ規定スル其レ以上ノ期間內ニ於テ隨時大藏省ノ規定スル所ニ從ヒ右ノ一切ノ組合ニ對シ貸付ヲ爲スコトヲ得但シ一組合ニ對スル貸付總額ハ當該組合ノ組合員カ有スル五志拂込濟出資ノ各一磅ニ對シ貸付金一磅相當ノ金額ヲ超過スルコトヲ得ス

(三) 本條ノ目的ノ爲ニ大藏省ノ指定スル所ニ從ヒ農業信用會計ヲ開キ左記ノ金額ヲ右ノ會計ニ拂込ムヘシ



- (イ) 本條ニ依リ農業信用會計ヨリ支出スヘク指定セラレタル貸付金及主務大臣ノ諸費用ニ充當スル爲ニ國會ニ依リ時々準備セラレタル金額
- (ロ) 本條ニ依リ主務大臣ノ爲ス貸付ニ關シテ主務大臣ノ受ケ入レタル一切ノ金額
- (四) 本條規定ノ主務大臣ノ爲ス貸付及諸費用ハ農業信用會計ノ貸方勘定ノ金額ヨリ支拂フヘシ
- (五) 主務大臣ハ三月三十一日末ニ終ル前會計年度ニ於ケル農業信用會計ノ收支ヲ示ス計算書ヲ作製シ毎年九月十三日ニ又ハ其ノ以前ニ會計検査官及一般監査役ニ提出シテ検査ヲ受クヘシ會計検査官及一般監査役ハ之ニ對シテ證明ヲ爲シ且報告ヲ爲スヘシ右ノ會計及報告ハ議會開會中ノ場合ニ於テハ次年ノ一月三十一日又ハ其ノ以前ニ議會休會ノ場合ニハ次回ノ議會開會後一週間以内ニ提出スヘキモノトス主務大臣ハ本條ノ規定ニ從ヒ其ノ前年報告ヲ兩議院ニ提出スヘシ

(六) 農業信用會計ノ收支其ノ他右會計ニ關スル一切ノ事項及右會計ノ貸方勘定ニ在ル金額ニ關シテハ大藏省ノ指定スル所ニ從ヒ支拂シ且ツ整理スヘシ

(七) 本法附款第一ノ諸規定ハ千八百九十三年ノ産業及經濟組合法ノ一部ヲ爲スモノトシテ本條ノ適用アル一切ノ農業信用組合ニ適用ス且本條ノ規定ニ從ヒ右ノ組合ニ貸付シタルトキハ右ノ附款第二ノ諸規定ハ貸付金ノ未濟額ノ如何ナル部分ニテモ殘在スル間適用ス

第三條 (一) 千八百六十四年ノ土地改良法中ニ右ノ法律ニ依リ設定セラレタル負擔金ノ下ニ支拂フヘキ利率ノ制限ヲ爲ス規定アルニ拘ハラス右ノ負擔金ノ下ニ於ケル利率ハ時々主務大臣ノ許可スル利率ト爲スコトヲ得ヘシ

(二) 本條ノ以上ノ規定ハ一會社ニ農業土地改良ヲ執行シ又ハ當該事業ニ對スル貸付ヲ認可スル一切ノ議會ニ於テ決

定セララルル法律ニ適用ス

(三) 以上ノ法律ニ依リ或ル土地ニ對スル借入ノ申請アリタル場合ニ於テ其ノ申請カ右ノ土地ノ全部又ハ其ノ一部ノ耕作ニ從事スル者ニ依リテ住居セラルル農家若ハ小屋ノ設立又ハ改良ニ關スルモノナルトキハ主務大臣ハ右ノ設立又ハ改良カ土地ノ適當ナル耕作上必要ナリト認ムル場合ニ於テハ其ノ工事カ該土地ノ年負擔額以上ニ土地ノ年々ノ價格ヲ直接増加スルコトカ明カナラサルトキト雖右ノ借入レテ認可スルコトヲ得

(四) 千八百六十四年ノ土地改良法第九條ノ改良ニ關スル細目ハ其ノ法律ノ適用アル一切ノ土地ニ對シテ千八百八十二年乃至千九百二十二年ノ借地法ニ依ル借地權設定ノ土地ニ關シ認可セラレタル土地改良ヲモ包含スルモノトシテ適用セララルルモノトス但シ右ノ改良ニシテ千九百二十二年ノ財産法第六十五條第一項ニ特定セラレタル改良ナル場合ニ於テハ主務大臣ニ對スル申請カ本法ノ通過後ニ於テ爲サレタルトキニ限ルモノトス

(五) 千八百六十四年ノ土地改良法第十八條ハ土地所有者カ定嗣相續限定土地財產權者 (Entail) ノ若ハ終身借地權者 (Life-renter) ノ相續人アルカ又ハ右ノ土地所有者若ハ其ノ夫カ次ノ相續人ノ又ハ次ノ數人ノ相續人ノ父タルカ若ハ相續スル終身借地權者 (又ハ複數ノ終身借地權者) 又ハ無條件借地權被與者 (又ハ複數) (Tiar or Fiars) ノ父ニシテ且ツ之等終身借地權所有者若ハ無條件借地權被與者ノ相續人又ハ複數ノ借地權所有者及複數ノ條件借地權被與者ノ相續人ノ一人若ハ一人以上カ未成年タル土地ノ改良ノ假認可ヲ高等法院 (Court of Session) ノ命令無シニ禁止シツツアル範圍内ニ於テ其ノ效力ヲ停止ス

第四條 主務大臣及大藏省ニ依リ本法施行ノ目的ノ爲定メラレタル規則及命令ハ其ノ制定後直ニ衆議院ニ提出スヘシ

第五條 本法ハ左ノ修正ニ從ヒ「スコットランド」ニ之ヲ適用ス



(イ) 農務水産大臣ヲ蘇格蘭農務省ニ本法ノ農業信用會計ヲ蘇格蘭農業信用會計ニ代フ自由保有權 (Freehold) 及登錄小作權 (Copolyhold) ハ無條件ニテ所有セララル土地 (Fee Simple) ナ意味ス  
 抵當ハ相續不動産擔保ヲ意味ス Devises (主トシテ不動産受遺産者) ハ Legatee (主トシテ動産遺産受取人) ナ  
 含ム Incumbrance (財産上ノ債權拘束) ハ不動産保有者ノ權利ニ附帶セル負擔ヲ包含セス  
 (ロ) 千八百八十二年乃至千九百二十二年ノ借地法ノ諸規定ニシテ諸改良ニ關係アルモノハ本法第二條第四項ニ效力ヲ生セシムル爲必要ナル範圍内ニ於テ右借地法中ノ諸制限ニ從ヒ蘇格蘭ニ於テ效力ヲ有ス  
 第六條 本法ハ千九百二十二年ノ農業信用法ト稱ス

附 款

一、本法ノ適用アル農業信用組合ニ適用スヘキ諸規定

(一) 組合ハ千八百九十三年ノ産業組合及經濟組合法ノ目的ニ對シテ銀行業ヲ行フモノト見做サレサルモノトス  
 (二) 登記組合以外ノ組合員ハ二百磅超過ノ組合出資ヲ有シ又ハ之ヲ要求スルコトヲ得サル旨ヲ規定セル千八百九十三年ノ法律第四條ハ農業信用組合ニ適用セス但シ千八百九十三年ノ法律附款第二ハ修正セラレタルモノトシテ準用サルモノトス

(三) 組合ハ千九百年ノ資金貸付法ノ下ニ於テ爲ス登記ノ拘束ヲ受ケサルモノトス  
 二、財政的援助ヲ受クル場合ニ於テ以上ノ組合ニ適用スヘキ追加諸規定

(一) 登記官吏ハ千八百九十三年ノ法律ニ依リ主務大臣ヨリ申込アリタルトキハ組合ノ登記ヲ取消スコトヲ得  
 (二) 組合ノ定款ニハ主務大臣カ本法ノ目的上必要トスル事項ヲ包含シ且主務大臣ノ同意ナクシテ變更スルコトヲ得

サルモノトス

(三) 組合ノ帳簿ハ主務大臣ノ官吏ノ監査ヲ受クルモノトス  
 (四) 登記官吏ハ千八百九十三年ノ法律第十八條ニ依リ主務大臣ノ請求アリタルトキハ會計官 (Accountant) 若ハ保險統計技師 (Actuary) ヲ任命シ組合帳簿ノ監査ヲ爲シ之ヲ報告又ハ同法ノ第五條ニ依リ審査人ヲ任命シ組合事務ノ検査ヲ爲サシメ其ノ報告ヲ爲スコトヲ得ルモノトス  
 (五) 組合員ニ對シ不動産及動産等ノ擔保ヲ受ケスニ貸付ヲ爲シ且此ノ種ノ貸付額ハ組合ノ適宜考慮ニ依ル且ツ組合員ニ對スル一ツノ貸付ハ當時ノ組合出資金ノ十分ノ一ヲ若ハ該組合員ノ五志拂込濟出資各一磅ニ對シ五磅相當ノ額ヲ超ユヘカラス  
 (六) 組合ハ主務大臣ノ許可アルニ非サレハ預金ヲ受入レ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得サルモノトス  
 (七) 組合ノ清算及解散ノ目的以外ニハ主務大臣ノ認可アルニ非サレハ出資各磅ニ對シ五志以上ノ拂込ヲ要求スルコトヲ得サルモノトス  
 (八) 組合ハ主務大臣ノ認可方針ニ從ヒ組合ノ出資ニ對スル配當及特別配當其ノ他ノ組合ノ利益分配ニ對スル制限ヲ定ムルモノトス



### 第三編 獨逸ニ於ケル自作農地創設ニ關スル法律

#### 法律ノ沿革及其ノ概要

一、元來獨逸帝國ハ農業國ナリシガ十九世紀後半ニ入りテハ其ノ經濟的發展カ主トシテ商工業方面ニ向ヒシ爲農業ハ相對的ニ次第不振トナリ殊ニ永小作ノ廢止ニ伴フ土地自由所有權ノ發生アリテヨリハ農地ノ負擔過重モ原因シテ土地抵當債務ハ著シク増加スルニ至リ一八七九年「ビスマルク」ノ工業保護政策ノ實施セラレテヨリ以後ハ益々農業ノ没落ト農業労働者ノ缺乏ヲ來シ農村不振ノ傾向著シクナレリ

茲ニ於テ農民保護ノ必要ヲ認メラルルニ至リ農業經營及技術或ハ金融制度ノ改善又ハ農業保護關稅等ノ施設等ヲ實施スルニ至リタルカ農民ノ數ハ尙減少ノ傾向ヲ辿リシカハ爲政治家ハ國家政策上ヨリ積極的ニ農民保護増殖ノ途ヲ講スルノ必要ヲ認メ遂ニ一八七九年ノ農業諮問會ノ要求即チ「地代農地又ハ世襲賃借地及永小作地ニ類スル制度ノ再興ニ依リテ農業労働ニ從事スル定住土着ノ住民ヲシテ小ナル農業經營地ヲ設定セシメ且之ヲ永續シテ維持セシムルコトトシ之カ爲相當條件ニ依リ保證ノ下ニ土地ヲ貸與スルコトヲ目的トシテ立法ヲ改正スルコト」及其ノ後一八八二年ニ於ケル中央沼澤委員會第廿回會議ノ同様ナル決議トニ依リ政府ハ移住獎勵法ヲ制定スルコトトナレリ

一八八六年移住ニ關スル最初ノ法律トシテ制定サレタル「西普魯西及「ボーゼン」二州ニ於ケル獨逸人ノ移住土着獎勵法ハ其ノ内容ニ於テ土着セントスル農民ニ對シ農地ノ獲得ヲ容易ナラシムルコト即チ土地代金ハ土地取得者ニ於テ土地賣却者トノ合意ニ依リ年々地代ニ相當スル額ヲ賣却者タル地主ニ支拂ハシメ且土地ハ直チニ自己ノ所有地トシテ

之ヲ耕作シ得ルコトトシテ農民ノ便宜ヲ計リタリト雖其ノ目的カ西普魯西及「ボーゼン」二州ニ於ケル波蘭人ヲ驅逐絶滅シ之ニ代リテ獨逸人種ノ勢力ヲ扶植セントスル「ビルマルク」ノ高壓政策ヨリ出テタルモノナリシ爲其ノ施行範圍モ兩州ニ限ラレ其ノ後一八九八年、一九〇二年及一九〇八年等ニ於テ數回ニ互リ法律ノ改正ヲ爲シ事業ノ遂行ニ要スル國庫資金ヲ増額シ又ハ其ノ準備ノ爲ニ大藏省證券ヲ發行シ得ルコトト爲シタルモ本法律ハ元來政治問題ヨリ出發シタルモノナルヲ以テ小自作農地ノ創設事業ヨリ見テ著シキ效果ナカリキ

二、其ノ後一八九〇年六月二十七日ニハ地代農地法ノ制定ヲ見タルカ此法律ハ全ク前記一八七九年ノ農事諮問會議ノ建議及其ノ他ノ委員會ノ要求ニ基キ制定セラレタルモノニシテ全然政治的意味ヲ離レテ經濟的目的ヲ有シ廣ク自作農主義ノ下ニ中小農ノ創設ヲ計ラントスルヲ目的トシ地主ハ何人ト雖モ地代農地ヲ設定スルコトヲ得而シテ地代農地ノ取得者ハ賣却者トノ契約ニヨリ土地ノ所有權ヲ取得シ其ノ代價トシテ一定ノ地代ヲ支拂ヒ土地ニ付テハ當事者ノ契約ニヨリ讓渡及分割等ノ處分ヲ禁止セララルモノトセリ其ノ施行區域モ一八八六年ノ法律ヨリ一層擴張セラレテ全普魯西ニ及ホサレタリ

併シ乍ラ此ノ法律ニ於テハ(一)地代農地ノ設定ハ全ク土地賣却者ト土地ヲ取得セムトスル者トノ契約ニ依ルモノトシテ何等國家的機關ノ介入スルナク國家ノ補助ナカリシコト(二)地主カ地代農地ノ設定ヲ爲スニ當リテハ土地ヲ小農地ニ適スル様之ヲ分割シ其ノ他必要ナル設備ヲ爲スコトヲ要シ又其ノ土地ニハ抵當權其ノ他一切ノ負擔無キモノタルヲ要シタル關係上當時所有地ヲ地代農地トシテ賣却セントスルカ如キ地主ニハ到底之等ノ條件ヲ充シ得ルモノ少ナク(三)土地購入者タラントスル小作人ニ於テモ其ノ必要トスル農用器具ノ購入又ハ建築ノ爲ノ資金ヲ有スルモノ稀ナリシ爲此ノ法律制度ノミニテハ充分ナル成績ヲ舉クルコトヲ得サリキ



茲ニ於テ一八九一年地代農地獎勵法ヲ公布シ從來ノ方針ヲ改メテ地代農地ノ設定ハ單ニ之ヲ私人的ノ事業ニ委ネス國家方此ノ事業ヲ助成スルコトトセリ即チ本法律ハ曩ニ一八五〇年三月二日ノ法律ニ依リ設定セラレタル地代銀行ヲ利用シテ地代農地設定ノ仲介ヲ行ハシムルコトトシ一面公益的殖民機關ノ設立ヲ獎勵シテ土地讓渡ノ仲介ヲ爲サシメタリ超エテ一九一六年ニ於テハ單ニ地代銀行ノミナラス「プロシヤ」國立銀行モ之カ爲メニ一定金額ヲ處理シ得ルコトトナリ之ニ必要ナル資金ハ大藏大臣ノ監督ノ下ニ「プロシヤ」國立銀行ノ發行スル債權又ハ大藏省證券ニ依リ準備シ得ルモノトセリ

其ノ後幾多ノ小改正ヲ經シカ遂ニ一九一九年ニ至リ帝國殖民法ノ制定ヲ見ルニ及ンテ其ノ施行範圍ハ全獨逸ニ擴張セラレタリ

三、一九一九年ノ法律ハ未タ公益的殖民機關ノ存セサル各州ハ新ニ之ヲ設立スルノ義務ヲ有スルモノトシ此ノ機關ニ對シテハ從來耕作ニ利用セラレサルカ又ハ燒畑式耕作ヲ連續的ニ爲シ泥炭採取ノ爲利用サル土地ニ對シテハ殖民ノ目的ノ爲ニ公用徵收スルノ權能ヲ附與シ又殖民豫定地區内ニ於ケル面積百「ヘクター」以上ヲ占ムル大農場ノ總面積カ該地區内全農耕地面積ノ一割三分以上ヲ占ムル時ハ是等大農場主ハ農地供給組合ヲ組織スル義務アルモノトシコノ組合ハ公益的殖民機關ニ代位シテ大農場ノ先買權ヲ有ストセリ尙土地價格ニ於テハ戰爭ニ基ク特別ナル事由ニヨリ増加セル額ハ之ヲ考慮セサルモノトセリ

更ニ同年六月三日土地開拓法ヲ制定シテ自作農創定事業ニ對シテ專門的ニ從事スル國家機關タル土地開拓局ヲ設置セリ

四、今之等法律中地代農地ニ關スル法律特ニ千八百九十年及千八百九十一年ノ二法律ニ依ル地代農地(小自作農地)創設

事業ノ大要ヲノブレバ左ノ如シ

(一) 地代銀行ノ仲介ニ依ル地代農地

地代農地ハ販賣者ト購買者トカ成立ノ主體トナルモノニシテ國家カ其ノ間ニ介在ス即チ國家ハ地代銀行ヲシテ購買者ニ代ツテ販賣者ニ土地代金ノ大部分ヲ支拂ヒ代辨シ其ノ後購買者ヨリ年々地代トシテ元金ノ四分又ハ四分五厘ニ當ル額ヲ五十六年一ヶ月間支拂ヲ受ケテ之ヲ償還セシメ以テ其ノ賣買ヲ完成セシム

(二) 地代農地販賣者

法律上ハ何人ニテモ地代農地販賣者タルコトヲ得ルモ多クハ土地所有者カ直接販賣者トナラス之ヲ專門ニ經營スル會社又ハ組合ノ如キ團體殊ニ各州ニ存在スル公益的移住會社ニ賣却シ之等ノ會社及組合カ販賣者トナルナリ

(三) 地代農地購買者ノ資格條件

地代農地購買者ハ現金其ノ他動產不動產ヲ合算シテ土地價格ノ四分ノ一以上ノ財産ヲ所有スルノ外勤勉、節儉、健康及農業上ノ知識ヲ有スルコトヲ條件トシ且原則トシテ妻帶者タルコトヲ要ス  
農業勞働者、羊飼、大工、鍊瓦職及除隊兵士ハ特ニ優遇セララル

(四) 地代農地ニ提供セララル土地

地代農地トシテ提供セララル土地ハ農耕地ニ限り實際ニ於テ土地ノ多クハ開墾地ニシテ原野牧場等ノ未開地モアリ

(五) 地代農地ノ大小

地代農地ノ大小ハ法律上何等ノ規定ナキモ法ノ精神ハ中小農ヲ増殖スルニアルヲ以テ國家ノ補助ヲ與フル面積ハ自ラ農場ノ監督及勞働ヲ爲シテ生計ノ基礎ヲ所有地ヨリ得ル程度(五「ヘクター」乃至二十五「ヘクター」)ノモノナリ



其ノ他労働者及手工業用地代農地アリ其ノ最小面積ハ半「モルゲン」迄ニシテ一「ヘクター」半ヲ超ユルモノ稀ナリ此等ハ特別ノ取扱ヲ受ク

(六) 地代農地ノ價格

純收益ノ約二十倍乃至二十五倍ヲ以テ土地ノ鑑定價格トシ賣買價格ハ之ト無關係ニ賣買當事者ノ契約ニ據リテ定マル然レ共賣買價格カ鑑定價格ヨリモ著シク高價ナルトキハ開拓局ハ其ノ價格ヲ低下セシムルカ又ハ事業ニ關與セサルニ至ル

(七) 地代農地取得ノ方法

地代農地ノ販賣者ハ地代農地ノ創設セラレタル場合ハ其ノ都度官報及新聞紙ニ廣告スルヲ以テ購買者ハ其レヲ見テ希望スル土地(又ハ開拓局ニ申請シテ其ノ選擇セル土地)ニ付直接販賣者ニ申込ミ意見一致セハ開拓局ノ立會ヲ得テ賣買契約ヲ締結シ其ノ後一切ノ手續ハ開拓局ニ於テ爲ス

(八) 地代農地ノ登録

地代農地トシテ決定セル土地ハ之ヲ臺帳ニ登記ス  
此ノ登記ハ賣買兩者自ラ登記ヲ請求スルコトヲ得サルモノニシテ登記官吏ノ開拓局ノ命令ニ依リ協約書ニ基キ各購買者ノ名義ニテ登記スルモノナリ

(九) 地代農地ノ代金支拂方法

(イ) 現金 拂  
購買者ハ賣買契約締結ト同時ニ代金ノ約四分ノ一ヲ現金ニテ支拂ス

(ロ) 地代債券 拂

現金拂ノ殘餘(代金ノ約四分ノ三)ハ地代銀行發行ノ地代債券ニテ支拂ヲ爲ス

(ハ) 殘餘地代

(一)及(二)ノ方法ニテ土地代金ノ全部ヲ完済スルコトヲ得サル場合ニ於テハ販賣者トノ協議ニヨリ殘金ヲ地代拂トスルコトアリ

(ニ) 抵 當 拂

(ハ)ノ場合ノ如ク殘存代金ニ對シ地代契約ヲ結ハサルトキハ地代農地ノ全部ヲ抵當トシテ借財スルコトナル

(十) 住宅及農舍ノ建築

住宅及農舍ハ購買者カ自ラ建ツル場合多ク其ノ費用ヲ全部支辨スルコト能ハサルトキハ國家カ必要ナル資金(普通代金ノ七割半ヲ貸與ス)ヲ貸與ス之ヲ建築資金ト言ヒ地代銀行ヨリ發行スル地代債券ヲ以テ之ヲ交付ス

(十一) 地代農地ニ對スル制限及地代農地購買者ノ義務

(一) 地代農地ハ一切一子相續ニ限り分割、讓與、質權及抵當權ノ設定ヲ禁ス(一八九六年ノ地代農地相續法)

(二) 購買者ハ火災保險及電害保險ヲ付スル義務アリ

(十二) 訴 訟

地代農地ニ關スル訴訟事件ハ凡テ開拓局ノ仲裁ニ依頼スルモノニシテ此ノ仲裁ニヨリ最後ニハ伯林ノ高等農業開拓局ニ於テ判決ヲ爲ス

(十三) 地代農地ノ設立ニ必要ナル補助機關



(イ) 開拓局

開拓局ハ農務大臣ノ監督ヲ受ケ其ノ事務ノ主ナルモノハ

(一)土地ノ適否殊ニ中小農ニ適スルヤ否ヤノ決定、(二)土地購買者ノ資格ノ調査、(三)土地ノ測量區劃、(四)賣買契約ノ締結、(五)登記、(六)其ノ他農業經濟上ニ關スル各種ノ補助事業等ニシテ地代銀行並ニ普國々立銀行ニ對シ資金貸與ノ指令權アリ

(ロ) 地代銀行

地代銀行ハ大藏大臣ノ管轄ニ屬シ地代農地ノ所有權ヲ移轉スル爲購買者ニ代ツテ販賣者ニ代金トシテ債券ヲ支拂ヒ其ノ代價トシテ購買者ヨリ年々元金ノ一部及利子ヲ含ム金額ヲ受領ス

地代銀行ノ事務ハ普通事務及金庫事務トシ別々ノ機關ヲシテ行ハシム、普通事務ハ開拓局ノ指令ニヨリ地代債權ヲ交付スル等、地代銀行本來ノ事務ニシテ金庫事務ハ現金ノ支拂トス

地代債權ハ三、〇〇〇馬克、一、五〇〇馬克及七五馬克ノ三種トシ額面額ニテ貸付ス其ノ利子ハ四分(法律上ハ三分五厘)ニシテ若シ債券受領者カ一時ニ現金ヲ要スル場合ニハ之ヲ市場ニ賣却スルヲ得

地代債券ノ利子ト購買者ノ支拂フ地代ノ利子トハ共ニ四分ニシテ地代銀行ハ此ノ事業ニヨリ全然利得ヲ爲ササルナリ

(ハ) 普魯西國立銀行ハ一九一六年ノ法律ニヨリ地代農地設定ニ當リ地代銀行同様中間信用貸付ヲ爲スモノト規定サレ國債又ハ大藏省證券ノ發行ニ依リテ必要ナル資金ヲ調達スルモノトス

(ニ) 私人ノ機關

(1) 公益的移住土地會社

公益的移住土地會社ハ總テ有限責任ニシテ民法ノ規定ニ依リ設置セラレ國家ヨリ其ノ資本金ノ約半額ヲ出資スル半民半官ノ私法人ナリ土地ヲ販賣セントスル者ハ自己カ直接地代農地ノ販賣者トナラスシテ多クノ場合ハ現金ヲ取得スル爲ニ是等ノ會社ニ賣却ス即チ公益的移住土地會社ハ直接ニ地代農地販賣者タルコト能ハサル個人(土地ヲ賣却セントスル者ハ大部分然リ)ニ代リテ販賣者トナルモノニシテ地代農地ノ制度上重要ナル機關ナリ

(2) 營利的土地會社

營利的土地會社ハ單ニ土地ノ賣買ニ依リ利益ヲ得ルコトヲ目的トスル商事會社ニシテ國家ヨリモ特別ノ保護ヲ受クルコトナシ從テ利益少キ地代農地經營ニハ適當ナラス

今獨逸ニ於ケル自作農地創定ニ關スル諸法律ヲ列舉スレハ大要左ノ如シ

第一 西普魯西及「ボーゼン」二州ニ於ケル獨逸人ノ移住獎勵ニ關スル法律並ニ其ノ改正法

- (一) 千八百八十六年ノ西普魯西及「ボーゼン」二州ニ於ケル内地移住獎勵法
- (二) 千八百九十八年ノ内地移住獎勵法(千八百八十六年ノ法律中ノ數項ヲ改正セル法律)
- (三) 千九百二年ノ内地移住獎勵法(千八百八十六年ノ法律中ノ數項ヲ改正セル法律)
- (四) 千九百八年ノ内地移住獎勵法(千八百八十六年ノ法律中ノ數項ヲ改正セル法律)

第二 地代農地(小自作農地)ニ關スル法律

- (一) 地代銀行法(一九一〇年三月二日公布)

附 地代銀行營業命令



- (二) 千八百九十年ノ地代農地法
- (三) 千八百九十一年ノ地代農地獎勵法
- (四) 千九百十六年ノ移住獎勵法

第三 帝國殖民法

- (一) 農業殖民地設定法(千九百十九年八月十一日ノ法 律ヲ以テ廢止セラクルモノ)
- (二) 千九百十九年ノ帝國殖民法
- 第四 普魯西ニ於ケル家産ニ關スル命令(自作農創設維持ニ關係スル所尠ナカラサルヲ以テ參考ノタメ記載ス)

第一 西普魯西及「ポーゼン」ニ於ケル獨逸人ノ移住ヲ

獎勵スル法律並ニ其ノ改正法律

(一) 千八百八十六年ノ内地移住獎勵法

西普魯西及「ポーゼン」ニ於ケル獨逸人ノ移住ヲ獎勵スル(千八百八十六年四月二十六日)法律  
(Das Gesetz betreffend die Beförderung deutscher Ansiedlung in den Provinzen Westpreussen und Posen, vom, 26, April, 1886)

第一條 西普魯西及「ポーゼン」ノ二州ヲ波蘭化スル運動ニ對抗シ獨逸農民及勞働者ヲ移植シ二州ニ於ケル獨逸分子ヲ盛大ナラシムルカ爲一億萬馬克ノ資金ヲ政府ノ處分ニ任セ左ノ經費ニ充當セシム

一 土地ノ買上及

二 其ノ必要ナル經費ノ支拂

右ノ必要ナル經費トハ特ニ以上ノ目的ヲ以テ買上セル土地ニ設置セラレタルト其ノ他ノ國有地ニ設置セラレタルトヲ問ハス中小農地又ハ農村ノ

イ 新設

ロ 村治、教會及學校ニ關係アル事項ノ最初ノ處分ニ伴フ經費ヲ指稱スルモノトス

土地ノ買上ハ「二」ノ必要ナル經費ヲ支拂フニ充分ナル餘裕ヲ生シ得ル範圍内ニ於テ之ヲ行フモノトス

第二條 農地ノ交付ニ付テハ國家ハ相當ナル補償ヲ受クルコトニ注意スヘシ

農地ハ元金又ハ地代ノ支拂アリタル場合ノ所有權ノ讓渡又ハ一定期限ノ小作ニ依リテ交付スルモノトス

第三條 一定額ノ賠償金錢地代ヲ支拂ヒテ交付ヲ受ケタル農地ノ地代ノ償還ハ當事者ノ合意ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得

賠償金額及解約申込ノ豫告期間ハ契約ヲ以テ之ヲ定ム但シ地代債權者ヨリ賠償金額ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ地代ノ二十五倍以上ノ金額ヲ要求スルコトヲ得ス

地代ノ登記ニハ賠償排除、償却額及解約申込豫告期間ノ決定等ニ關スル抗辯ヲ土地臺帳ニ登記スルコトヲ要ス之等ノ登記ノナキトキハ第三者ハ六箇月ノ豫告ヲ以テ義務者ヨリ所定ノ地代ノ二十倍ノ金額ヲ提供セシメ農地ノ負擔ヲ償却セシムルコトヲ得ルモノトス

第四條 地代ハ穀類ヲ以テ支拂フコトヲ得但シ此ノ場合ハ千八百五十年三月二日ノ償還法第二十條乃至第二十五條ニ依リ確定セラルヘキ市價ヲ以テ金錢ニ換算スヘキモノトス



第五條 地代ノ支拂ニ對シテ交付セラレタル地代農地ノ取得者(即チ所有者)カ其ノ土地ノ分割又ハ其ノ一部分ノ讓渡ヲ爲スニハ地代債權者ノ同意ヲ受クヘキ旨ノ自由處分ノ制限ヲ受クル契約ノ存スル場合ニ於テ地代債權者カ同意ヲ拒絕シタルトキハ公益上其ノ分割又ハ讓渡カ正當ナル限り土地取扱委員會ノ判決ヲ以テ右ノ同意ニ代フルコトヲ得

第六條 地代農地ノ取得者カ契約ニ依リ該農地上ニ存在シ又ハ築造セララルヘキ工作物ノ買取、特定ノ農業用附屬品ノ買取又ハ其ノ他ノ給付ニ依リテ農地ノ經濟上ノ獨立ヲ保持スルノ義務ヲ負擔シタルトキハ其ノ獨立ノ保持カ公益上有害ナル場合ニ限り義務者ハ土地取扱委員會ノ判決ニ依リ其ノ義務ヲ免ルルコトヲ得

第七條 土地取扱委員會ノ判決ヲ以テ第五條ノ同意ニ代ヘ又ハ第六條ノ義務ヲ免除シタル場合ニ於テハ地代債權者ハ特別ノ契約ナキ限り義務者ニ對シ地代ノ二十五倍ニ相當スル額ヲ全地代ノ賠償金トシテ請求スルコトヲ得

第八條 補償(第二條)トシテ國家ノ受クル金額、土地ノ再讓渡及中間經營ヨリ生スル收入ハ毎年國庫ノ豫算ニ編入シ且國有地及國有林ノ賣却ヨリ生スル收入ヲ除クノ外千九百七年三月三十一日マテ第一條ノ「二」ニ掲クル經費ニ附加スヘキモノトス

前項ノ期間以後ニ於テハ前項ノ收入ハ一般ノ國庫收入ニ繰入ルヘキモノトス

第九條 第一條ノ經費ノ支拂ニ充當スル資金ヲ調達スルカ爲公債ヲ發行ス

公債發行ノ時期、取扱所、額、利率、豫告、償還ノ條件及發行額面價格ハ大藏大臣之ヲ定ム公債ノ管理、償還、利息及債權ノ時効ニ關シテハ千八百六十九年十二月十九日ノ法律ヲ適用ス

第十條 本法第一條及第二條ニ基ク非訟事件ニ關スル手續、土地登記官署ノ手續及土地整理官署ニ於ケル手續ニ對シテハ印紙稅及手數料ヲ免除ス

第十一條 本法ノ施行殊ニ土地ノ買上、賣拂、移民又ハ其ノ準備及買上地ノ管理ニ關シテハ毎年其ノ收支計算書ヲ州議會ニ提出スヘシ

第一條ノ資金ノ總收入及總支出ニ關シテハ財政ニ關スル法規ニ準據シテ計算書ヲ作成スヘシ

第十二條 本法ノ施行ハ第九條ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ權限ニ屬スルモノヲ除クノ外之ヲ特別委員會ニ委任ス

委員會ハ内閣ニ直屬スルモノトス

委員會ノ組織、會議、職務及權限ニ關スル細則ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

給與及事業費(人的及物的の行政費)ハ第一條ノ資金ヨリ之ヲ支辨ス其ノ經費ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ千八百八十七年四月一日以降ハ國家ノ豫算ニ編入スヘシ

### (二) 千八百九十八年ノ内地移住獎勵法

千八百八十六年四月二十六日ノ西魯普西及「ポーゼン」ニ於ケル獨逸人ノ移住ヲ獎勵スル法律ヲ變更スル千八百九十八年四月二十日ノ法律

(Das Gesetz wegen Abänderung des Gesetzes vom 26. April, 1886, betr. die Beförderung deutschen Ansiedlungen in den Provinzen W. P. und Posen über 20. April, 1898)

一 第一條ニ於テ政府ノ處分ニ任セタル一億馬克ノ資金ハ之ヲ二億馬克ニ引キ上クルモノトス

二 第一條第一項第二號ニ左ノ規定ヲ附加シタルモノトス

「例外ノ場合ニ於テハ大ナル殘地ノ設定ヲ許スモノトス」

第八條中ノ「千九百七年三月三十一日迄」ノ字句及末項ヲ削除ス



(三) 千九百二年ノ内地移住獎勵法

西普魯西及「ポーゼン」ニ於ケル獨逸分子ヲ盛大ナラシムル爲ノ方策ニ關スル千九百二年七月一日ノ法律

(Betriebs- und Massnahmen Zur Hirtung des Deutschen in den Provinzen Westpreussen und Posen, vom 1. Juli, 1902.)

第一章

千八百九十八年四月二十日ノ法律ニ包含セラレタル千八百八十六年ノ法律ハ左ノ如ク變更スルモノトス

「第一條ニ於テ政府ニ任セラレタル二億万馬克ノ資金ハ三億五千万馬克ニ引キ上ク」

第二章

第一條 政府ハ一億万馬克ノ資金ヲ西普魯西及「ポーゼン」ニ州ニ於ケル土地ヲ官有地又ハ森林ニ變更スルノ目的ヲ以テ購入スルカ爲及其ノ最初ノ施設ノ費用ニ充當スルコトヲ得

第二條 第一條ニ掲クル金額ヲ準備スルカ爲ニ大藏省證券ヲ發行スヘシ

大藏省證券ヲ發行スヘキ時期、場所、額、利率、支拂條件及流通價格ハ大藏大臣之ヲ定ム

右ノ外借入金ノ管理及償還ニ關シテハ普魯西國債整理ニ關スル千八百六十九年十二月十九日ノ法律及國債ノ償還ニ關スル千八百九十七年三月八日ノ法律ヲ適用スルモノトス

(四) 千九百八年ノ内地移住獎勵法

西普魯西及「ポーゼン」ニ於ケル獨逸分子ヲ盛大ナラシムル方策ニ關スル千九百八年三月二十日ノ法律

(Das Gesetz über Massnahmen Zur Hirtung des Deutschen in den Provinzen Westpreussen und Posen vom 20. März, 1908)

第一章

千八百九十八年四月二十日及千九百二年七月一日ノ法律ヲ以テ改正シタル千八百八十六年五月二十六日ノ西普魯西及「ポーゼン」ニ於ケル獨逸人ノ移住獎勵ニ關スル法律ハ左ノ如ク之ヲ改正ス

一 第一條ニ於テ政府ノ處分ニ任セタル資金ハ更ニ二億万馬克ヲ増加ス(合計五億五千万馬克トナル)此ノ二億万馬克中七千五百萬馬克ハ土地ヲ農業者ニヨリ組織スル農場移住地代農地ニ變更スルカ爲及地方ノ勞働者定住ヲ獎勵スルカ爲ニ使用スヘキモノトス

二 第一條中

第一項第一號中「買上」ヲ削ル

第一項第二號中「買上セル」ヲ削リ「取得セル」ト改ム

第二項中「買上」ヲ削ル

第一項中末文ニ「大殘地區ノ設定モ之ヲ許ス」ト追加ス



三 第一條第一項第一號ノ次ニ

「一、イ、賞與ノ方法ヲ設ケテ大地代農地及其ノ他ノ大農場ニ獨立ノ獨逸勞働者ノ移住ヲ獎勵シ」ヲ加フ

四 第七條ノ次ニ

「第七條ノ二 五千万馬克ノ資金ヲ政府ニ任セ之ヲ以テ國家ノ充分ナル賠償ノ下ニ其ノ全部又ハ一部ヲ地代農地トシテ讓渡スルモノノ取得ニ使用セシム」ヲ加フ

五 第八條中括弧ノ内「第二條」ノ次へ「及第七條ノ一」ヲ加フ

六 第九條ハ之ヲ削除ス

七 第十條中「第一條及第二條」ヲ「第一條、第二條及第七條ノ一」ト改ム

八 第十一條中

第一項中「買上及賣却」ヲ「取得及讓渡」及「買上」ヲ「取得」ニ改ム

第二項中「第一條」ノ次ニ「及第七條ノ一ニ於テ」ヲ加フ

九 (一) 第十二條第一項中「第九條」ヲ「第三節」ト改ム

(二) 第十二條第二項ニ左記ヲ加フ

委員會ニハ「ウ」州及「ボ」州ノ兩農業會議所ニ於テ少ナクモ三名以上ヲ包含スル推薦名簿ニ基キ任命セラレタル二名ノ委員ヲ加フヘキモノトス

委員會ノ職務及權限ニ關スル規定ハ之ヲ州議會ニ報告ルヘキモノトス

十 第十二條ノ次ニ以下ノ數條ヲ加フ

第十三條 普魯西國ハ獨逸系ノ侵害セララルル地方ニ於テ之カ保全ヲ圖ルカ爲獨逸人ノ移植ニ依テ其ノ定住ヲ鞏固圓滿ニスルノ外他ニ何等ノ手段ナシト認ムル場合ニ止ムヲ得サル限り之ニ必要ナル七萬「ヘクター」以下ノ土地ヲ收用スルノ權利ヲ有ス

但シ左ノ場合ハ例外トス

イ 公共ノ禮拜ノ用ニ供スル建築物及墓地

ロ 組合權ヲ有スル教會其ノ他ノ宗教組合ノ所有地ニシテ千九百八年二月二十六日以前ニ取得シタルモノ

ハ 慈善タルコトヲ明カニ認メラレタル慈善財團ニ屬スルノ所有地ニシテ千八百九十九年二月二十六日以前ニ取得シタルモノ

第十四條 收用ニ關シテハ次ノ規定ヲ適用ス

第十五條 移民委員會ハ其ノ決定ニ依リ附與セラレタル收用權ニ基キテ取得セララルヘキ土地ヲ指定ス

前項ノ決議ハ當該土地ノ所有者ニ對シテハ通知ニ依リテ之ヲ知ラシメ其ノ他ノ者ニ對シテハ行政廳ノ官報ヲ以テ公告ス

第十六條 所有者其ノ他土地ニ關シテ權利ヲ有スル者ハ移民委員會ノ決定ニ對シテ訴願ヲ提起スルコトヲ得

訴願ハ決定ノ公告アリタル後二週間以内ニ移民委員會長ニ對シテ提起スルコトヲ要ス

訴願ニ對シテハ農業公有地及林業內務大臣及司法大臣之ヲ裁決ス

第十七條 收用ハ別段ノ約定アル場合ノ外土地ニ存スル一切ノ附屬物ニ及フ收去シタル土地ノ利用上必要缺クヘカラサル附屬物ノ外ハ所有者ノ請求ニ依リテ之ヲ收用ノ外ニ置クコトヲ得收用土地ニ飼養セララルル畜群ニ付テモ亦同シ



土地ニ對スル權利ハ國家ノ希望ニ依リ收用ノ外ニ置クコトヲ得  
土地ノ小作人及賃借人ニ對シテハ國家ハ地主賃借人ニ代リテ自ラ其ノ契約關係ノ當事者トナルコトヲ得國家カ此ノ權  
利ヲ行使シタル場合ニ於テハ任意處分ニ關スル規定ヲ準用ス

第十八條 收用ハ金錢ニ依ル充分ナル補償ヲ交付シテ之ヲ爲ス

千八百七十四年六月十一日ノ土地收用法第八條乃至第十一條及第十三條ノ規定ハ之ヲ本法ノ收用ニ適用ス但シ同法第  
九條第一項中「收用分割ノ結果殘地區カ從來ノ用法ニ從テ將來使用スルヲ得サルニ至リタル場合ニハ」ノ字句ハ之ヲ省  
略ス

右收用法第十一條ニ記載シタル副位權利者ハ其ノ權利カ收用決定通知後ノ取得ニ係ル場合ニ於テハ其ノ取得ノ際決定  
カ本人ニ知ラレサリシ場合ヲ除クノ外補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第十九條 補償額ノ決定ニ關シテハ收用法第二十四條乃至第三十條ノ規定ヲ準用ス但シ次ノ規定ニ從フ

- 一 補償額決定ノ請求ハ訴願手續ノ完了前ト雖之ヲ爲スコトヲ得
- 二 第十七條第一項第二文及第二項ニ依リ國家竝ニ所有權者ニ附與セラレタル權利行使ノ意思表示ハ遅クモ收用法第  
二十五條ノ期限内ニ委員會ニ通知スヘシ
- 三 鑑定收用法第二十八條ニ於テハ土地竝ニ附屬物ノ状態ヲ確知スヘシ
- 四 縣參事會ニ於テ決定アリタルトキハ收用法第二十九條ニヨリ補償額決定ノ基礎トナリタル土地及附屬物状態ニ付  
明瞭ナル報告ヲ爲スヘシ尙該決定ニ於テハ收用ヨリ除外セラレタル權利ノ種類及國家カ現存ノ小作竝ニ賃貸借契約  
關係ノ當事者トナリタルヤ否ヤヲ明カニスヘシ

第二十條 土地收用ノ宣告ハ法律上有效ニ合意又ハ決定ニヨル補償金ノ支拂又ハ供託完了ノ證明アリタル後土著ノ委員

會委員長ノ請求ニ依リ之ヲ爲スヘシ

收用ノ宣告ハ占有移轉ノ命令ヲ包含ス

第二十一條 占有移轉ノ實施ニ當リ縣知事ノ任命ニ依ル一名ノ委員ハ鑑定人ノ立會ヲ以テ鑑定報告後ニ生シタル土地及  
附屬物ノ變更アリタル爲決定補償額ノ修正ヲ必要トスルモノアリヤ否ヤヲ調査ス修正ハ縣參事會之ヲ決議ス  
決議ハ假ニ之ヲ執行スルコトヲ得

占有權移轉ニ對シテハ收用法第二十六條及第三十條ノ規定ヲ準用ス

第二十二條 以上ノ外收用ノ執行及效力ノ決定ニ關シテハ收用法第三十三條、第三十六條乃至第三十八條、第四十一條  
乃至第四十九條竝ニ千八百九十九年九月二十三日ノ強制購買及強制管理ニ關スル帝國法律施行法第三十五條乃至第四  
十一條ノ規定ヲ適用ス

收用法第三十九條、第四十一條乃至第四十三條ノ一般的规定モ亦同シク適用ス

現ニ人ノ住居セル土地ニ就テハ植民委員會ハ退去スヘキ所有者ノ爲三箇月ヲ下ラサル期間内ニ於テ相當ナル住居明渡  
猶豫期間ヲ定ムヘシ

## 第二章

千九百二年七月一日ノ「ウ」「ボ」兩州獨逸系強盛方法ニ關スル法律第二節ハ左ノ通改正ス

一 第一條ニ於テ政府ノ處分ニ委セタル資金ハ更ニ二千五百萬馬克ヲ増加ス



- 二 第一條ニ「回收シタルモノハ再ヒ資金ニ繰入ルモノトス」ヲ加フ
- 三 第二條ハ之ヲ削ル

### 第三章

大藏大臣ハ第一章第一號及第四號並ニ第二章第二號ニ依リテ必要ナル資金ヲ調達スル爲國債ヲ發行スルコトヲ得國債ノ發行ニ代ヘテ一時大藏省證券ヲ發行スルモノトス償還期限ハ其ノ大藏省證券ニ記載スヘシ大藏大臣ハ右ノ大藏省證券ノ支拂ノ爲必要ナル額面額ノ新大藏省證券及國債ノ發行ニ必要ナル手段ヲ採ルコトヲ得

大藏省證券ハ再度之ヲ發行スルコトヲ得

償還期限ノ到來セル大藏省證券ノ支拂ヲ目的トシテ發行スル大藏省證券若ハ國債券ハ大藏大臣ノ命令ニ依リ支拂期限ヨリ十四日前ニ國債主務官署之ヲ發行ス新債券ニハ償還セラルヘキ大藏省證券ニ利子ヲ附スルコトヲ禁止セル時以前ヨリ利子ヲ附スルコトヲ得ス

大藏省證券及國債證券ノ發行ノ時期、發行所、總額、利率、償還申込ノ條件及發行額ハ大藏大臣之ヲ定ム右ノ外借入金ノ管理及償却ニ關シテハ千八百六十九年十二月十九日ノ普國國債ノ統一ニ關スル法律、千八百九十七年三月八日ノ國債償還ニ關スル法律及千九百三年五月三日ノ鐵道廳整理資金ノ構成ニ關スル法律ノ規定ヲ適用ス

## 第二 地代農地(小自作農地)ニ關スル法律

### (一) 地代銀行法 (一八五〇年三月二日公布)

(Gesetz über die Errichtung von Rentenbanken, vom 2. März, 1850)

#### 第一章 地代銀行ノ設置及其ノ目的

- 第一條 土地負擔賠償及權利者義務者間ニ存在スル法律關係ヲ完全ニ除去スル爲ニ各州ニ地代銀行ヲ設置ス
- 「ライン」州ニ設置サレタル地代銀行ノ營業區域ハ「ライン」川右岸ノ部分ニ限ラレ「ウエストファーレン」州ノ地代銀行ト共同營業スヘキモノトス
- 第二條 地代銀行ノ賠償金ハ土地負擔ヲ金錢地代ニ變換シ銀行ハ權利者ニ金錢地代ノ放棄ニ對シ其ノ賠償トシテ相當ナル利附且償還條件附債務證書(地代債券)ヲ交付ス而シテ義務者ハ地代債券ノ利子及元金ノ一部ヲ含ム地代ヲ一定期間支拂フヘシ賠償金ヲ即時支拂フ場合ハ前記ノ地代支拂ノ責務ナキモノトス
- 第三條 國家ハ本法ニ據ル地代銀行ノ債務ヲ保證ス尙銀行ニ必要ナル經營資金ヲ支給ス

#### 第二章 實行官廳

- 第四條 土地取扱委員會ハ土地負擔ニ代ルヘキ金錢地代ノ決定及此ノ金錢地代ヲ地代銀行ニ引受ケシメ其ノ賠償トシテ權利者ニ交付スヘキ地代債券ノ額ヲ決定ス尙權利者ニ對スル第三者ノ權利ニ付テモ土地取扱委員會ハ適法ニ之ヲ處理



シ權利ノ賠償トシテ支拂フヘキ地代債券又ハ償却金ノ額ヲ定ムルモノトス  
其ノ他ノ事業ハ法令ノ定ムル所ニヨリ地代銀行重役及稅務署之ヲ施行ス

第五條 地代銀行ノ重役ハ頭取及補助員ニヨリテ成立ス

地代銀行重役ハ大藏大臣及農務大臣ノ監督ヲ受ケ事業ハ各州ノ監査助力ノ下ニ土地取扱委員會ト共同シテ之ヲ行フモ  
ノトス

### 第三章 地代銀行ニヨリ賠償セララルル土地負擔

第六條 本法ニ據リ地代銀行カ賠償シ得ル土地負擔ハ地主農民間ニ存在スル土地負擔及責任ノ解除ヲ爲スモノトス

第七條 國有地ノ土地負擔ハ地代銀行ニ依テ賠償セラレサルモノトス之ニ關スル規定ハ本法第六十四條ニテ定ム

第八條 或ル土地ニ附著セル土地負擔ヲ金錢地代ニ換算シタル場合ニ地代銀行ハ權利者又ハ義務者ノ要求ニ依リ之カ賠償ニ應ス

### 第四章 地代銀行ニ得セララルル地代ノ決定

第九條 土地負擔賠償法第六十四條ニヨリ義務者カ元金ノ支拂ヲ爲ストキ土地負擔ヲ賠償スル權利ヲ有スル者カ其ノ權利ヲ放棄スレハ土地取扱委員會ハ地代銀行ニ之カ賠償ヲ爲サシムル事ヲ得

本法ハ第六十四條ニ依ル賠償ニ付テ義務者カ地代ノ十八倍ノ支拂ヲ申込メルニ對シ權利者カ二十倍ノ地代債券ヲ要求スルトキハ本法第五十九條乃至第六十三條ヲ準用ス

地代銀行ノ賠償ニ適當シタル金額ト雖土地負擔賠償法第六十四條以外ノモノハ土地取扱委員會之ヲ採用セス但シ同法第五十六條及第六十五條ノ場合ハ權利者ノ要求ニヨリ之ヲ採用スル事ヲ得

第十條 地代銀行カ地代ヲ賠償スル場合ニハ義務者ハ全地代ノ十分ノ九ヲ支拂ヒ殘餘十分ノ一ハ免除サルヘキモノトス但シ義務者ノ意思ニヨリ全部ノ支拂ヲ爲ス事ヲ得何レノ場合ト雖權利者ニ支拂フ賠償金額ニ關係ヲ及ホサス只義務者カ全部ノ支拂ヲ爲ストキハ償却期間ヲ短縮スヘシ義務者ハ何レヲ撰擇スルモ任意ナレトモ一度決定シタルモノハ後日之ヲ變更スル事ヲ得ス

土地負擔賠償法第九十九條ニ依リ地代銀行ニ殘餘金ノ支拂ヲ爲ササルヘカラサルトキハ全部ノ地代ヲ支拂フト雖償却期間ヲ短縮セス而シテ義務者ハ此場合ニ殘餘金ノ二十分ノ一ニ當ル特別地代ヲ毎年地代銀行ニ支拂フモノトス

第十一條 前條ニヨリ地代銀行ノ收得スル地代總額ハ銀貨「グロツセン」ニテ計算サレサルモノト雖之ヲ受納ス而シテ「ペンニツヒ」以下ノ端數ハ凡テ繰上クルモノトス

第十二條 土地取扱委員會ハ賠償及協約締結ニ付義務者ト地代銀行、義務者ト權利者、權利者ト地代銀行トノ間ヲ決定ス

地代銀行ノ權利ニ付テハ土地取扱委員會凡テ之ヲ代表シ地代銀行重役ハ參與スルニ及ハス

第十三條 本法發布以前ニ土地負擔カ已ニ地代ニ變換サレタルモノハ前條ノ規定ニヨリ土地取扱委員會ハ特別ノ協約ヲ作成シ地代銀行ヲシテ賠償セシムル事ヲ得

但シ此場合ニ起ル訴訟ハ一般ノ法律ニ從フ

第十四條 土地取扱委員會ハ地代銀行ト各當事者トノ關係ヲ協約ニテ決定シ且之レニ署名ス而シテ其ノ寫シテ地代銀行



重役ニ送附ス地代銀行ハ此ノ協約ニ基テ地代ノ賠償收得ヲ爲スモノトス

第十五條 地代收得時期ハ地代銀行重役之ヲ定ム

第十六條 地代銀行ノ地代收得期ハ四月一日及十月一日トス

第十七條 前條規定ノ時期以前ニ土地取扱委員會ノ決定カ終結セルトキハ義務者ハ其ノ時期マテノ地代ヲ直接權利者ニ支拂フヘシ

第五章 地代ノ支拂及保證

第十八條 地代銀行ニ支拂フヘキ地代ハ租税ト同一ノ效力ヲ有ス土地ハ抵當權ノ登記ナクトモ償却期間内ハ地代銀行ノ抵當タルヘキモノトス

土地ニ登記セル土地負擔及地代銀行ニ支拂フ地代ハ無手数料ニテ抵當登記簿ニ抹消及登記ス

地代カ地代銀行ニ收得サレ且權利者ニ賠償サレタルトキハ直チニ土地取扱委員會ハ土地負擔ノ抹消ヲ申請スヘシ

第十九條 地代銀行重役ノ要求ニ依リ地代ノ附隨セル建築物ニ對シ義務者ニ於テ之ニ相當セル價格ノ火災保險ヲ附スヘシ若シ火災保險ヲ附セサルトキハ重役ヨリ強制サルルモノトス

保險會社ハ地代銀行重役ノ指定シタルモノニ限ル

第二十條 地代銀行地代付ノ土地ヲ分割セル場合ニ於テハ地代ニ對シ租税ニ關スル法令ヲ準用ス但シ分割サレタル地代カ年三「マーク」以下ノ場合ハ地代銀行重役ノ要求ニヨリ本法第二十三條ニ依リ直チニ元金ヲ支拂ヒ賠償スル事ヲ得

第二十一條 地代ハ部分拂及前拂ノ形式ニテ租税ト同時ニ支拂フヘシ

地代銀行重役ハ地代ノ支拂ニ付テハ稅務署ト同一ノ權力ヲ有ス

第六章 地代ノ償却

第二十二條 義務者カ地代ノ十分ノ九ノ支拂ヲ契約シタル時ハ地代銀行地代ヲ五十六年一ヶ月間(六百七十三ヶ月)、全部ノ地代ヲ支拂フ場合ハ四十一年一ヶ月間(四百九十三ヶ月)引續キ拂込ムモノトス殘存地代ノ支拂ニハ全部地代支拂ノ規定ヲ準用ス

第二十三條 義務者ハ前條規定ノ期間内ニ元金ヲ支拂ヒ地代ノ全部又ハ一部ヲ償却スル事ヲ得前項ノ支拂元金ハ年數ノ經過ニ依リ甲表又ハ乙表ノ記載ニ依ル

但シ元金ヲ支拂ハントスル義務者ハ常ニ地代ノ支拂ヲ完フセシ者ニ限ル五「グロツセン」ニ滿タサル地代ヲ負擔スル土地ハ元金支拂ニ依リ他代ヲ償却スル事ヲ得但シ此ノ場合ハ一度ニ支拂完了スヘキモノトス

第二十四條 元金支拂ヲ爲サントスル者ハ六ヶ月前ノ豫告ヲ要ス而シテ拂込ハ三月三十一日又ハ九月三十日トス一部分支拂ノ場合ハ次期ノ地代支拂日ニ拂込ムモノトス

第二十五條 義務者ハ無豫告ニテ元金ノ拂込ヲ爲ス事ヲ得

但シ此ノ場合ニハ六ヶ月後ノ拂込時期ニ支拂ヲ爲シタルモノト見做ス尙無豫告ニテ三月三十一日又ハ九月三十日ニ拂込ミタル時ハ次ノ九月三十日又ハ翌年ノ三月三十一日ニ拂込マレタルモノト見做ス

第二十六條 豫告及拂込ハ地代銀行重役又ハ其ノ代理官吏ニ對シ之ヲ爲スモノトス

第二十七條 元金ノ支拂ニ對シ銀行重役ハ領收證ヲ交付ス一部分支拂ノ際ハ領收證ニ殘金及次期ノ地代拂込日ヲ記載ス



ヘシ領收證ハ元金支拂ノ證票トス

### 第七章 權利者ニ對スル賠償

第二十八條 權利者ハ地代銀行ヨリ全地代ノ二十倍ニ相當スル額ヲ賠償金トシテ受領ス尙殘存地代カ地代銀行ニ引受ケラレタル時モ二十倍ヲ受領スル事ヲ得

第二十九條 賠償金ハ地代債券ノ額面トス若シ地代債券ニテ支拂フ事能ハサル金額ハ現金ニテ支拂フモノトス

第三十條 賠償金ハ地代銀行カ地代ヲ收得セシ時權利者ニ支拂フヘシ(第十五條及第十六條)

第三十一條 地代銀行ハ土地取扱委員會ヨリ指名サレタル權利者ニ地代債券及現金ヲ支拂フモノトス

### 第八章 地代債券及利札

第三十二條 地代債券ハ地代銀行重役ヨリ三千「マーク」、千五百「マーク」、三百「マーク」、七十五「マーク」及三十「マーク」ノ五種類ノ券面ニテ發行サレ利子ハ一ケ年四分トシ四月一日及十月一日ノ兩度ニ半ケ年分ヲ支拂フ

地代債券所有者ハ解約スル事ヲ得ス

第三十三條 各地代債券ニハ千八百五十年十月一日ヨリ起算セル八ケ年ノ利札ヲ附屬ス

第三十四條 前條記載年限ノ經過セルトキ地代債券所有者ハ同年限ノ新利札ヲ受領ス

第三十五條 支拂期到來ノ利札ハ地代銀行金庫ニテ利札引換ニ現金ヲ支拂フヘシ尙普國內ニアル凡テノ金庫ハスル利札ヲ現金ト同様ニ收納ス

第三十六條 利札ノ時効ハ四ケ年トス

時効起算日ハ支拂期後ノ十二月三十一日ヨリ始マル

第三十七條 地代債券ハ後見人ノ管理資金、公法人ノ基金及擔保物ノ目的物タル事ヲ得

第三十八條 地代銀行ハ權利者ニ全地代金ノ二十倍ニ相當スル四分利附地代債券ヲ交付シ義務者ヨリ全地代又ハ其ノ十分ノ九ノ地代元金額ノ五分又ハ四分五厘ノ銀行地代ヲ收得シ一分又ハ五厘ノ差益ヲ以テ地代債券ノ償却資金ニ充當スルモノトス

第三十九條 各地代銀行ハ前條ニ據ル債券償却資金及第二十四條及第二十五條ニ依リ收納セシ金額以內ノ地代債券ヲ半

ケ年ニ一度ノ抽籤ニ依リ額面金額ニテ償却セサルヘカラス

但シ地代債券ヲ發行セシ翌年ハ地代銀行ニ此義務ナキモノトス

第四十條 抽籤償還債券ノ所有者ハ額面金額ヲ木券引換ニテ支拂ヲ受クルモノトス

第四十一條 地代債券ノ抽籤ハ五月及十一月ニ執行ス

五月ニ抽籤セル地代債券ハ十月一日ヨリ、十一月ニ抽籤セル地代債券ハ翌年ノ四月一日ヨリ地代銀行金庫ニテ支拂ヲ開始ス

第四十二條 地代債券ノ抽籤ヲ終リタルトキハ記號、番號、償却金額及支拂時期ヲ發表シ抽籤地代債券所有者ニ支拂ヲ受クヘキ期日ヲ公告セサルヘカラス此公告ハ洲ノ公報ニ三回及新聞紙並ニ伯林ノ普國官報ニ各一回宛爲スモノトス

洲ノ公報ニ第一回ノ公告ヲ爲ス時ハ抽籤決定シタル月ニシテ且支拂時期ヨリ少クトモ四ケ月前タラサルヘカラス



第四十三條 償却期限後ノ地代債券ニハ利子ヲ付セス  
 第四十四條 抽籤債券ノ時ハ十ヶ年トス時効ハ支拂期後ノ十二月三十一日ヨリ起算ス  
 第四十五條 第四十三條ニヨリ地代債券ニ利子ヲ付セサルモ若シ其ノ後ノ債券利札ノミヲ提示シ支拂ヲ求メタル時ハ利札面記載ノ金額ヲ支拂フヘシ  
 但シ本券ヲ持參セル場合ニ既ニ支拂済トナリタル利札金額ヲ券面金額ヨリ控除シテ支拂フモノトス  
 第四十六條 抽籤債券カ地代銀行ニテ償却サレタル時ハ破却スヘシ  
 第四十七條 地代債券ノ抽籤及破却ハ地代銀行重役之ヲ指揮シ二人ノ洲會議員及一人ノ公證人立會ノ上公ニ執行ス  
 第四十八條 地代債券破却セラレタルトキハ洲ノ公報及新聞紙ニ各一回公告スヘシ

第九章 第三者ノ權利

第四十九條 土地負擔賠償法ニ規定セル第三者ノ權利ハ地代銀行ノ賠償ニ準用ス  
 地代債券ニ依ル賠償ハ元金賠償ト同一ニ看做ス但シ次ノ規定ヲ準用ス  
 一 義務者ハ地代カ地代銀行ニ引受ケラレタルトキハ其ノ地代ニ付テハ第三者ニ對シ何等ノ責任ヲ有セス  
 二 地代銀行ノ賠償ニ依リ農業金融機關カ同一ノ土地ニ對シ發行セル抵當債券ヲ無効トスルコトヲ得ス然シ乍ラ抵當債券ト同額ノ地代債券ヲ取得シ地代債券カ抽籤償却サレタルトキ同額ノ抵當債券ヲ償却シ地代債券償却金額ニテ抵當債券金額ヲ支拂フコトヲ得  
 三 權利者ハ前項ノ場合ヲ除キ地代債券カ額面金額ニテ償還サルル迄裁判所ニ供托スルコトヲ得

四 第二項及第三項ニ依リ第三者ノ權利ヲ保證ス  
 五 土地ニ附着セル抵當權其ノ他ノ債務ハ地代債券面額ニテ支拂フコトヲ得若シ地代債券ノ時價カ額面額以下タル場合ト雖其ノ差額ヲ支拂フ必要ナキモノトス若シ應セサル場合ハ第三項ノ規定ニヨリ供托スヘシ  
 抵當權者ハ抵當期限内ハ何等ノ要求ヲ爲ス事ヲ得ス  
 六 農業金融機關及裁判所ニ供託セル地代債券ハ土地ニ附着セル債務ノ擔保トス  
 七 供託債券カ抽籤ニヨリ額面金額ニテ償却サレタルトキハ現金ニテ賠償セルト同一ノ效力ヲ有シ元金賠償ニ關スル法令ヲ準用ス  
 但シ第二項ノ場合ハ此ノ限りニ在ラス

第十章 從來ノ權利者ト義務者間ニ存スル關係ノ除去

第五十條 地代銀行カ地代ヲ收得シ權利者ニ賠償セル時ヨリ土地負擔ノ代リトナリタル地代ニ付テ從來ノ權利者間ニ存在セシ凡テノ權利義務ハ消滅ス  
 但シ殘存金ニ對シテハ從來ノ權利者ハ其ノ權利ヲ保有ス

第十一章 税金ノ變更

第五十一條 地代銀行ノ賠償ニヨリ地租ヲ變更(地價修正)スル必要ナキモノトス



第十二章 準備金

三二二

第五十二條 地代銀行重役ハ手許有金ノ運用ニ依リテ得タル利子及利札並ニ抽籤債券カ時効ニ依リ利得シタル總額ヲ準備金ニ組入ルヘシ

第五十三條 準備金ハ地代ノ損害ヲ補償ス

準備金ニテ不足セル場合ハ其ノ額ヲ國家カ支出ス

地代銀行ノ事業完了セル時殘存セル準備金ハ國家ノ所得トス

第十三章 費用

第五十四條 地代銀行ノ設立費及經營費ハ國家ノ負擔トス

地代銀行重役ハ業務上ニ關スル印紙稅及郵稅ヲ免除セララル

第五十五條 土地取扱委員會ノ費用ハ千八百三十六年四月二十五日ノ費用規則及千八百三十六年六月十六日ノ同細則ノ規定ヲ準用ス

第十四章 地代銀行ノ閉鎖

第五十六條 地代銀行ノ賠償事務中止時期ハ將來ノ法律ニヨリテ定ム

第十五章 紛失債券ノ公示、催告及償却

第五十七條 地代債券ヲ紛失シ其ノ代債券ノ發行ヲ要求スル場合ハ次ノ規定ニ據ル

- 一 最後ノ所有者(紛失者)カ紛失及其ノ理由ヲ當該地代銀行重役ニ通告スヘシ
- 二 紛失者カ地代銀行重役ニ對シ地代債券ノ直ニ滅失シタルコトノ證明ヲ與ヘタルトキハ同額ノ代債券ヲ發行ス其ノ他ノ場合ニ於テハ紛失債券ハ公示催告ヲ爲シ且裁判所ノ無效宣告ヲ要ス
- 三 地代銀行重役ハ紛失地代債券ノ記號、番號、紛失者及紛失ノ事情ヲ記載シ若シ此債券ニ付テ權利ヲ有スル者アラハ届出スヘキ旨ヲ公告ス此公告ハ州ノ公報ニ一回、新聞紙ニ二回トス而シテ紛失者カ特別ノ要求ヲ爲ササルトキハ第四十二條ノ規定ノ公告ト同時ニ爲スモノトス
- 四 公報ニ公告後一ケ年內ニ何人モ届出ナク又債券モ發見セサルトキハ地代銀行重役ハ紛失者ニ證明書ヲ交付ス
- 五 紛失者ハ其ノ證明書ヲ地代銀行ノ管轄區域內ノ裁判所ニ提出シ地代債券ノ公示、催告及償却ヲ申請スヘシ
- 六 裁判所ハ届出期間ヲ定メテ次ノ二項ヲ公示ス

- イ 紛失債券ノ記號、番號及金額
- ロ 紛失者ノ姓名

地代債券ニ權利ヲ有スルモノハ届出期間內ニ其ノ權利ヲ届出スヘシ若シ届出ナケレハ紛失者ニ代債券ヲ交付ス届出期間ハ七十五「マーク」以下ノ地代債券ノ場合ニハ州ノ公報及新聞紙ニ各一回公告シ公報ニ公告シタル日ヨリ六週間以內トス三百「マーク」ノ地代債券ハ二回公告ヲ爲シ公報ニ第一回目ノ公告ヲ爲シタル日ヨリ六ヶ月間トス千五百「マーク」、三千「マーク」地代債券ハ三回公告スル外ニ伯林ノ普國官報ニモ公告シ期間ハ第一回公報公告ノ日ヨリ一ケ年以內トス

三二三



七 前項届出期及第三項ノ公告ニ依リ紛失地代債券ノ權利ヲ主張スル者アレハ紛失者トノ爭議ハ裁判所之ヲ決定ス

八 届出ナク且地代債券モ發見セラレサル時ハ裁判所ハ該債券カ無効トナルヘキ旨ヲ紛失者ニ通知シ尙裁判所内ニモ揭示ス

九 揭示後四週内ニ何人モ抗議ヲ申請セサルトキハ無効ヲ宣告シ州ノ公報及新聞紙ニ各一回公示シ無効宣告書ヲ地代銀行重役ニ通達ス地代銀行重役之ニ依テ地代債券ヲ償却シ紛失者ニ代債券及支拂未済利札ヲ交付ス

一〇 地代銀行重役及裁判所カ要シタル公示費用ハ紛失者ノ負擔トス

一一 利札ヲ紛失又ハ滅失シタル時ハ此等ノ規定ヲ適用セス

但シ利札ノ滅失ニ付地代銀行重役ニ對シ十分ナル證明ヲ爲シ能フ場合ハ代利札ヲ交付セラルヘシ

### 第十六章 持別規定

#### 甲、地代償却金庫ヲ設置セル地方

第五十八條 地代償却金庫ヲ設置セル地方ニ施行セル命令

イ 千八百三十六年九月二十日ノ閣令ニヨリ裁可サレタル千八百三十六年八月八日ノ「バアデルボーン」、「ビウレン」、「ワルブルプ」及「ホウキステル」郡内ノ土地負擔賠償ニ關スル償却金庫取扱細則

ロ 地主ノ法律關係並ニ「グラアフシヤフテン」、「ウイトケンスタイン」ベルレエブルグ」及「ビウイトゲンスタイン

「ウイトゲンスタイン」ノ土地負擔ニ關スル千八百三十九年十二月二十二日ノ法律

ハ 千八百四十五年四月十八日ノ閣令ニ依リ裁可サレタル千八百四十五年四月九日ノ「ハイリイゲンスタット」、「ミユルハアウザン」及「ボルビス」郡内ノ土地負擔賠償ニ關スル償却金庫取扱規則並ニ千八百四十六年七月六日ノ閣令ニ依リ裁可サレタル千八百四十六年六月十四日ノ前記三州内ニ於ケル國有地稅ノ輕減並ニ賠償規則ハ今後土地負擔賠償法第三十三條及第三十五條ノ例外トス本法發布後次ノ規定ハ其ノ地方ニ效力ヲ有スルモノトス

一 千八百二十一年六月七日及千八百二十九年七月十三日ノ賠償整理法ニ代テ今後ハ土地負擔賠償法ヲ適用シ賠償土地負擔ノ年額金員ヲ決定ス

二 千八百三十六年八月八日ノ取扱細則第三條及千八百四十五年四月九日ノ取扱細則第二條ノ規定（償却金庫ノ賠償ハ權利者ノ申請ニ依ル）ハ義務者ニモ賠償ヲ申請スル權利ヲ付與ス但シ其ノ土地ニ負擔スル全土地負擔ノ賠償ヲ爲シ得ル場合ニ限ル

三 千八百四十五年四月九日ノ取扱細則第二條（申請ハ常ニ羊放牧權、家畜放養權及牛乳收益權ヲモ包含スヘシ）ハ廢止ス

四 千八百四十五年四月九日ノ取扱細則ハ「ハイリイゲンスタット」郡ニ對シ次ノ如ク變更ス

(イ) 償却金庫ノ發行セル三分五厘利附債務證書ハ將來四分利附トス

(ロ) 債務證書ノ總發行額ノ一分ヲ國庫ヨリ補給シ五厘ハ三分五厘附債務證書ノ總發行額ノ一分ヲ國庫ヨリ補給シ五厘ハ三分五厘附債務證書ノ利子ヲ四分ニ引上クル爲五厘ハ債務證書ノ償却資金ニ充當ス

(ハ) 取扱細則第十二條ニ依リ義務者ノ支拂テ地代ノ二十倍ニ相當スル元金ニ對スル三分七厘五毛ヲ今後ハ土地負擔賠償法ノ規定ニ依ルコトトシ地代支拂期間モ四十三ケ年ヲ五十六年一ケ月間ニ改正ス



(ニ) 若シ義務者が此期間内ニ地代ノ全部又ハ一部ヲ現金ニテ一時償却セント欲スル場合ハ經過年數ニ應シ同法  
附屬甲表ニヨリ殘存元金ヲ支拂フヘシ千八百四十五年四月九日取扱規則附屬表ハ本法發布前償却金庫カ有效ニ  
處理セル地代ノ償却ノミニ適用ス

五 千八百三十六年八月八日ノ取扱規則ハ「バテルボルン」郡ニ關シ次ノ如ク變更ス

(イ) 義務者ハ同細則第十四條第一項及第二項ノ規定ノ拘束ヲ免ル

但シ第十四條及第十五條ニ依リ保證サレタル利益ハ收得スルモノトス

(ロ) 土地負擔ヲ取扱細則ニ據テ賠償シ又ハ已ニ償却金庫ニ地代ヲ拂込メル者ハ前項ノ利益ヲ受クルコトヲ得ス

但シ第十四條第一項及第二項ノ規定ハ適用セス

後ノ場合ニハ義務者ノ支拂フ地代ヲ本法發布後四步六分ノ一ヲ四步トシ償還年限四十一年ヲ本法ノ規定ニ變更

ス

六 本法第十八條、第十九條及第二十條ノ規定ハ既ニ成立セル償却金庫ノ地代ニ適用ス尙第三十七條及第五十七條  
ハ償却金庫ノ債務證書ニ準用ス

七 本法第三十九條及第四十條ノ規定ハ各償却金庫カ發行セル債務證書ノ償却ニ準用ス償却金庫ハ債務證書ヲ買入  
償却スル事ヲ得ス

八 本法第四十九條ノ第三者ニ對スル權利ノ規定ハ債務證書ニ依ル賠償ト同一ノ效力ヲ有ス

九 大鐵大臣及農務大臣ハ償却金庫ノ職務ヲ地代銀行及土地取扱委員會ニ分與スル事ヲ得

一〇 千八百三十六年八月八日及千八百四十五年四月九日ノ取扱規則及本條ニ規定セル制限ハ國庫ノ有スル土地負

擔ニ關シ地代、賠償、償却ノ金高及償却金庫カ斯ル地代ニ許與サレタル權利ニ對シ適用ス  
國庫ニ對シテハ債務證書ヲ作製セス

乙、國家ノ仲介ニヨリ權利者ニ地代債券ヲ交付スル場合

第五十九條 若シ義務者カ地代ノ十八倍ニ當ル現金支拂ニ依リ賠償セント欲シ權利者カ地代ノ二十倍ニ相當スル地代債  
券ヲ要求スル場合ニハ權利者ハ協約締結前ニ此要求ヲ爲シ協約ニ記載スルモノトス

第六十條 前條ニ依ル要求ヲ一月ヨリ六月マテニ權利者カ爲シタルトキハ十月一日ニ大藏大臣ノ指定セル普國金庫ニ現  
金ヲ支拂フヘシ

權利者ノ要求カ七月ヨリ十二月マテニ爲サレタルトキハ翌年四月一日ニ前項規定ノ金庫ニ現金ヲ支拂フヘシ  
第六十一條 權利者ハ賠償トシテ地代銀行ヨリ地代ノ二十倍ニ當ル地代債券ヲ受領ス

但シ二七「マーク」以下ノ元金ハ無補給ニテ權利者ハ國庫ヨリ現金ヲ受領スルモノトス

第六十二條 權利者ニ支拂ハサル賠償元金ハ國家ノ債務及千八百四十八年四月二十五日ノ法律ニ依リ發行サレタル四分  
利公債ノ償却ニ充當ス國家ハ地代銀行カ發行セル地代債券金額ノ四分五厘ヲ半年拂ニテ五十六年一ヶ月間支拂フ義務  
ヲ有ス

但シ地代債券ノ償却期限短縮ニ依ル賠償資金ノ増加ハ法律ニ依リ之ヲ定ム

第六十三條 義務者カ國庫ニ賠償金ヲ支拂ヒタルトキハ(第六十條ニヨリ)從來ノ權利者ニ對スル義務及第三者ニ對シ  
賠償金及土地負擔ニ關シ無責任トス

國庫ノ領收證ニ依リ土地負擔ヲ抹消ス



第十七章 國有地ノ地代

第六十四條 本法第六條及第七條ニ依リ地代銀行ノ賠償ニ適スル地代ノ權利者カ國有地所屬國庫タル場合ト雖義務者ノ撰擇ニヨリ(第十條)全地代又ハ其ノ十分ノ九ヲ五十六年一ヶ月又ハ四十一年一ヶ月間國庫ニ支拂フ事及義務者カ此支拂期間内ニ第二十三條ノ規定ニ依リ全部又ハ一部ノ殘存地代ノ元金ヲ一時償却スルコト並ニ第二十條ノ規定ニ依リ國有地地代ヲ負擔セル土地ノ分轄ニ對シテハ本法ヲ適用ス

但シ此規定ノ實行ニ付テハ大藏大臣之カ特別取扱細則ヲ發布ス千八百二〇年一月十七日發布國債取扱法第七章ノ規定ハ前規定ヲ顧慮シ之ヲ修正ス

第六十五條 本法施行上必要ナル命令ハ大藏大臣及農務大臣之ヲ發布ス

(附) 地代銀行營業命令

地代銀行設立ニ關スル一八五〇年三月二日ノ法律第六十五條(一八五〇年法令集第十號第七七頁)並ニ地代銀行中央委員會設置ニ關スル一八五〇年五月二十一日ノ勅令(一八五〇年法令第二十六號第三三四頁)及「地代銀行」設立ニスル關スル一八五〇年六月二十四日ノ勅令(一八五〇年法令集第二十八號第三四一頁)ニ基キ一八五〇年三月二日ノ法律實施ニ關シ茲ニ次ノ如ク規定ス

第一條 地代銀行重役會ハ一八五〇年三月二日ノ地代銀行法並ニ營業命令及其ノ他ノ施行令ニ從ヒ獨立ニ又ハ自個ノ責

任ヲ以テ委任セラレタル事務ヲ管掌ス

州知事ハ地代銀行ノ行政及事業經過ニ關シ一般の並ニ特殊の總テノ報告ヲ受ケ且重役會議ニ列席スヘキ權能ヲ有スルモノトス

重役會ノ報告ハ何レニ進達スヘキモノト雖總テ州知事ニ提出スヘキモノトス

第二條 重役會ハ事務員ノ執務規則及事務ニ必要ナル帳簿ヲ制定ス帳簿ノ様式ニ關シテハ地代銀行中央委員會ノ認可ヲ得スシテ主要ノ變更ヲ爲スヲ得ス事務員ノ執務規則及帳簿様式ハ制定ト同時ニ謄本ヲ地代銀行中央委員會ニ提出スヘシ重役會ハ毎年地代銀行ノ總豫算ヲ立案シ第二季ノ終以前ニ之ヲ大藏省ニ進達スルモノトス

第三條 頭取ハ事務員ノ事務分擔ヲ定メ會議ノ開催及會議ヲ要スヘキ事件及問題ヲ指定ス作成書類ノ正本ニシテ別ニ規定ナキモノハ單ニ頭取ノミ之ニ署名ス

但シ一定ノ命令ニ關スルモノニ限り常務取締役ニ其ノ署名ヲ委任スルコトヲ得地代銀行下級事務員ノ任免ハ常務取締役ト協議ノ上之ヲ行フベシ

第四條 常務取締役ハ專ラ金錢出納、帳簿作成其ノ他一切ノ會計事務ニ當リ又金庫ヲ管理ス同時ニ取引狀態ヲ完全ニ整理スル爲第一號ニ掲クル書式ニ從ヒ地代收納、地代債券及端金ノ發行及支拂期限前地代償還金ノ受入、地代債券ノ抽籤償還及支拂利子總額ヲ計算シ半年毎ニ之ヲ締切ル抽籤ニ附スヘキ金額ハ前記ノ計算ニ基キ之ヲ調査證明シ命令ノ草案ニハ總テ副署スヘシ

第五條 金庫ノ設備及管理ニ關シテハ特別ノ訓令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 金錢出納ニ關スル帳簿及常務取締役ノ備フル帳簿ノ外地代銀行ニハ凡ソ次ニ掲クル帳簿ヲ備フルモノトス



- 一 取引記入簿（通信簿）
  - 二 地代登録臺帳及見出帳
  - 三 地代債券元帳
  - 四 利札發行簿
  - 五 期限前償還元金記入簿
    - イ 常務取締役備付ノ分
    - ロ 記帳掛備付ノ分
  - 六 地代徴收簿
- 第七條 開拓局ヨリ地代引受ノ申込（協約）アリタル時ハ重役會ハ申込ヲ調査シ瑕疵ナケレハ之ヲ引受ケ然ラサレハ理由ヲ付シテ開拓局ニ返却スル事ヲ得
- 地代銀行ハ地代引受ニ因ル效力發生ノ時期（地代銀行ノ條例第十五條、第十六條、第二十一條及第三十條）ヲ義務者及權利者竝ニ開拓局ニ即時通知スヘキモノトス
- 第八條 地代登録臺帳ハ規定ノ書式ニ從ヒ之ヲ
- イ 事務局備付
  - ロ 地方金
- ノ二種ニ分ツ
- 地方金庫ノ存セサル所ニ就テハ重役會ハ中央委員會ノ承認ヲ經テ縣又ハ其他ノ金庫ヲ指定シテ地代金臺帳ニ關スル

地方金庫ノ職能ヲ行ハシムル事ヲ得

第九條 地代臺帳ハ之ヲ市町村別ニ分チ各義務者ニ對シ個別ニ欄ヲ設ケ其ノ内ニ元金償却又ハ所有權移動ニ依テ生セル變更ヲ記シ又新規發生ノ事項ハ即時ニ之ヲ記入スヘシ

國庫ノ支拂フ地代（一八五〇年三月二日ノ法律第九條、第五十九條及第六十二條）ニ關シテハ規定ノ書式ニ依リ別ニ欄ヲ設ケテ之ヲ記入スヘシ

第十條 地方金庫ニ於テ取扱フ地代金臺帳ハ最初重役會ニ於テ原本ヲ作成シ其ノ後ハ之ニ依テ記入ヲ繼續スルモノトス

第十條 解約豫告（地代銀行法第二十三條）ハ之ヲ地方金庫ニ提出シ該金庫ニ於テ規定ノ書式ニ從ヒ之ヲ記録ス

一時償却モ之ヲ地方金庫ニ申込ムヘシ（同上第二十六條）但シ此際ニハ該金庫ノ管理者ハ即時之ヲ報告シ支拂金額ハ遲滞ナク地代銀行ニ移送セシムルコトニ注意スルヲ要ス

第十條 地方金庫ニ於テハ毎月決算ト共ニ解約記録ヲ地代銀行重役會ニ報告シ又其ノ月ニ解約ノ申込ナキ場合ニハ月末決算報告ノ際其ノ旨ヲ通知スヘシ

重役會ハ解約記録ニ基キ地代銀行法第二十三條ニ掲ケタル表ニ準シテ計算セル元金額ヲ規定ノ書式ニ從ヒ當該帳簿ニ記入シ地代銀行ノ收入セル元金額ヲ明カニ表シ置クモノトス

期限前償還元金記入帳ハ地方金庫管區ニ分チ之ヲ作成ス

第十條 地方金庫ニ於テ元金支拂ヲ受ケタル場合ニハ其ノ收入額ニ對シ假領收證壹通ヲ義務者ニ交付シ其ノ金額ハ即時ニ地代銀行ニ送附スルモノトス

地代銀行ニ於テ金額ヲ收納シタル場合ニハ償却領收證ヲ作成シ第一ニ會計官次ニ重役之ニ調印ス之ト同時ニ特ニ書面



又ハ當該地方ノ公報ヲ以テ義務者ニ對シ該領收證ハ假領收證書ト引替フル爲ニ地方金庫ニ送附シアル旨ヲ報告ス

第拾四條 無豫告ニテ支拂ハレタル元金モ同シク之ヲ期限前償還元金記入帳ニ記入(第十二條)スレトモ法定ノ支拂期限ニ達スル迄ノ間ハ之ヲ寄托金トシテ地方金庫ニ保管セシム(地代銀行法第二十五條)

義務者ノ債務免除ノ證ト爲ルヘキ重役會ノ領收證(第十三條ノ償却領收證)ハ前項ノ期限滿了後ニ之ヲ交附ス

第拾五條 義務者カ一度解約通知ヲ爲セル時ハ更ニ之ヲ取消スコトヲ得サルノミナラス若シ期限滿了後未タ支拂ヲ爲ササル場合ニハ解約記録ニ基キ必要ナル場合ニハ競賣法ニ依テ之ヲ徵收ス

第拾六條 法律上完全ニ其ノ效力ヲ認メラレタル時期ニ於ケル元金支拂ニ際シ(地代銀行法第二十四條及第二十五條)尙未拂殘額ノ生スル場合ニハ先ツ之ヲ未拂元金ト見做シ之ヲ記帳シ(地代銀行法第二十三條)不足額ハ第十五條ニ依テ義務者ヨリ之ヲ徵收ス

第拾七條 重役會ハ豫メ稅務署、市町村役場其ノ他適當ノ地方官署ヲ指定シ地代拂込義務ヲ有スル土地ノ所有權變更ヲ第一着ニ届出ツヘキ場所ヲ定ム

第拾八條 所有權變更届ノ受理ヲ委任セラレタル官署ハ義務者ノ提示スル買入契約書及抵當證書等ノ如キ所有權證明書ニ基キ規定ノ書式ニ從ヒ地方金庫ヨリ交付セル書替記録簿ニ事件ヲ記入シ之ヲ毎年七月一日地方金庫ニ提出ス書替記録ハ市町村別ニ之ヲ記載スヘシ

第拾九條 地方金庫ハ地代金臺帳ヘ支拂濟若ハ解約セル元金ニ關スル證明及書替記録ニ基キ各市町村毎ニ規定ノ書式ニ從ヒ徵收簿ヲ作成シ之ヲ書替記録ト共ニ時期ヲ過サス検査及確定ノ爲ニ會計年度ノ開始以前ニ重役會ニ提出スヘシ

第貳拾條 重役會ハ書替記録ニ基キ其ノ備付ノ地代金臺帳ヲ訂正シ除名スヘキモノヲ整理シ受理セル徵收簿ヲ各欄ニ照シテ検査シ該簿ニ確定證ヲ押捺シテ書替記録ト共ニ之ヲ地方金庫ニ返附ス地方金庫ハソレニ依リ備付ノ地代金臺帳ヲ訂正シ徵收簿ハ之ヲ地方稅務官吏ニ返附ス

第貳拾壹條 徵收簿ノ作成及確定ハ毎年之ヲ行フ會計年度ノ前半期中ニ生セル除名及新入ニ關シテハ地方金庫ハ地方稅務官吏ニ其ノ證明書ヲ交付ス

第貳拾貳條 重役會ハ單ニ地方金庫ニ對シテノミ直接ニ交渉ヲ爲ス地方金庫ハ收支日記ヲ備ヘ地方稅務官吏ヨリ收入セル金額ハ毎月分テ一括シテ地代銀行ニ引渡スモノトス

第貳拾參條 地方稅務官吏ハ收入日記ヲ備ヘ地代ヲ收入シ其ノ金額ハ決算未納明細書ト共ニ毎月地方金庫ニ引渡スヘシ徵收簿及除名新入證明書ハ成ル可ク早ク之ヲ作成シ以テ地方稅務官吏カ既ニ十月及四月ノ前半期ニ於テ豫定收入ヲ收入日記ニ記入シ得ル様ニ爲スヲ要ス既ニ數年ノ久シキニ互レル徵收簿ハ之ヲ地方金庫ニ返還スヘシ

第貳拾四條 未拂殘高ノ徵收ニ關シテ第一着ニ必要ノ手段ヲ盡スヘキ者ハ地方金庫ナリト雖又重役會ニ於テモ之ヲ監視スルヲ要ス如何ナル場合ト雖殘高ハ決シテ免除スヘカラス

第貳拾五條 (租稅法ノ實施ト同時ニ消滅)

第貳拾六條 地代債券及利札ノ用紙ハ伯林ニ於テ調製ス必要ノ生スル毎ニ重役會ハ之ヲ地代銀行中央委員會(註、現時ハ大藏省)ニ請求スヘシ

第貳拾七條 地代銀行ハ交付セラレタル地代債券及其ノ利札竝ニ既ニ發行使用シタルモノニ關シテハ規定ノ書式ニ從ヒ特別ニ帳簿ヲ備フルヲ要ス十月一日及四月一日ノ半年毎ニ精算シ之ヲ頭取ニ提示ス此ノ計算ヲ基礎トシテ二名ノ州會



議員及州長官ノ任命スル官吏立會ノ上其ノ在高ヲ検査シ検査記録ヲ地代銀行中央委員會ニ進達ス

書記捺印掛ノ過誤又ハ其ノ他ノ方法ニ依テ毀損シタル用紙ハ破棄セラルルニ至ル迄ハ之ヲ在高ノ内ニ計算スヘシ

第貳拾八條 地代債券及利札ノ用紙ハ頭取、常務取締役、支配人及保管掛ニ依リ三重ノ封印ヲ爲シタル上保管ス

債券發行ノ爲ニ取出セル用紙ハ特別ニ帳簿ヲ備フルヲ要ス發行ハ常務取締役ノ特別監視ノ下ニ行ハルヘシ

第貳拾九條 各權利者ニ交付スル地代債券ハ出來得ル限り多額ノ指値ニ於テ發行スルヲ要ス少額ノモノハ少額指値ノモ

ノヲ發行スルヲ原則トス

第參拾條 地代債券發行ノ命令アル場合ニハ所要ノ用紙ニ記入及捺印ヲ爲シ規定ノ書式ニ從ヒ發行原簿ニ登記シ當該掛

員ノ記註ヲ爲シタル後署名ヲ求ムル爲ニ之ヲ重役會ニ提出ス地代債券ニハ總テ第一ニ常務取締役次ニ支配人及事務員

之ニ調印ス

第參拾壹條 地代銀行法第五十七條ニ於テ地代債券ノ紛失、毀滅又ハ竊取セラレタルコトヲ重役會ニ届出タル場合ニ於

ケル取扱手續ヲ規定ス

重役會ハ此等ノ地代債券ニ關シ規定ノ書式ニ從ヒ備忘録ヲ備ヘ又其レニ記入シタル事項ハ同時ニ發行原簿ノ當該個所

ニ之ヲ記註シ置クヘキモノトス

第參拾貳條 地代銀行法第三十三條ニ依リ地代債券ニ附シテ發行セラルル利札ハ重役會所定ノ捺印ヲ施シ發行原簿ノ欄

内(第三十三條)ニ登記シ當該掛員ノ割印ヲ爲シタル後地代債券ト共ニ之ヲ重役會ニ提出ス

利札ハ前記第三十三條ノ規定ニ依リ一八五〇年十月一日ヨリ起算シ滿八個年ニ達スル期限ヲ有スルモノヲ地代債券ニ

附シテ發行セラルルモノトス故ニ總テ新規ニ發行スル利札ニ關シテハ前記期限内ニ滿了スヘキモノトス又前記期間中

ニ調製セラルル地代債券ニ對シテハ只殘餘ノ年月ニ對スル分ノ利札ノミヲ添附スヘキモノトス即チ一八五八年十月一  
日ニ於テ總テノ利札ハ滿了シ以後ハ新規ノ組ヲ起スヘシ

第參拾參條 地代債券ノ所有者ハ八箇年ノ期限滿了ノ際ハ其ノ姓名、身分又ハ職業及住所ヲ明記シ重役會ノ證明ヲ附セ  
ル更改證書ヲ新規利札添付ノ爲ニ差出スヘキモノトス受理セル更改證書ノ出入ニ關シテハ規定ノ書式ニ從ヒ特別ニ帳  
簿ヲ備フルモノトス

差出人ノ身柄ニ關シテハ敢テ調査ヲ爲スヲ要セス紛失又ハ竊取セラレタル地代債券ハ重役會ニ於テ書留メ其ノ處分

(地代銀行法第五十七條)以前ニハ利札ヲ交付セサルモノトス發行及記帳濟ノ利札ハ之ヲ差出人ニ交付ス

尙事務取扱方、取締法又ハ其ノ他ノ件ニ關スル細則ハ重役會ニ於テ任意之ヲ規定スルコトヲ得

第參拾四條 權利者ハ地代銀行法第二十八條、第二十九條及本命令第二十九條ノ規定ニ依リ賠償セラルルモノトス賠償

トハ權利者カ同一土地ノ占有者トシテ一定期間ニ受クヘキ一切ノ賠償ヲ稱ス

但シ地代債券ニ依リ難キ過剩ノ金額ニ限り現金ニテ賠償ス

第參拾五條 端金ハ償却積立金ヲ以テ補償ス若シ當初ニ於テ之ニ不足スル場合ニハ一時經常費ヲ以テ繰替フルコトヲ

得

第參拾六條 重役會ニ於テ調印シタル地代債券ニ端金生シタル場合ハ規定ノ書式ニ從ヒ領收證ト引替ニ開拓局カ正當ト

認メタル受領者ニ之ヲ交付ス(地代銀行法第三十一條)

領收證ハ誤ナク記帳サレ又交付サレタルコトヲ認知シ又此認知ヲ原簿ニ記名スル爲ニ事務員ニ之ヲ提示スヘキモノト

ス權利者ニ對シテ賠償ノ行ハレタル後直チニ重役會ハ其ノ由ヲ開拓局ニ通知シ土地抵當登記簿ノ訂正及地代銀行法第



十八條ニ規定セル記入ニ關シ必要ナル處置ヲ行ハシムヘシ

第參拾七條 地代銀行法第四十一條及第四十七條ノ規定ニ依テ行ハルル地代債券ノ抽籤ハ事務員之ヲ行フ半年毎ニ抽籤スヘキ地代債券ノ數額計算ノ方法ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

各種ノ指値ヲ以テ發行セラレタル地代債券(地代銀行法第三十二條)ノ各種類ニ於ケル抽籤額ハ其ノ發行額ニ按分比例シテ之ヲ定ム

抽籤期ノ前期間ニ始メテ發行セラレタル地代債券ハ毎回其ノ抽籤ヲ除外ス

第參拾八條 抽籤ニ附セラルヘキ地代債券ハ一通毎ニ其ノ番號及記號ヲ記セル圖一個ヲ造リコノ圖ヲ地代債券ノ各種類ニ從ヒ既設セル中空ノ圓筒ニ收ム抽籤終了後毎回此ノ圓筒ハ重役會ノ封印竝ニ地代銀行法第四十七條ニ依リ立會ヲ命セラレタル吏員ノ印ヲ以テ封緘ス

毎回抽籤開始前立會ヲ命セラレタル吏員ノ面前ニ於テ此ノ封緘ノ異狀ナキコトヲ確メ其ノ後圓筒ヲ開キ更ニ圖ヲ投入スルモノトス

第參拾九條 抽籤ニ關シテハ記錄ヲ作成シソレニ當籤地代債券ノ番號、記號及金額ヲ記シ抽籤主任竝ニ立會吏員ノ署名ヲ施シ地代銀行法第四十二條ニ據ル公告ノ根據ヲ作ルヘキモノトス

五月ニ行フ抽籤ヲ掲クル公告ト同時ニ滿了後二年内ニ未タ償還ヲ申出テサル有效ナル地代債券竝ニ地代銀行法第四十四條ニ依リ前年ノ終ニ於テ既ニ時効トナレルモノノ番號、記號及金額ヲ掲載公告スヘキモノトス

第四拾條 重役會ハ抽籤ニ關スル記錄ニ基キ地代銀行金庫ニ宛テ地代銀行法第四十一條ニ定ムル期日到達後ニ於テ當籤地代債券ノ資本金額ヲ支拂フヘキ命令ヲ發ス

地代銀行ハ當籤地代債券ヲ債券及附屬セル未拂利札ト引替ニ支拂ヲ行フ若シ不足ノ利札存スル場合ニハ支拂金額ヨリ之ヲ控除ス(地代銀行法第四十三條及第四十五條)

第四拾壹條 滿了期日以前ニ於ケル當籤地代債券ノ支拂ハ唯重役會ノ特別命令アル場合ニ限り之ヲ行フヲ得但シ支拂期日ヨリ滿了期日ニ至ル迄ノ間ニ於ケル利子ハ之ヲ控除ス

第四拾貳條 地代銀行法第四十六條乃至第四十八條ニ規定セル抽籤濟又ハ支拂濟地代債券及ソレト共ニ返附セラレタル未拂利札ノ破棄ハ發行原簿ニ削除ヲ爲シ規定ノ書式ニ從ヒ消却登錄簿ニ登記シタル後一年毎ニ之ヲ行フ

事務員ノ監督ヲ以テ作製セラレル破棄登錄ノ根據トナルモノハ債券ノ償却及登記ヲ證明シ又委員ニ於テ破棄ノ行ハレタルコトヲ承認スル所ノ破棄原簿トス此ノ原簿ハ第四十八條ニ從ヒ公報ニ掲クヘキ記錄ト共ニ之ヲ公表スルノ要ナシ然レトモ破棄債券ノ各種類ノ個數ハ之ヲ告示セサルヘカラス

前項ノ事務ヲ執行スルト同時ニ同一ノ委員ノ立會ヲ經テ前記第二十七條ニ規定セル地代債券又ハ利札ノ破損用紙ヲ認證スルニ足ル原簿ヲ根據トシテ破棄スヘシ此ノ場合ニハ又別ニ之ニ關スル記錄ヲ作成スヘシ但シ之ヲ公表スル必要ナシ

第四拾參條 (現時ハ廢止ニ歸ス)

第四拾四條 地代銀行ノ經營費ハ豫算ニ基キ在金ヲ以テ繰替ヘ支拂ヒ特別ニ定メラレタル期日ニ於テ國庫ヨリ補償セラ

ルモノトス(地代銀行法第五十四條)  
不用ノ在金ハ可及的ソレヲ利用スルコトニ努ムヘシ在金ノ利用法就中積立金(地代銀行法第五十二條)ニ關シテハ重役會ノ提議ニ基キ中央委員會ニ於テ之ヲ裁決ス



第四拾五條 地代銀行ハ毎年計算書ヲ作成セサルヘカラス會計年度ハ四月一日ヲ以テ開始ス計算書ハ遅クモ九月十五日迄ニ検査ノ爲會計検査院ニ提出スヘシ計算作成ニ關スル細則ハ金庫取扱規則ニ於テ規定セラルヘシ

第四拾六條 本營業命令ヲ適用スルニ當リ變更又ハ追加ノ必要ヲ認ムル場合ニハ地代銀行重役會ハ中央委員會ニ進達シ必要ト認メタル規則ヲ立案シテ提議スヘシ

但シ此レカ認可セラルル迄ノ間ハ本命令ノ規定スル處ニ從フヘシ

一八五〇年七月十二日

「伯林ニ於テ

「地代銀行」中央委員會

ボ ー デ 署 名

### 地代銀行金庫取扱規則

第壹條 地代銀行ノ金庫ハ次ニ掲クル帳簿ヲ備置クヘシ

- 一、收入及支出日記帳
- 二、地代記入帳
- 三、地代債券償却資金記入帳
- 四、支拂濟地代債券元帳

五、預金及立替支拂金記入帳

六、準備金記入帳

七、事務費記入帳

八、受附日誌

九、受入及發送金郵便簿

第貳條 收入及支出日記帳ハ規定ノ書式ニ從ヒ常ニ記入ヲ整頓スヘシ

此ノ帳簿ニ依テ他ノ關係記入ヲ行フモノトス

第參條 特別金庫ヨリ交付シ來ル總テノ收入地代ハ收入日記帳ノ本欄第五號乃至第八號ノ外特別欄第九號乃至第十三號ニ記帳セラルルモノトス

特別金庫ヨリ收入地代ノ交付済ミタル後四月及十月ノ締切以前ニ於テ償却資金ニ繰入ルヘキ金額ヲ確定シタル時ハ支出日記帳ノ特別欄第十一號及第十二號又ハ收入日誌ノ特別欄第十五號及第十六號ニ之ヲ記入ス

半年毎ニ償却資金ニ繰入ルヘキ金額ノ調査ハ地代銀行執務規則(第十六條、第十八條及第二十三條)ニ依ル此ノ額ハ半年間ニ於ケル地代金豫定收入及地代債券利子ノ豫定支出ニ於ケル單一對照ニ符合セサルヘカラス

第四條 一、利札ヲ金庫ニ提示スル者ハ其ノ種類、金額及總金額ヲ明記シタル目錄ヲ添ヘテ之ヲ會計官ニ差出スヘシ利札ノ數少ナキ場合ハ目錄ヲ除クコトヲ得

二、會計官ハ利札及目錄ヲ検査シ其ノ誤ナキコトヲ確認シタル後相當金額ヲ支拂フヘシ

三、伯林及「ブレスラウ」市ノ地代銀行金庫ノ會計官ハ事務繁忙ヲ極メタル場合ニハ前項ノ検査ヲ監督官ニ委任スル



コトヲ得監督官ハ此ノ場合ニ於テハ會計官ト同様ノ責任ヲ有シ其ノ誤謬ナキコトヲ確認シタル時ハ適當ナル記號ヲ記シ之ヲ證明スヘシ

利札ノ數カ目錄ニ相違スル場合ニハ即座ニ之ヲ訂正セシム即時訂正シ難キ場合ニハ訂正ヲ爲サシム爲ニ利札及目錄共ニ一時之ヲ返附スヘシ會計官又ハ監査官ニ於テ利札ノ眞偽ニ關シテ疑ノ生シタル場合ニハ其ノ利札ヲ留メ置キ重役會ニ提出スヘキ本件記録ヲ調製スルモノトス此ノ記録ニハ持參人ノ姓名及以前ノ所有者ニ關スル當事者ノ口供ヲ掲載スヘシ此際持參人ニハ領收證ヲ交付ス

四、各所ノ地方金庫ニ於テ支拂ヒタル地代債券利札ヲ收容スル袋ヲ受理シタル場合ニハ利札及目錄ノ檢査ハ監査官ニ又其レヲ置カサル所ニ於テハ簿記掛ニ命スルコトヲ得此ノ場合ニハ此等ノ官吏ハ會計官ト同様ノ責任ヲ有シ事實ヲ當該目錄ニ附記シテ之ヲ證明スルモノトス

五、一日ノ間ニ支拂ヒタル滿期利札ハ滿期日及種類ニ從ヒ之ヲ整理シ下部右端ヲ切斷シテ破毀ノ印トナシ若シ出來得ヘクンハ百個ヲ一纏ニシテ疊紙ノ内ニ收メ其ノ表面ニ各數額ノ個數、金額並ニ支出ノ總額ヲ記シ置クヘシ此ノ支出總額ハ各償還期日毎ニ合計シテ日誌及記入帳ニ記帳スヘキモノトス

支拂濟滿期利札ハ記帳濟ノ後ハ會計官及監査官、又監査官ヲ置カサル地代銀行ニ於テハ會計官及簿記掛共同ニテ之ヲ封緘ス

第五條 地代記入帳ハ規定ノ書式ニ從ヒ之ヲ作成スヘシ

收入記入帳ノ借方欄ノ最前部ニハ年度ノ始ニ際シ出入連續スル爲ニ締切能ハサル前年度ノ豫定收入ヲ記入ス出入ヲ記スル欄ノ記帳ハ毎年四月一日及十月一日ニ於テ重役會ノ定ムル命令ニ準シテ之ヲ行フモノトス(後段第十六條及第十

八條參照)

地代債券利札ノ豫定支出ニ關シテモ又同シ手續ヲ以テス

償却資金ニ充當セラルル地代(地代銀行法第三十八條)ノ豫定支出ハ斯ノ如クシテ算出セラルルモノトス此種ノ豫定支出ハ地代債券利札ノ豫定支出ニ對スル地代ノ豫定收入ノ剩餘ヨリ生シ重役會ヨリ發スル每期ノ命令(後段第十六條第十八條及第二十三條)ニ依テ之ヲ識ルヲ得ヘシ

第六條 地代記入帳ハ各地方金庫(西部諸州ニ於ケル特別金庫ニ同シ)毎ニ特別ノ記入欄ヲ備フヘシ地代銀行法第五十條及第六十二條ニ依リ國庫ヨリ支拂ハルル地代ニ關シテモ又同シ此ノ種ノ地代カ各種ノ金庫ヨリ支拂ハルル場合ニハ其ノ金庫ノ種類毎ニ別ニ收入欄ヲ設クルモノトス

各收入欄ノ計算ハ各三ヶ月ノ終毎ニ締切リテ決算殘リハ之ヲ次ニ移スモノトス

第七條 (廢止セラル)

第八條 一、支拂濟利札ハ檢査ノ爲メ四月、五月、十月及十一月ニ於テハ每週、其ノ他ノ月ニ於テハ毎月計算締切後ニシテ且重役會ノ執行スル會計檢査以前ニ金庫ニ殘置スヘキ決算表ニ據リ引渡スモノトス決算表ニハ重役會ノ假領收證ヲ(檢査執行後ニ於テ)附記ス又此ノ決算表ハ會計檢査ノ際ニハ證明書トシテ用ヒラルルモノトス年度締切後ニ於テ重役會ハ此ノ假領收證ト引換ニ一年分ノモノヲ總括スル領收證ヲ交付ス此ノ領收證ハ利子支拂ニ關スル法律上ノ證據ト成ルヘキモノトス此ノ領收證ニハ利子ノ滿期日毎ニ分テ之ヲ掲ケ置クヘシ

二、第一項ニ掲クル檢査ヲ行フ爲ニ常務取締役ハ引渡ヲ受ケタル利札ヲ事務員ニ分配シテ檢査ヲ擔當セシム常務取締役ノ監督ノ下ニ行ハルル檢査ハ殊ニ左記事項ニ留意スルヲ要ス



イ、既ニ時効ニ罹リ從テ支拂不當ナル利札又ハ未タ滿期トナラサルモノ則チ支拂尙早ナルモノノ有無  
ロ、偽造又ハ變造利札ノ有無

検査ノ際若シ此等ノ利札ヲ發見シタル場合ニハ決算表ニ削除ヲ施シ其ノ利札ハ賠償セシムル爲ニ會計官ニ返附ス  
ヘシ

正當ノモノト認メラレタル利札ハ検査済ノ證トシテ上部右端ヲ切斷シ包裝紙ノ表面ニ検査員ハ正當利札ナルコト  
ノ證明ヲ記スヘシ支拂濟利札ハ常務取締役及支配人ノ封緘ヲ施シ重役會之ヲ保管シ時効期間(地代銀行法第三十  
六條)滿了後之ヲ破棄ス

第九條 (現時消滅ニ歸シ一八八二年六月二十七日ノ省令第九條ノ左ノ如キ規則ト代ル)

時効期間滿了後殘存スル利子ハ拂戻ヲ受ケテ之ヲ準備金ニ受入ルルモノトス

第十條 地代債券償却資金記入帳ハ規定ノ書式ニ從ヒ作成スルモノトス

最前部ノ欄ニ記入セラルヘキ現存地代豫定收入ハ前年度末ニ於ケル收入地代金殘存額ト地代債券利子ノ年額トノ差額  
ヨリ生スルモノトス地代引受期日ト抽籤期日ニ於ケル一ケ年間ニ生スル差額ハ「出」及「入」ノ欄ニ於テ之ヲ證明ス  
ヘシ

現存地代金ノ豫定收入及實收入ハ地代資金ニ於ケル支出額(第五條末項)ト符合セサルヘカラス  
償還サルヘキ元金ノ豫定資金ハ地代銀行重役會ノ定ムル收入命令第十八條ニ基キ「入」ノ欄ニ記入スヘキモノトス  
支出ノ豫定總額ハ收入ニ於ケルモノニ準ス

但シ特別ノ支出ハ本令第十七條及第二十三條ニ依リ發セララルル命令ニ據リ記入セラルルモノトス

第十條 支拂濟地代債券元帳ハ規定ノ書式ニ從ヒ債券ノ各種類ニ分類作成シ出來得ル限り容積ヲ大ニシテ地代銀行ノ

繼續スル限り使用スルニ適スルモノヲ調製スヘキモノトス本元帳ハ四月一日及十月一日ノ兩期日毎ニ之ヲ締切リ此際

當籤番號(第二十三條)ノ總金額ヲ流通中ノ債券金額中ヨリ削除スヘキモノトス新規發行ノ通知ヲ受ケル場合(第十

六條)ニハ直ニ番號順ニ之ヲ追記スヘシ

第十一條 預金及立替支拂金記入帳ノ書式ハ本令ニ添付スル特ニ帳簿ヲ別ニセス之ヲ一冊内ニ記入スルコトヲ得

第十二條 準備金記入帳ノ記帳ニ關シテハ次ニ示ス方法ニ依ルヲ要ス即チ第一號イ及ロノ收入及支出ニ關スル個所ニハ

準備金ノ在高ヨリ生スヘキ利子ノ豫定收入ヲ記帳シ之ニ反シ地代銀行金庫ノ現金在高ヨリ生スル資金ハ追加部トシテ

特別ニ設ケラレタル個所ニ記帳シ該計算ヲ毎年締切リ其ノ結果ヲ年度計算(第三十條)ニ計上スルモノトス

第十三條 事務費記入帳ハ規定ノ書式ニ從ヒ作成シ豫定支出ハ確定豫算ニ從ヒテ記帳セラルモノトス

第十四條 事務ノ正確及秩序保持ノ爲竝ニ郵送金額ヲ會計検査ノ際證明スル爲ニ規定ノ書式ニ從ヒ受附日誌(別稱執務

日誌)及郵便簿ヲ備置クコトヲ得

第十五條 引受期日ノ經過スル毎即チ各四月一日及十月一日後ニ地代銀行重役會ハ金庫ニ對シ次ノ如キ命令ヲ發ス

一、引受地代ニシテ今日迄ノ年度額ニ繰入レラルモノニ關スル收入命令

二、地代銀行法第五十九條及第六十二條ニヨリ國庫カ支拂フヘキ地代ニ關スル收入命令

三、地代債券利子ニ對スル支出ニシテ今日迄ノ年度支出額ニ繰入レラルモノノ内準備金トナルヘキモノニ關スル支  
出命令

三三三 三ニ掲クル命令ニハ徵收ノ爲ニ新タニ地代銀行金庫ニ交付サレタル地代金ノ額ハ發行地代債券ト支拂濟資本端金トノ



額ニ適合スルコトヲ明瞭ニ示ス所ノ一覽表ヲ添付スヘキモノトス

一及ニ二掲クル命令ノ書式ハ本令ニ添付スニ二掲クル命令ノ書式ハ一ニ掲クルモノニ同シ

第拾七條 資本端金ノ支拂ハ其ノ都度重役會ノ命令ニ依ルモノトス

第拾八條 地代銀行重役會ハ營業命令第十二條ニ依ル監督ヲ行フ爲ニ毎年三月三十一日及九月三十日(地代銀行法例第

二十三條及第二十四條)ニ於テ收納スヘキ償却元金ニ關シ半年毎ニ各義務者ヨリ收納スル元金ノ一覽表ヲ添付スヘキ

モノトス

此ノ一覽表ハ之ヲ二部ニ分チ一部ニハ地代金一部償却ニ關スルモノ他ノ部ニハ全部償却ニ關スルモノヲ掲クルヲ要ス

此ノ規定ニ依テ發スル命令ノ書式ハ本令ニ添付ス

第拾九條 償却元金カ無豫告ニテ支拂ハレタル場合ニハ斯ノ如キ支拂金ハ地代銀行營業命令第十四條ノ規定ニ從ヒ地代

銀行法第二十五條ニ依ル支拂效力ノ發生スル迄之ヲ保管金(預金)トシテ取扱フモノトス

斯ル支拂ハ本令第十八條ニ依リ重役會ノ發スル命令中ニ掲ケ適當ノ記帳ヲ行ハシムヘシ未タ豫告期間ニ到達セサル地

代金カ支拂ハレタル場合ニ此地代金カ次期會計年度ニ屬スルモノナレハ同シク一時之ヲ預金トシテ領收シ置クモノト

ス

地代支拂義務者カ特ニ無豫告支拂ヲ欲シテ之ヲ地代銀行金庫ニ申出テタル場合ニハ重役會ニ申達シ重役會ハ即時之ヲ

受理スヘキモノトス

第貳拾條 金庫ハ四月及十月ニ締切ヲ行ヒ其ノ後ハ直ニ地代銀行重役會ニ對シテ第十八條ニ依リ豫定收入ト成ルヘキ償

却元金ニシテ既ニ締切以前ノ豫告ニ係ルモノノ未拂ノ有無ニ關スル報告ヲ爲スヘキモノトス

重役會ハ此ノ報告ニ基キ營業命令第十五條ニ定ムル規定ヲ實施シ同時ニ又金庫ニ對シテ此ノ未拂額ハ之ヲ準備金ヨリ  
償却元金ニ移入スヘキコトヲ命スヘシ未拂地代金ニ關シテ規定スル第十三條ノ規則ハ此ノ場合ニモ適合セラル  
未拂元金ニ對スル延滯利息ハ準備金ニ組入ラルモノトス

第貳拾壹條 償却元金ノ領收證書ハ一部拂ト全部拂トヲ區別シ規定ノ書式ニ從ヒ作成ス

四月及十月ノ終ニ地代銀行金庫ハ其ノ記入及調印セル領收證書ヲ重役會ニ提出シ重役會ハ營業命令第十三條及第十四  
條ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ

豫告セスシテ支拂ハレタル償却元金ニ對シテハ地代銀行金庫ハ假領收證ヲ交付ス第二十一條ニ於テ規定セル領收證書  
即チ義務者ノ債務免除ノ證トナルヘキモノハ確定領收ノ後ニ之ヲ作成ス

例外トシテハ抵當登記簿ニ記載サレタル債務ニ關スル記註ノ抹消ニ要スル領收證ハ本人カ重役會ニ爲セル申告ニ基キ  
元金償却ノ行ハレタル時直ニ之ヲ交付スルコトヲ得

第貳拾參條 地代債券ノ抽籤カ執行サレタル時ハ重役會ハ營業命令第四十條ニ從ヒ抽籤記録ノ正確ナル謄本ヲ金庫ニ送  
附シ當籤債券ヲ滿期日ニ支拂フヘキコトヲ命令ス此ノ命令ノ書式ハ本令ニ添付ス金庫ハ前記ノ記録ニ從ヒ各當籤債券  
ノ番號及金額竝ニ其ノ滿期日ヲ支拂濟地代債券元帳ニ記入ス支拂ハ持參人ノ領收書及當籤債券竝ニ殘餘ノ利札ト引替  
ニ之ヲ行フモノトス殘餘利札カ全部提供サレサル場合ニハ受取人ノ領收書ニ地代銀行法第四十三條及第四十五條ニ依  
リ不足利札ノ金額ヲ明記シ又此ノ抑留額ハ之ヲ準備金記入帳ノ特別ノ部ニ記帳スヘキモノトス  
之ニ反スル場合ハ超過額ヲ差引キ各滿期日ニ從ヒ特別部ニ於ケル準備資金ヨリ支出スヘシ  
支拂濟ノ地代債券及利札ハ其ノ表面ニ數條ノ赤線ヲ記シ以テ破棄ノ記號ヲ附シ置クヘシ



地代債券支拂ノ際金庫ハ債券面ニ記サレタル記註ニ依リ所有者ノ處分權カ何等ノ制限ヲ受ケサル事ヲ一通毎ニ確ムヘシ

第貳拾四條 各一ヶ月毎ニ金庫ハ其ノ期間ニ支拂ヒタル地代債券及殘餘利札ト共ニ二通ノ目錄ヲ添テ重役會ニ引渡スヘシ重役會ハ地代銀行法第四十六條、第四十八條及營業命令第四十二條ニ依ル破棄ノ行ハルル迄之ヲ責任者連印封緘ノ上保管シ置クモノトス目錄ノ中通ハ重役會ノ領收證ヲ附記シテ金庫ニ返却セラルルモノトス

一年毎ニ施行セラルル破棄ノ場合ニハ記錄ヨリ正確ナル抄本一通ヲ作成シテ證明ノ爲ニ金庫ニ交付スヘシ

第貳拾五條 地代債券ノ紛失届出ニ依リ重役會ニ於テ消却手續ヲ開始スル場合ニハ之ヲ地代銀行金庫ニ通知スヘシ金庫ハ此ノ通知ヲ控ヘ置キ若シ其ノ紛失債券ノ利札カ現ハレタル場合ニハ更ラニ詮議ヲ行フ爲ニ之ヲ届出ツヘキモノトス

紛失セル債券ノ代リニ新タニ債券ヲ發行シタル場合ニハ重役會ハ之ヲ金庫ニ通知スヘシ金庫ハ記入帳ニ登記セル舊番號ヲ抹消シテ新規番號ヲ記入スヘシ

第貳拾六條 事務費ハ假リニ金庫ニ存スル在金ノ中ヨリ繰替ヘ支出シ三個月毎ニ重役會ニ於テ之カ償還ノ爲ニ精算スヘキモノトス

第貳拾七條 地方金庫及本金庫ノ勘定締切並ニ其ノ時間ニ關シテハ一般規定就中一八二八年三月十七日ノ金庫設備整理ニ關スル規定第十七條ヲ適用ス

毎月行ハルル會計検査ノ際ハ金庫ハ收入及支出日記帳ニ基キ作成セル概括的決算表ヲ提示スヘキモノトス此ノ表ハ検査記錄ト共ニ重役會ノ公文書類ト成ルモノトス

此ノ外ニ尙一季ノ終毎及會計年度ノ終毎ニ諸種記入帳ニ從ヒ完全ナル會計拔書ヲ作成シ期間ニ於ケル豫定及實際收入並ニ支出及締切殘ヲ證明スヘシ

此等ノ一覽表ヲ作成スル場合ニハ前掲ノ設備整理ニ關スル規定第十九條ヲ遵守シ又大藏省カ地方本金庫ニ對シテ規定セル用紙ヲ用ユルヲ要ス一覽表ニ記載スル項目ノ配置及順序ハ本令第三十二條ノ定ムル計算書作成ノ方式ニ則ルヘシ年度締切表ニハ又同條ニ於テ規定スル財産目錄ヲ添付スヘシ會計検査ノ資料ト成ル一季毎ニ作成スル記入帳拔書ハ二通製作シテ重役會ニ提出スヘシ重役會ハ其ノ精確ナル點ヲ一應検査シタル後其ノ一通ヲ中央委員會ニ提出スヘシ

(一) 一季毎ニ於ケル締切表ノ作成及年度締切表ニ財産目錄ヲ添付スルコトハ現時ハ之ヲ行ハス)

第貳拾八條 金庫管理ノ職能ハ常務取締役之ヲ司ルモノトス(營業命令第四條) 殊ニ注意ヲ拂フヘキ點ハ地方金庫カ收入金ヲ正確ニ送附シ來ルコト及地代銀行金庫ニ存スル不用ノ金額ノ利殖ヲ圖ル事トス

又金庫ニハ常時就中四月及十月ノ支拂月ニ於テハ支拂金ヲ充分ニ準備セサルヘカラス若シ不足ヲ生スル虞ヲ認ムル場合ニハ直ニ必要ナル處置ヲ施スヘシ

地代銀行金庫ノ事務繁忙ノ爲ニ増員ヲ爲ス場合ニハ重役會ハ適切ニ金庫掛員ノ事務分擔ヲ定メ澁滯ヲ來ササル様取計フヘシ

此ノ場合ニハ又中央委員會ニ其ノ趣ヲ申達シテ其ノ承認ヲ得ルヲ要ス

第貳拾九條 會計年度ハ一月一日ヲ以テ始リ一八一四年五月十九日ノ勅令(一八一四年ノ法令集第三十九頁) 及會計検査院ニ關スル訓令第四十六條ニ依リ曆年ト合致ス(現時ハ四月一日ヨリ三月三十一日迄トス)



第參拾條 金庫ノ年度計算ハ證明書ト共ニ終局決算後三個月以内即チ毎年五月十日迄ニ之ヲ地代銀行ノ重役會ニ(同會ヨリ更ニ會計検査院ニ)申達スヘキモノトス  
第參拾壹條 計算ハ次ノ項目ニ之ヲ分ツヘシ

甲 收入

残 高

- 一、繰越 残 高
- 二、損 失 金
- 三、未 收 残 高

現在收入高

- 一、國庫ヨリ前借金

- 二、地 代

イ、四 分 利 半

ロ、五 分 利

ハ、準備金ヨリ繰入高(第十三條)

- 三、債券償却資金

イ、收入地代残存高

ロ、期限前償還金

ハ、準備金ヨリ繰入高(第二十條)

- 四、貸付資本(資本收入)

- 五、準 備 金

- 六、國庫ノ補給金

- 七、雜 收 入

乙 支出

残 高

- 一、借入金(諸預リ金残高)

- 二、支 拂 残 高

現在支出高

- 一、前借返還金(國庫ヨリ前借セル事務費等)

- 二、地代債券利子

イ、債 券 利 子

ロ、債券償却資金ト成ルヘキ地代剩餘金

ハ、準備金返入高

- 三、地代債券償還資金

イ、端 金



- ロ、償却債券
- ハ、準備金返戻高
- 四、借受資本
- 五、準備金
- 六、事務費
- 七、雜支出

預金(供託金)及立替支出金ハ別ニ附録ニ於テ證明スヘシ

事務費ノ支出(第六號參照)ハ他ノ支出ト異ナリ豫算ニ基キ行フモノナルカ故ニ本表ニハ唯其ノ概略ノミヲ掲ケ別ニ表ヲ作り附録トシテ本表ニ添付スヘシ

尙外ニ注意スヘキ點左ノ如シ

現在ノ部ニ掲ケタル第一號ノ收入及支出ニ就テハ國庫ヨリ支給セラルル事務費立替金ハ償却後直ニ更メテ支出ニ記帳シ唯償却未済ノ場合ニ限り支出殘餘トシテ掲ケヘキモノトス

同上第三號ニ付テハ償却資金ノ繼續的豫定收入ニシテ年度末三箇月間ニ起ルモノハ次年度ノ四月一日以後ニ於テ始テ之ニ計算セラルル故ニ(第三條)年度末ニ於テハ諸帳簿及計算上ニ於テハ收入殘餘トシテ取扱ハサルコトトス其ノ豫定支出及地代元金ノ支出ニ關シテモ又同シ

第參拾貳條 (廢止セラル)

第參拾參條 總テ官署ニ於テ取扱フ會計制度ニ關シテ制定セラレタル一般的规定ハ又地代銀行金庫ニモ適用セラル之ヲ

遵奉シテ事務ヲ取扱フヘシ

殊ニ注意スヘキ件ハ會計ハ毎日支拂終局後ニ於テ之ヲ締切り日記帳ニ載ル在高ト金庫ノ實際在高ト常ニ引キ合セ置クヘキモノトス

第參拾四條 本規則ヲ適用スルニ當リ之カ變更又ハ追加ヲ必要ト認ムル場合ニハ地代銀行重役會之ヲ中央委員會ニ申告スヘシ

一八五一年二月十九日

伯林ニ於テ

地代銀行中央委員會

ボーデ署名

## (二) 地代農地法

(一八九〇年六月二十七日發布)

(Gesetz über Rentengüter Vom 27. Juni, 1890)

第一條 當事者ノ同意ニヨリ一定ノ金錢地代ヲ支拂ヒ土地ノ所有權ヲ獲得ス

償賠金額及解約申告豫告期間ハ當事者ノ契約ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得但シ地代權利者ヨリ地代ノ賠償ヲ要求スルトキハ地代ノ二十五倍以上ニ相當スル額ヲ要求スルコトヲ得ス



地代ノ登記ニハ賠償金額及期間並ニ解約期ヲ明ラカニスルヲ要ス若シ此等ノ登記ナキ時ハ第三者ハ義務者ニ對シ六ヶ月前ノ豫告ヲ以テ所定ノ地代ノ二十倍ニ相當スル額ノ賠償ヲ受クルコトヲ得

地代農地ハ抵當權、質權其ノ他一切ノ物上債權ノ負擔ナキモノニ限ル地代農地ヲ創成スル爲ニ全部又ハ一部ノ土地ヲ賣却スル者ハ債權者ノ安全ヲ害セサル場合ニ限り無害證明書ヲ交付スヘシ

第二條 地代ハ穀類ニテ支拂フコトヲ得、但シ價格ハ公定相場ニヨリ金錢ニ換算スヘキモノトス

第三條 地代農地ノ設定ニ際シ其ノ取得者カ地代農地ノ一部ヲ讓渡又ハ分割ヲ爲スニハ地代權者ノ同意ヲ要スル旨ヲ豫メ契約ヲ以テ定メタル場合ニ於テ地代權利者カ右ノ同意ヲ拒絕シタルトキ土地取扱委員會カ公共的利益ノ見地ヨリ見テ之カ分割又ハ讓渡カ無害ナリト認ムル場合ニ限り其ノ判決ヲ以テ右ノ同意ニ代フルコトヲ得

第四條 地代農地取得者カ契約ニ依リ該農地ノ經濟的獨立ヲ保持シ或ハ農業經營ヲ爲スニ付必要トスル現存又ハ將來建築セラルヘキ建築物及其ノ他ノ農業用器具ノ買取義務ヲ負ヒタル場合ニ於テ土地取扱委員會ノ判決カ之ヲ公益上有害ナリト認メタルトキハ其ノ買取義務ヲ免ルルモノトス

第五條 土地取扱委員會ノ判決ヲ以テ第三條ノ同意ニ代ヘ又ハ第四條ノ義務ヲ免除シタル場合ニ於テ權利者ハ他ニ特別ノ契約ナキ限り義務者ニ對シ地代ノ二十五倍ニ相當スル金額ヲ賠償金トシテ要求スルコトヲ得

### (三) 千八百九十一年ノ地代農地獎勵法

(Das Gesetz betreffend die Beförderung der Rentengüter. Vom 7. Juli, 1891)

獨逸ニ於ケル地代農地設置獎勵ニ關スル(千八百九十一年七月七日)法律

第一條 中小農地代農地ノ負擔スル地代ハ其ノ償却ニ付兩當事者ノ合意ヲ要セサル場合ニ於テハ當事者ノ申請ニ依リ地代銀行ノ仲介ヲ以テ之ヲ償却スルコトヲ得地代銀行ノ仲介ヲ申請スルコトヲ得ルモノハ左ノ如シ  
相手方ニ對シ償却ヲ請求シ得ル地代權利者、相手方ノ同意ナクシテ償却ヲ爲シ得ル地代農地所有者及相手方ヨリ地代償却ノ請求ヲ受ケタル地代農地所有者

地代權利者ハ賠償金トシテ三分五厘利附額面價格ノ地代債券ヲ以テ地代ノ二十七倍又ハ四分利附額面價格ノ地代債券ヲ以テ土地ノ二十三倍三分ノ二ニ相當スル額ヲ取得ス地代債券ニ依ラサル場合ニ於テハ現金ヲ受ク

前項ノ賠償金ハ地代農地取得者ヨリ地代銀行ニ對スル利子及元金ノ一部ヲ含ミタル地代(地代銀行地代)ノ支拂ニ依リテ償還スルモノトス(第三條參照)

第二條 第一條ノ地代農地ヲ設置シタル地代銀行ハ其ノ取得者ニ對シ住居其ノ他ノ農業用建築物ヲ築造スルニ付必要トスル資金ヲ初ノ一回ニ限り三分半又ハ四分利附額面價格ノ地代債券ニ依リ消費貸ヲ爲スコトヲ得地代債券ニ依ラサル場合ニ於テハ現金ヲ以テ前項ノ貸付金ハ地代農地取得者カ地代銀行ニ對スル利子及元金ノ一部ヲ含ミタル地代(地代銀行地代)ノ支拂ニ依リテ償還ス貸付金ハ地代銀行ヨリ貸付豫告解除ヲ以テ其ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得但シ地代銀行ハ左ノ各號ノ場合ニ於テハ直ニ貸付金ノ全部又ハ未償還殘額ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

- 一 債務者カ所定ノ建築ヲ爲ササルトキ又ハ火災保險ノ義務ヲ遵守セサルトキ
  - 二 債務者カ破産又ハ地代銀行ニ支拂フヘキ地代ノ支拂ヲ怠リタル爲強制執行ヲ受ケタルトキ
- 第三條 地代農地所有者ハ地代ノ引受ヲ得タルトキヨリ地代銀行ニ對シ左ノ方法ニヨリ地代(地代銀行法第一條及第二條)ヲ支拂フコトヲ要ス



- 一 賠償金又ハ建築資金トシテ三分半利附地代債券ヲ交附シタル場合ニハ其ノ地代債券ノ額面價格及補充支出現金額ノ四分トス
- 二 同シク四分利附地代債券ヲ以テ償却金又ハ貸附金ヲ交附シタル場合ニハ其ノ地代債券ノ額面價格及補充支出現金額ノ四分半トス

地代農地取得者ハ四分利附地代銀行地代ニアリテハ六十箇年半、四分半利附ノ地代銀行地代ニアリテハ五十六箇年半ノ期間ニ之ヲ支拂フヘシ

第四條 地代銀行ニ對スル地代ノ支拂ヲ完済セサル間ハ土地取扱委員會ノ同意ヲ得ルニアラサレハ地代農地ノ經濟的ノ獨立ヲ害シ及之ヲ分割シ又ハ一部分讓渡スルコトヲ得ス

第五條 地代銀行ハ地代農地ノ設定ト同時ニ地代ヲ償却シ建築資金ヲ交附シタル場合ニ於テハ地代農地取得者ノ請求ニヨリ一年間地代銀行ニ對スル地代ノ支拂ヲ猶豫スルコトヲ得之ニ因テ生スル地代銀行地代ノ缺額ハ償却セラルヘキ元本ニ地代債券及補充支出現金ノ一年分ノ利子ヲ加ヘ此額ニ付第三條ニヨツテ算定シタル地代銀行地代ヲ六十箇年半又ハ五十六箇年半ノ期間ニ支拂フモノトス

第六條 其ノ他ノ規定ニ付テハ千八百五十年三月二日地代銀行設立ニ關スル法律並ニ其ノ補充法規ヲ準用ス

- 一 萊因左岸及「ホーヘンツォルレン」地方ニ於ケル事務ハ之ヲ「ミュンスタル」地代銀行ニ委託ス
- 二 土地負擔ニ代リテ金錢地代ヲ以テ支拂フコトヲ規定セル諸規程ハ第一條及至第三條ノ地代ニ適用ス
- 三 元金ノ十分ノ九ヲ四十一箇年一ヶ月ノ償還期間内ニ支拂フ規定ハ本法ニ適用セス
- 四 千八百五十年三月二日ノ地代銀行設立法第二十三條ニ依ル元金償却金ハ經過年數ノ多少ニ依リ第一及第二附屬書

類トシテ添付シタル表ニ基キテ算出ス

- 之ニ依ル元金償却ハ地代農地設定後十箇年間にハ土地取扱委員會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
- 五 延滞セル地代ハ之ヲ轉付スルコトヲ得ス(地代銀行ハ地代ノ延滞ヲ許サス)
- 六 土地取扱委員會ノ申請ニ依リ農地カ地代農地トシテ地代銀行ニ對シテ地代支拂ノ義務ヲ負擔スル場合ハ之ヲ土地登記簿ニ登記スルモノトス登記ニハ地代銀行地代ノ額及其ノ償還期間ヲ附記スルコトヲ要ス
- 七 地代銀行地代ノ引受ハ一月二日及七月一日ニ之ヲ行フ地代債券ノ利子モ亦之ニ從テ計算ス
- 八 本法ノ適用ノ爲生シタル土地取扱委員會ノ費用ニ關シテハ千八百七十五年六月二十四日ノ土地整理事件ノ費用ニ關スル法律ヲ準用ス但シ同法第十二條ノ規定ニ違背スルコトヲ得ス又總額ノ算定ニハ第二條第一項ヲ適用ス年額ハ交付シタル地代債券ニ依ツテ之ヲ定ム
- 九 賠償金又ハ建築資金トシテ交附セラルヘキ地代債券ノ種類(三分半利附又ハ四分利附)及發行ノ時期ハ主務大臣之ヲ定ム四分利附地代債券カ伯林取引所ニ於テ額面額以下ノ相場ヲ持續スルトキハ受領者ノ同意ヲ得ルニアラサレハ三分半利附地代債券ヲ發行スルヲ得ス

第七條 土地取扱委員會ハ左ノ場合ニ於テハ地代ノ償却金又ハ建築資金貸與ノ申請ヲ拒絶スルコトヲ得

- 一 償却セラルヘキ地代又ハ建築資金カ農地ノ上ニ存スル其ノ他ノ個人債權ニ對シ優先權ヲ保障セラレサルトキ
  - 二 引受ケラルヘキ地代銀行地代ニ對シ相當ナル擔保ノ存セサルトキ
- 地代銀行地代ノ二十五倍額カ最近ノ地租評價ニ依テ算出セラレタル臺帳純益ノ三十倍額ト千八百五十年三月二日ノ地代銀行法第十九條ノ規定ニ依リ保險會社カ付シタル保險價格ノ半額トヲ合算シタル額以下ニアルキハ相當ノ擔保ハ存



在スルモノト看做ス士族評價法、地方評價法其ノ他ノ特別ノ評價法ニ依ル不動産ノ價格ノ四分ノ三以下ナルトキ亦同シ  
第八條 特別評價法ニ依テ不動産ヲ評價スル場合ニ於テハ必要ナル住宅及農業用建築物ノ築造ニ依ル増加價額ヲ加算ス  
ルコトヲ得但シ此場合ニ於テハ地代銀行地代ノ引受ハ建築物ノ築造カ規定ニ依ル程度ニ達シタル後次期ノ引受期マテ  
全部又ハ相當ナル一部増額ヲ延期スルモノトス

第九條 特別評價ハ二名ノ郡委員ノ參與ニ依リ土地取扱委員會之ヲ決定ス建築物ノ評價ニハ一名ノ建物鑑定人之ニ參與  
セシム

事情ノ簡明ナル場合ニハ委員會ハ其ノ單獨ノ裁量ニ依テ評價スルコトヲ得或ハ其ノ他ノ方法ニ依リテ擔保ノ存在ヲ認  
ムルコトヲ得

第十條 地代農地ニ優先セル個人的債務ナキトキ又ハ土地價格カ地代銀行地代ノ二十五倍ト請求ノ當時該農地上ニ現存  
スル地代銀行地代ヲ償却スルカ爲第六條第四項ノ規定ニ從テ必要ナル金額トヲ加算シタル總額カ第七條以下ニ規定セ  
ル擔保額以下ナル場合ニ於テ營業者ノ同意ヲ得テ權利者カ申請セル場合地代銀行ハ地代ノ引受ヲ爲ス

地代權利者ノ受クル賠償ハ本法ノ規定ニ依テ之ヲ定ム地代銀行ノ引受ヲ得タル地代ハ優先權ヲ有ス地代ノ引受アリタ  
ル場合ニハ國家ハ地代農地契約ニ依リ地代權利者ノ有スル一切ノ權利ヲ取得ス右ノ地代ハ國家ノ請求ニ依リ本法ノ規  
定ニ依テ之ヲ換算シ地代銀行地代ニ變更スルコトヲ得

第十一條 第二條乃至第十條ノ規定ハ國家ノ設定ニ係ル地代農地ニシテ地代農地取得者カ建築資金ヲ受ケタル場合ニモ  
之ヲ適用ス

第十二條 地代農地(第一條)ノ設定ハ當事者ノ請求ニ依リ土地取扱委員會ノ仲介ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得地代農地ノ設  
定ニ關シ事實上又ハ法律上不適當ナル場合ハ申請ヲ拒絕スヘキモノトス然ラサル場合ニ於テハ土地取扱委員會ハ地代  
農地設定ノ契約並ニ必要ナル場合ハ契約ニ記載スヘキ地代ノ賠償或ハ建築資金ノ貸與ニ就テ審査ヲ爲シタル上之ヲ許  
可スヘキモノトス

契約ノ許可サレタルトキハ土地取扱委員ノ請求ニ依リ當事者ノ爲其ノ内容ヲ登記シ以テ地代農地取得者ハ其ノ所有權  
ヲ取得スルモノトス  
土地取扱委員會ハ地代農地設定ノ申請ヲ認可スヘキモノト認メタル場合ニ於テハ直ニ登記官署ニ對シ地代假設定ノ假  
登記ヲ請求スヘシ假登記後登記サレタル個人債權ハ之ヲ以テ地代農地取得者ニ對抗スルコトヲ得ス地代農地所有者名  
義ノ書替ト同時ニ假登記ハ之ヲ抹消ス手續並ニ費用ニ關シテハ共有地分割ニ關スル規定ヲ適用ス但シ次ノ規定ニ從フ

一 土地自由處分權ヲ有スルモノハ何人ニテモ地代農地設定ヲ契約ニ依リ爲スコトヲ得  
二 地代農地ノ設定並ニ地代銀行地代ノ引受ニ關スル必要ナル登記ハ土地取扱委員會ノ請求ニ依リ之ヲ爲ス委員會ノ  
請求ニ關シテハ千八百七十二年五月五日ノ土地登記法第四十一條ヲ適用ス

三 地代農地設定ニ對シテハ千八百七十五年六月二十四日土地取扱委員會ノ費用ニ關スル法律第二條第三項ノ手数料  
ヲ支拂フヘキモノトス地代農地ノ設定ト地代銀行地代ノ引受トカ同時ニ行ハレタル場合ニ於テハ單ニ第二條第三項  
ノ總額ノミヲ徵收シ第二條第一項其ノ他ノ手数料ハ之ヲ課セス

四 地代農地ニ提供セラレタル土地カ從來支拂ヒタル地租額ハ縣廳ノ認可ヲ得テ土地取扱委員會ノ決定セル評價ニ依  
リ地代農地ニ分賦スルモノトス

第十三條 本法施行前ノ設定ニ係ル地代農地ニ在リテハ地代權利者ハ農地取得者ノ同意ヲ得タル場合ニ限り地代銀行ノ



仲介ニ依ル地代ノ賠償ヲ申請スルコトヲ得

第十四條 千八百八十一年一月十七日ノ地代銀行ノ仲介ニ依ル土地負擔賠償ノ認可ニ關スル法律ハ再ヒ之ヲ適用ス但シ同法第四條及第六條ノ期間ハ之ヲ廢止ス同法ハ又千八百八十三年十二月三十一日以後土地取扱委員會ニ繫屬中ナル賠償ニ對シテモ之ヲ適用ス

第十五條 本法施行ニ必要ナル命令ハ大藏大臣及農務大臣之ヲ定ム但シ第十二條ノ施行ハ司法大臣之ヲ定ム

(四) 移住獎勵法 (一九一六年五月八日)

(Gesetz zur Förderung der Ansiedlung. vom 8. mai, 1916)

第一條 (一) 政府ハ普魯西國立銀行ヲシテ地代農地ノ設定ニ當リ中間信用貸付ノ爲ニ總額一億萬馬克ヲ處理セシメ而シテ之ガ必要ナル資金ヲ債券發行ニ依リ調達スルノ權能ヲ有ス

(二) 前項ニヨリテ得ル利子ハ普魯西國立銀行ヨリ國庫ニ引渡サルヘキモノトス

(三) 普魯西國立銀行カ此ノ法律ニ依リテ處理セシメラレタル總額ヲ國庫ニ返還セシメラレタルトキハ之ヲ法律的負債償却金ノ増額ノ爲ニ使用スルモノトス

第二條 (一) 大藏大臣ハ第一條ニ依リ必要トサレタル資金ノ調達ノ爲ニ國債權ヲ發行スルノ權能ヲ有ス國債ノ發行ニ代リテ一時的ノ大藏省證券ヲ發スルコトヲ得、其ノ有効期間ハ該大藏省證券ニ記載サルモノトス

(二) 大藏大臣ハ此ノ大藏省證券ノ支拂履行ヲ新大藏省證券或ハ命令ニ依リ必要トセル總額ノ債券ノ發行ニ依リテ爲スノ權能ヲ有ス

大藏省證券ハ再度發行スルコトヲ得

(三) 支拂期限ニ達シタル大藏省證券ノ履行ノ爲ニ發行セラレタル大藏省證券及國債券ニ對シテ國債主務官廳ハ大藏大臣ノ命令ニヨリ支拂期限前二週間内ニ其ノ發行ヲ爲スモノトス

新債權ニ對スル利息支拂ハ滿期日ニ達シタル大藏省證券ニ對スル利子支拂カ終ラサル時以前ヨリ爲スヲ得ス

(四) 大藏省證券及債權ノ發行時期、發行所、發行額、利率、償却申込ノ條件及其ノ相場等ニ關シテハ大藏大臣之ヲ決定ス右ノ外借入金ノ管理及償却ニ對シテハ一八六九年十二月十九日ノ獨逸國債統一ニ關スル法律及一八九七年三月八日ノ國債償却ニ關スル法律及一九〇三年ノ鐵道管理ニ對スル支拂猶豫公債ノ設定ニ關スル法律ヲ適應ス

第四條、五條、六條、七條、八條省略

第九條 地代農地カ町村會又ハ內國植民ト關係ヲ有シ而モ大臣ニ依リ此ノ規定ニ對シ公益ノ目的ノ爲ニ獎勵スヘキモノト認メラレタル組合ニ依リ土地委員會ノ仲介ニ依ラスシテ設定サレタル場合ニ此ノ事業ノ遂行ニ關シ必要ナル總テノ事務及任意ノ裁判權ノ討議等包括的ニ云ヘハ登記裁判所ノ活動ニ對スル裁判費用及印紙稅ハ免除サルモノトス

第十條 土地或ハ森林經營地ノ一部ヲ中小ノ大キサノ新農地トシテ設定シ或ハ現存ノ自立シ得サル土地ノ大キサヲ中小ノ大キサニ變化セシムルコトニ對シテ賣却スル場合ニ於テハ多大ナル分割地ノ賣却カ無害ナリトノ證明ヲ與ヘラレ且ソレカ資格者ノ確實性ヲ弱メサル限リニ於テ土地ノ容易ニ賣却スルノ法律的規定ヲ適用ス

第十一條 此ノ法律ノ公布ニ必要ナル規定ハ當該關係大臣之ヲ定ム



### 第三 帝國殖民法

#### (一) 農業殖民地設定法

(千九百十九年一月二十七日制定セルモ千九百十九年八月十一日ノ法律ヲ以テ之ヲ廢止セリ)

三五〇

第一條 本法發布前ニ於テ尙未タ公益的殖民事業機關 (Gemeinnützige Unternehmung) ノ存セサル各州ハ新ニ同事業機關ヲ設立スヘキ義務ヲ有ス

第二條 國有地ハ該地上ニ存スル小作契約期間ノ滿了ト共ニ同地ノ收益價額ヲ限度トシテ之ヲ公益的殖民事業機關 (Das gemeinnützige Unternehmen) ノ買収ニ委ス可キモノトス但シ該地ヲ教育研究其ノ他公共的又ハ國民經濟的理由等ニ依リ國家カ所有シ置クヲ必要トスル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 公益的殖民事業機關ハ從來耕作ニ利用セサルカ又ハ連續的ニ燒畑式耕作ヲ爲シ又ハ泥炭採取等ノ方法ニ依テ利用セル沼澤地其ノ他ノ荒蕪地ニ付殖民ノ目的ニ供スル爲公用徵收ヲ爲ス權能ヲ有ス

第四條 公益的殖民事業機關ハ自己ノ管轄區域内ニ存スル二十「ヘクタール」以上ノ農場用地ノ全部又ハ一部ニ付テ先買權ヲ有ス

第五條 (略)

第六條 公益的殖民事業機關ハ土地ノ所有者カ該農場ヲ公法人、土地所有者ノ配偶者又ハ直系親族乃至三等親内ノ姻戚ニ賣却セル場合ハ此ノ先買權ヲ行使スルコトヲ得ス

第七條乃至第十一條 (略)

第十二條 殖民豫定地域内ニ於テ千九百十七年ノ農業經營調査 (die Landwirtschaftliche Betriebszahlung) ニ依ル經營面積百「ヘクタール」以上ノ農場 (大農場) ノ總面積カ該地域内全農業用地ノ一割三分以上ヲ占ムル場合ニ於テハ是等ノ大農場主ハ農地供給組合 (Landlieferungsverband) ヲ組織スヘキモノトス

第十三條 農地供給組合ハ公益的殖民事業機關ノ要求ニ基キ殖民ニ適當ナル土地ヲ大農場ヨリ分割設定シ且相當ナル價額ヲ以テ之ヲ提供スルコトヲ要ス但シ相當ナル價額トハ大經營ヲ爲セル場合ニ於ケル普通ノ價額ヲ稱スルモノニシテ戰爭ニ基ク特別ナル事由ニ因リ増加セル額ハ之ヲ見込マサルモノトス

殖民豫定地域内ニ於テ千九百十七年ノ農業經營調査ニ依リテ算定サレタル大農場ノ耕地總面積 (國有地ヲ含ム) ノ三分ノ一カ殖民ノ目的ニ供セラレタルカ又ハ是等大農場ノ總面積カ殖民地域内ニ於ケル農用地總面積ノ一割以下ニ下リタル時ハ農地供給組合ノ義務ハ免セラル可キモノトス

第十四條 農地供給組合ハ公益的殖民事業機關ニ代位シ該地域内ニ於ケル總テノ大農場ニ付先買權ヲ有ス該組合ハ公益的殖民事業機關ニ對シ其ノ同意ヲ得テ先買權ノ行使ヲ總括的ニ若ハ個別的ニ委任スルコトヲ得

第十五條 必要已ムヲ得サル場合殊ニ第二條、第三條、第四條、第十三條及第十四條ノ規定ニ依リテ満足ニ殖民ノ目的ヲ達シ得サルカ如キ場合ニ於テハ農地供給組合ハ相當ナル賠償價額ヲ以テ適當ナル殖民地ヲ大農場ヨリ收用スルコトヲ要ス

第十六條 農地供給組合ハ殖民ニ適スル大農場中先ツ左ニ示スカ如キ種類ノ農場ヲ第一ニ取得スル (erwerben) コトヲ要ス公用徵收ノ場合亦同シ

イ、戰時中ニ於テ農業ヲ主職業トセサル所有者ニ歸シタル農場

三五二



ロ、第六條第二項ニ掲ケタルモノヲ除クノ外最近二十年間有償的法律行為ニ依リ數度其ノ所有者ヲ變更セル農場  
 ハ、特ニ粗放ナル經營ヲ爲シ又ハ甚シク拙劣ナル經營ヲ爲セル農場  
 ニ、一年中ノ大部分ハ自己ノ農場ニ居住セス且自ラ其ノ經營ニ任セルカ如キ所有者ニ屬スル農場  
 ホ、特ニ大規模ノ農場  
 尙農地供給組合カ大農場ノ一部ヲ買上クル場合ニハ先ツ過去ニ於テ獨立ノ農場又ハ地區ニシテ本法施行前三十年間ニ  
 於テ大農場ノ所有者ニ買收セラレタルカ如キ部分ヲ適當ニ區劃ヲ爲シ且之ニ屬スル家屋ヲモ包括シテ第一ニ買收スル  
 ヲ要ス  
 經濟上及社會上ヨリ見テ模範的ナル農場又ハ農業ノ進歩發達ニ對シ特ニ重要ナル意義ヲ有スル農場ハ能フ限り之ヲ收  
 用セサルコトヲ要ス

第十七條乃至第十九條 ……略……

第二十條 公益的殖民事業機關ハ其ノ設定セル農場ニ付若シ殖民者カ農場ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓渡シ又ハ放棄シタ  
 ル場合或ハ該農場ニ引續キ居住セス若ハ引キ續キ經營ヲ爲ササル場合ニ於テハ之ニ對スル買戻權ヲ有ス  
 買戻權ノ存續期間、買戻價額及其他詳細ノ事項ニ關シテハ殖民契約ニ於テ取極ム可キモノトス買戻權利ハ土地負擔ト  
 シテ土地臺帳ニ登記ス可キモノトス  
 第二十一條 市町村又ハ私領區ハ該市町村又ハ私領區域内ニ於テ引續キ農業經營ニ從事セル農業労働者ヨリノ希望アル  
 トキハ當該地方長官ノ指定セル機關ノ發スル命令ニ依リ該農業労働者ニ小作其ノ他家計上必要ナル土地ノ使用權ヲ得  
 ルノ機會ヲ與フルコトヲ要ス市町村又ハ私領區域内ノ農業用地ノ百分ノ五ニ達スル面積カ農業労働者ノ爲ニ小作地若

ハ其ノ他ノ利用地ニ供セラルルニ至レル場合ハ市町村町又ハ私領區ハ右ノ義務ヲ免セラルヘキモノトス  
 若シ右ニ要スル土地カ普通ノ方法ニヨリ取得スルコト能ハサル時ハ地方自治體ハ強制小作又ハ收用ノ方法ヲ採ルコト  
 ヲ得

(一) 帝國殖民法 (千九百十九年八月十一日)

(Reichsiedlungsgesetz, vom 11. August, 1919)

第一條 公益的殖民事業機關(Die Gemeinnützige Unternehmungen)ノ未タ存セサル各州ハ本法ノ規定ニ基キ事業ノ目的  
 達成ニ必要ナル土地ヲ取得シ其ノ範圍内ニ於テ新ニ殖民ヲ爲シ若ハ現存小農カ獨立ナル生計ヲ爲シ得可キ面積ニマテ  
 其ノ經營ヲ擴大セシムルコトヲ目的トスル公益的殖民事業機關ヲ設定ス可キ義務ヲ有ス殖民事業機關ノ事業區域ハ地  
 方長官(Landeszentralbehörde)之ヲ決定ス官廳及公法人モ亦本規定ノ意義ニ於ケル殖民事業機關トシテ地方長官ニヨ  
 リ認定セラルルコトヲ得  
 殖民者及舊所有者ノ代理人ハ詳細ナル各州ノ規定ニ從ヒ共同シテ殖民事業ノ監査ニ參加スルモノトス  
 但シ右ノ代理人カ殖民事業機關ノ監査役ニ任命セラレタル場合ニ於テハ右ノ監査ニ參加スルコトヲ要セス  
 第二條 國有地ハ其ノ上ニ存スル小作契約期間ノ滿了ト共ニ其ノ土地ノ收益價額ヲ限度トシテ之ヲ公益的殖民事業機關  
 ノ買收ニ委スヘキモノトス



但シ該地ヲ教育、研究其ノ他公共的又ハ國民經濟的理由ニ因リ國家カ所有シ置クヲ必要トスル場合ハ此限ニ在ラス土地價額ノ評定ニ當リテハ戰時ノ特別ナル事情ニ基ケル一時的騰貴價額ハ之ヲ見込マサルモノトス

第三條 公益的殖民事業機關ハ從來耕作ニ利用セサルカ又ハ連續的ニ燒畑式耕作ヲ爲シ又ハ泥炭採取等ノ方法ヲ以テ使用セル沼澤地其他ノ荒蕪地ニ付殖民事業ノ目的ニ供スル爲公用徵收ヲ爲スノ權能ヲ有ス

但シ土地ノ所有者ニ對シ一定期間内ニ自己ノ經濟的生計ニ必要ナル面積ヲ耕作地ニ變ス可キ義務ヲ負ハシメ此ノ期間内ニ其ノ義務ヲ果スコト能ハサルトキ始テ當該面積ノ土地ハ收用サルルモノトス

賠償額ハ該地カ未タ改良セラレサル情態ニ於テ擧クヘキ純收益ヲ資本ニ換算シテ決定スヘキモノトス  
但シ收用官廳カ特別ノ事情ニ因リ之ヨリ高價ナル賠償額カ適當ナリト思惟スル場合ニ於テハコノ賠償額ヲ以テ決定スルコトヲ得賠償額ノ決定ニ對スル抗訴ハ之ヲ禁ス收用ニ關シテハ賠償價額ノ決定ニ對スル救濟ノ規定ト共ニ之ヲ各州

ニ委任ス

第四條 公益的殖民事業機關ハ其ノ管轄區域内ニ存スル二十五「ヘクタール」以上ノ農用地ノ全部又ハ其ノ一部ニ付テ先買權ヲ有ス先買權ハ地方官ノ規定スルトコロニヨリ尙ホ小ナル面積ノ土地ニマテ擴張サルルコトヲ得

第五條 此先買權ハ其ノ他ノ總テノ登記セラレタル法律上ノ先買權ニ優先ス本先買權ハ土地臺帳ニ登記スルコトヲ要セス

第六條 公益的殖民事業機關ハ土地ノ所有者カ第四條ニ於テ規定セル土地ノ全部又ハ一部ニ付キ第三者ト賣買契約ヲ締結セル時ハ直ニ先買權ヲ行使スルコトヲ得

若シ土地ノ所有者カ該地ヲ公法人、土地所有者ノ配偶者、直系血族又ハ三親等内ノ傍系親族或ハ土地所有者ノ二親等内

ノ姻戚ニ賣却セル場合ニ於テハ先買權ヲ行使スルコトヲ得ス

農業用土地（國有地ヲ含ム）カ殖民ノ目的ヲ以テ公益的殖民會社ニ讓渡サレタルトキハ其ノ土地ノ小作人ハ分割ニ際シテ殘存セル殘部ノ土地又ハ殖民ノ爲ニ引渡サレタル農業用地附屬ノ器具及其ノ他ノ經營資本ヲ最モ有利ニ利用シ得ヘキ分割地ニ對シテ先買權ヲ有ス

第七條 先買權行使ノ期間ハ先買權者カ土地ノ所有者又ハ第三者ヨリ當事者ノ間ニ締結セラレタル契約ノ内容ニ關シ通知ヲ受ケタル日ヨリ三週間トス賣出サレタル土地又ハ其ノ部分カ二百「ヘクタール」ヨリ大ナルトキハ期間ヲ六週間トス土地所有者又ハ第三者ノ通知ニ代フルニ登記官吏ノ通知ヲ以テスルコトヲ得

先買權者ハ權利行使期間内ニ於テ賣出サレタル土地又ハ其ノ部分ヲ調査スルコトヲ得先買權者カ土地所有者又ハ第三者ニヨリ此ノ權利ヲ妨害セラレタル場合ニ於テハ妨害ノ除去セラレタル日ヨリ行使期間ヲ起算ス

第八條 先買權ニ關シテハ民法第五百五條乃至第五百九條、第五百十條第一項、第一千九百十八條第二項、第一千九十九條乃至第一千二百二條ノ規定ヲ準用ス先買權ハ共ニ賣却セラレタル從物ニ及フ

買受人カ金錢ヲ以テ表示シ得可カラサル附加的給付ヲ引受ケタル時ハ土地所有者ハ先買權者ニ對シ附加的給付ノ履行ノ契約ニ對スル違約金ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

民法第一千九十九條ノ規定ニ該當スル場合ニ於テ第三者カ先買權者ニ契約ノ内容ヲ通知セルトキハ該通知ハ第七條ニ規定セル效果ヲ生ス

第九條 公益的殖民事業機關カ先買權ノ行使ニヨリ土地又ハ土地ノ一部ヲ取得セル時ハ既ニ登記セル先買權及讓渡權保留ノ假登記ハ效力ヲ消滅ス（民法第八百八十三條）



公益的殖民事業機關カ土地又ハ土地ノ一部ヲ十年間殖民ノ目的ニ供セサル時ハ第一項ノ規定ニヨリ權利ノ消滅セル先買權者ニ對シ該土地又ハ土地ノ一部ノ買收ヲ催告シ該先買權者カ之ニ應セサル場合ニ於テ始メテ其ノ他ノ方法ヲ以テ該土地ヲ賣却スルコトヲ要ス

第十條 登記官吏ハ先買權者ヨリ其ノ權利ノ不行使カ實證セラルル迄所有權移轉ノ登記ヲ停止スルヲ要ス

第十一條 第五條乃至第十條ノ規定ハ反對給付ヲ得テ土地讓渡ヲ約セル他ノ契約、強制競賣ノ方法ニ依ル讓渡及破産管理人ニヨリ爲サルル隨意讓渡ニ準用ス

第七條第一項ニ規定セル期間ノ經過前ニ於テハ落札決定セラルルコトヲ得ス

但シ先買權者カ既ニ權利ヲ行使シ又ハ執行裁判所ニ對シ權利ヲ行使セサル旨ヲ宣言セル場合ハ此限リニ在ラス

第十二條 千九百七年ニ於ケル農業經營調査ニ於テ殖民區域内ニ於ケル農業用地ノ百分ノ十以上カ面積百ヘクター以上ノ農場(大農場)ニ屬スル時ハ是等大農場ノ所有者ハ農地供給組合ヲ組織スヘシ農地供給組合ハ權利能力ヲ有ス國有農業用地ハ右ノ百分率算出ノ場合ニ於テノミ通算セラルル詳細ナル規定ハ各州之ヲ制定ス

地方長官ハ農地供給組合ノ事務ヲ其ノ他ノ法人特ニ既存ノ公益的殖民會社又ハ他ノ農業團體(土地金融組合等)ニ委任スルコトヲ得此ノ委任ハ特ニ農地供給組合カ農地供給ノ義務ヲ遲延セル場合ニ於テ農地供給組合ノ費用ヲ以テ爲サル可キモノトス

第十三條 農地供給組合ハ公益的殖民事業機關ノ要求ニ基キ殖民ニ適スル農地ヲ大農場(第十二條)ヨリ相當ナル價額ヲ以テ取得スルコトヲ要ス相當ナル買價ト稱スルハ大經營ヲ爲セル場合ニ於テ該地ノ有スル普通ノ價額ヲ謂ヒ戰爭ノ爲特別ナル事情ニヨリ増加セル額ハ之ヲ見込マサルモノトス

殖民區域内ニ於テ千九百七年ニ於ケル農業經營調査ニ依リテ決定セラレタル大農場ノ耕地總面積(國有地ヲ包含ス)ノ三分ノ一カ殖民目的ノ爲ニ供セラレタルカ又ハ是等ノ農場ノ農業用地カ殖民區域内ニ於ケル農業用地總面積ノ百分ノ十以下トナリタル時ハ農地供給組合ノ義務ハ直チニ免除セラル大農場中殖民事業機關ト關係無ク殖民者ニ讓渡セラレタル土地又ハ小作ニ附シ且監督官廳ノ至當ト認メタル價額ヲ以テ之ヲ買受クル權利ヲ小作人ニ與ヘタルカ如キ土地ハ監督官廳ノ裁量ニヨリ殖民ノ目的ノ爲ニ準備セラレタルモノト看做サルコトヲ得

第十四條 農地供給組合ハ公益的殖民事業機關(第一條)ニ代位シ農地供給組合區域内ニ於ケル總テノ大農場ニ付先買權ヲ有ス農地供給組合ハ公益的殖民事業機關ノ要求ニ基キ先買權ヲ行使セサル可カラス農地供給組合ハ公益的殖民事業機關ニ對シ其ノ同意ヲ得テ先買權ノ行使ヲ總括的若ハ個別的ニ委任スルヲ得先買權ニ關シテハ第五條乃至第十一條ノ規定ヲ準用ス

第十五條 必要已ムヲ得サル場合特ニ第二條、第三條、第四條、第十三條及第十四條ノ規定ニ依リテ満足ニ殖民ノ目的ヲ達シ能ハサルカ如キ場合ニ於テハ農地供給組合ハ相當賠償ヲ以テ大農場(第十二條)ヨリ適當ナル殖民地區ヲ收用スルコトヲ要ス賠償額ノ決定ニ際シテハ戰爭ノ爲特別ナル事情ニ基ケル増加額ヲ算入セサルヲ要ス  
徵收、徵收ノ經濟的判斷及賠償額ノ決定ハ地方長官ニ依リテ指定セラレタル議長並ニ農地供給組合及殖民事業機關ノ代表者ヲ以テ組織セル常置委員會ニ於テ之ヲ行フ

徵收ニ關スル其ノ他ノ規定ニ關シテハ賠償額ノ決定ニ對スル法律ノ規定ト共ニ之ヲ各州ニ委任ス

第十六條 農地供給組合ハ收用其ノ他ノ方法ニヨリ殖民ニ適スル大農場中左ニ示ス農地ヲ取得スルコトヲ要ス

一、戰時中農業ヲ主職業トセサル所有者ニ歸シタル農場



二、第六條第二項ノ場合ヲ除クノ外最近二十年間有償行爲ヲ以テ數度所有者ヲ變更セル農場  
 三、特ニ拙劣ナル經營ヲ爲セル農場  
 四、年中ノ大部分ハ自己ノ農場ニ居住セス且自カラ經營ヲ爲サス而モ所有者ノ不在及自カラ經營セサルニ付正當ナル理由ヲ有セサルカ如キ所有者ニ屬スル農場  
 五、特ニ大規模ノ農場  
 尙ホ農地供給組合カ大農場ノ一部ヲ買上クル場合ニ於テハ先ツ過去ニ於ケル獨立ノ農場又ハ地區ニシテ本法施行前三十年以内ニ於テ大農場ノ所有者ニ買收セラレタルカ如キ部分ヲ適當ニ區劃シ且之ニ屬スル家屋ヲモ包括シテ第一ニ取得スルコトヲ要ス  
 經營上及社會上ヨリ見テ模範的ナル農場又ハ農業ノ發達ニ對シ特ニ重要ナル意義ヲ有スル農場ハ能フ限り收用セサルコトヲ要ス

第十七條 世襲財産ノ承繼希望者ハ農地供給組合ニ對シ土地ノ讓渡ヲ拒ムコトヲ得ス賣買價格又ハ賠償額ニ關スル詳細ナル規定ハ支分國之ヲ定ム世襲地 (Stammgut) 籍土 (Lehn) 其他民法施行法第五十七條、第五十八條及第五十九條ニ依リ民法ノ規定ヨリ除外セラレタル農地及世襲財團 (Familienstiftung) ニ付テハ本條ノ規定ヲ適用ス  
 第十八條 殖民事業機關ハ左ノ場合ニ於テ農地供給組合ヨリ土地ヲ買取り且之ニ對シ其ノ買收價額ニ相當スル額ヲ支拂フ義務ヲ有ス

- 一、農地供給組合カ殖民事業機關ノ要求ニ基キ先買權ノ行使ニ依リテ土地ヲ取得セル場合
- 二、殖民事業機關カ管テ土地ノ取得及取得價額ニ付キ同意ノ意思表示ヲ爲セル場合

三、農地供給組合カ收用ニ依リテ土地ヲ取得シ而モ殖民事業機關ノ同意ヲ以テ徵收手續ヲ開始セル場合労働者ハ如何ナル程度マテ土地獲得ノ費用カ買收價額ニ算入セラルヘキ乎ヲ決定スルモノトス

第三項ニ從ヒ殖民事業機關ニ依リテ支拂ハル可キ價額ニ算入セラレサル農地供給組合ノ費用ハ組合員ニ轉嫁セラル可キモノトス代價金額ノ標準ハ農地供給組合之ヲ定ム農地供給組合ノ事務ニシテ他ニ委任セラレタル場合ニ於テハ(第十二條第二項) 此ノ費用ノ負擔ニ付テ地方長官之ヲ決定ス

第十九條 農地供給組合員(第十二條第一項) 又ハ農地供給組合ノ事務ヲ委任セラレタル農業團體カ非常財産稅トシテ殖民ニ適スル農地ヲ納付シ而モ其ノ土地カ殖民事業機關ニ引取ラレタルトキハ其ノ面積ハ農地供給組合ヨリ殖民事業ニ供給セラルヘキ農場面積ノ三分ノ一(第十三條第二項) ノ中ニ通算ス

第二十條 公益的殖民事業機關ハ其ノ創定セル農場ニ付若シ殖民者カ農場ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓渡シ又ハ放棄シタル場合或ハ引續キ農場ニ居住セス若ハ引續キ經營ヲ爲ササル場合ニ於テハ之ニ對スル買戻權ヲ有ス

買戻權ノ存續期間、買戻價額其ノ他詳細ノ事項ニ關シテハ殖民契約ニ於テ取極ム可キモノトス買戻權ハ土地負擔トシテ土地臺帳ニ登記スヘキモノトス其ノ他ノ事項ニ關シテハ各支分國ノ規定スルトコロニ依ル

第二十一條 若シ公益的殖民事業機關カ其ノ取得セル土地(第三條第十五條) ヲ十箇年ノ期間内ニ殖民ノ目的ニ供セサル場合ニ於テハ前所有者ハ之ニ對シ買戻權ヲ有ス買戻權ハ一箇年以内ニ行使スヘシ買戻權ハ土地ノ負擔トシテ土地臺帳ニ之ヲ登記ス可シ民法第四百九十七條以下ノ規定ハ此場合ニ準用ス

第二十二條 市町村又ハ私領區ハ該市町村又ハ私領區内ニ於テ引續キ農業經營ニ從事スル農業労働者ヨリノ希望アルトキハ地方長官ノ指定スル機關ノ發スル命令ニヨリ該農業労働者ニ小作其ノ他家計上必要ナル土地ノ使用權ヲ得ルノ機



官ヲ與フル事ヲ要ス市町村又ハ私領區域ニ於ケル農業用地ノ百分ノ五ニ達スル面積カ農業労働者ノ爲ニ小作地若ハ其ノ他ノ利用地ニ供セラレタル場合ハ市町村又ハ私領區ハ右ノ義務ヲ免ルヘキモノトス

第二十三條 本法ノ規定ニ基キ雇傭者ト其ノ農場ニ於テ繼續的若ハ臨時的ニ労働ニ從事スル労働者トノ間ニ締結セラレタル小作其ノ他土地ノ利用及土地附屬ノ農舍住宅等ノ使用ニ關スル契約ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ賃銀及労働ニ關スル契約以外ノ契約トシテ届ケ出ツ可シ

第二十四條 普通ノ方法ニ依リテ必要ナル小作地若ハ使用地ヲ得ルコト能ハサル場合ニ於テハ市町村ハ強制小作又ハ土地收用ヲ爲スコトヲ得雇傭者ハ先ツ第一ニ労働者ニ供給ス可キ土地ヲ提供スヘキ義務ヲ有ス強制小作及土地收用ノ認可ハ地方長官ノ指定スル機關ニ依リテ發セラル可シ  
全農場ノ分離又ハ分割ハ之ヲ禁ス  
賠償ニ關シテハ第十五條第一項ノ規定ヲ準用ス

強制小作及土地收用ニ關スル其ノ他ノ規定ハ支分國ニ於テ之ヲ定ム

第二十五條 地方ニヨリ現存セル小農ヲ向上セシムル爲メ農地ヲ得ントスルモ其ノ目的ヲ達スルコト能ハサル場合ニ於テハ地方長官ハ相隣接スル國有地ノ農業用地面積ノ百分ノ十ヲ限度トシ小作期間滿了前ト雖之ヲ提供ス可キ義務ヲ負フ但シ教育、研究其ノ他公共的若ハ國民經濟的目的ノ爲メ之ヲ國有地トシテ保存スルノ必要アル場合ハ此限りニ在ラス

第二十六條 労働大臣ハ別段ノ規定無キ限り一層詳細ナル規定特ニ本法ヲ施行ス可キ規定ヲ發布ス可キ權能ヲ有ス労働大臣カ該權限ヲ行使セサルトキハ地方長官ハ必要ナル規則ヲ發布スルコトヲ得

第二十七條 各支分國ニ於テ殖民地ノ創定並ニ業務労働者ノ爲ニスル小作地ノ創定ヲ更ニ促進スル目的ヲ以テ別段ノ規

定ヲ設クルコトヲ妨ケス但シ農業用總面積百「ヘクタール」ニ達セサル個人所有ノ農業地ハ殖民ノ目的ノ爲メ收用セララルコトナシ

第二十八條 各支分國ノ法律ニ依リ農業殖民地ノ設定カ既ニ充分保證セラルル場合ニ於テハ労働大臣ハ本法ノ除外ヲ認可スルコトヲ得

第二十九條 本法ノ目的トスル殖民事業ノ遂行ニ資ス可キ總テノ業務及處理ハ普通ノ訴訟ヲ目的トスルモノニアラサル限り帝國、支分國其他ノ公共團體ヨリ課セラルヘキ總テノ手数料、印紙稅及租稅ヲ免除セラル  
手数料、印紙稅及租稅ハ公共的殖民事業機關ニ於テ(第一條)其申告若ハ處理ヲ以テ斯ノ如キ事業遂行ノ爲ナルコトヲ保證スル場合ニ於テハ權限アル官廳ニヨリ詳細ナル審査ヲ俟タスシテ直ニ免除セラル

第三十條 既ニ存スル公益的殖民會社ハ本法ノ手續法カ實施セラルル以前ニ於テ速時ニ本法ノ意義ニ於ケル殖民事業ヲ繼續ス可キ權利ヲ享有ス

第三十一條 千九百十九年一月二十七日ニ於ケル農業殖民創定ニ關スル命令ハ之ヲ廢止ス

第三十二條 本法ハ公布ノ日ヨリ實施セラル

### 第四 普魯西ニ於ケル家産ニ關スル命令

(Verordnung über Familiengüter. 10. März, 1919)

#### 第一節 世襲財産ノ解除



第一條 (一) 世襲財産ハ之ヲ解除スヘシ

(二) 遺贈ニ因ル世襲財産増加又ハ其ノ理由ニ因ル世襲財産ノ設定ハ之ヲ禁止ス

(三) 世襲財産ノ解除カ以下ノ規定ニ基キ千九百二十一年四月一日迄ニ於テ家族ノ決議ニ依ル手續ニ依リ未タ履行セラレサル場合ニ於テ國務大臣ハ強制手續ニ依リテ之ヲ解除ヲ命スルコトヲ要ス國務大臣ハ國民議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ要スル規定ニ依リ之ヲ解除ノ強制手續ヲ定ムルコトヲ要ス

(四) 世襲財産ニ充ツヘキ土地所有權ノ取得ハ世襲財産ノ解除カ完了セララル時迄ハ司法大臣及農業國有地及林業大臣ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス土地ノ所有權カ利用ニ供スル理由ニ依リテ世襲財産ニ併合スルコトヲ要スル場合ニシテ其ノ所有地カ二「ヘクタール」(一町二十三歩)ヲ超過セサルトキハ分離ニ與レル官廳ノ許可ノミニテ足ルモノトス

(五) 大貴族ノ私有世襲財産、家族世襲財産、莊園地及世襲所有地ハ本法ノ意味ニ於ケル世襲財産ト看做ス

第二節 家族ノ決議ニ因ル廢止

第二條 (一) 凡テノ世襲財産ハ家族ノ決議ニ因リ之ヲ廢止スルコトヲ得

(二) 家族ノ決議ノ爲ニハ監督官廳ノ受理ト認可トヲ要ス王ノ莊園認可ニ關スル場合ニハ尙右ノ外ニ封建差配人ノ同意ヲ要ス

第三條 (一) 家族會議ニ因ル廢止ニハ占有者(所有權者、用益權者)以外ニ其ノ莊園相續ニ指定セラレタル家族中ノ或者ノ參加ヲ必要トス

(二) 獨逸國內ニ居住セサル期待權者ハ自己ノ權利保護ノ爲ニ獨逸國內ニ住居スル委任者ヲ任命シ且公正證書ニ依リテ其ノ權利ヲ附與シタルコトヲ證明スルニ非サレハ前項ノ決議ニ參加スルコトヲ得ス

(三) 事件ヲ處理スル能力ヲ法律上有セサル個人又ハ制限セラレタル個人ハ法定代理人ニ依リテ代理セラルルコトヲ得ルモノトス後見會議ノ同意ハ監督官廳ノ認可ニ依リテ代替セラルルコトヲ得監督官廳ハ不在、不定若ハ未知ノ利害關係人(民法第千九百十一條及第千九十三條)又ハ官廳カ法定代理ニ依リテ不利ヲ蒙ルヘシト認メタル利害關係人ニ一人ノ管財人ヲ附スルコトヲ得

第四條 (一) 家族會議ノ採用ハ世襲財産ノ所有者又ハ家族ノ代表者(家族管財人、家族會議、父方親族ノ委員會、管財人及處分者其ノ他)ノミ之ヲ提議スルコトヲ得

(二) 右ノ提議ト共ニ財團變更ノ原案及協議ニ與ルヘキ期待權者名簿ヲ差出スコトヲ要ス該案ニ對シテ何等ノ障害モ生セサルカ又ハ生セル障害カ除去セラレタル場合ニハ監督官廳ハ家族ノ決議ヲ採用スル爲ニ一ノ期日ヲ指示ス

(三) 監督官廳ノ要求アルトキハ訴訟ノ提起者ハ公文書ニ依ルカ又ハ他ノ凡テノ方法ニ依リテ其ノ陳述ノ眞實ニ反スル何物ヲモ知ラサルコトヲ證明スルカ又ハ宣誓ニ依リテ保證スルコトヲ要ス

第五條 (一) 採用ノ期限ニ先立テ諮問ヲ受クヘキ家族竝ニ(家族ノ代表者カ有スルナラハ)其ノ代表者ヲ召集シテ家族決議ノ提議アリタルコトヲ通告スヘシ

(二) 採否ノ爲ノ集會ニ於テハ原案ヲ討議シタル上決議ノ結果ヲ確定スヘシ

(三) 家族決議ノ爲ニスル陳述ハ口頭ヲ以テ之ヲ表示スル外公文書又ハ公ノ認證アルニヨリ表示スルコトヲ得但シ該證書ハ採否決定ノ集會ノ前日迄ニ監督官廳ニ提出スルコトヲ要ス



第六條 (一) 家族決議ハ滿場一致ニテ決定サレタルモノナルコトヲ要ス何等ノ陳述ヲ爲ササル家族ハ之ヲ賛成者ト看做ス但シコノコトハ財團變更會議ノ旨ノ呼出狀中ニ注意シ置クコトヲ要ス二人ノ最近親ノ期待權者(三項)及少クトモ全相續權者ノ半數カ該變更ニ同意スル場合ニハ拒絕セサル期待權者ノ同意ニ代ヘルニ家族ノ代表者ノ同意ヲ以テスルコトヲ得

(二) 家族ノ代表者無キ場合若ハ其ノ召集ニ對シテ大ナル障害アル場合ニハ監督官廳ハ新ニ代表者ヲ任命スルコトヲ得家族ノ代表ニ關シテハ後見ニ關スル民法ノ規定ヲ適用ス

(三) 占有者及其ノ直系卑屬ニ次イテ第一位ニ相續スルコトトナレル期待權者ニシテ安全ナル法律上ノ能力ヲ有スルモノハ之ヲ最近親ノ期待權者ト看做ス既ニ召集セラレタル期待權者ノ直系卑屬タル期待權者ハ之ヲ召集スルコトナシ但シ第三條第二號ノ適用ヲ妨ケス

第三節 特別法ノ變更

第七條 (一) 世襲財産ニ關スル現行ノ特別法ハ家族決議ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得

(二) 家族決議ニハ第二條乃至第六條ノ規定ヲ適用ス期待權者ノ數カ十人ヲ超過シ而シテ最近親ノ期待權者ノ中五人カ變更ニ賛成セルトキハ相續順位上劣位ニアル其ノ後ノ期待權者ノ同意ハ家族ノ代表者ヲシテ代理補充セシムコトヲ得但シ相續ニ關スル決定ハ召集ヲ受ケサル期待權者ノ不利益ニ變更セラルヘキ場合ハ此限ニ在ラス此場合ニ相當スルヤ否ヤハ監督官廳其ノ認可書中ニ於テ之ヲ決スヘシ相續又ハ歸屬ノ權利ヲ變更スル家族決議ハ相續又ハ歸屬ノ權利ヲ有スル者ノ同意ヲ得ルヲ要ス其ノ同意ハ口頭ヲ以テ又ハ公文書又ハ公ニ認證セラレタル證書ニヨリ官廳ニ表示スルコトヲ要ス

第四節 財産ニ關スル規定

第八條 (一) 世襲財産ノ占有者ハ家族決議ニ基キテ世襲財産ニ附屬スル物品ヲ處分シ及其ノ上ニ債務ヲ生セシムルコトヲ得家族決議ニ關シテハ第二條乃至第七條カ適用セラル

(二) 次ノ諸場合ニ於テハ家族決議ニ代フルニ家族代理者ノ書面ニ依ル同意アルヲ以テ足り又代理者ナキ場合ニハ最近親ノ期待權者二名ノ同意アルヲ以テ足ル(第六條第三項)

(1) 公共ノ目的特ニ内地殖民ノ爲ニ土地ヲ讓渡シ又ハ之ニ負擔ヲ設定スルコトヲ要スル場合

(2) 世襲財産ヲ保存スル爲ニ臨時費ヲ要スル場合若ハ公設信用機關ノ證明ニ從ヒ永續的ニ世襲財産ノ價值ヲ増大セシムルカ又ハ規則的管理ヲ有效ニ向上セシムルニ必要ナル改良ヲ施スカ爲方法ヲ講セサルヘカラサル場合

(3) 財産ノ上ニ課稅サレタルモノト認ムヘキ課稅其ノ他ノ公課ヲ支拂ハサルヘカラサル場合又ハ財産ヲ使用シテ法律規定ニ基ク義務ヲ遂行スヘキ場合

(4) 勞働契約、貸借契約及小作契約ヲ結約セサルヘカラサル場合

(5) 世襲財産ノ經濟的需要或ハ公共ノ目的ノ爲ニ使用セラルル資本(金錢、債權及證券等)ニ關スル處分ヲ爲サルヘカラサル場合

(6) 第二條及第三號ニ記シタル目的ノ爲ニ支出サレタル費用ヲ占有者ニ辨濟スルコトヲ要スル場合ニハ占有者ハ特別規則又ハ財團ノ法律ニ別段ノ定メナキ限り世襲財産ニ對シテ費用ノ返還ヲ請求スルコトヲ得  
上記ノ同意ハ監督官廳ニ依リテ認可セラルルコトヲ要ス



(三) 期待権者無キ場合又ハ其ノ召集ニ付キ大ナル障害アル場合ニハ監督官廳ハ新ニ家族代理者ヲ定ムルコトヲ得之ニ對シテハ第六條第二項ヲ適用ス

### 第五節 認 可

第九條 (一) 監督官廳ハ家族決議ノ實行カ家族ノ或ル者ニ不當ナル損害ヲ及ホスヘキトキハ其ノ家族ノ者カ同意ヲ表シタル場合ノ外家族決議ノ認可ヲ拒絕スルコトヲ要ス監督官廳ハ法律上ノ條件ノ履行ナキ場合ニ限り家族決議又ハ同意(第八條第二號)ノ認可ヲ拒絕スルコトヲ得

(二) 占有者第一竝ニ第二順位ノ最近親期待権者、家族ノ代表者及相續竝ニ歸屬ニ付キ權利ヲ有スル者ニシテ家族決議ニ因リテ權利ノ變更ヲ受ケタル者ハ認可ノ判定ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得認可カ與ヘラレタルトキハ家族決議ニ反對ナル家族ノ各員モ亦即時抗告ノ權利ヲ有ス

(三) 認可カ適法ナルトキハ本令ノ規定セル條件カ完備セサルトキト雖家族決議又ハ同意ハ其ノ法律の效力ヲ害セラズルコトナシ

### 第六節 山 林

第十條 永續的林業ニ適當ナル面積及位置ヲ有スル山林カ家産ニ屬スルトキハ左ノ規定ヲ適用ス

(一) 本令又ハ其ノ他ノ規定ニ基キテ世襲財産ヲ廢止スルニ付テハ司法大臣及農業林業竝ニ官有地大臣ノ許可ヲ要ス  
(二) 占有者ハ收益ノ永續ヲ計ルニ至ルヘキ林業の原則ニ依リテ山林ヲ經營シ且充分ナル數ノ能力アル人員ヲ使用シ

テ山林ノ保護及經營ニ當ル責ヲ有ス

植林地ノ生産方法及經營方法カ正規ノ經營計畫ニ依リテ決定シ居ラサル場合ニ於テハ監督官廳ハ占有者ヲシテ之ヲ提出セシムルコトヲ得占有者カ指示ノ期間内ニ右ノ命令ヲ奉セサルトキハ監督官廳自ラ其ノ計畫ヲ定ムルコトヲ要ス此ノ經營計畫ハ監督官廳之ヲ廢止セサル限り其ノ效力ヲ保留ス

(三) 其ノ占有者カ正規ノ經營ヲ爲スニ付テノ義務ヲ履行セサルトキハ監督官廳ハ本法ノ規定ニ從ヒ植林施行ノ爲ニ必要ナル方法ヲ講スルコトヲ要ス而シテ其ノ占有者カ義務ヲ缺クコト甚タシキ場合ニハ第一條ニ依リ其ノ占有者ヨリ世襲財産ノ管理ヲ剝奪スルコトヲ得

### 第七節 強制管理

第十一條 (一) 占有者ノ行爲ニ因リ又ハ其ノ不利ナル状態ニ因リテ世襲財産カ著シク減價スル虞アルトキハ監督官廳ハ家産ノ管理ヲ占有者ヨリ奪ヒテ之ヲ管財人ニ移轉スルコトヲ得此ノ財産管理ニ關シテハ財産管理ニ關スル民法ノ規定ヲ適用ス

(二) 監督官廳占有者ヨリ其ノ財産管理ヲ奪フニ當リテハ可能ナル限り先ツ占有者及家族代理者ノ意見ヲ聽取スルコトヲ要ス家族代理者ナキ時ハ第一竝ニ第二順位ノ最近親期待権者ヲ以テ之ニ代フ(第六條第三項)

### 第八節 別決定ノ保留

第十二條 本令ノ規定ハ世襲財産ニ付テ權利ヲ有スル占有者、家族代表者又ハ家及監督官廳其ノ他ノ人又ハ官公署カ財



團ノ主體タル家ノ法律ニ從ヒタル他ノ規定ニ基キテ世襲財産ニ關シ處分方策ヲ講スル權利ニ對シ何等ノ關係ヲ有セス

### 第九節 監督官廳

第十三條 (一) 本令ニ於テ監督官廳トハ世襲財産カ既ニ地方上級裁判所ノ監督ノ下ニ置カレタルトキハ該裁判所ヲ謂

ヒ帝王領莊内ニ付テハ莊園管理所又ハ其ノ設立セル官署ヲ云フ其ノ他ニ付テハ世襲財産又ハ其ノ大部分カ存在スル地方ノ上級裁判所ヲ謂フ

(二) 爭又ハ疑議アルトキハ司法大臣之ヲ決定ス尙ホ司法大臣ハ第一項ト離レテ別ニ監督ヲ實施スル爲本令其ノ他ノ規定ニ基キテ設定セララルル管轄權者ヲ作り又ハ之ヲ他ノ官署ニ移付スルコトヲ得

(三) 監督官廳ハ凡テノ世襲財産ニ付千八百九十九年九月二十六日ノ土地臺帳ニ關スル規定實施ノ爲ニスル法律第十六條ニ記シタル權利ヲ有ス同法第十六條第二項ハ之ヲ適用スヘク第十三條ハ之ヲ廢止ス

### 第十節 命令ノ施行

第十四條 司法大臣ハ本令ヲ施行ス

### 第一節 施行期日

第十五條 本令ハ千九百十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

## 第四編 佛蘭西ニ於ケル自作農創設ニ關スル法律

### 法律ノ沿革及其ノ概要

佛蘭西ニ於ケル自作農地創設事業ハ千八百九十四年ノ低廉住宅供給法ニ端ヲ發スルモノニシテ爾來同法ヲ改正セル千九百八年ノ小自作農地低廉住宅供給法、千九百十年ノ小自作農地其ノ他ニ對スル長期個人貸付法、千九百十八年ノ恩給受領者小自作農地法及千九百十九年ノ法律ノ四種ノ法律ニ基キテ施行セラレツツアリシカ其ノ後千九百二十年八月五日相互信用機關及農業的產業組合ニ關スル法律ヲ制定シ此ノ法律ニ依リ千九百十年及千九百十八年ノ法律其ノ他本法ニ牴觸スル總テノ規定ハ之ヲ廢止シ以テ各種ノ農業信用ヲ統一シテ自作農地ノ創設維持施設ノ擴張充實ヲモ計ルコトナレリ佛蘭西ニ於ケル自作農地創設維持ニ關スル法律ハ單ニ農地購入ヲ希望セル者ニ對シ低利資金ヲ融通シ以テ自作農地創設ノ目的ヲ達セントスルモノナルモ唯千九百十九年ノ法律ノミハ地方自治團體カ小自作農地創設ノ爲必要ナル土地ヲ自ら取得シテ之ヲ小作人又ハ勞働者ニ轉賣スルコトヲ規定セルモノナリ今各法律ノ概要ヲ記スレハ左ノ如シ

一、千九百八年ノ小自作農地低廉住宅法ハ小作人又ハ勞働者階級ノ住宅及小自作農地購入ニ對シ保護獎勵ノ途ヲ講セントスルモノニシテ國家ハ年二分ノ利率ヲ以テ總額一億圓ノ資金ヲ地方不動産抵當銀行ニ貸與シ此等ノ銀行ハ其ノ資金ヲ(一)購入セントスル農地又ハ園地ノ面積ハ一「ヘクタール」以下ニシテ其ノ價額ハ取得ノ諸費用ヲ合シ千二百法ヲ超ヘサルコト(二)借入者ハ購入土地價額ノ五分ノ一ニ相當スル財産ヲ有シ國立生命保險契約者タルコト等ノ條件ニ依リ自



作農地ヲ取得セムトスル者ニ貸付クルモノトス

二、千九百十年ノ小自作農地其ノ他ニ對スル長期個人貸付法ハ千九百二十年ノ法律ニ依リ廢止セラレタルモノニシテ此法律ハ農業的信用組合カ小自作農地ノ取得及土地改良等ニ關シ必要ナル資金ノ長期貸付ヲ爲シ得ルコトヲ定メタルモノニシテ組合カ小自作農地取得者ニ對シ貸付ヲ爲ス場合ノ條件ハ(一)貸付金額ハ八千法以下ニシテ其ノ期間ハ十五年以内トス(二)抵當權ヲ設定スルカ或ハ死亡保險契約ヲ擔保トスルコト等トス尙此ノ法律ハ自作農地創設維持事業ヲ行フ農業信用組合及不動產銀行ニ對シ其ノ事業ニ便益ヲ與フル爲政府ヨリ償還期間二十箇年以内ノ特別貸付ヲ受クル旨ヲ規定セリ

三、千九百十八年ノ恩給受領者小農地法ハ歐洲大戰ニ從軍セル軍人又ハ其ノ戰爭ニ因リテ損害ヲ受ケタル文官ニシテ自作農トナラムトスル者ニ對シ各種ノ保護獎勵ヲ規定セルモノナリ即チ不動產信用組合及農業信用組合カ政府ヨリ無利子ノ資金貸付ヲ受ケ之ヲ千九百八年及千九百十年ノ法律ニ基キ前記ノ軍人恩給受領者又ハ文官恩給受領者ニ對シ貸付ヲ爲スコトトシ其ノ貸付條件ハ(一)金額一萬法ヲ限リ抵當貸付ヲ爲スコト(二)償還期限ハ二十五年以内ニシテ且借受人ノ年齢カ最後償還ノ日ニ於テ六十歳ヲ超ヘサルコト(三)貸付利率ハ一分トスルコト等トス然レトモ本法法律ハ千九百二十年ノ法律ニ依リ廢止セラレ爾後此ノ種ノ事業ハ千九百二十年ノ法律ニ依リ行ハルルコトナレリ

四、千九百十九年ノ「勞働者及貧困ナル家族ヲシテ小土地ヲ容易ニ取得セシムル目的ニテ縣及市町村カ是等ノ者ニ分配又ハ轉賣セントスル耕作地ヲ取得スルコトヲ許ス」法律ハ佛蘭西ノ自作農創設ニ關スル他ノ法律カ農地購入ニ要スル資金貸與ニ關スル規定ヲ爲スニ過キサルモ本法ハ地方自治團體カ自ラ自作農創設ノ爲メニ土地ヲ取得シ得ルコトヲ規定スルモノナリ即チ縣及市町村ハ一定ノ範圍内ニ於テ農地ヲ取得シ之ヲ小作人又ハ勞働者ニ轉賣スルモノニシテ其ノ

條件ハ(一)分課地設定ノ爲ノ土地ハ「エーカー」以下小自作農地創設ノ爲ノ土地ハ其ノ面積ノ如何ニ關セス一萬法ノ價額ヲ超ヘサルコトトシ(二)賣却ハ取得希望者ノ申請アリタル場合ニ於テ申請者ノ資格及其ノ子女ノ數ヲ斟酌シテ之カ決定ヲ爲スモノニシテ不動產擔保貸付銀行又ハ農業資金貸付地方金庫ヨリ長期貸付金ヲ借り得ヘキ者ニ優先權ヲ認ムルモノトス

五、千九百二十年ノ相互信用機關及農業的產業組合ニ關スル法律ハ一般ノ農業信用ヲ統一規定シ自作農創設維持資金ノ貸付ノ擴張充實ヲモ計レルモノニシテ今本制度中自作農地創設資金貸付ニ關スル事項ヲ略記セハ左ノ如シ

(一) 自作農地創設資金ノ貸付ハ相互農業信用地方金庫カ直接之ヲ行フモノニシテ其ノ貸付ノ條件ハ(イ)一人當四萬法トスルコト(ロ)償還期間二十五年以内ニシテ且借受人カ最後ノ償還期ニ於テ年齢六十歳ヲ超ヘサル期間トスルコト(ハ)貸付利率ハ(1)普通ノ小自作農地取得者ニ對スル貸付ニ在リテハ年二分トシ(2)軍人又ハ戰爭ノ爲メ犠牲ト爲リタル官吏恩給受領者ニ對スル貸付ニ在リテハ年一分トスルコト(3)貸付ハ抵當貸付トスルカ又ハ借受人ヲシテ死亡保險契約ヲ提出セシムルコト等ナリトス

(二) 而シテ相互農業信用地方金庫カ貸付ヲ爲ス資金ハ佛蘭西銀行ヨリ國庫ニ其ノ運用ヲ委セラレタル四千萬法ヲ主ナルモノトシ其ノ他(イ)所屬組合ノ出資金(ロ)預金(ハ)縣金庫ヨリノ借入金及(ニ)起債ニ依ル資金等ナリトス  
佛蘭西銀行ヨリ國庫ニ其ノ運用ヲ委セラレタル資金ハ財政上ノ自治權ヲ有スル公ノ營造物タル佛蘭西農業信用局ニ於テ之ヲ相互農業信用縣金庫ニ分配シ縣金庫ヨリ更ニ地方金庫ニ貸付ケ以テ自作農地創設維持ノ爲之ヲ貸付セシムルモノトス

縣金庫ヨリ地方金庫ニ貸付クル資金ハ農業信用局ヨリ分配ヲ受ケタル右資金ノ外縣金庫ノ起債ニ依リ取得セル資金



等ナリトス

(三) 相互農業信用金庫(地方金庫及縣金庫)ハ左記組合ノ一箇若ハ數箇ノ組合員ノ全部若ハ一部又ハ此等組合自身ヲ以テ組織シ得ルモノトス

(イ) 農業的職業組合

(ロ) 千九百年七月四日ノ法律ノ適用ヲ受クル農業相互保險組合

(ハ) 農業的產業組合

(ニ) 第二十二條ニ列舉セル各種ノ農業的利益ヲ營ム組合

而シテ地方金庫ハ各組合員ニ對シ農業上ノ一般信用及自作農地創設維持ヲ容易ナラシメ且之ヲ保證スルコトヲ目的トシ縣金庫ハ其ノ區域内ニ於ケル地方金庫ノ事業ヲ容易ナラシムルコト及農業的產業組合、農業的職業組合又ハ其ノ他ノ組合ニ對シ國家ノ承認シタル特別貸付金ヲ轉貸スルコトヲ目的トスルモノナリ

(四) 農業信用局ハ財政上ノ自治權ヲ有スル公ノ營造物ニシテ三十人ノ委員ヨリ成ル全委員會ノ監督ノ下ニ理事會ニ依リ管理セラルルモノニシテ理事會ノ事務ハ農務大臣ノ任命セル局長之ヲ統轄ス而シテ全委員會ハ農務大臣之ヲ統轄ス

而シテ其ノ目的ハ(一)政府ヨリ交付スル農業信用資金ノ分配管理(二)相互農業信用金庫ノ受入レタル資金ノ預金及其ノ管理(三)縣金庫ノ取次ニ依ル證券ノ發行(四)荒蕪地ノ開墾着手ニ關スル千九百十八年五月四日ノ法律ノ適用上許サルル信用ノ管理等ナリトス

今佛蘭西ニ於ケル小自作農地創設ニ關スル諸法律ヲ列舉スレハ大要左ノ如シ

第一、千九百八年四月 小自作農地低廉住宅供給法

第二、千九百十年三月 小自作農地創設其ノ他ニ對スル長期個人貸付法(千九百二十年ノ法律ニ依リ廢止)

第三、千九百十八年四月 恩給受領者小自作農地法(千九百二十年ノ法律ニ依リ廢止)

第四、千九百十九年十月 勞働者及貧困ナル家族ヲシテ小土地ヲ容易ニ取得セシムル目的ニテ縣及市町村方此等ノ者ニ

分配シ轉賣セントスル耕作地ヲ取得スルコトヲ許ス法律

第五、千九百二十年八月 相互信用機關及農業的產業組合ニ關スル法律

附 錄

一、千九百十九年三月 戰爭荒廢地方ニ於ケル土地ノ境界劃定、配分及整理ニ關スル法律

二、千九百十九年四月 戰爭損害賠償法

三、千九百十九年五月 賦課期限及停止條件又ハ解除條件附契約ニ依リテ住宅及土地ヲ取得スル者ノ地位ヲ規定スル

法律

四、千九百十九年十月 戰爭損害ニ關スル千九百十九年四月十七日ノ法律ヲ修補スル法律

五、千九百十九年四月 「モロツコ」ニ於ケル土地團體ノ監督並團體財產ノ管理及讓渡ニ關スル命令

### 第一 千九百八年ノ小自作農地低廉住宅供給法

小自作農地及低廉住宅供給ニ關スル(千九百八年四月十日)法律

第一條 低廉住宅供給ニ關スル千九百六年四月十三日ノ法律ノ認メタル總テノ恩典ハ「ヘクタール」ヲ超エサル園地又



ハ農地ニモ之ヲ附與ス但シ地租ノ一時免除ノ恩典ハ之ヲ受クルコトナシ其ノ他前項ノ土地ノ受クル制限ハ左ノ如シ

一 取得者ノ住宅ノ實際ノ賃貸借價額ハ取得ノ當時ニ於テ千九百零六年四月十二日ノ法律第五條ヲ以テ市町村毎ニ定メタル額ヲ超エサルコト

二 取得ノ價額ハ諸費用ヲ合シテ千二百法ヲ超エサルコト

三 取得者ハ第二條ニ定メタル條件ニ依リ抵當貸付ヲ承諾セル銀行又ハ組合ニ對シ其ノ抵當付土地ヲ自身耕作スルカ又ハ家族ヲシテ耕作セシムルコトヲ契約スヘキコト

取得者ハ取得ノ當時既ニ宅地ノ所有者ナルトキハ土地ノ面積及價額ハ本條ニ定メタル計數ニ依リテ之ヲ定ムヘシ

第二條 地方不動産抵當銀行ハ國家ヨリ年二分ノ利率ヲ以テ貸付ヲ受ケ左ノ事業ヲ行フ

一 本法ニ定メタル條件ニ合スル借主ニ對シ第一條ニ規定セル範圍内ノ農地又ハ園地ノ取得若ハ低廉ナル個人住宅ノ取得又ハ建築ノ爲ニ個人抵當貸付ヲ爲スコト

二 千九百零六年四月十二日ノ法律ニ依リテ設立セラレタル低廉住宅組合ニ對シ前號ト同一事業ノ爲ニ貸付ヲ爲スコト

第三條 第二條ノ規定シタル借主ハ次ノ條件ニ從フコトヲ要ス

一 抵當貸付決定ノ時ニ於テ土地又ハ建物ノ價額ノ少クモ五分ノ一ニ相當スル財産ヲ所有スルコト

二 借主死亡ノ時ニ於ケル未濟年賦金ノ支拂ヲ擔保スル目的ヲ以テ一回拂保險料ニテ國立死亡保險金庫ト保險契約ヲ締結スルコト

三 借主カ農地又ハ園地ノ取得ノ場合ニハ本法第一條又ハ個人住宅ノ取得若ハ建築ノ場合ニハ千九百零六年四月十二日ノ法律第五條ノ定メタル條件ニ服スヘキコトヲ證明シタル行政官廳ノ證明書ヲ必要トス此ノ後項ノ場合ニ於テハ借

主ハ貸付決定前ニ千九百零六年ノ法律第五條ノ規定シタル健康證明書ヲ受クルコトヲ要ス

第四條 國家カ貸付ヲ爲ス地方不動産抵當銀行ハ株式組織ニシテ資本金二十萬法以上ナルコトヲ要シ又株式ハ少クトモ其ノ三分ノ一以上ノ拂込アルコトヲ必要トス但シ低廉住宅上級會議ノ意見ニ從ヒ大藏大臣、勞働及社會救濟大臣ノ提議ニ基キ宣令ヲ以テ特別ノ許可ヲ與ヘタルトキハ此ノ限りニ在ラス株主ニ對スル配當金ハ年四分ヲ超ユルコトヲ得ス

銀行ニ對スル貸付金ハ拂込濟資本金ノ四倍ニ未濟資本金ヲ加ヘタル額ヲ超ユルコトヲ得ス

第五條 第二條及第四條ノ定ムル條件ニ適合スル地方不動産抵當銀行ハ本法ニ規定スル諸種ノ利益ヲ享有ス

第六條 國家カ本法ニ定メタル條件ニ依リ不動産抵當銀行ニ對シテ貸付クルコトヲ得ル金額ハ一億法トス大藏大臣ハ財政ニ關スル法律ヲ以テ毎年定ムル限度内ニ於テ國立養老金庫カ國庫ニ對シテ爲シタル貸付金ヲ以テ必要ナル基金ト爲スコトヲ得此ノ貸付金ハ年賦證券ヲ以テ代フルコトヲ得利子ハ千八百八十六年七月二十日ノ法律第十二條ニ依リ貸付金交付ノトキ行ハルル金庫ノ利率トシテ一定シ居ル利率ノ範圍内ニ於テ三箇月毎ニ之ヲ決算ス銀行及組合ニ對スル貸付金ハ國家ノ計算ニ於テ本法第八條ニ依リ勞働大臣ノ管轄ノ下ニ設置セラレタル特別委員會ノ指定ノ下ニ國立養老金庫之ヲ供給ス此ノ事務ニ要スル管理費用ハ毎年養老金庫ニ之ヲ償還スヘシ

第七條 銀行及組合カ辨濟期ニ至ルモ借入金ノ償還ヲ爲ササルトキハ期限後年四分ノ遅延利息ヲ課セラル國庫ノ法定代理人ハ期限後三箇月内ニ未償還金額及遅延利息ノ取立ヲ爲スヘシ

第八條 貸付金額決定委員會委員ノ任期ハ五ヶ年トシ勞働及社會救濟大臣ノ提議ニ基キ宣令ヲ以テ任命ス委員ノ數ハ左記ノ十六名トス

一 勞働大臣(議長)



- 二 上院議員 二名
- 三 下院議員 二名
- 四 國務參事院職員 一名
- 五 會計検査院職員 一名
- 六 大藏省職員 二名
- 七 預金局長又ハ其ノ代理人
- 八 保險及社會救濟局長又ハ其ノ代理人
- 九 水利及農事改良局長又ハ其ノ代理人
- 十 地方不動産抵當銀行代表者 二名
- 十一 低廉住宅上級評議會議員 二名

勞働及社會救濟省ノ局長又ハ副局長中ヨリ書記ノ職務ヲ行フ委員會副議長ヲ任命ス

第九條 抵當ヲ供シタル借主カ本法第三條ニ依リ國立死亡保險金庫ト締結スヘキ期限付保險契約ニ付テハ申込人ハ金庫ノ指定シタル醫師ノ體格検査ヲ受ケサルヘカラス住宅、農地又ハ園地ヲ取得シタルトキヨリ少クトモ二年前ニ保險ノ申込ヲ爲シ且國立保險金庫ニ保險金額ノ一部ノ拂込ヲ爲シタルトキハ前項ノ義務ヲ免ル但シ拂込濟金額カ十法以下ナルトキハ此ノ限リニ在ラス

保險契約證券ノ署名ハ前項二年ノ期間經過後一年内ニ之ヲ爲ササルヘカラス此ノ場合ニ於テハ一回拂保險料ハ拂込濟ノ額タケ減少セラル此ノ期間内ニ保險契約證券ニ署名セサルトキハ拂込濟金額ハ保險金額ニ含ムモノトス



第十條 勞働大臣及大藏大臣ノ提議ニ依リテ作成セラレタル施行細則ハ本法殊ニ次項ノ適用ニ關スル細則ヲ規定ス

- 一 不動産抵當銀行カ低廉住宅上級評議員會ノ意見ニ從ヒ本法及千九百零六年六月十二日ノ法律ヲ以テ附與シタル利益ニ均霑スル目的ヲ以テ勞働大臣ノ認可ヲ得ルト共ニ本法ニ依ラサル銀行ハ其ノ認可ヲ得ルコトヲ得サル旨ヲ明ニセシカ爲ニ銀行ノ定款中ニ規定セシムヘキ條項
- 二 第三條ニ規定シタル行政官廳ノ證明書ヲ受クル方法及期間
- 三 死亡保險金庫ハ第三條及第九條ニ規定シタル保險事業ヲ行フ條件
- 四 本法ノ施行ヲ確實ニセンカ爲ニ國家ノ計算ニ於テ事業ヲ行フ國立養老金庫ト不動産低當銀行ト締結スヘキ契約中ニ挿入スヘキ條項

第十一條 預金局カ千八百九十五年七月二十日ノ法律第十條及千九百零六年四月十二日ノ法律第十六條ニ規定シタル事業ノ爲ニ貸付ヲ爲ス場合ニ若シ其ノ事業ノ目的カ本法第三條ノ條件ニ合スル個人ノ爲ナルトキハ二分ノ低利ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十二條 本法ハ之ヲ「アルゼリー」ニモ施行ス

## 第二 千九百十年ノ小自作農地創設其ノ他ニ對スル長期個人貸付法

(千九百二十年ノ法律ニ依リ廢止)

小自作農地ノ取得、整理、改良及再興ヲ容易ナラシムル目的ヲ以テ爲ス長期ノ個人貸付ニ關スル(千九百十年三月十九日)法律



第一條 千九百八年一月十四日ノ法律及千九百十年二月十八日ノ法律ヲ以テ改正シタル千八百九十四年十一月五日ノ法律第一條第一項ヲ左ノ如ク改正ス

農業的信用組合ハ小農地ノ取得、整理、改良及再興ニ對シ便宜ヲ與フル目的ヲ以テ長期ノ個人貸付ヲ爲スコトヲ得

第二條 前條ノ目的ヲ以テ爲ス貸付金ノ額ハ八千法ヲ超ユルコトヲ得ス又其ノ期限ハ十五箇年以内トス農業的信用組合ハ抵當ヲ附スルカ又ハ死亡保險契約證券ヲ擔保トスルニ非サレハ貸付ヲ爲スコトヲ得ス

以上ノ貸付金ノ爲ニ抵當ニ附セラレタル小農地ハ差押ヲ爲シ得サル家産ト爲スコトヲ得

第三條 千九百六年十二月二十九日ノ法律ヲ以テ改正シタル千八百九十九年三月三十一日ノ法律第一條ヲ左ノ如ク改正ス

政府ハ年賦金ノ一部ヲ割キ本法第一條ニ規定シタル事業ニ便宜ヲ與フル目的ヲ以テ特別貸付金トシテ地方金庫ニ無償ニテ貸付クルコトヲ得貸付金ノ額ハ地方金庫ノ資金ノ二倍ヲ超ユルコトヲ得ス又二十年以内ニ償還スルコトヲ要ス

第四條 千九百八年四月十日ノ法律ニ依リ設定シタル不動産銀行ニシテ勞働及社會救濟大臣ノ許可ヲ得テ第一條ニ規定シタル事業ニ便宜ヲ與フルコトヲ目的トスルモノハ地方相互農業信用金庫ト同シク前條ノ條件ニ從ヒ特別貸付金ヲ受クルコトヲ得不動産銀行ハ貸付金ノ割當、農事ニ關スル事業ノ監督及會計ノ検査ニ付テハ地方相互農業信用金庫ト同一ノ規定ニ依ルヘシ

第五條 國立死亡保險金庫ハ勞働及社會救濟大臣、大藏大臣及農務大臣ノ提案ニ因リテ公布セラレタル宣令ノ定メタル條件ニ從ヒ本法ノ規定セル個人貸付ヲ受ケントスル者ト其ノ死後未濟年賦金ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ擔保スル一回拂保險料契約ヲ締結スルコトヲ得

第六條 本法ノ利益ヲ享有シ得ル組合ニ規定中ニ規定スヘキ特別ノ條項、貸付金ノ償還ヲ確實ニセンカ爲ニ取ルヘキ擔保及貸付金ヲ特別ノ用途ニ轉用セシメサラシカ爲ノ監督方法其ノ他本法ノ適用上必要ナル總テノ方法ハ千九百六年十二月二十九日ノ法律第五條ノ規定ニ依リ貸付金割當委員ノ意見ニ從ヒ農務大臣、大藏大臣並勞働大臣ノ副署ヲ以テ公布セララルヘキ宣令ヲ以テ規定スヘシ

### 第三 恩給受領者小自作農地法 (千九百二十年ノ法律ニ依リ廢止)

軍人恩給ノ受領者及戰爭ニ因リテ損害ヲ受ケタル文官ノ小自作農地取得ニ關スル

法律 (千九百十八年四月九日)

第一條 不動産信用組合及農業信用組合ハ千九百八年四月十日及千九百十年三月十九日ノ法律ニ依リ夫々規定セラレタル條件ニ從ヒ

(一) 今次ノ戰爭中ニ受ケタル負傷又ハ感染シタル疾病ノ爲ニ國家ヨリ廢疾恩給金ヲ受ケタル權利ヲ有スル老兵士、老水兵

(二) 千九百十四年八月二日以後ニ於テ受ケタル負傷又ハ疾病ニ基キ其ノ夫カ死亡セル爲ニ國家又ハ佛蘭西海員救濟金庫ヨリ恩給又ハ賠償の終身年金ヲ受ケタル權利ヲ有スル寡婦

(三) 戰爭ニ關スル事務ニ依リテ身體ニ受ケタル損害ノ爲ニ國家又ハ佛蘭西海員救濟金庫ヨリ賠償的終身年金又ハ恩給ヲ受ケル權利ヲ有スル者ニシテ退職シタル勞働者及農夫ニ關スル千九百十年四月五日ノ法律ニ依ル保險名簿ニ登錄シタルコト又ハ登錄スルコト及其ノ法律ノ規定ニ適合スル旨ヲ證明スルノ義務ヲ有スル者ニ對シ小自作農地ノ取



得、整理、變更及改良ヲ容易ナラシムルカ爲ニ個人的抵當ノ貸付ヲ許可スルコトヲ得其ノ金額ハ面積如何ニ拘ハラ  
ス費用及保險料ヲ除キ一萬法ヲ超ユルコトヲ得ス其ノ貸付ノ償還期限ハ借受者ノ年齢カ最後償還ノ日ニ於テ六十歳  
ヲ超エサル條件ノ下ニ二十五年ニ達スルコトヲ得ルモノトス

第二條 不動産信用組合及農業信用組合ニ於テ第一條ニ依ル利益ヲ受クヘキ者ニ附與スヘキ貸付金ハ一分ノ利率ヲ以テ  
許可スヘキモノトス

借受者ハ抵當貸付ノ契約締結ノ際ニ死亡ノ場合當然輕減サルヘキ年賦償還ヲ保障スルカ爲ニ國立保險金庫ト死亡ニ對  
スル單一保險料ノ契約ヲ締結スルコトヲ要ス其ノ支拂フヘキ保險料ノ總額ハ契約締結ノ手数料ノ總額ト共ニ抵當貸付  
金ニ合算スヘキモノトス

以上ノ小經營ニ包含セララル廉價住宅ニ對シテハ千九百八年四月十日ノ法律第三條第三號ニ依リテ規定セラレタル衛  
生ニ關スル假證明書ヲ低廉住宅獎勵委員會及救濟會ノ農村派遣委員ニ依リテ交付セララルヘキモノトス其ノ派遣委員ハ  
右ノ會ニ依リテ右ノ目的ノ爲ニ以上ノ規定ニ依ル代表者ト同時ニ各府縣毎ニ指定セラレ且農業職業組合、農業組合、  
農業生産組合、農業相互信用金庫、農業相互保險組合又ハ府縣委員會ノ會員中ヨリ選舉セララルヘキモノトス

第三條 本法第一條ノ規定ニ依リ千九百六年四月十二日、千九百八年四月十日、千九百十四年二月十一日ノ法律及其ノ  
事項ニ關スル以後ノ法律ニ依リテ決定セラレタル條件ニ該當スル低廉ナル住宅若ハ小農地ヲ取得スル利益ヲ有スル者  
ハ本法ニ依リテ決定セラレタル條件ニ該當スル小農地ノ經營ヲ取得シ、設定シ、變更シ又ハ改良スル者ト雖住宅、土  
地又ハ經營ノ價額ノ少クトモ五分ノ一以上ヲ所有スルコトヲ證明スヘキ義務ヲ免除セララルヘキモノトス  
年賦金ノ支拂遲滞ノ場合ニ於テハ組合ハ借受者ノ恩給年額ノ五分ノ一ヲ組合自身ニ受領スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ

其ノ受領金額ハ恩給年額ノ半額以上ヲ取得セス又ハ三百六十法以下ニ減少セサルヲ條件トス右ノ規定ハ貸付ノ契約中  
ニ包含セラレ且其ノ條件付ノ委任ヲ豫期シタルモノトス

右ノ委任ヲ實現セシムルカ爲ニ貸付ヲ爲シタル組合ハ借受者ヲシテ支拂遲滞ノ書面ヲ提出セシムルコトヲ要ス十五日  
ノ期間ノ經過後組合ハ同様ノ形式ニ依リ其ノ遲滞者ヲ國庫ニ報告スルモノトス

借受者カ自由ニ留保シ得ヘキ恩給ノ部分ニ對シテ何人モ要求ヲ爲ササルトキハ國庫ハ組合ヨリ委任サレタル恩給ノ部  
分ヲ組合ニ引渡スコトニ付テ有效ニ其ノ責任ヲ免ルヘキモノトス

恩給ニ對スル權利者カ請求ヲ爲シタル場合ニ國庫ヨリ訴アリタルトキハ治安裁判所判事ハ組合ノ代表者及借受ケタル  
者ヲ召喚スヘキモノトス判事ハ最終判決ニ依リ通告又ハ猶豫ナキ判決ヲ決定スヘキモノトス  
委任セラレタル年賦金額ハ三箇月毎ニ四分ノ一ヲ支拂フモノトス

第四條 不動産信用組合及農業信用組合ハ本法ニ依リテ認メラレタル特別貸付ニ對シ其ノ認可セラレタル資本ノ二倍ニ  
制限セララルコトナク且無利子ヲ以テ個人信用ニ對シテ留保シタル農業信用ノ一般資金ノ部分ニ先取シテ千九百十年  
三月十九日ノ法律ニ依ル長期ノ資金ノ前貸ヲ受クルコトヲ得

右ノ前貸金ハ最長二十五箇年ノ期限内ノ年賦金ヲ以テ償還スヘキモノトス  
第五條 前條ニ依リテ規定セラレタル前貸金ハ組合及需要者カ

(一) 農務大臣ニ依リテ農業信用組合ニ對シ

(二) 勞働及社會救濟大臣並農務大臣ニ依リテ不動産信用組合ニ對シ

満足セシムルコトヲ要求セラレタル擔保ニシテ其ノ組合及需要者ニ依リテ提出セラレタルモノノ報告アリタル場合ニ



於テ左ノ如ク組織セラレタル特別委員會ノ通告ニ基キ許可セラルヘキモノトス

農務大臣 會長

勞働及救濟大臣 副會長

會計検査院ヨリ選出セル検査官一人、佛蘭西銀行總裁、貯蓄金庫ノ總支配人、大藏大臣ノ代理人、保險及救濟部ノ部長、信用組合及農業相互組合ノ事務部長

戰爭ノ損害及改善ニ關スル國民委員會ノ代表者二人、不動産信用組合ニ於ケル貸付資金ノ利益配當ニ關スル委員會ノ代表者二人

農業信用ノ地方金庫ニ對スル前貸金ノ分配委員會ノ代表者二人  
委員會ノ委員ハ法律ニ基ク者ヲ除クノ外四年ノ任期ヲ以テ指命セラルモノトス

第六條 國家ハ借受者カ貸付シタル組合ニ支拂フヘキ年賦金ヲ輕減スルカ爲ニ貸付ヲ受ケタル後其ノ借受者ニ出生シタル各嫡出子ニ對シ借受金ノ每百法ニ付五十「サンチム」ノ金額ヲ毎年支拂フモノトス

右ノ附與金ハ直接國家ヨリ借受者ノ計算ニ於テ貸付シタル組合ノ支店ニ支拂フヘキモノトス

第七條 本法ノ條件又ハ千九百十年三月十九日ノ法律ニ依リテ取得シ、整理シ、變更シ又ハ改良シタル農地ハ千九百九年七月十二日ノ法律ノ規定ニ對スル修正ニ依リ貸付組合ノ爲ニ訴訟原因ニ對シ不動産ヲ登記シ且必要アルトキハ強制執行權ニ依リテ障害ヲ受クル事ヲ差押フルコトヲ得サル家産ニ設定スルコトヲ得

貸付組合ハ民法第二千三百三條第二項ニ依リテ設定セラレタル特權ヲ享受スルモノトス

以上第一條ニ依リテ利益ヲ受クル者カ獨身ニシテ子ヲ有セサル場合モ千九百九年七月十二日ノ法律ニ對スル修正ニ依

リテ家産設定行爲以後三ケ年以内ニ婚姻ヲ爲スノ契約ヲ條件トシテ本法ニ依リ取得シ、整理シ、變更シ又ハ改良シタル不動産ヲ其ノ者ノ利益ノ爲ニ差押フルコトヲ得サル家産ニ設定スルコトヲ得右ノ期間カ經過シ且右ノ條件ヲ履行セサル時ハ以上ノ設定ニ關シテ一切ノ利益ハ取消サルヘキモノトス

動産ニ充當セラレ且農業信用ノ地方金庫ニ依リ千九百十年三月十九日ノ法律ノ條件ニ基キ許可セラレタル長期貸付ニ關シテハ前貸金ヲ金庫ノ資本額ノ二倍ニ制限シタル以上ノ法律規定ハ之ヲ適用セサルモノトス但シ前貸金ノ總額ハ其ノ資本ノ四倍ヲ超ユルコトヲ得サルモノトス

第八條 六ケ年間自ラ耕作ニ從事セル者カ最高價額千二百法ノ土地ヲ取得スル場合ニ於テ其ノ土地ノ小作人、分益小作人、農業勞働者及未タ土地ヲ所有セサル者トノ間ニ起レル其ノ財産權ノ移轉ニ關スル繫争ヲ解決セル時ハ無料ニテ登記シ又ハ變更スル權利ヲ附與セラルヘキモノトス

第九條 本法公布後少クトモ三ケ年以内ニ本法施行ノ條件及以上ニ規定シタル事業ノ財産管理ノ方法ヲ定ムル行政規則ヲ公布スルヲ要ス

#### 第四 勞働者及貧困ナル家族ヲシテ小土地ヲ容易ニ取得セシム

ル目的ニテ縣及市町村カ此等ノ者ニ分配シ轉賣セムトス  
ル耕作地ヲ取得スルコトヲ許ス法律 (千九百十九年十月三十一日)

第一條 縣及市町村ハ勞働者及貧困ナル家族ノ小土地取得ヲ容易ナラシムル爲ニ次ノ諸條ノ定ムル條件ニ依リ耕作地ヲ取得シ且其ノ分配後之ヲ轉賣スルノ權利ヲ有ス



第二條 縣ノナス取得ハ縣參事會ノ特別認可ニ基キ知事カ縣豫算内ニ記入セル經費ノ制限内ニ於テ之ヲ行フ

市町村ニヨル取得ハ千八百八十四年四月五日ノ法律及本事項ヲ規定スル其ノ他ノ法律ノ規定ニ從ヒテ之ヲ行フ

第三條 縣及市町村ノ取得セル土地ハ縣及市町村ノ道路課之ヲ分割シ且其ノ通行路ヲ作ル該分配ハ以下ノ如クニ定ムルヲ要ス

(1)庭園付ノ住宅設定ニ充ツル土地ハ十「エーカー」ノ面積ヲ超エサルコト

(2)小農園設定ニ充ツル土地ハ其ノ面積ノ如何ニ關セス一萬法ノ價額ヲ超エサルコト

第四條 縣カ土地ヲ購入シテ分割ヲ終リタルトキハ其ノ圖面ヲ縣廳及該縣下ノ支廳ニ備付ケテ二箇月間公衆ノ縦覽ニ供スヘシ該圖面備付ノ公告ハ公報及各市町村内ノ揭示ニヨリテ爲スモノトス

該公告中ニハ其ノ外各分割地ノ名稱及要求サレタル價額ヲ記載ス

此等ノ土地ノ未必ノ取得者ハ自己ノ取得申請書ニ其家族ノ狀態、勞働又ハ貧困ナル家族タルノ資格ヲ證明スヘキ書類ヲ添ヘテ知事ニ提出スヘシ

申請ハ府縣參事會之ヲ審理スヘク請求者ノ資格及子女ノ數ヲ斟酌シ且價額支拂ノタメニ不動産擔保貸付銀行又ハ農業資金貸付地方金庫ヨリ長期貸付金ヲ借り得ヘキ者ニ優先權ヲ認メテ土地ノ分配ヲ行フ

第五條 市町村カ土地ヲ購入シタル際ニハ其ノ轉賣ハ市町村財産ノ賣却ヲ規定スル法律ニ依リテ行ハル

第六條 縣又ハ市町村ノ定ムル賣却價格ハ縣又ハ市町村ニ何等ノ損失又ハ利益ヲ齎ラササル範圍ニ於テ之ヲ算定スヘシ

第七條 購買價額ノ支拂ハ現金ニテ行ハルルヲ要スカクテ取得セル不動産ハ十年間之ヲ讓渡スルコトヲ得ス

住宅建設ノ目的ニテ土地ヲ取得セル者ハ其ノ土地ヲ他ノ目的ニ使用スルヲ得ス

小耕作地ノ取得者ハ自ら又ハ家族ノ助力ヲ待チテ該農園ヲ耕作スルヲ約セサルヘカラス

第八條 取得者ノ支拂フヘキ不動産移轉稅支拂ノ特別條件ハ稅法ニテ之ヲ定ムヘシ

### 第五 相互信用機關及農業的產業組合ニ關スル千九百二十年

八月五日ノ法律 (Loi sur le crédit mutuel et la coopération agricole)

#### 第一章 相互農業信用金庫 (Caisses de crédit agricole mutuel)

##### 第一款 構成——公示

第一條 相互農業信用金庫ハ左記組合ノ一箇若ハ數箇ノ組合員ノ全部若ハ一部又ハ此等組合自身ヲ以テ構成スルコトヲ得

(1) 農業的職業組合 (Syndicats professionnels agricoles)

(11) 千九百年七月四日ノ法律ノ適用ヲ受クル農業相互保險組合 (Société d'assurances mutuelles agricoles)

(111) 農業的產業組合 (Sociétés coopératives agricoles)

(四) 第二十二條ニ列舉セル各種ノ農業的利益ヲ營ム組合

第二條 相互農業信用金庫ハ前條ノ各團體ノ各組織員カ個別的ニ又ハ共同的ニ行フ農業生産ニ關スル事業ヲ容易ナラシメ且之ヲ保證スルコトノミヲ以テ目的トス

第三條 相互農業信用金庫ノ資金ハ株引受ニ依リテ成立スルモノニ非ス各組織員ニハ持分ノ分配ヲ爲スヘシ持分ハ記名式ニシテ金庫ノ承認ヲ經ルニアラサレハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス